

令和6年度 第1回文京区アカデミー推進本部 次第

(日時) 令和6年7月3日(水)午前9時15分～

(会場) 庁議室

1 開 会

2 議 題

(1) 文京区アカデミー推進計画の点検・評価について

3 閉 会

【配付資料】

資料第1号_アカデミー推進計画の点検・評価について

資料第2-1号_令和5年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価(案)

資料第2-2号_令和5年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価(案)(別冊)

令和6年7月3日
アカデミー推進課

アカデミー推進計画の点検・評価について

1 概要

令和4年3月に改定した「文京区アカデミー推進計画」について、計画期間において前年度に実施した事業の実施状況の点検及び評価を行う。令和6年度は、令和5年度の点検・評価を行う。

2 協議会の構成

19人の委員で構成する。構成員は「別紙のとおり」

3 今後のスケジュール

令和6年7月3日	第1回アカデミー推進本部
7月17日	第1回アカデミー推進協議会 全体会：進行等について説明
7月下旬	アカデミー推進協議会分科会
～8月上旬	5分野ごとに点検・評価（各1回）
9月18日	第2回アカデミー推進協議会
10月	第2回アカデミー推進本部
11月	議会報告「アカデミー推進計画の点検・評価について」

文京区アカデミー推進協議会委員名簿（令和6年度）

	分野	氏名	団体等
1	学識経験者	山田 徹雄	跡見学園女子大学名誉教授
2	学識経験者	田中 雅文	日本女子大学名誉教授
3	学識経験者	青木 和浩	順天堂大学スポーツ健康科学部教授
4	学識経験者	垣内 恵美子	政策研究大学院大学名誉教授
5	生涯学習関係団体	阿部 裕子	文京アカデミア学習推進委員会
6	生涯学習関係団体	三浦 武裕	文京アカデミア生涯学習支援者の会
7	スポーツ関係団体	井上 充代	文京区スポーツ推進委員会
8	スポーツ関係団体	脇 弥恵子	文京区体育協会
9	文化芸術関係団体	高澤 芳郎	シエナ・ウインド・オーケストラ
10	文化芸術関係団体	牧野 恒良	公益社団法人 宝生会
11	観光関係団体	小能 大介	一般社団法人文京区観光協会
12	商工団体	関 誠	東京商工会議所文京支部
13	国内交流団体	佐伯 晃	津和野町東京事務所
14	国際関係団体	山田 健一	公益財団法人 アジア学生文化協会
15	区民	東田 英輔	区民公募委員
16	区民	石田 廣行	区民公募委員
17	区民	五十嵐 幸輝	区民公募委員
18	区民	近藤 裕子	区民公募委員
19	区民	塩澤 雅代	区民公募委員

**令和5年度
文京区アカデミー推進計画の
点検・評価**

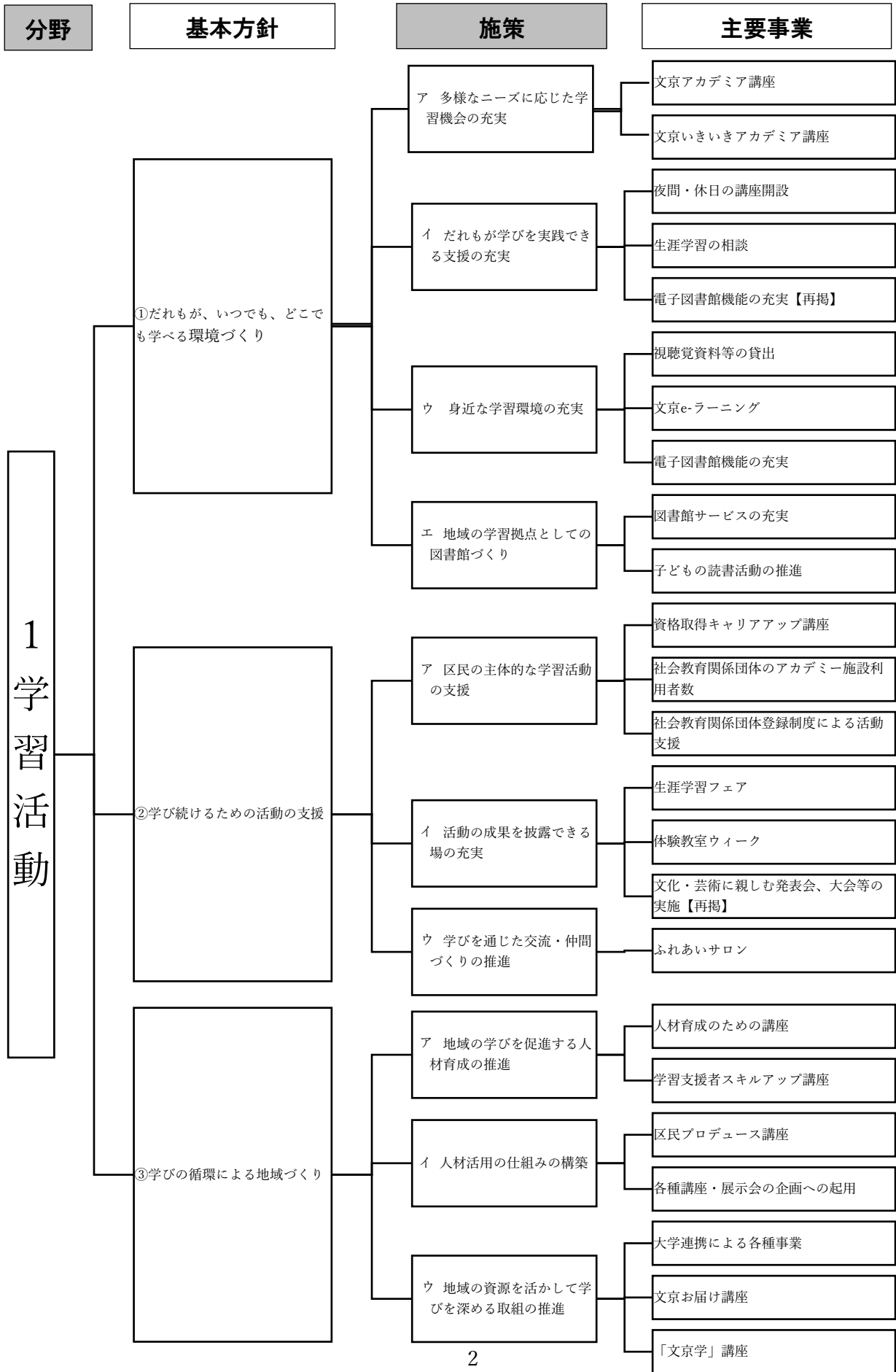
(案)

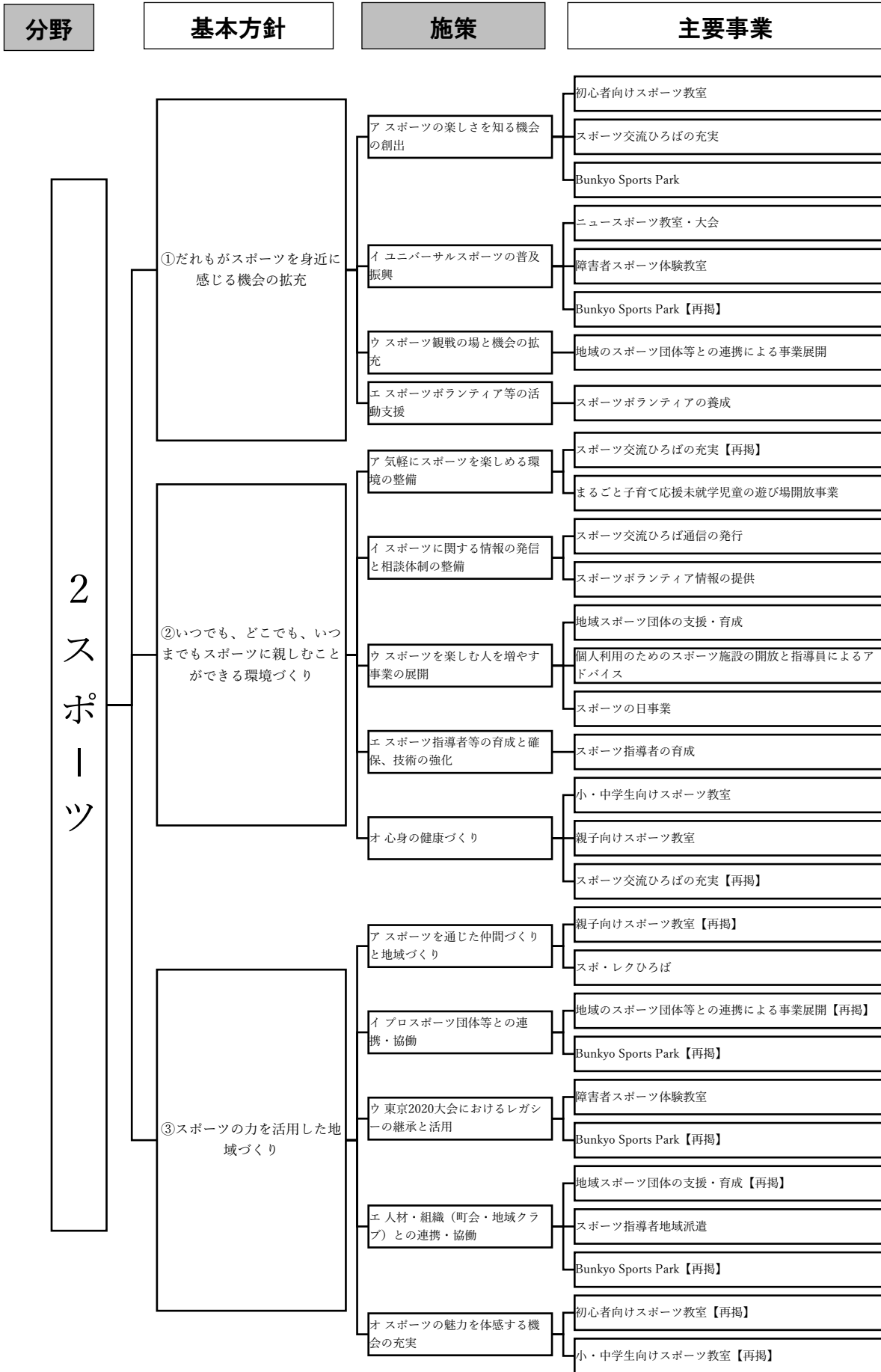
令和6年 月

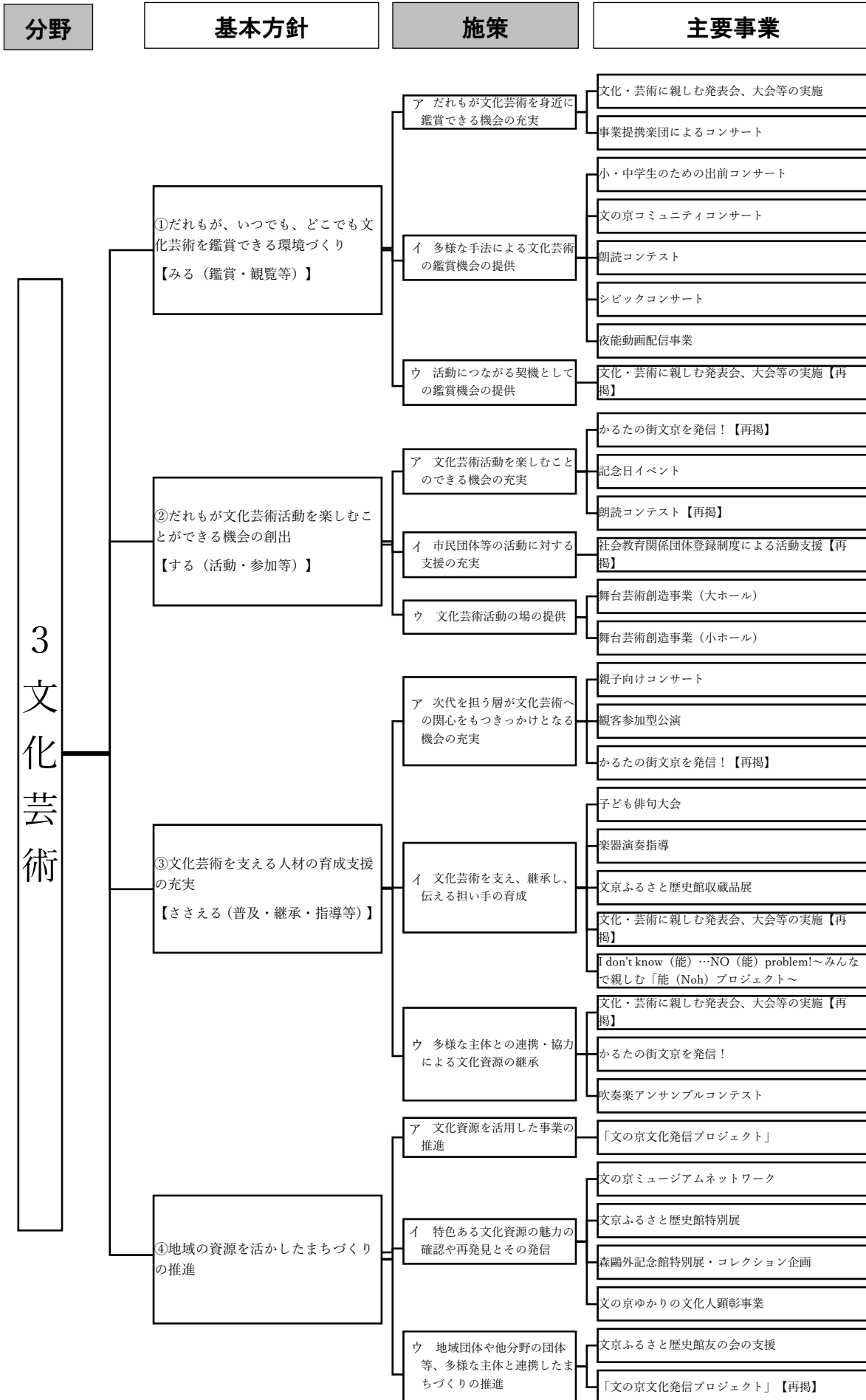
目次

第1章 計画の体系.....	2
第2章 事業の点検・評価の考え方.....	7
1. 概要.....	7
2. 体制と手法.....	8
3. 新型コロナウイルス感染症の影響について.....	10
第3章 学習活動分野の点検・評価.....	11
1. 学習活動分野の評価.....	11
2. 主要事業一覧.....	12
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	13
4. 主要事業の成果に対する評価.....	16
第4章 スポーツ分野の点検・評価.....	32
1. スポーツ分野の評価.....	32
2. 主要事業一覧.....	33
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	34
4. 主要事業の成果に対する評価.....	37
第5章 文化芸術分野の点検・評価.....	56
1. 文化芸術分野の評価.....	56
2. 主要事業一覧.....	57
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	59
4. 主要事業の成果に対する評価.....	63
第6章 観光分野の点検・評価.....	90
1. 観光分野の評価.....	90
2. 主要事業一覧.....	91
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	92
4. 主要事業の成果に対する評価.....	96
第7章 国内・国際交流分野の点検・評価.....	105
1. 国内・国際交流分野の評価.....	105
2. 主要事業一覧.....	106
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況.....	107
4. 主要事業の成果に対する評価.....	110
第8章 事業実施状況調査の調査結果(別冊).....	

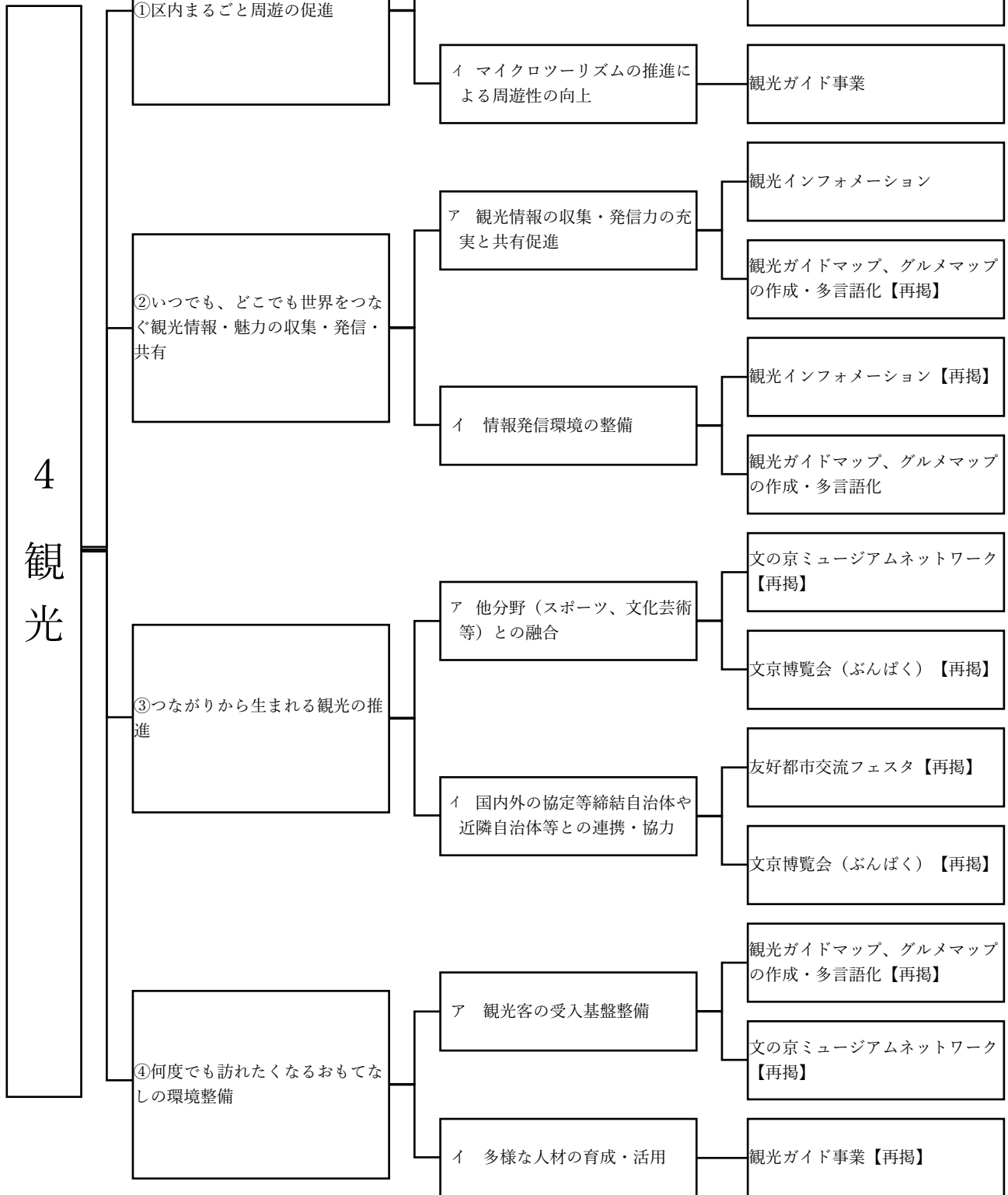
第1章 計画の体系

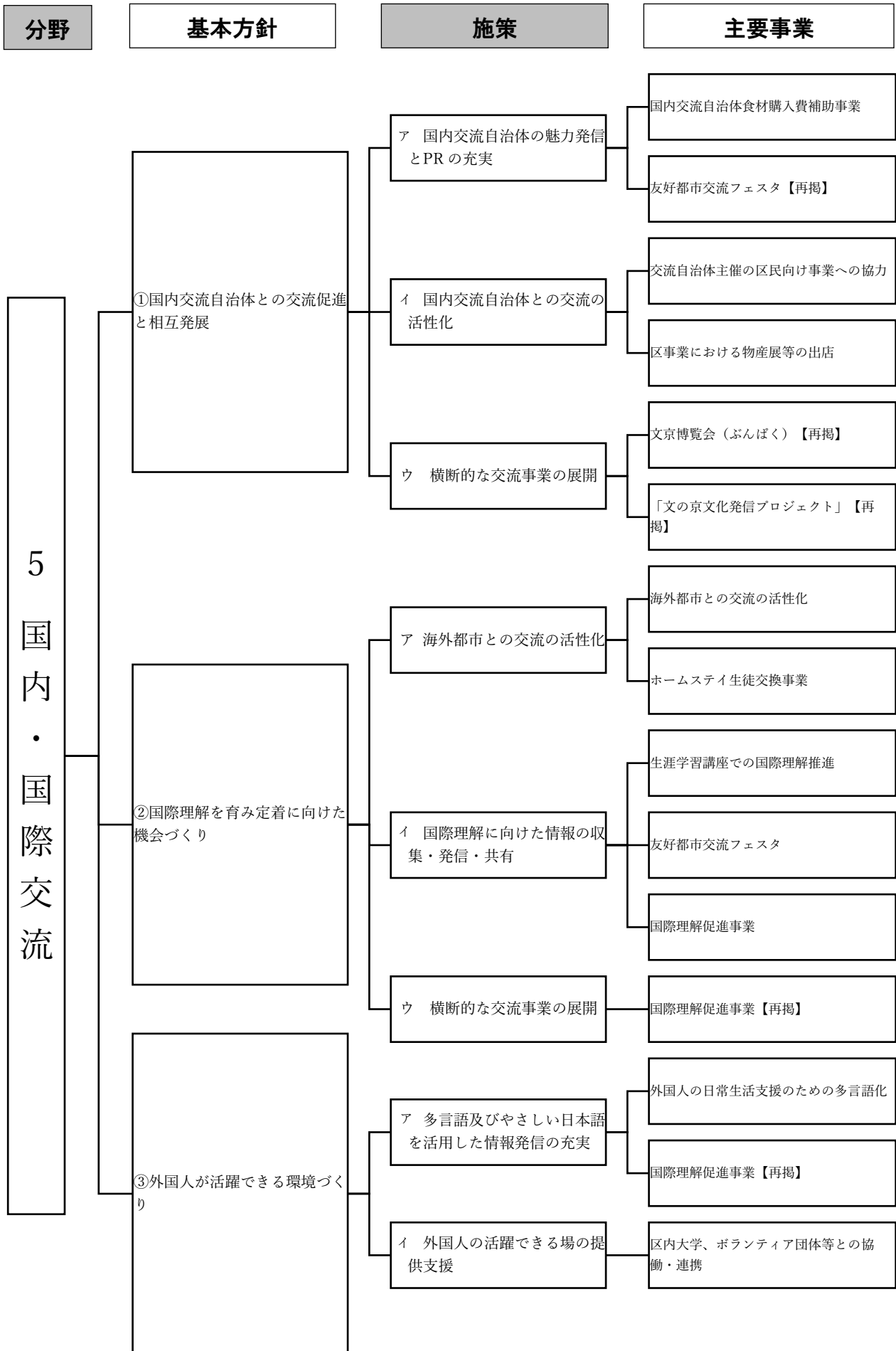






分野	基本方針	施策	主要事業
----	------	----	------





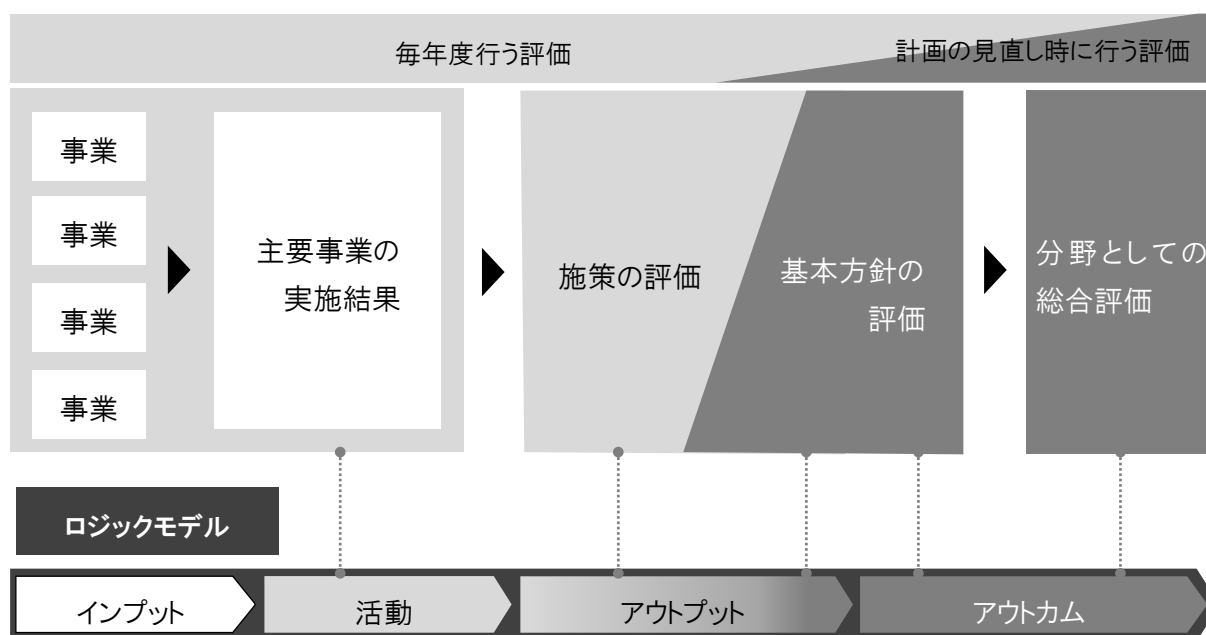
第2章 事業の点検・評価の考え方

1. 概要

評価の枠組み

令和3年度に策定したアカデミー推進計画の点検・評価は、策定時に構築した以下のロジックモデルを踏まえて、毎年度行う評価と、計画の見直し時に行う評価とを組み合わせる。毎年度行う評価は、あらかじめ各分野の事業の中から選定しておいた主要事業の実施結果を取りまとめ、施策ごとに評価を行うものとする。計画の見直し時に行う評価は、毎年度行う評価に加えて、基本方針ごとに掲げた指標に基づいて評価を行い、分野としての総合評価を行うものとする。

アカデミー推進計画の評価フレーム



(用語解説)

- 主要事業..... 施策を評価する上でより重要度の高い事業、所管課が任意で選定
(分野別基本方針を支える主な事業、各施策の主な取り組みに基づく)
- インプット..... 予算、人員など行政活動を実施するために投入する資源
- 活動..... モノ、サービスを提供するために行う行政活動
- アウトプット..... 行政活動の結果、産み出されたモノ、サービス
(例)アカデミア講座の実施回数
- アウトカム..... 政策(施策、事業)が目指す成果(初期、中期、長期と段階あり)
(例)アカデミア講座の参加者数(初期)、
1年間に学習活動を行った人の割合(中期)、基本理念の実現(長期)

2. 体制と手法

(1) 点検・評価の体制

点検・評価は、学識経験者、関係団体及び区民等で構成する協議会にて実施した。

■ 令和6年度 文京区アカデミー推進協議会経過

会議名	開催日	主な検討内容
第1回アカデミー推進協議会	令和6年 7月17日	アカデミー推進計画の点検・評価について
第1回分科会(学習活動)	令和6年 8月2日	学習活動分野の点検・評価について
第1回分科会(スポーツ)	令和6年 8月6日	スポーツ分野の点検・評価について
第1回分科会(文化芸術)	令和6年 7月24日	文化芸術分野の点検・評価について
第1回分科会(観光)	令和6年 7月22日	観光分野の点検・評価について
第1回分科会(国内・国際交流)	令和6年 7月31日	国内・国際交流分野の点検・評価について
第2回アカデミー推進協議会	令和6年 9月●日	アカデミー推進計画の点検・評価について(まとめ)

(2) 点検・評価手法

協議会に5つの分科会を設置し、各分野別基本方針ごとに点検・評価を行った。

評価は、令和5年度実施した主要事業(分野別基本方針を支える主な事業、各施策の主な取り組みに基づく)の実績調査結果及び事務局が作成した点検・評価を資料配付し、主要事業の成果に対する評価について意見を聴取した。

分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況については、分科会での協議内容を踏まえ、各分科会の座長が総括して点検・評価を行った。

各分科会の委員から出された意見・要望及び座長の意見等について、第2回協議会で報告し、審議を行った後、令和5年度事業の点検・評価とした。

(3) 主要な事業の選定と指標・目標の設定について

5分野における主要事業の選定と指標・目標の設定は以下により行った。

また、社会情勢の変化に応じた区民ニーズに柔軟に対応するため、主要事業の選定と指標・目標の設定は、毎年度確認・見直しを行いながら進めることとする。

① 指標の設定と毎年度の目標・実績を把握できる事業

分野ごとに評価・点検を行うには、基本方針毎に設定した指標の現状を把握することが重要であるが、アンケート調査に拠らなくては確認できない指標もある。しかし、アンケート調査は、計画策定に向けて実施してきた経緯があり、毎年度実施することは現実的ではない。そこで現状評価の基礎となる事業として、指標を設定し、年度ごとの目標と実績を確認できる事業を選定することが望ましい。一方で短期的な数値の変動で評価することが馴染まない事業や、天候等により変動の大きい事業があることも考慮する必要がある。

② 定量的目標を設定できる事業

目標の設定にあたっては、客観的に評価しやすい定量的な方法を採用できる事業が望ましい。事業の性質により、定性的な目標を掲げる場合には、評価主体により評価内容に大きな差が生じないように、目標として掲げる状態を具体的にすることが重要である。

③ 基本方針、施策の実現に向けた重要性が高い事業

基本方針や施策に掲げた事項の充実が計画の推進において重要な事項である。事業の選定にあたっては、基本方針、施策の実現に向けた重要性が高い指標・目標を設定できるものであることを考慮するものとする。

④ 計画の推進にあたって重視する3つの視点

計画の推進にあたって「人」「環境づくり」「資源活用」の3つの視点を重視しているため、これらの視点を加味して指標を設定することが望ましい。

⑤ 継続的に実績を評価できる事業

目標は過去から未来への実績を踏まえ、継続的に評価することで、信頼性や妥当性を確保することができる。一方で、新規事業や社会情勢の変化に等により、評価の優先順位が経年により変化する可能性にも留意する必要がある。

(4) 事業の目標数値の考え方について

各事業の目標数値は、計画期間中に10%増を達成することを基準とする。(10%は「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)における将来人口推計による令和6年度までの直近5年の人口増加率9.2%を上回るもの)なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際の人口の増加は推計を下回っていることに留意する必要がある。

また、事業の性質や目標の設定方法により、現状の維持継続が望ましい事業や、さらに高度な目標設定が望ましい事業も想定できる。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響について

全世界的に人々の生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症は、日本国内では令和2年4月以降「緊急事態宣言」の発出や「まん延等重点措置」の適用が度々行われましたが、令和5年5月に感染症法上の位置付けが5類へと移行されると、様々な分野の事業が再開されました。

コロナ禍において軒並み中止、延期、規模縮小を余儀なくされた文化芸術・観光・交流・スポーツ関連のイベントは、制約等のある一方で、生活様式の変化により、文化芸術・学習面においてリモートコンサートやオンライン講座など、デジタル・トランスフォーメーションが急速に進みました。

しかし、現在も変異株の流行等による事業中止や縮小等の可能性が、完全に払拭されたわけではありません。今後は、本アカデミー推進計画を着実に前へと進められるよう、普段から迅速かつ的確な対応に努め、感染症等で事業に影響が出た場合でも、これまでの経験を踏まえ、可能な範囲で事業を継続し、その際には、本計画における適切な点検・評価方法を検討していきます。

そして、これからも文京区では、文化芸術・スポーツ等を楽しむ機会を通じ、暮らしの中に安心と豊かさを感じることができるような様々な施策を推進してまいります。

* 感染症法とは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の略である。

第3章 学習活動分野の点検・評価

1. 学習活動分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)
学習活動分科会座長 田中 雅文

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実			
1	文京アカデミア講座	○	
2	文京いきいきアカデミア講座	○	
イ だれもが学びを实践できる支援の充実			
3	夜間・休日の講座開設	○	
4	生涯学習の相談	○	
5	電子図書館機能の充実【再掲】	○	○
ウ 身近な学習環境の充実			
6	視聴覚資料等の貸出	○	
7	文京e-ラーニング	○	
8	電子図書館機能の充実	○	○
エ 地域の学習拠点としての図書館づくり			
9	図書館サービスの充実	○	
10	子どもの読書活動の推進	○	
分野別基本方針②学び続けるための活動の支援		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 区民の主体的な学習活動の支援			
11	資格取得キャリアアップ講座	○	
12	社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数		
13	社会教育関係団体登録制度による活動支援	○	
イ 活動の成果を披露できる場の充実			
14	生涯学習フェア	○	
15	体験教室ウィーク		
16	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	
ウ 学びを通じた交流・仲間づくり			
17	ふれあいサロン	○	○
分野別基本方針③学びの循環による地域づくり		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 地域の学びを促進する人材育成の推進			
18	人材育成のための講座	○	
19	学習支援者スキルアップ講座	○	
イ 人材活用の仕組みの構築			
20	区民プロデュース講座	○	
21	各種講座・展示会の企画への起用	○	
ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進			
22	大学連携による各種事業	○	
23	文京お届け講座	○	
24	「文京学」講座	○	

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1) 分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり

指標	現状値	目標値
1年間に学習活動を行った人の割合	67.2% (令和元年度調査)	70.0%

【分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりの状況】

多様なニーズに応じた学習機会の充実では、文京アカデミア講座の生涯学習支援者等による企画提案のほか、大学からの新たな提案も踏まえて、幅広い分野で講座を実施しました。アンケートでは、高い満足度を得ており、今後もこれまでのメニューを継続しつつ、新たな主体との協働を進め、講座メニューの更なる充実を図ります。

だれもが学びを实践できる支援の充実では、講座や講演会の夜間及び休日開講により、新たな参加者層の確保とニーズの把握に繋がりました。文の京生涯学習司による生涯学習相談は、年間を通して提案や相談を受けられる体制を継続しました。これからも、一層充実した企画提案を行える環境等の醸成について、支援者団体等と課題や情報共有に努めます。

身近な学習環境の充実では、図書館の電子書籍の計画的な購入により、蔵書数を増やすとともに8月を「電子図書館周知強化期間」とし、ポスター掲示、利用者案内の作成と配布、ジャンルごとの2次元コードを印字したカードの作成及び配布等に取り組んだ結果、貸出数の増加に繋がりました。更なる貸出数等の増加を図るため、周知活動の強化や魅力ある書籍の選定等を行うとともに、読書バリアフリー化に取り組みます。

地域の学習拠点としての図書館づくりでは、区民の読書活動の推進を図るため、図書館資料の充実を図るとともに、全館で「藩校サミット」等、区の事業に関連した取組を実施したほか、各館が様々な行事や時節に応じた特集展示を実施しました。引き続き、図書館資料の充実や、利用者の興味関心を引き出す様々なテーマの行事や特集展示を実施するほか、区民の身近な学習拠点として、閲覧環境の整備を図ります。

これらの取組を引き続き進めていくことにより、様々な状況に応じた学習を实践できるよう、ICTの特性を有効に活用し、だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりを推進します。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(2)分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値
社会教育関係団体のアカ デミー施設利用者数	161,731人 (令和元年度)	167,000人	102,057人	113,394人

【分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援の状況】

区民の主体的な学習活動の支援では、学び続けるための活動支援の指標である社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数について、令和5年度は前年度と比較して1万人強増えましたが、現目標値の8割強の達成という結果でした。社会教育関係団体が多くのアカデミー施設を利用することは、区民の自主的なサークル及び団体活動支援になることから、引き続き、区民に活動の場を提供するとともに、社会教育関係団体への参加を促していきます。

活動成果を披露できる場の充実では、シビックセンター改修工事に伴い、サークル展示や活動紹介が1会場のみとなった結果、来場者も減少しましたが、小ホールでの舞台発表により、学習意欲の向上と学習活動へ一歩踏み出す契機の提供に繋がりました。今後は通常の2会場開催となる予定のため、講座等での周知を積極的に行い、参加サークルの増加と区内大学及びその関係団体の参加を促進します。

学びを通じた交流・仲間づくりの推進では、地域活動センターにおけるふれあいサロン事業について、令和5年度は昨年度実績を上回る講座を実施し、また、社会福祉協議会と連携し、新たな内容の講座を行うことができました。これからも、事業内容について検討を行い、地域活動を担う人材発掘につながる講座を充実していくとともに、様々な世代の参加を促進していきます。

学習活動の継続には、ともに学ぶ仲間づくりや活動の成果を披露する場が必要であり、効果的な気づきの場でもあります。自らの学習を振り返り、やりがいと達成感を得ながら、生涯に亘り学び続けられる取組を支援していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(3)分野別基本方針③ 学びの循環による地域づくり

指標	現状値	目標値
これまでに学んだ内容を他人や地域のために活かした人の割合	19.1% (令和元年度)	25.0%

【分野別基本方針③ 学びの循環による地域づくりの状況】

地域の学びを促進する人材育成の推進では、区内大学との協働により、「文の京地域文化インタープリター養成講座」について、幅広い年代の受講を見込み開催時間を変更して実施しました。定員には満たなかったものの、受講者全員が認定され、新たな人材の育成につながりました。また、文京アカデミアサポーターの会の協力を得て「サポーター養成講座」を実施し、受講修了者が新規会員となり、アカデミア講座に従事しました。今後、文の京生涯学習司養成講座の実施にあたり、魅力的かつ実践的なメニュー等を協議し選定することにより、幅広い年代の地域人材の掘り起こしと、新たな認定者による生涯学習の活性に繋がります。

人材活用の仕組みの構築では、アカデミア講座の提案、特別公開講座の企画、受託による実施など、幅広い領域のコーディネートにより、区民と生涯学習を結びつける大きな要素となりました。これからも、各種人材育成講座を継続し、新たな認定者を確保するとともに、区民の学びの促進につながるよう、各団体の主体性を尊重しつつ、その専門的な知見を活かした活動機会を提供していきます。

地域の資源を活かして学びを深める取組の推進では、大学と連携し、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等を継続したほか、大学との意見交換や情報の共有を通し、新たな講座メニューの提供に繋がりました。大学の主体性を尊重しつつ、課題や認識の共有を図るとともに、双方の長所を活かし、一層充実した企画提案が叶う体制と環境の醸成に努めます。

学習活動を通じて知識やスキルを習得した区民が担い手となって様々な地域活動を行い、地域が繋がっていく仕組みを構築することで、地域コミュニティの活性化につなげていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

1.学習活動 (No.1～24)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実

1-①-ア 文京アカデミア講座					
事業概要					
<p>区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供します。</p>					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,802	2,000	2,250	2,500	2,500
実績(D)	1,646	1,998			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、文京アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。一方で定員割れの講座については、設定時期や時間の関係、或いはコロナ禍による影響もあったものと思われます。</p>		<p>一部、定員に満たない講座もあったことから、講座内容や周知方法の工夫により、受講者の増加を図ります。</p>		
R5	<p>生涯学習支援者等による企画提案のほか、大学からの新たな提案もあり、幅広い分野かつ、アンケートによる満足度の高い講座を提供しました。</p>		<p>これまでのメニューを継続しつつ、新たな主体との協働にも注力し、講座メニューの充実を図ります。</p>		

1-①-ア 文京いきいきアカデミア講座					
事業概要					
<p>高齢者を対象とした2年制講座。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数(単位)をもって卒業認定とします。</p>					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	40	40	60	60	60
実績(D)	40	37			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>第8期の初年度として40名が教養課程を受講し、履修により、広く基礎を学んだ37名が進級しました。様々な事業がある中でも単位を修得し、進級・卒業できるようサポートする必要があります。</p>		<p>受講生同士のコミュニケーションを密にするほか、モチベーションの維持・向上について工夫していきます。</p>		
R5	<p>進級した37名が専門課程で学び、そのうち必要単位を取得した33名が卒業しました。全体的に出席率が高く、講座科目も好評であり、学習のみならず、仲間づくりにも繋がりました。</p>		<p>教養課程の魅力ある講座科目の工夫により、進級のサポートとモチベーション維持に努めます。</p>		

イ だれもが学びを実践できる支援の充実

1-①-イ 夜間・休日の講座開設					
事業概要					
平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。					
指標: 受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	439	500	500	500	500
実績(D)	370	405			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	文京アカデミア講座において19講座を平日の夜間や休日に実施し、アンケートで高い評価を得ることができました。一方で、社会情勢などを的確に捉えた講座選定等を行う必要があります。		アカデミア講座全体のバランスを考慮しつつ、アンケート結果を分析し、ニーズに合わせた講座を検討・企画していきます。		
R5	アカデミア講座において全16講座を夜間・休日に開講したほか、メセナ講演会、特別公開講座についても休日に開講したことで、新たな参加者層の確保とニーズの把握に繋がりました。		大学構内における休日・夜間開講について検討するほか、幅広い年代の受講となるよう、より学びやすい学習環境の提供について検討しています。		

1-①-イ 生涯学習の相談					
事業概要					
区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取組めるよう総合的に紹介等を行います。					
指標: 相談件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	180	180	190	200	200
実績(D)	171	140			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	原則、週3回、文の京生涯学習司による「生涯学習相談」を通年で実施し、広く相談を受け付けたほか、区内の生涯学習サークルの活動や情報も紹介しました。また、コロナ禍で外出を自粛したことと合わせ、生涯学習活動の不活性があったものと推測される一方で、区民プロデュースに関しては多くの相談があり、魅力ある講座が提案されました。		令和5年度より週2回に変更となりましたが、現在の体系を維持するとともに、より本事業の周知に注力し、事業周知の範囲とアプローチの手法についても検討していきます。		
R5	実施日数が週2回となった期間もありましたが、年間を通して提案・相談を受けられる体制の強化として相談員の増員を行い、環境を再構築したうえで継続しました。		本体制を継続しつつ、一層充実した企画提案が叶う体制・環境の醸成について、支援者団体等と課題や情報共有にも努めます。		

1-①-イ 電子図書館機能の充実【再掲】					
事業概要					
電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。					
指標: 電子書籍の貸出数(点)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	28,120	28,500	29,000	29,500	30,000
実績(D)	28,120	33,991			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行い、提供しました。文の京デジタル文庫に、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、郷土資料及び行政資料を追加しました。		電子書籍等については、魅力ある蔵書とするため、計画的に選定・収集するとともに、特集を組むなど周知を強化し、一層の利用促進を図ります。また、地域資料のデジタル化を進め、広報に努めます。		
R5	計画的な購入により、蔵書数を増やすとともに、8月を「電子図書館周知強化月間」とし、ポスター掲示、利用案内の作成・配布、「健康」「料理」等ジャンルごとのQRコードを印字したカードの作成・配布等に取り組んだ結果、貸出数の増加につながりました。		更なる貸出数や予約数の増加を図るため、令和5年度に行った取組内容に加え、周知活動の強化や魅力ある書籍の選定等を行うとともに、読書バリアフリー化に取り組みます。		

ウ 身近な学習環境の充実

1-①-ウ 視聴覚資料等の貸出					
事業概要					
学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。					
指標: 貸出件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	160	160	160	160	160
実績(D)	200	180			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	各団体等に対し、広く貸出に対応したほか、ニーズに合わせて新規に資料を購入しました。また、視聴覚ライブラリー目録の改訂版を発行しました。個人利用が増加したこととともに、町内会組織等による利用については、コロナの一定の収束に伴い、活動が再開されたことに起因するものと推測されます。		18ミリをはじめ、フィルムの適正な保存環境の整備と映写技術者の確保・育成について、検討を進めます。		
R5	各団体等に対する貸出を継続したほか、支援者団体の意見も取り入れた新規資料を購入をしました。また、適正な保管環境整備のため、除湿器を設置しました。		より広い貸出と並行して、貴重な資料であるフィルムの現況確認と適正な保存環境の整備について、検討を継続します。		

1-①-ウ 文京e-ラーニング					
事業概要					
外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。					
指標:アクセス数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	7,000	8,000	9,000	10,000	10,000
実績(D)	6,649	2,563			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	新たに、特別公開講座を含めて27番組収録・配信したほか、これまでに実施した講座も継続して配信し、ライフスタイルに応じた視聴環境の提供につなげました。しかし、掲載していたメニューが著作権の承認期間の経過により、公開を終了したことが、目標値に達しなかった大きな要因の一つとされます。		配信する主体や講座内容の拡充と並行し、インターネット配信に適した講座について検討します。また、アカデミア講座「十八の町物語」をアーカイブ化し公開することで、新たな視聴者層の獲得に努めます。		
R5	新たに学長講演会、特別公開講座の2番組を掲載しました。一定のITリテラシーや環境が必要なほか、依然として掲載メニュー減少の影響が大きく、前年度より実績が減っていますが、時間と場所を選ばない学習機会を提供しました。		スマートフォンやタブレットなどのIT機器が普及している中、e-ラーニングの重要性を強く認識していることから、SNSの活用をはじめ、一層の事業周知とあわせ、大学講座のオンライン・オンデマンド配信等の協力を求めるなど、番組数の増とコンテンツの充実を図ることにより視聴数増と視聴者層拡充を図ります。		

1-①-ウ 電子図書館機能の充実					
事業概要					
電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。					
指標: 電子書籍の貸出数(点)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	28,120	28,500	29,000	29,500	30,000
実績(D)	28,120	33,991			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行い、提供しました。文の京デジタル文庫に、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、郷土資料及び行政資料を追加しました。		電子書籍等については、魅力ある蔵書とするため、計画的に選定・収集するとともに、特集を組むなど周知を強化し、一層の利用促進を図ります。また、地域資料のデジタル化を進め、広報に努めます。		
R5	計画的な購入により、蔵書数を増やすとともに、8月を「電子図書館周知強化月間」とし、ポスター掲示、利用案内の作成・配布、「健康」「料理」等ジャンルごとのQRコードを印字したカードの作成・配布等に取り組んだ結果、貸出数の増加につながりました。		令和5年度に行った取組内容を踏まえ、更なる貸出数や予約数の増加を図るため、周知活動の強化や魅力ある書籍の選定等を行うとともに、読書バリアフリー化に取り組めます。		

エ 地域の学習拠点としての図書館づくり

1-①-エ 図書館サービスの充実

事業概要					
図書館資料やレファレンスサービス等の充実を図るほか、各種行事や資料の特集展示などを行い、図書館の利用促進と区民の読書活動の推進を図ります。					
指標:総貸出数(冊・点)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	3,846,252	3,911,000	3,977,000	4,045,000	4,114,000
実績(D)	3,846,252	3,723,216			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>図書館資料の充実を図るとともに、時節に応じた特集展示を区立図書館全体で年間1,200回実施しました。また、森鷗外没後100年、樋口一葉生誕150年記念事業を含む様々な行事にも取り組み、区民の読書活動の推進を図りました。</p>		<p>図書館資料の充実を進め、利用者の興味関心を引き出す様々なテーマの行事や特集展示を実施するほか、令和5年度においては「藩校サミット」関連事業などにも取り組むことにより、区民の身近な学習拠点として多様なニーズに対応した資料提供と情報発信を図ります。</p>		
R5	<p>区民の読書活動の推進を図るため、図書館資料の充実を図るとともに、全館で「藩校サミット」「関東大震災100年」等、区の事業に関連した取組を実施したほか、各館が様々な行事や時節に応じた特集展示を実施しました。</p>		<p>引き続き、図書館資料の充実や、利用者の興味関心を引き出す様々なテーマの行事や特集展示を実施します。また、令和6年度においては石川県金沢市及び熊本県玉名市との協定締結5周年に関する事業等に取り組むほか、区民の身近な学習拠点として、閲覧環境の整備を図ります。</p>		

1-①-エ 子どもの読書活動の推進

事業概要

子どもたちが生涯にわたり読書習慣を身につけられるよう、発達段階に応じた行事や読書支援を行います。また、保護者への啓発や地域団体等との連携により、子どもの読書環境の整備に取り組みます。

指標:児童図書貸出数(冊)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,252,301	1,273,000	1,295,000	1,317,000	1,339,000
実績(D)	1,252,301	1,215,183			

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、ブックリストの作成や、図書の充実、保護者や子どもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子や子どもが本に親しむ機会を提供しました。	引き続き、「子ども読書活動推進計画」に掲げる37の事業について、関係機関との連携のもと、着実に実施します。図書館においては、子どもの発達段階に応じたブックリストの作成・紹介や各種行事を実施し、子どもたちに多くの読書機会を提供するとともに保護者向け講演会等を行い、啓発を行います。さらに、地域の保育園、幼稚園、小・中学校への図書の貸出や出張おはなし会等を実施し、地域の読書活動を支援します。
R5	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、ブックリストの作成や、図書の充実、保護者や子どもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子や子どもが本に親しむ機会を提供しました。令和5年度より保健サービスセンターからの依頼に基づき、「あつまれ！フレッシュママ」へ図書館員が出張し読み聞かせをする取り組みを新たに始め、一層の子どもの読書環境の整備に取り組みました。	引き続き、「子ども読書活動推進計画」に掲げる37事業について、関係機関との連携のもと、着実に実施します。図書館においては、子どもの発達段階に応じたブックリストの作成・紹介や各種行事を実施し、子どもたちに多くの読書機会を提供するとともに保護者向け講演会等を行い、啓発を行います。さらに、地域の保育園、幼稚園、小・中学校への図書の貸出や出張おはなし会等を実施し、地域の読書活動を支援します。子どもが過ごしやすい図書館を目指し、職員一人ひとりのスキルアップを目指します。

(2)分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援

ア 区民の主体的な学習活動の支援

1-②-ア 資格取得キャリアアップ講座					
事業概要					
区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	70	70	70	70	70
実績(D)	31	33			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>平時から連携している区内大学による資格取得に直結した講座により、能力の習熟に繋がりました。しかし、定員に満たない講座があったことから、受講者数を増やすための取組が必要です。</p>		<p>ラインナップの充実と合わせ、内容や日時のほか、タイトルや導入文にも工夫を重ねるなど、広報にも工夫し受講者の増加につなげます。</p>		
R5	<p>区内大学との協働により、主としてオンデマンドにより5講座を実施しました。学習時間の確保やモチベーション維持にも課題があると思われ、定員には達しませんでした。一人ひとりのライフスタイルに応じたキャリア選択や、新たなステージで求められるスキルアップに繋がりました。</p>		<p>時事に即したメニューや、技術・技能等のスキル向上に関する専門的、実践的な講座提案について依頼するとともに、区報やSNSも活用するなど、一層の事業周知に努めます。</p>		

1-②-ア 社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数					
事業概要					
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、その団体の施設利用を支援します。					
指標:社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	102,057	135,000	150,000	160,000	167,000
実績(D)	102,057	113,394			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>多くの社会教育関係団体によるアカデミー施設の利用があり、学習活動を通じて交流できる場を提供することで、区民の主体的な活動を支援することができました。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控える団体が多かったですが、令和8年度の167,000人の利用を目標に、引続き社会教育関係団体登録制度と並行して、活動の場を提供します。</p>		
R5	<p>令和5年度は感染症による制限が全面的に撤廃された結果、多くの施設利用があり、区民の自主的なサークル・団体活動を支援することができました。</p>		<p>区民に活動の場を提供するとともに、社会教育関係団体への参加も促していきます。</p>		

1-②-ア 社会教育関係団体登録制度による活動支援		
事業概要		
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減額などを行い、その活動を支援します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
登録団体の活動内容を正確に把握し、広く区民に周知することで、団体活動の活性化と区民に各種活動への参加機会を提供し、区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を支援します。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。 また、3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。	引続き、区民の自主的な活動促進のため、登録団体名簿を更新し、関連施設へ配架の上、ホームページへ掲載します。登録団体の活動内容を正確に把握し、区民へ活動実績の周知を図ります。
R5	関連施設への登録団体名簿の配架やホームページの更新により、正確な情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。 また、実績報告書の提出を求めることで、団体の活動内容を把握をすることができました。	登録団体名簿やホームページの更新に加え、登録団体からの実績報告書の提出により、活動内容を正確に把握していきます。その上で、引き続き、区民の自主的な活動促進を図ります。

イ 活動の成果を披露できる場の充実

1-②-イ 生涯学習フェア					
事業概要					
文京アカデミア講座や区内大学生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくとともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。					
指標: 来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	590	1,100	1,200	1,300	1,400
実績(D)	590	500			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	アカデミア講座や区内大学生涯学習センター、区内で活動する生涯学習サークルの活動紹介のほか、ステージ発表等により、区民の学びを表現する場を設けることで、学習意欲の向上を図りました。		引き続き、学習成果の発表機会提供と団体間の交流を図るとともに、活動意欲向上、及び新たな一步を踏み出す契機に繋がるよう、団体との連携や広報に工夫をします。		
R5	シビックセンター改修工事に伴い、サークルの展示や活動紹介の会場が、例年と異なりアートサロン1会場のみでの実施となりました。展示団体や展示作品数が大きく減少したことに伴い来場者も減少しましたが、アカデミア講座や区内大学が実施する生涯学習講座とあわせ、小ホールでは舞台発表により、学習意欲の向上と学習活動へ一步踏み出す契機の提供に繋がりました。		通常の2会場開催となる予定であることから、参加サークルの増強と区内大学の直接的な参加について能動的に誘起するほか、各種講座等での開催周知を図ります。		

1-②-イ 体験教室ウィーク					
事業概要					
地域におけるコミュニティの育成と生涯学習活動の支援を目的として、各地域アカデミーで活動する生涯学習団体を区民に紹介するとともに、生涯学習団体の活動に区民が参加する機会を創出し、団体活動を支援します。					
指標: 参加団体数(団体)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	47	49	50	51	52
実績(D)	47	62			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>年2回開催する体験教室ウィークについては、コロナ禍による参加団体の低減が予想された中、想定以上の団体の参加がありました。</p> <p>なお、アカデミー湯島の1回目は、開催期間が改修工事と重なり、止む無く中止しました。</p>		<p>(公財)文京アカデミーのホームページや広報紙による周知に加え、各館において、各団体への案内を積極的に行うことで、参加団体の増加に努めます。</p>		
R5	<p>新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくなり、参加団体数もコロナ禍以前の数を上回る結果となりました。</p>		<p>従来の広報や各館での積極的な声掛けに加え、生涯学習フェア等、他事業との連携を深め、参加団体の増加に努めます。</p>		

1-②-イ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。

指標：事業参加者数の合計(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,680	20,556			

成果・評価(D・C)

次年度に向けた取組等(A)

R4	<p>各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。</p> <p>令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。</p>	<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。</p>
-----------	---	--

R5	<p>各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。</p> <p>単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」及び企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約2倍となる959人の観覧者が訪れました。</p>	<p>定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催3年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。</p>
-----------	---	--

ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

1-②-ウ ふれあいサロン		
事業概要		
<p>地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいつくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。</p>		
令和8年度に向けた目標(P)		
<p>各地域の特色を生かしながら、住民の相互交流を促進し、地域活動を担う人材発掘につながる講座を実施していきます。</p>		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>新型コロナウイルス感染拡大以降、実施回数を縮減していましたが、令和4年度は感染対策を徹底しながら昨年度実績の2倍を上回る講座を実施し、区民間の交流を進めることができました。</p>	<p>アフターコロナを見据え、実施回数をさらに増やすとともに、時事に即した事業を実施し、幅広い層の参加を促進していきます。</p>
R5	<p>令和5年度は昨年度実績を上回る講座を実施することができました。また、社会福祉協議会と連携し、新たな内容の講座を行うことができました。</p>	<p>事業内容について検討を行い、地域活動を担う人材発掘につながる講座を充実していくとともに、様々な世代の参加を促進していきます。</p>

(3)分野別基本方針③ 学びの循環による地域づくり

ア 地域の学びを促進する人材育成の推進

1-③-ア 人材育成のための講座					
事業概要					
区や（公益）文京アカデミー等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。					
指標: 受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	39	45	45	45	45
実績(D)	41	28			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区内大学、及び文京文京アカデミアサポーターの会の協力を得て、「文の京生涯学習司養成講座（隔年）」「サポーター養成講座」を実施し、地域人材の掘り起こしと新たな認定者の確保に繋がりました。また、講座運営には一定の人数を確保する必要があり、途中で参加を取り止める受講者も想定し、かつ講座運営が可能な人数の受講としたため、実績が目標を上回りました。		講座の継続のほか、生涯学習団体等と積極的な情報交換を行い、人材の育成・確保に努めます。		
R5	区内大学との協働により「文の京地域文化インタープリター養成講座」について、幅広い年代の受講を見込み午前中の開催へと変更し実施しました。思惑と異なり定員には至りませんでした。受講者全員の12名が新たに認定されました。 文京アカデミアサポーターの会の協力を得て「サポーター養成講座」を実施し、受講を修了した16名が新規会員となり、アカデミア講座に従事いただきました。		文の京生涯学習司養成講座の実施にあたり、魅力的かつ実践的なメニュー等を協議・選定することにより、幅広い年代の地域人材の掘り起こしと、新たな認定者による生涯学習の活性に繋がります。		

1-③-ア 学習支援者スキルアップ講座					
事業概要					
<p>(公財) 文京アカデミーと協働して事業を行う「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。</p>					
指標: 受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	50	70	70	70	70
実績(D)	46	48			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>より生涯学習支援活動に欠かせなくなりつつあるパソコン講座など、支援者のニーズを踏まえた講座や、支援者の企画運営する講座を実施し、効果的なスキルアップに繋がりました。</p>		<p>活動に必要なスキルを学ぶほか、関心の高い事象に関して情報共有を図ることで、充実した学習機会を提供します。</p>		
R5	<p>情報モラルとインターネットの安全な使い方、傾聴やコミュニケーションスキル向上を目的とした講座を実施し、ICTを使用した情報収集、知見の蓄積の支援、幅広い企画提案力向上に繋がりました。</p>		<p>新たな主体との協働にも注力し、講座内容の充実を図ることで、潜在的な企画提案希望者の掘り起こしや、モチベーションの向上を図ります。</p>		

イ 人材活用の仕組みの構築

1-③-イ 区民プロデュース講座					
事業概要					
<p>区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。</p>					
指標: 受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	202	300	300	300	300
実績(D)	186	230			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>文の京生涯学習司によるきめ細かい相談体制により、地域の人材から広く提案され、特色ある講座の開講に繋がりました。その一方で、コロナ禍から目標・実績ともに影響を受ける結果となりました。</p>		<p>相談体制を継続するとともに、新たな提案の創出に向けて、周知を行う範囲とアプローチの手法について検討していきます。</p>		
R5	<p>生涯学習相談にて、事前相談や申込書の書き方レクチャーを継続したとともに、企画選定委員会においては、社会のトレンドも意識した講座を選定しました。</p>		<p>区や区民の持つポテンシャルを活かした講座や、継続性のある学習活動の入口となる講座の実施となるよう、区民視点での講座選定や、多角的な視点からのコーディネートに取り組みます。</p>		

1-③-イ 各種講座・展示会の企画への起用					
事業概要					
文の京地域文化インタープリターや文の京生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業（企画展等）を展開していきます。					
指標：生涯学習支援者企画講座開催数（件）					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	30	30	30	30	30
実績（D）	30	37			
	成果・評価（D・C）		次年度に向けた取組等（A）		
R4	アカデミア講座の選定のほか、イベント・公開講座の開催等、生涯学習支援者の協力を得て、多様なニーズに対し区民目線から質の高い学習機会を提供できました。		生涯学習支援者との連携を密にした積極的な意見交換により、活動の活性と講座の充実に向け、継続的に支援していきます。		
R5	アカデミア講座の提案、特別公開講座の企画、受託による実施など、幅広い領域のコーディネートにより、区民と生涯学習を結びつける大きな要素となりました。		各種人材養成講座を継続し、新たな認定者を確保するとともに、区民の学びの促進につながるよう、各団体の主体性を尊重しつつ、その専門的な知見を活かした活動機会を提供していきます。		

ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

1-③-ウ 大学連携による各種事業					
事業概要					
区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。					
指標：受講者数（人）					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,231	1,300	1,400	1,500	1,500
実績（D）	974	1059			
	成果・評価（D・C）		次年度に向けた取組等（A）		
R4	高度かつ専門的な学習機会提供のため、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等、人材、キャンパスを活用した講座を実施しました。また、オンライン・オンデマンドにより実施もしましたが、定員に満たなかったことが多かったため、継続的に内容や日時のほか、タイトルや導入文にも工夫を重ねます。		多くの方へ学習機会の提供が叶うよう、大学と連携した広報や、担当者とのコミュニケーションに努めます。		
R5	アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等を継続したほか、大学との意見交換や情報の共有を通し、新たな講座メニューの提供に繋がりました。		大学の主体性を尊重しつつ、課題や認識の共有を図るとともに、双方の長所を活かし、一層充実した企画提案が叶う体制・環境の醸成に努めます。		

1-③-ウ 文京お届け講座					
事業概要					
区民の自主的な学習活動を支援するとともに、区の職員が地域の団体の要望に応じて講師として職務に関する話をする中で、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図ります。					
指標:実施講座数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	18	19	19	20	20
実績(D)	18	24			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	一年を通して18件の講座申込があり、計455名の方が参加しました。これにより、区民の自主的な学習活動を支援し、区の施策等に対する理解を深めることができました。		新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での講座を控える団体も多く、いくつかの講座はZoomで実施しました。引き続き、区民の要望を正確に捉え、学習活動の支援を行います。		
R5	令和5年度は24件の講座申込があり、計693名の方がお届け講座を受講しました。また、オリジナル講座の申込が多かったことから、区民の要望に応えることができました。		引き続き、区民要望に応えつつ、自主的な学習活動を支援していくとともに、申込みの簡略化に向け、申込方法の電子化に取り組んでいきます。		

1-③-ウ 「文京学」講座					
事業概要					
文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講座の中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。					
指標:受講者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	120	120	120	120	120
実績(D)	110	149			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	生涯学習支援者等の協力を得て、幅広い分野の人材による、地域に関する講座を提供しました。引き続き、講座内容の充実を図っていく必要があります。		地域に関する情報や人材の深掘りにより、新たな切り口からの講座が実施できるよう、文の京生涯学習司等との連携をより強めます。		
R5	前年度に引き続き、文京区の歴史や魅力など、文の京に特化した講座を実施したほか、いきいきアカデミアにおいても区ゆかりの人物の紹介や区内博物館等の見学を実施しました。		アカデミア講座、いきいきアカデミア講座共に、区政全般から生活に密着した区の施策に関する講座の実施により、区民の生涯学習活動の振興と、区政への理解が深まるよう努めます。		

第4章 スポーツ分野の点検・評価

1. スポーツ分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)
スポーツ分科会座長 青木 和浩

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充		アカデミー推進計画	総合戦略
ア スポーツの楽しさを知る機会の創出			
25	初心者向けスポーツ教室	○	
26	スポーツ交流ひろばの充実	○	
27	Bunkyo Sports Park		○
イ ユニバーサルスポーツの普及振興			
28	ニュースポーツ教室・大会	○	
29	障害者スポーツ体験教室	○	○
30	Bunkyo Sports Park【再掲】		○
ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充			
31	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	○	
エ スポーツボランティア等の活動支援			
32	スポーツボランティアの養成	○	○
分野別基本方針②いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備			
33	スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	○	
34	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	○	
イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備			
35	スポーツ交流ひろば通信の発行	○	
36	スポーツボランティア情報の提供	○	
ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開			
37	地域スポーツ団体の支援・育成	○	
38	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	○	
39	スポーツの日事業	○	
エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化			
40	スポーツ指導者の育成	○	
オ 心身の健康づくり			
41	小・中学生向けスポーツ教室	○	
42	親子向けスポーツ教室	○	
43	スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	○	
分野別基本方針③スポーツの力を活用した地域づくり		アカデミー推進計画	総合戦略
ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり			
44	親子向けスポーツ教室【再掲】	○	
45	スポ・レクひろば	○	
イ プロスポーツ団体等との連携・協働			
46	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】	○	
47	Bunkyo Sports Park【再掲】		○
ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用			
48	障害者スポーツ体験教室	○	○
49	Bunkyo Sports Park【再掲】		○

エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働			
50	地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】	○	
51	スポーツ指導者地域派遣	○	
52	Bunkyo Sports Park【再掲】		○
オ スポーツの魅力を体感する機会の充実			
53	初心者向けスポーツ教室【再掲】	○	
54	小・中学生向けスポーツ教室【再掲】	○	

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

指標	現状値	目標値
スポーツ実施率【スポーツをする】	54.9% (令和元年度)	60.0%
スポーツ観戦率【スポーツを見る】	23.7% (直接観戦) (令和元年度)	30.0%
スポーツボランティアの参加率【スポーツを支える】	10.7% (令和元年度)	20.0%

【分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充の状況】

だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充では、スポーツの楽しさを知る機会の創出のため、初心者向けスポーツ教室(令和5年度実績延べ401人)や区立小・中学校を活用したスポーツ交流ひろば事業(令和5年度実績交流ひろば延べ24,589人、プール一般開放延べ331人)を実施しました。また、さまざまなスポーツを体験できるスポーツイベント「Bunkyo Sports Park(BSP)」を新たに開催しました。BSPでは、メジャーなスポーツに加え、車いすバスケットボール等のパラスポーツ体験ブースの設置、スケートボードやチアのパフォーマンス等を行い、延べ8,394人の参加がありました。

ユニバーサルスポーツの普及振興を図るため、障害の有無や年齢等に関わらず、誰もが気軽に参加できるポッチャ大会を開催するとともに、デフサッカー等の体験フェスティバル等を行い、認知度を高めることができました。

区内に拠点をもつトヨタヴェルブリッツ、アルバルク東京との協働によりラグビーW杯及びバスケットボールW杯のパブリックビューイング、読売巨人軍との協力によるホームゲーム観戦イベント等、令和5年度は15件の連携事業を実施しました。

これらの事業ではスポーツボランティアを活用し、スポーツを支える人材の養成を図っています。令和5年度の参加者数は延べ82人と前年度に比べ減少しましたが、参加事業数は18件から23件に増加しました。今後、ボランティア研修会を実施し、さらに啓発に努めます。

これらの取り組みにより、「する」「見る」「支える」スポーツの機会を提供することができました。今後、事業周知をさらに図り、だれもがスポーツを身近に感じるができる機会を拡充していきます。

【分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充の状況のアカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

指標	現状値	目標値
「スポーツ活動を支える環境を整備すること」への満足度	36.3% (令和元年度)	45.0%

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値
スポーツ指導者（スポーツ推進委員・ スポーツリーダー）派遣の実績件数	120 件 (令和元年度)	135 件	85 件	84 件

【分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりの状況】

いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりでは、スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開のため、インクルーシブスポーツ推進事業等を行う団体に対し、経費の一部補助を行いました。令和5年度は10団体からの申請があり、14事業で補助制度が活用され、地域スポーツ団体の支援・育成を図りました。また、スポーツセンター、総合体育館、江戸川橋体育館において、卓球やバドミントン、バスケットボール、バレーボール等、様々な種目の一般開放を行っています。一般開放ではそれぞれ指導員が配置されており、多くの区民にスポーツをする機会を提供することができました。（令和5年度実績延べ21,683人）

スポーツ指導者の育成と確保、技術の強化では、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろば指導員等のスポーツ指導者を対象に、上級救命講習やパラスポーツについての講習を実施し、指導員の知識と技術向上を図っています。

心身の健康づくりでは、読売巨人軍やトヨタアルバルク東京といった協定団体等との協働により、小・中学生および親子を対象とした各種スポーツ教室を年間を通して開催し、多くの参加がありました。実施後のアンケートでも参加者から高い評価をいただいています。

今後、事業内容をさらに工夫する等、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを展開していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(3)分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくり

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値
スポーツ団体等との連携事業数	20 件 (令和元年度)	23 件	10 件	15 件
関係団体(パラスポーツ団体含む)との連携事業数	5 件 (令和元年度)	7 件	5 件	5 件

指標	現状値	目標値
事業参加者の満足度	-	80%

【分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくりの状況】

スポーツの力を活用した地域づくりでは、スポーツを通じた仲間づくりと地域づくりとして、親子向けのスポーツ教室を開催するとともに、愛の手帳保有者を対象としたスポーツ・レクリエーション活動(スポ・レクひろば)や幼児・小学生を対象としたレクリエーション活動(この指とまれクラブ)を年間を通して実施しました。令和5年度、スポ・レクひろばには延べ395人、この指とまれクラブには延べ486人が参加し、楽しみながら体を動かし、仲間づくりとスポーツをする場を提供しました。これらの事業には、区内専門学校の学生とスポーツボランティアが参加し、多様な人々の交流を促進することができました。

東京2020大会におけるレガシーの継承と活用としては、引き続き、花の五大まつり等にポッチャブースを設置し、多くの区民にパラスポーツを体験していただきました。また、東京2020大会で文京スポーツセンターがハンドボール競技の公式練習会場として使用されたことから始まった、区内小・中学校での出前授業を継続実施し、令和5年度、7校769人の児童・生徒が日本ハンドボール協会講師の指導のもと、ハンドボールを体験しました。

今後も、これらの取り組みを継続し、スポーツの力を活用した地域づくりを進めていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

2.スポーツ (No.25~49)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 ア スポーツの楽しさを知る機会の創出

2-①-ア 初心者向けスポーツ教室					
事業概要					
区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	371	380	390	400	408
実績(D)	371	401			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道		初心者向けスポーツ教室を受講した後も、引き続きスポーツを継続できるよう、実施団体等と継続方法等について協議します。		
R5	初めての競技に挑戦するきっかけづくりとして、一人では中々始めることができない3種目について初心者向け教室を実施し、たくさんの方のお申込み、ご参加をいただくことができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道		始めたスポーツを定着させる取り組みの展開、新しいスポーツを始める機会の提供に引き続き取り組んでまいります。		

2-①-ア スポーツ交流ひろばの充実					
事業概要					
区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績(D)	23,878	24,920			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。		スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止とされていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。		
R5	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、4年振りの再開となり、区立中学校1校で4日間実施しました。特に土日に利用者が多く、混雑回避のため、入場制限を行いました。		スポーツ交流ひろばの競技によっては、参加者数が減少しているところもあり、参加者増に向けた広報活動等が必要と考えます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数の増に向けて運営方法の検討が必要です。		

2-①-ア Bunkyo Sports Park					
事業概要					
メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。					
指標:参加者延べ人数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)			8,674	8,954	9,233
実績(D)		8,394			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。		誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。		

イ ユニバーサルスポーツの普及振興

2-①-イ ニュースポーツ教室・大会

事業概要					
障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやボッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	243	249	255	261	267
実績(D)	243	227			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	コロナ禍でも、スポーツ推進委員会を中心に区内大学・専門学校の生徒やスポーツボランティアといった地域の資源と協力し、感染拡大防止対策を講じた上で、規模を縮小しながら実施しました。		パラスポーツのボッチャを一つのきっかけとして、可能性があれば他にも新たな種目による教室事業等を実施し、区民に広くニュースポーツに触れる機会を提供していきます。		
R5	スポーツ推進委員会を中心に区内大学・専門学校の生徒やスポーツボランティアといった地域の資源と協力し、コロナ禍以前の規模で実施しました。当初の参加者は目標値を超えていましたが、当日の参加率が低い結果となりました。		ボッチャ以外の種目についても検討し、令和6年度中に、区民に広くニュースポーツに触れる機会を提供していきます。		

2-①-イ 障害者スポーツ体験教室					
事業概要					
障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,069	1,100	1,120	1,150	1,175
実績(D)	1,069	2,332			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>東京2020大会の終了後も、ボッチャやブラインドサッカー等パラスポーツを知る教室事業や体験会を行い、広く区民に参加いただきました。</p> <p>また、障害のある方でも気軽に参加できるよう内容を工夫した上で、区民誰もが安心して一緒に参加できるイベントを実施しました。</p>		<p>まつり等の場で継続的にパラスポーツに触れ、楽しいと思える機会を区民に提供することにより、パラスポーツの認知度を高めます。</p> <p>年齢、性別、体力、障害の有無に左右されことなく、誰でも参加できるインクルーシブ要素を取り入れたスポーツ事業を、今後展開します。</p>		
R5	<p>ユニバーサルスポーツフェスタや、花の五大まつりでのボッチャ体験ブースの設置等により、より多くのパラスポーツを体験できる機会を提供し、パラスポーツの認知度を高めることができました。</p>		<p>障害のある方でも安心して応募・参加してもらえるよう、手話通訳者などの協力を得て分かりやすい運営方法を工夫します。</p> <p>また、誰もが参加できる参加者目線でのインクルーシブスポーツ事業を実施します。</p>		

2-①-イ Bunkyo Sports Park【再掲】					
事業概要					
メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。					
指標:参加者延べ人数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)			8,674	8,954	9,233
実績(D)		8,394			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R5	<p>地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。</p>		<p>誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。</p>		

ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充

2-①-ウ 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開					
事業概要					
区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。					
指標:連携事業数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	10	15	18	21	23
実績(D)	10	15			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	サッカーW杯ではJFAと共同でパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍やアルバルク東京、東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。		関係団体との協働を広く発信し、連携を強化しながら事業を実施し、区民にとって魅力的で参加しやすいスポーツ事業を計画・実施していきます。		
R5	ラグビーW杯及びFIBAW杯ではトヨタヴェルブリッツやアルバルク東京との協力・連携によりパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍や東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。		関係団体と連携を強化しながら事業を実施し、事業の発信力を高め、より多くの区民に参加してもらえるスポーツ事業を計画・実施していきます。		

エ スポーツボランティア等の活動支援

2-①-エ スポーツボランティアの養成					
事業概要					
地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。					
指標:派遣実績数(単位)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	18	18	19	19	20
実績(D)	18	23			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	スポーツボランティアの登録者数が増え、活動回数も前年度の倍になりました。健常者も障害者も一緒に活動できる機会も増やすことができました。		特別な能力が必要なく誰もができるのがスポーツボランティアであり、養成するには多様なボランティアとともに従事、交流するOJTが一番です。そのため、1回当たりの従事者の受け入れ数増加を図ります。		
R5	健常者も障害者も一緒に活動できる機会を増やすことができました。ただし、活動回数は増えましたが、応募するボランティアに偏りがありました。		再度、ボランティア登録者数を増やし、受け入れ数も増やすために、周知を図ります。		

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

2-②-ア スポーツ交流ひろばの充実【再掲】					
事業概要					
区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績(D)	23,878	24,920			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。		スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止とされていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。		
R5	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、4年振りの再開となり、区立中学校1校で4日間実施しました。特に土日に利用者が多く、混雑回避のため、入場制限を行いました。		スポーツ交流ひろばの競技によっては、参加者数が減少しているところもあり、参加者増に向けた広報活動等が必要と考えます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数の増に向けて運営方法の検討が必要です。		

2-②-ア まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業					
事業概要					
子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設（六義公園運動場及び後楽公園少年野球場）を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。（あおぞらすくすく広場、親子すくすく教室、園児すくすくプログラム）					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4,561	4,675	4,789	4,903	5,017
実績(D)	4,561	4,340			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	屋外スポーツ施設について、空きの多い時間帯を有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提供することができました。		引き続き、自由に遊ぶ場所が不足している未就学児童を対象に外遊びの機会を提供していきます。		
R5	屋外スポーツ施設（後楽公園少年野球場、六義公園運動場）において、未就学児童へ外遊びの機会の提供、親子向けスポーツ教室を実施しました。		引き続き、未就学児童に対する外遊びの機会の提供を行ってまいります。		

イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

2-②-イ スポーツ交流ひろば通信の発行					
事業概要					
スポーツ交流ひろばの指導者に向けて、スポーツ振興に関する情報等を発信します。					
指標:通信の発行回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	12	12	12	12	12
実績(D)	12	12			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、必要な情報等を区、区立小中学校及び連絡指導員が共有することで、円滑な事業運営ができました。		引き続き、地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供していきます。		
R5	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、必要な情報等を区、区立小中学校及び連絡指導員が共有することで、円滑な事業運営ができました。		引き続き、地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供していきます。		

2-②-イ スポーツボランティア情報の提供					
事業概要					
スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。					
指標：スポーツボランティア協力事業件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	18	18	19	19	20
実績(D)	18	23			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。区主催の各種事業に、ボランティアとして多くの方に参加していただくことができました。		定量的な評価のみならず、ボランティア従事内容を充実させたり、障害のある人も一緒に活動できる機会を増やすなど、定性的な指標も取り組んでいきます。		
R5	区主催の各種事業に令和4年度よりも多くの方に参加していただくことができました。		ボランティア従事内容は充実していますが、応募者が偏り減少傾向がありますので、情報発信方法を工夫し、登録者数を増やしていきます。		

ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開

2-②-ウ 地域スポーツ団体の支援・育成					
事業概要					
地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。					
指標：インクルーシブ推進事業補助金申請件数(件)※令和4年度のみ「REスタート補助金」					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	11	20	20	20	20
実績(D)	11	10			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	REスタート補助金の申請件数が11件ありました。各スポーツ事業の再興へ貢献しました。		補助金の趣旨や申請方法等、周知活動に力を入れ目標以上の申請となるよう取り組みます。		
R5	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金について、10団体からの申請があり、14事業で制度が活用されました。年齢、性別、障害の有無を問わず誰もが参加できるインクルーシブ要素を含んだ事業を増やすきっかけづくりとなりました。		多くの団体が補助制度を活用できるよう、制度の趣旨や申請方法等、周知活動に力を入れます。		

2-②-ウ 個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス					
事業概要					
卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。					
指標: 3体育館の一般開放参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	22,994	23,568	24,142	24,716	25,293
実績(D)	22,994	21,683			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で実施し、多くの区民等にスポーツする機会を提供することができました。		指導員を配置するとともに、地域の身近なスポーツ施設として、多くの区民に利用してもらえる機会を創出していきます。		
R5	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で様々な競技の一般公開を実施し、多くの区民の方にスポーツする機会を提供することができました。		地域の身近なスポーツ施設として、よりたくさんの方の区民の方にスポーツをする機会を創出していきます。		

2-②-ウ スポーツの日事業					
事業概要					
子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。					
指標: 事業の合計延べ参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4,212	4,317	4,422	4,527	4,633
実績(D)	4,212	2,952			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	実施日：令和4年10月10日（木・祝）9時～17時 会場：区内スポーツ施設（8か所） 令和4年度は雨天の影響もあり、参加者数に影響が出ました。		より多くの区民に、スポーツを身近に感じたり楽しさを知ってもらうための機会を創出していきます。		
R5	実施日：令和5年10月9日（月・祝）午前9時から午後5時まで 会場：区内スポーツ施設等（8箇所） 令和5年度も雨天のため、屋外の事業が中止となった影響が大きく、想定していた参加者を大きく下回る結果となりました。		令和5年度までは、区立スポーツ施設等の指定管理者による「スポーツの日事業」として実施してきましたが、令和6年度以降は、「Bunkyo Sports Park」を実施します。		

エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

2-②-エ スポーツ指導者の育成					
事業概要					
スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。					
指標: 各種指導者講習会、実技研修等参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	62	64	66	68	69
実績(D)	62	60			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	スポーツ推進委員の自主性も尊重しながら普通救命講習、ボッチャ研修、筑波大学山田教授を招いた講演会等、各種研修を実施し、スポーツ推進委員、スポーツ交流ひろばの指導員等の指導・育成スキルの向上に寄与することができました。		任期の途中から委嘱されるスポーツ推進委員もいるため、すぐに周りの委員と同様な活動ができるよう研修等の充実を図る必要があります。		
R5	スポーツ推進委員が企画に携わり、上級救命講習やパラスポーツに関する講習会を実施しました。参加したボランティアやスポーツ交流ひろばの指導員等の知識や障害者理解を深めることに繋がりました。		指導者講習会についての周知に力を入れ、参加者の増加を目指します。また、スポーツ推進委員、ボランティア、スポーツ交流ひろば指導員等の交流を図っていきます。		

オ 心身の健康づくり

2-②-オ 小・中学生向けスポーツ教室

事業概要					
子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	158	162	166	170	174
実績(D)	158	117			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	文京区ローラースポーツ連盟、文京区少年サッカー連盟・JFAと協働でジュニア向けスポーツ教室を実施しました。初心者も楽しめる教室とし、スポーツをはじめのきっかけづくりとなりました。		協働団体と連携・相談を密にし、その他競技のスポーツ教室が実施できないか検討します。		
R5	令和4年度同様、募集人数を上回る応募がありましたが、事業近くになり体調不良等でのキャンセルにより参加者が減少しました。初心者にも楽しむことができ、満足度の高い教室となりました。		ジュニアローラースポーツ教室は、1日の教室を2回開催することにより定員を増やし、より多くのニーズに応えられるようにします。また、事前キャンセルの対応としては、繰り上げ当選等を検討します。		

2-②-オ 親子向けスポーツ教室

事業概要					
親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	522	535	548	561	575
実績(D)	522	715			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計6の協働団体と親子教室を実施し、参加者アンケートでは9割以上から肯定的な評価をいただきました。		新型コロナウイルス感染症に鑑み、参加者を制限した事業もあり、落選者が多数となってしまいました。多くの方が参加できるよう、事業を計画していきます。		
R5	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計6の協働団体と親子及び家族向け事業を実施し、参加者アンケートでは9割以上から肯定的な評価をいただきました。		コロナ禍前の規模で事業を実施し、多くの方に参加していただきました。より多くの方が参加できるよう企画、計画をしていきます。		

2-②-オ スポーツ交流ひろばの充実【再掲】					
事業概要					
区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績(D)	23,878	24,920			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。		スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止とされていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。		
R5	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、4年振りの再開となり、区立中学校1校で4日間実施しました。特に土日に利用者が多く、混雑回避のため、入場制限を行いました。		スポーツ交流ひろばの競技によっては、参加者数が減少しているところもあり、参加者増に向けた広報活動等が必要と考えます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数の増に向けて運営方法の検討が必要です。		

(3)分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくり ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり

2-③-ア 親子向けスポーツ教室【再掲】					
事業概要					
親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	522	535	548	561	575
実績(D)	522	715			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計6の協働団体と親子教室を実施し、参加者アンケートでは9割以上から肯定的な評価をいただきました。		新型コロナウイルス感染症に鑑み、参加者を制限した事業もあり、落選者が多数となってしまいました。多くの方が参加できるよう、事業を計画していきます。		
R5	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計6の協働団体と親子及び家族向け事業を実施し、参加者アンケートでは9割以上から肯定的な評価をいただきました。		コロナ禍前の規模で事業を実施し、多くの方に参加していただきました。より多くの方が参加できるよう企画、計画をしていきます。		

2-③-ア スポ・レクひろば					
事業概要					
知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	245	251	257	263	270
実績(D)	245	395			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和3年度は4回の開催であったが、令和4年度は一度も中止することがなく全12回実施できました。また、リゾート&スポーツ専門学校の学生がボランティアとして運営に加わり、参加者と交流を深めました。		令和4年度は4区合同レクリエーションがリモート形式での交流でとどまりました。今後は対面での交流を図り、参加者が様々な人と交流できる機会を設けていきます。		
R5	スタッフやボランティアの学生及び他区の参加者との交流により、参加者の積極的な社会参画に繋げることができました。また、ボランティアの学生の知見が広がることで、障害者スポーツを支える人材育成に寄与することができました。		対象者の拡大を図るとともに、令和4年度から継続での参加者については、安心して参加してもらえよう、環境の変化を十分に考慮した運営を心がけます。		

イ プロスポーツ団体等との連携・協働

2-③-イ 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】					
事業概要					
区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。					
指標:連携事業数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	10	15	18	21	23
実績(D)	10	15			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	サッカーW杯ではJFAと共同でパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍やアルバルク東京、東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。		関係団体との協働を広く発信し、連携を強化しながら事業を実施し、区民にとって魅力的で参加しやすいスポーツ事業を計画・実施していきます。		
R5	ラグビーW杯及びFIBAW杯ではトヨタヴェルブリッツやアルバルク東京との協力・連携によりパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍や東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。		関係団体と連携を強化しながら事業を実施し、事業の発信力を高め、より多くの区民に参加してもらえるスポーツ事業を計画・実施していきます。		

2-③-イ Bunkyo Sports Park【再掲】					
事業概要					
メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。					
指標:参加者延べ人数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)			8,674	8,954	9,233
実績(D)		8,394			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。		誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。		

ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用

2-③-ウ 障害者スポーツ体験教室					
事業概要					
障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,069	1,100	1,120	1,150	1,175
実績(D)	1,069	2,332			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	東京2020大会の終了後も、ボッチャやブラインドサッカー等パラスポーツを知る教室事業や体験会を行い、多くの区民に参加いただきました。 また、障害のある方でも気軽に参加できるよう内容を工夫した上で、区民誰もが安心して一緒に参加できるイベントを実施しました。		まつり等の場で継続的にパラスポーツに触れ、楽しいと思える機会を区民に提供することにより、パラスポーツの認知度を高めます。 年齢、性別、体力、障害の有無に左右されことなく、誰でも参加できるインクルーシブ要素を取り入れたスポーツ事業を、今後展開します。		
R5	ユニバーサルスポーツフェスタや、花の五大まつりでのボッチャ体験ブースの設置等により、より多くのパラスポーツを体験できる機会を提供し、パラスポーツの認知度を高めることができました。		障害のある方でも安心して応募・参加してもらえるよう、手話通訳者などの協力を得て分かりやすい運営方法を工夫します。 また、誰もが参加できる参加者目線でのインクルーシブスポーツ事業を実施します。		

2-③-ウ Bunkyo Sports Park【再掲】					
事業概要					
メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。					
指標:参加者延べ人数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)			8,674	8,954	9,233
実績(D)		8,394			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。		誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。		

エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働

2-③-エ 地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】					
事業概要					
地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。					
指標: インクルーシブ推進事業補助金申請件数(件)※令和4年度のみ「REスタート補助金」					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	11	20	20	20	20
実績(D)	11	10			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	REスタート補助金の申請件数が11件ありました。各スポーツ事業の再建へ貢献しました。		REスタート補助金の反省を踏まえて、周知活動に力を入れ目標以上の申請となるよう取り組みます。		
R5	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金について、10団体からの申請があり、14事業で制度が活用されました。年齢、性別、障害の有無を問わず誰もが参加できるインクルーシブ要素を含んだ事業を増やすきっかけづくりとなりました。		多くの団体が補助制度を活用できるよう、制度の趣旨や申請方法等、周知活動に力を入れます。		

2-③-エ スポーツ指導者地域派遣					
事業概要					
区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。					
指標: 派遣者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	85	100	115	125	135
実績(D)	85	84			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	コロナウイルス感染症が終息しつつあり、地域のクラブが活動を再開し始めました。それに伴い申請件数が増加し、クラブ活動の補助を行いました。		申請があった種目に偏りがあるため、その他の種目の申請も増加するよう周知に取り組みます。		
R5	令和4年度よりスポーツ指導者の派遣人数は減少していますが、派遣の件数は増加(令和4年度38件、令和5年度52件)しており、多くの団体の利用がありました。		派遣人数については減少しているため、より多くの団体利用があるよう周知に取り組みます。		

2-③-エ Bunkyo Sports Park【再掲】					
事業概要					
メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。					
指標:参加者延べ人数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)			8,674	8,954	9,233
実績(D)		8,394			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。		誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。		

オ スポーツの魅力を感じ取る機会の充実

2-③-オ 初心者向けスポーツ教室【再掲】					
事業概要					
区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	371	380	390	400	408
実績(D)	371	401			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道		初心者向けスポーツ教室を受講した後も、引き続きスポーツを継続できるよう、実施団体等と継続方法等について協議します。		
R5	初めての競技に挑戦するきっかけづくりとして、一人では中々始めることができない3種目について初心者向け教室を実施し、たくさんの方のお申込み、ご参加をいただくことができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道		始めたスポーツを定着させる取り組みの展開、新しいスポーツを始める機会の提供に引き続き取り組んでまいります。		

2-③-オ 小・中学生向けスポーツ教室【再掲】					
事業概要					
子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	158	162	166	170	174
実績(D)	158	117			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	文京区ローラースポーツ連盟、文京区少年サッカー連盟・JFAと協働でジュニア向けスポーツ教室を実施しました。初心者も楽しめる教室とし、スポーツをはじめるきっかけづくりとなりました。		協働団体と連携・相談を密にし、その他競技のスポーツ教室が実施できないか検討します。		
R5	令和4年度同様、募集人数を上回る応募がありましたが、事業近くになり体調不良等でのキャンセルにより参加者が減少しました。初心者にも楽しむことができ、満足度の高い教室となりました。		ジュニアローラースポーツ教室は、1日の教室を2回開催することにより定員を増やし、より多くのニーズに応えられるようにします。また、事前キャンセルの対応としては、繰り上げ当選等を検討します。		

第5章 文化芸術分野の点検・評価

1. 文化芸術分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)
文化芸術分科会座長 垣内 恵美子

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】		アカデミー推進計画	総合戦略
ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実			
55	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	○	○
56	事業提携楽団によるコンサート	○	○
イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供			
57	小・中学生のための出前コンサート	○	○
58	文の京コミュニティコンサート	○	○
59	朗読コンテスト	○	○
60	シビックコンサート	○	○
61	夜能動画配信事業	○	○
ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供			
62	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○
分野別基本方針②だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実			
63	かるたの街文京を発信！【再掲】	○	○
64	記念日イベント	○	
65	朗読コンテスト【再掲】	○	○
イ 市民団体等の活動に対する支援の充実			
66	社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】	○	
ウ 文化芸術活動の場の提供			
67	舞台芸術創造事業(大ホール)	○	○
68	舞台芸術創造事業(小ホール)	○	○
分野別基本方針③文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実			
69	親子向けコンサート	○	○
70	観客参加型公演	○	
71	かるたの街文京を発信！【再掲】	○	○
イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成			
72	子ども俳句大会	○	
73	楽器演奏指導	○	
74	文京ふるさと歴史館収蔵品展	○	○
75	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○
76	I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト～	○	○
ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承			
77	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○
78	かるたの街文京を発信！	○	○
79	吹奏楽アンサンブルコンテスト	○	○

分野別基本方針④地域の資源を活かしたまちづくりの推進		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 文化資源を活用した事業の推進			
80	「文の京文化発信プロジェクト」	○	
イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信			
81	文の京ミュージアムネットワーク	○	○
82	文京ふるさと歴史館特別展	○	○
83	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	○	
84	文の京ゆかりの文化人顕彰事業	○	○
ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進			
85	文京ふるさと歴史館友の会の支援	○	
86	「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】	○	

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1) 分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】

指標	現状値	目標値
1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合	81.2% (令和元年度)	83.0%

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値
文化事業への参加者・来場者数	22,595 人 (令和元年度)	25,000 人	29,990 人	20,556 人

【分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】の状況】

だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実では、文化・芸術に親しむ発表会、大会等を開催しました。令和5年度の参加者数は目標としたコロナ禍前の8割に達しました。単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」では全国から藩校関係者や旧藩主が集まって講演やトークセッションを行い、企画展等の各種記念事業とあわせて区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。また事業提携楽団によるコンサートでは、全ての公演を実施することができ、目標値に近い実績を残すことができましたが、目標達成に向けさらなる積極的な事業周知が必要と考えます。

多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供では、小・中学生のための出前コンサートを開催し、プロのアーティストによる生演奏に触れる機会を提供することができ、児童や生徒のほか、担当教諭からも高い評価を得ました。文の京コミュニティコンサートでは、身近な施設でプロのアーティストの演奏を、気軽に楽しむ機会を提供でき、特に関連事業の当日に近隣施設で行ったコンサートには多くの来場者がありました。また能動画配信事業では、人気声優による朗読も好評で、「夜能～語り部たちの夜～」及び作家・クリエイターのいとうせいこう氏がナビゲーターを務める「能楽紀行」等の計4番組を提供し、774人の応募がありました。全体の2割近く(136人)が40歳未満の申込者で、若年層の参加が目立ちました。ほかに、「朗読コンテスト」は跡見学園女子大学との連携により平成24年度から年1回開催していますが、令和5年度は友好交流都市協定締結から5周年を迎える盛岡市ゆかりの宮沢賢治の作品を課題に開催しました。出場者16人及び観覧者126人の参加があり、コンテストの様子は文京CATVで収録・放映されました。

活動につながる契機としての鑑賞機会の提供では、文京区秋の文化祭、各種つどい・大会事業、企画展等の展示や能楽及びかるた関連事業等を実施し、のべ20,556人が参加しました。前段でも述べたとおり、令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割水準に戻す年次目標を、達成できました。

これからも、性別、年齢、障害の有無や国籍等に関わらず、だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくりを推進します。

【分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】の状況のアカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎

(2)分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】

指標	現状値	目標値
1年間に文化芸術活動をした人の割合	32.4% (令和元年度)	40.0%

【分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】の状況】

文化芸術を楽しむことのできる機会の充実では、「かるたの街文京を発信！」として文京区にゆかりのある小倉百人一首かるたの魅力を発信しました。トップ選手の対戦試合「名人vsクイーン・ドリームマッチ」を開催して動画で生配信したほか、大学対抗戦「文の京アゼリア・カップ」を実施し14大学から16組の参加がありました。ほかに、小中学校への講師派遣も実施しました。また、森鷗外記念館の「記念日イベント」では、前年度の森鷗外没後100年記念事業開催により周知がなされたため、前年度同様に多くの来館者が訪れました。

市民団体等の活動に対する支援の充実では、社会教育関係団体登録制度による活動支援を行い、関連施設への登録団体名簿の配架やホームページの更新により、最新情報を周知することで、区民に対し活動への参加を促すことができました。また実績報告書の提出を依頼し、団体の活動内容を把握することができました。引き続き、区民の自主的な活動促進を図ります。

文化芸術活動の場の提供では、舞台芸術創造事業において優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供し、大ホールを利用した事業では歌劇「椿姫」の公演を行い、小ホールを利用した事業ではワークショップの区内街歩きを通して、物語の題材を発掘し、それを基に作成した台本をスクラップブック形式でひとつにまとめ、参加者自身が演じる手法で公演を開催し、地域特性を盛り込んだストーリーで好評を得ました。

これらの取組により、だれもが気軽にそれぞれの興味や関心、求めるレベルに応じた、文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(3)分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値
若年層(20歳未満)の文化祭・各種つどい・大会への出品及び出演者数	- (令和元年度)	200人	228人	219人
区文化事業への若年層(20歳未満)の参加者数	- (令和元年度)	1,500人	1,006人	1,995人

【分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】の状況】

次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実では、親子向けコンサートにおいて、アンサンブルによる生の音楽を楽しんでもらうほか、楽器の面白さが伝わるプログラムで高評価を得ました。ほかにも、子どもたちの情操教育の一環として、オーケストラやオペラ歌手による生のクラシック音楽に触れる機会を提供し、多くの親子連れが楽しみました。また観客参加型公演としては、事業提携を結ぶ太鼓芸能集団鼓童の協力により、ワークショップや太鼓演奏体験を行うとともに、迫力ある太鼓演奏公演を鑑賞しました。これら好評な事業の実施を引き続き計画していきます。

文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成では、文京ふるさと歴史館収蔵品展において、「天気」という親しみやすいテーマをもとに館蔵資料を紹介し、子ども向けの説明書を作成するなどの工夫により、入館者数が2,485人となりました。文京区の文化について多くの人が興味を持ち、活動に参加するきっかけとなった成果が得られました。また、子どもを対象とした能楽関係事業の「I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ能(Noh)プロジェクト～」では、前半は映像を用いたわかりやすい解説と舞台鑑賞、後半は器楽・装束体験や舞台見学等のバックステージツアーと質疑応答を行い、参加者から好評を得ました。このほか、楽器演奏指導では、シエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部員対象の演奏指導を、全ての区立中学校において3回ずつ実施し、プロの指導が受けられる貴重な機会を提供し、顧問教員や生徒から高い評価を得ました。

多様な主体との連携・協力による文化資源の継承では、吹奏楽アンサンブルコンテストの中学生、高校生部門に多くの応募があり、抽選となりましたが、小学生部門は他の行事との競合により参加がなかったことから、目標値に達しませんでした。出場団体からは、2時間のプロによる事前レッスンと本演奏への講評を聞くことができ、高い評価を得ています。今後は小学生部門も参加できるよう日程設定の再考を行います。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(4)分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進

指標	現状値	目標値
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の区民認知度	-	70.0%
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館来館者の展示に関する満足度	82.3% (令和3年度)	90.0%

【分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進の状況】

文化資源を活用した事業の推進では、文の京文化発信プロジェクトにおいて、盛岡市友好都市提携5周年を記念して各種事業を実施しました。啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。また全国藩校サミット文京大会の記念事業として行われ、3,500人の集客があった「時代まつり」の行列にミスさんさ踊りを派遣しました。「盛岡さんさ踊り体験ワークショップ」では2回のワークショップを開催し、希望者22人が「都市交流フェスタ」の舞台上で踊りを披露しました。また盛岡市主催「盛岡文士劇」東京公演を共催しました。

特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信では、文京ふるさと歴史館の特別展で、藩校サミットにテーマを合わせて湯島聖堂に関する展示を行いました。文京区が学問のまちであるということを広く知っていただくことができました。また、森鷗外記念館特別展・コレクション展においても、「鷗外の食」「千駄木の鷗外と漱石」など、新たな切り口で鷗外を紹介し、多くの入館者が来館し、アンケートの満足度は99%となりました。今後も文京区ならではの視点で地域の資源を紹介していきます。

地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進では、文京ふるさと歴史館友の会と相互に協力を行いました。区の事業(史跡めぐり)において友の会がガイドをつとめ、また、まち案内を希望する一般団体に友の会を紹介しました。文京区の交流自治体が主催した区内ツアーには、友の会がガイドとして協力しました。今後とも安定した活動ができるよう支援を行います。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

3.文化芸術（No.50～81）

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】

ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実

3-①-ア 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施

事業概要					
<p>文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。</p>					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,990	20,556			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。</p> <p>令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。</p>		
R5	<p>各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。</p> <p>単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」及び企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約2倍となる959人の観覧者が訪れました。</p>		<p>定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催3年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。</p>		

3-①-ア 事業提携楽団によるコンサート					
事業概要					
区及び（公財）文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。					
指標: 来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,386	6,179	6,179	6,179	6,179
実績(D)	988	5,739			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は年度の途中までシビックホールが休館していたため、シエナ・ウインド・オーケストラによるコンサートのみ開催しました。新型コロナウイルスによる入場制限はなくなったが、休館によりシリーズ公演が休止したことが影響し目標値に届かなかったと考えます。		令和5年度、東京フィルハーモニー交響楽団によるシリーズ公演を再開し、ホール休館前に行っていただいたすべてのシリーズ公演を開催します。より多くの方々に鑑賞いただけるよう効果的な宣伝活動を行い、文化・芸術の振興を図ります。		
R5	令和5年度は、ホールの改修工事を経て、すべての公演を実施することができました。 また、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、昨年度に比べ目標値に近い実績を残すことができました。特に、響きの森クラシック・シリーズはセット券の販売が順調で、固定客が戻ってきたものと考えます。ただし、指標の目標値に達していないことからさらなる積極的な事業周知が必要と考えます。		シエナ・ウインド・オーケストラの公演は、「わが青春のポピュラーミュージック」というターゲットを中高年に絞った公演としていますが、令和5年度は目標値に達していないことから、ターゲットに見合う広告を打ち、多くの方々に鑑賞いただけるよう、今まで以上に効果的な宣伝活動を行って行くとともにプログラムを工夫し、幅広い世代の方々に鑑賞していただけるよう努めてまいります。		

イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供

3-①-イ 小・中学生のための出前コンサート

事業概要					
子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び（公財）文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。					
指標:実施した回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4	4	4	4	4
実績(D)	4	4			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	アーティスト及び開催校の理解・協力により新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、区立の小・中学校各2校で予定通り開催しました。プロのアーティストによる生演奏を初めて鑑賞する児童・生徒もあり、担当教諭から高い評価をいただきました。		より深い興味・関心を持っていただけるよう、児童・生徒の感想や学校の要望に応じた演奏曲の選定や児童・生徒が参加するプログラムを取り入れていきます。		
R5	令和5年度においても、区立の小・中学校各2校で予定通り開催しました。プロのアーティストによる生演奏に触れる機会を提供することができ、児童・生徒のほか、担当教諭からも高い評価をいただきました。		引き続き、より深い興味・関心を持っていただけるよう、児童・生徒の感想や学校の要望に応じた演奏曲の選定や児童・生徒が参加するプログラムを取り入れていきます。		

3-①-イ 文の京コミュニティコンサート

事業概要					
文京ミュージズネット等、区内文化施設において、施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。					
指標:実施した回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	2	2	2	2	2
実績(D)	2	2			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	アーティスト及び森鷗外記念館など実施会場の理解・協力により、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で予定通り開催しました。区民にとって身近な施設においてプロのアーティストの演奏を気軽に楽しむ機会を提供することができました。		来場者アンケート等を参考に、出演者の協力を得ながら演奏曲や演出等を見直し、より魅力的な内容としていきます。		
R5	令和5年度は、傳通院及び東洋文庫ミュージアムにて実施しました。 区民にとって身近な施設においてプロのアーティストの演奏を、気軽に楽しむ機会を提供することができました。特に傳通院の公演では全国藩校サミット文京大会の記念事業として行われた「時代まつり」当日に行ったことから多くの方に足を運んでいただきました。		引き続き、ミュージズネット加盟施設を中心により身近な施設で開催できるよう努めてまいります。また、来場者アンケート等を参考に、施設の意向も確認しながら演奏曲や演出等を検討し、より魅力的な内容としていきます。 また、会場のキャパシティーによる入場者制限について検討してまいります。		

3-①-イ 朗読コンテスト					
事業概要					
文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。					
指標: 観覧者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	200	200	200	200	200
実績(D)	113	171			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>平成24年度から年1回開催しています。令和4年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。</p> <p>本選：11月13日 出場者：17人 観覧者：113人 会場：跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。</p>		<p>会場観覧者数について目標値に近づくよう、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行うなかで、会場観覧者募集方法、期間、周知先について工夫します。</p>		
R5	<p>令和5年度は岩手県盛岡市友好都市提携5周年として盛岡市ゆかりの宮沢賢治の作品を課題としました。</p> <p>本選：11月5日 出場者：16人 観覧者：126人 会場：跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映</p>		<p>感染症対策の行動制限緩和もあり、昨年度と比べて観覧者数が増加しました。引き続き、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行い、さらなる観覧者の増加を目指します。</p>		

3-①-イ シビックコンサート					
事業概要					
クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。					
指標: 実施した回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	0	12	12	12	12
実績(D)	0	12			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>令和4年度は、区民ひろばが使用不可のため事業を休止しました。令和5年度の事業再開に向け、お茶の水女子大学、東邦音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校と出演月、演目等について調整しました。</p>		<p>区内の音楽系大学・専門学校等と協力し、毎月1回、ランチタイムコンサートを再開します。</p>		
R5	<p>ホール改修工事を経て事業を再開しました。オープンスペースでの無料コンサートであるため、区役所を訪れた方に気軽に音楽を触れてもらうことができました。再開以降徐々に来場者が増えて、多くの方に鑑賞していただくことができました。</p> <p>また、区内の大学及び専門学校生等が、観客の前</p>		<p>令和6年度も引き続き、区内の音楽系大学・専門学校等と協力し、毎月1回、ランチタイムコンサートを開催してまいります。</p>		

3-①-イ 夜能動画配信事業					
事業概要					
<p>公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいなながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。</p>					
指標:実施回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4	4	4	4	4
実績(D)	4	4			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>4番組に876人の応募があり、全員に視聴権を贈呈しました。</p> <p>コロナ禍においても大勢の方に芸術鑑賞の機会を提供することができました。</p>		<p>場所や時間の制約を受けずに伝統芸能を鑑賞できる動画視聴権の贈呈事業は、従来の愛好家層以外にも伝統芸能に親しむ人を増やす効果が期待できます。コロナ禍以降も継続し、番組を提供していきます。</p>		
R5	<p>人気声優による朗読も好評の「夜能～語り部たちの夜～」及び作家・クリエイターのいとうせいこう氏がナビゲーターを務める「能楽紀行」等の計4番組を提供し、774人の応募がありました。</p> <p>全体の2割近く(136人)が40歳未満の申込者で、若年層の参加が目立ちました。</p>		<p>今後も初心者にもわかりやすい内容の番組を中心に、動画を提供していきます。</p>		

ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供

3-①-ウ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要					
<p>文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。</p>					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,990	20,556			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。</p> <p>令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。</p>		
R5	<p>各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。</p> <p>単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」及び企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約2倍となる959人の観覧者が訪れました。</p>		<p>定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催3年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。</p>		

(2)分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】

ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実

3-②-ア かるたの街文京を発信！【再掲】		
事業概要		
文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。</p> <p>競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。</p>	<p>4年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。</p> <p>また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。</p>
R5	<p>大学対抗戦「文の京アゼリア・カップ」を創設し、14大学から16組の参加がありました。</p> <p>競技かるたトップ選手の2人が戦う名人vsクイーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412人の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者122人、回答率84.7%）では93%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。</p> <p>小中学校への講師派遣は令和4年度の3校から5校に増加しました。</p>	<p>かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。</p> <p>また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。</p>

3-②-ア 記念日イベント					
事業概要					
森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持てる取り組みを行います。					
指標: 記念日入館者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	400	400	400	400	400
実績(D)	971	800			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は森鷗外没後100年記念年であったため鷗外忌（鷗外の命日7月9日492人）、誕生記念（1月19日479人）は区民観覧無料などを実施し、7事業全ての集客は例年の2倍以上となりました。		無料入館以外にイベントや講演会を開催し幅広い層の誘客を目指し計画します。人数は曜日によっても変動するため充実した内容を立案し多角的に広報します。		
R5	前年の鷗外没後100年記念で周知されたためか、令和5年度の鷗外忌も前年に届く来館数となりました。鷗外忌（鷗外の命日7月9日500人）、誕生記念（1月19日300人）。		幅広い層への記念日周知を目指し、広報媒体の工夫で誘客を計画します。		

3-②-ア 朗読コンテスト【再掲】					
事業概要					
文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。					
指標: 観覧者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	200	200	200	200	200
実績(D)	113	171			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>平成24年度から年1回開催しています。令和4年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。</p> <p>本選：11月13日 出場者：17人 観覧者：113人 会場：跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。</p>		<p>会場観覧者数について目標値に近づくよう、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行うなかで、会場観覧者募集方法、期間、周知先について工夫します。</p>		
R5	<p>令和5年度は岩手県盛岡市友好都市提携5周年として盛岡市ゆかりの宮沢賢治の作品を課題としました。</p> <p>本選：11月5日 出場者：16人 観覧者：126人 会場：跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映</p>		<p>感染症対策の行動制限緩和もあり、昨年度と比べて観覧者数が増加しました。引き続き、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行い、さらなる観覧者の増加を目指します。</p>		

イ 市民団体等の活動に対する支援の充実

3-②-イ 社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】					
事業概要					
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。					
令和8年度に向けた目標(P)					
区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を支援するため、登録団体名簿を周知します。また、団体の活動内容を正確に把握するため、令和7年度の更新に向けて、登録団体へ広く周知します。					
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。</p> <p>また、3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。</p>		<p>引続き、区民の自主的な活動の促進のため、登録団体名簿を更新し、関連施設への配架、ホームページに掲載します。また、団体の活動内容を正確に把握するため、活動実績の提出を求めるとともに、区民への周知を図ります。</p>		
R5	<p>関連施設への登録団体名簿の配架や、ホームページの更新で、最新情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。</p> <p>また、実績報告書の提出を依頼し、団体の活動内容を把握することができました。</p>		<p>登録団体名簿やホームページの更新に加え、団体から実績報告書を提出していただき、活動内容を正確に把握していきます。引き続き、区民の自主的な活動促進を図ります。</p>		

ウ 文化芸術活動の場の提供

3-②-ウ 舞台芸術創造事業(大ホール)

事業概要					
区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	59	112	112	112	112
実績(D)	47	114			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった令和2年度の参加者による「ラ・ボエーム」の再演を計画し、無事開催することができました。アンケートから、参加者は2年越しで公演を実現することができ大きな満足を得たことがわかりました。		令和5年度からは、より多くの区民が参加できるよう通常の形での開催を予定しています。参加者の募集について、区報および(公財)文京アカデミー広報紙、ホームページ等を活用し、広く周知を図ります。		
R5	令和5年度は、歌劇「椿姫」の公演を行いました。様々な媒体で参加募集の宣伝を行い、参加者数の目標値を達することができ、多くの区民の方に芸術に触れる機会を提供することができました。		令和6年度の公演が「トゥーランドット」に決まり、引き続き多くの区民が参加できるように様々な媒体で宣伝を行ってまいります。		

3-②-ウ 舞台芸術創造事業(小ホール)

事業概要					
区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	15	15	15	15	15
実績(D)	7	14			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は、5カ月のワークショップを通して、参加者のエピソードを舞台化し、参加者自身が演じる形での公演を開催しました。公演後、参加者から「自らのエピソードを自らが演じたことで大きな満足感が得られた。」との声が寄せられました。		令和5年度の区民演劇については、参加者がさらにモチベーションを高められるよう、ワークショップの講師と協議の上、内容を工夫していきます。		
R5	令和5年度は、ワークショップの区内の街歩きを通して、物語となる題材を発掘し、それを基に作成したそれぞれの台本を、スクラップブック形式でひとつにして、参加者自身が演じる手法で公演を開催しました。地域の特性を盛り込んだストーリーで好評を得ることができました。 応募者数は22人で、オーディションにより15人に絞りました。なお、うち1名はワークショップ開催前に辞退されました。		令和6年度も引き続き、参加者がさらにモチベーションを高められるよう、ワークショップの講師と協議の上、内容を工夫していきます。		

(3)分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

ア 次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実

3-③-ア 親子向けコンサート					
事業概要					
幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。					
指標: 来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	495	1,029	1,029	1,029	1,029
実績(D)	509	1026			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度は、年度途中までシビックホールが休館のため、「フルーツの国のおんがくパーティー♪」のみ開催した。(公財)文京アカデミーの自主制作による公演であり、観客のアンケートでも高い評価をいただきました。		令和5年度については、「フルーツの国のおんがくパーティー♪」に加え、「東京フィル 親子で楽しむはじめてのオーケストラ」を開催します。宣伝活動を積極的に行い、多くの親子に生の音楽に触れる機会を提供します。		
R5	「フルーツの国のおんがくパーティー♪」は、フルート、クラリネット、パーカッションのアンサンブルによる生の音楽を楽しんでいただくほか、楽器の面白さが伝わるプログラムで高評価を得ました。 「親子で楽しむはじめてのオーケストラ」は、子どもたちの情操教育の一環として、オーケストラやオペラ歌手による演奏で生のクラシック音楽に触れる機会を提供し、多くの親子連れに楽しんでいただきました。		令和5年度の実績数は、あと一步目標値に達することができなかったため、今後も積極的かつ効果的な広報活動を行い、より多くの親子に生の音楽に触れる機会を提供します。		

3-③-ア 観客参加型公演					
事業概要					
区及び（公財）文京アカデミーと事業提携を結ぶ、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。					
指標: 来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	284	284	284	284	284
実績(D)	291	281			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>公演前に「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、17人の親子が参加しました。例年、公演の中でも「太鼓演奏体験」を行ってきましたが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響により「太鼓演奏体験」の実施は見送りました。リニューアルした小ホールにて、多くの親子が鼓童の公演を鑑賞しました。</p>		<p>社会状況を見ながら出演者と協力し、観客が実際に太鼓を演奏する機会を提供できるようワークショップおよび太鼓演奏体験の実施を計画します。</p>		
R5	<p>公演前に「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、15組30人の親子が参加しました。</p> <p>また、公演は281人が迫力ある太鼓演奏を鑑賞しました。令和5年度は公演の中でも実施する「太鼓演奏体験」を再開することができ、抽選で選ばれた方が実際に太鼓演奏を体験することができました。</p>		<p>令和6年度も引き続き、観客が実際に太鼓を演奏する機会を提供できるようワークショップおよび太鼓演奏体験の実施を計画します。</p>		

3-③-ア かるたの街文京を発信！【再掲】		
事業概要		
文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。</p> <p>競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。</p>	<p>4年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。</p> <p>また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。</p>
R5	<p>大学対抗戦「文の京アゼリア・カップ」を創設し、14大学から16組の参加がありました。</p> <p>競技かるたトップ選手の2人が戦う名人vsクイーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412人の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者122人、回答率84.7%）では93%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。</p> <p>小中学校への講師派遣は令和4年度の3校から5校に増加しました。</p>	<p>かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。</p> <p>また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。</p>

イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成

3-③-イ 子ども俳句大会					
事業概要					
区内中学校在学学生を対象に、日本の伝統的文化のひとつである俳句を通じて自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。					
指標: 応募数(句)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	730	900	1,000	1,000	1,200
実績(D)	818	776			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	全入選句(特選10句・入選20句)について(公財)文京アカデミーのホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載したとともに、特選に選ばれた10句は、財団広報誌スクエア及び区報ぶんきょうにも掲載しました。		応募作品数増につなげるには学校の協力が不可欠であることから、事業趣旨への理解や投句への協力について丁寧に説明し、協力を求めます。		
R5	区内中学校に直接的に周知し、区立の中学生他、区内中学生より日々の暮らしの中での出来事からスケールの大きい作品など、中学生の視線ならではの力作が寄せられました。特選10句・入選20句について財団ホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載したとともに、特選に選ばれた10句は、財団広報誌スクエア及び区報ぶんきょうにも掲載しました。		より深い興味・関心を持っていただけるよう、学校の要望等に応じ、時期や題とすることで、より魅力的な内容としていきます。		

3-③-イ 楽器演奏指導					
事業概要					
区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。					
指標:実施回数(回)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	30	30	30	30	30
実績(D)	29	30			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	全ての区立中学校においてシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした個別演奏指導を実施しましたが、受講予定生徒の都合により1回中止となりました。その他については、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施し、顧問教員や生徒から高い評価を得ました。		引き続き、区立中学校吹奏楽部およびシエナ・ウィンド・オーケストラの協力を得て、事業を継続します。		
R5	全ての区立中学校において3回ずつシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした演奏指導を実施しました。プロからの指導が受けられる貴重な機会を提供し、顧問教員や生徒から高い評価を得ました。		引き続き、区立中学校吹奏楽部およびシエナ・ウィンド・オーケストラの協力を得て、事業を継続します。		

3-③-イ 文京ふるさと歴史館収蔵品展					
事業概要					
文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。					
指標: アンケートの満足回答の割合(%)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	79	80	80	80	80
実績(D)	79	87			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>アンケート項目は「テーマ設定=良い」「わかりやすさ=わかりやすい」を選択した割合の平均値です。館蔵の寄贈資料をもとに、区内に住んだ精神病学者とその交友関係を描いた「杉田直樹と仲間たち 文三・潤一郎・茂吉」を開催しました。</p> <p>会期 2月11日～3月19日</p> <p>入館者数 1,537人</p> <p>テーマとなる人物を知らなくても興味深い展示であったという感想が多く、地域に魅力を感じる人が多かったという成果が得られました。</p>		<p>今後とも、館蔵資料の研究成果をもとに、地域の魅力を様々な形で紹介していきます。展示内容に興味を覚えて満足を感じる回答の割合が多くなるよう、引き続き資料を研究し展示を行います。</p>		
R5	<p>アンケート項目は「テーマ設定=良い」「わかりやすさ=わかりやすい」を選択した割合の平均値です。館蔵資料をもとに、天気=空模様というテーマに即した錦絵、書籍、民具等を展示した「はれ あめ くもり ぶんきょうの空模様」を開催しました。</p> <p>会期 2月10日～3月17日</p> <p>入館者数 2,485人</p> <p>天気という親しみやすいテーマでの資料紹介により、来館者の満足度が高かったという成果が得られました。</p>		<p>今後とも、館蔵資料の研究成果をもとに、地域の魅力を様々な形で紹介していきます。多様なテーマを設定し展示することで、いっそう来館者の満足度が高くなるように事業を継続していきます。</p>		

3-③-イ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】					
事業概要					
文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,990	20,556			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。</p> <p>令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプアリーナなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。</p>		
R5	<p>各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。</p> <p>単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」及び企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約2倍となる959人の観覧者が訪れました。</p>		<p>定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催3年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。</p>		

3-③-イ I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」～

事業概要

公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。

指標: アンケートで「おもしろかった」と答えた人の割合(%)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	80	80	80	80	80
実績(D)	90	92			

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>応募者数 761人 当選者数 189人(倍率4倍) 参加者数 129人</p> <p>感染防止の観点から、楽器や着付け体験の内容を一部変更・中止して開催しましたが、参加者アンケートでは高い評価をいただきました。</p>	<p>コロナ禍で変更したプログラムのうち、好評だったものは継続しながら以前と同等の内容で体験会が実施できるよう検討していきます。</p>
R5	<p>成果指標であるアンケートには参加者165人中138人が回答し(回答率84%)、127人が「おもしろかった」8人が「まあおもしろかった」と回答しました。</p> <p>前半は映像を用いたわかりやすい解説の後に舞台鑑賞、後半は器楽・装束体験や舞台見学等のバックステージツアーと質疑応答を行い、参加者から好評を得ました。</p>	<p>令和6年度は金沢市友好交流都市提携5周年記念事業として、加賀宝生にちなんだ内容を取りいれます。子どもたちが古くから日本各地で愛好されてきた能の文化や歴史を実感できるプログラムにします。</p> <p>令和5年度は土曜日開催で学校行事による当日キャンセルが目立ったため、日曜日の開催とします。</p>

ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承

3-③-ウ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要					
<p>文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。</p>					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績(D)	29,990	20,556			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の6割の14,340人を目標としました。</p> <p>令和4年度単年度事業「文の京ミュージックネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミュージックネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。</p>		
R5	<p>各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。</p> <p>単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」及び企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約2倍となる959人の観覧者が訪れました。</p>		<p>定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催3年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。</p>		

3-③-ウ かるたの街文京を発信！		
事業概要		
<p>文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。</p>		
令和8年度に向けた目標(P)		
<p>事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。</p>		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。</p> <p>競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。</p>	<p>4年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。</p> <p>また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。</p>
R5	<p>大学対抗戦「文の京アゼリア・カップ」を創設し、14大学から16組の参加がありました。</p> <p>競技かるたトップ選手の2人が戦う名人vsクイーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412人の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者122人、回答率84.7%）では93%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。</p> <p>小中学校への講師派遣は令和4年度の3校から5校に増加しました。</p>	<p>かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。</p> <p>また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。</p>

3-③-U 吹奏楽アンサンブルコンテスト					
事業概要					
<p>公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講評・表彰等を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。</p>					
指標:参加団体数(団体)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	0	27	27	27	27
実績(D)	0	23			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>令和4年度は、改修工事に伴うシビックホール休館のため休止となりました。</p>		<p>令和5年度に事業を再開します。多くの参加が得られるよう、チラシ配布に加え、SNS等を活用した参加団体募集を行います。</p>		
R5	<p>中学生、高校生の部門は多くの応募があり、抽選となりましたが、小学生の部門は他の行事との競合があり参加がなかったことから、目標値に達することができませんでした。</p> <p>なお、出場団体は、シエナメンバーによる2時間の事前レッスンでプロからの直接指導を受けられることに合わせ本番の演奏への講評も聞くことができ、出演者から高い評価を得ています。</p>		<p>小学生の部門の参加がなかったことから、日程の設定を再考するほか、多様な媒体を使って、広報強化を図ってまいります。</p>		

(4)分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進

ア 文化資源を活用した事業の推進

3-④-ア 「文の京文化発信プロジェクト」

事業概要					
<p>文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。</p>					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	374	498	623	623	623
実績(D)	228	1214			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>1事業を除き事業を再開しました。 コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の6割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。 盛岡市と友好都市提携5周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。</p>		
R5	<p>盛岡市友好都市提携5周年記念事業を開催したため、目標を大きく上回る実績がありました。 啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。また3,500人の集客があった時代まつりの時代行列にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップでは2回のワークショップを開催し希望者22人が都市交流フェスタの舞台で踊りを披露しました。また盛岡市主催「盛岡文士劇」東京公演を共催しました。 その他、かなざわ講座の共催や沖縄県うるま市主催の現代版組踊「肝高の阿麻和利」を後援しました。</p>		<p>令和6年度は金沢市友好交流都市提携5周年のため、金沢市でも盛んな能楽関係の事業やその他の共催事業を記念事業として充実させた内容で開催していきます。</p>		

イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信

3-④-イ 文の京ミュージアムネットワーク		
事業概要		
区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミュージズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
区の貴重な文化資源として積極的に周知し、連携を深めていきます。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>例年実施している事業（全体会議、文京ミュージズネットマップの作成、ミュージズフェスタの開催）のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミュージズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージズネットの認知度が大きく向上したと考えられます。</p>	<p>R5年度は施設改修工事のためミュージズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミュージズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミュージズネットの活動を盛り上げます。</p>
R5	<p>例年同様全体会議及び文京ミュージズネットマップの作成を行いました。</p> <p>施設改修工事のため「文京ミュージズフェスタ」が中止となり、代替事業として実施した「文京ミュージズネット周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。</p> <p>また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のため、3施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の協力を得ました。</p>	<p>「文京ミュージズフェスタ」は一部を委託化して内容を充実させていきます。</p> <p>また、近年増大している海外からの観光客等に周知できるよう英語版文京ミュージズネットマップの活用方法を検討していきます。</p>

3-④-イ 文京ふるさと歴史館特別展					
事業概要					
文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催します。					
指標: アンケートの満足回答の割合(%)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	85	80	80	80	80
実績(D)	85	83			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>アンケート項目は「テーマ設定=良い」「わかりやすさ=わかりやすい」を選択した割合の平均値です。区内の国名勝及び史跡として文化財指定された東京大学大学院理学系研究科附属植物園の歴史や文化を取り上げる「小石川植物園異聞 白山御殿跡いま・むかし」を開催しました。</p> <p>会期 10月29日～12月11日 入館者数 2,344人</p> <p>区内の名所である小石川植物園をテーマとして、縄文時代から現在に至るまでの歴史、植物園を舞台とした文学作品の紹介など、多角的に展示し、好評を得ました。</p>		<p>今後とも、文京区の歴史や文化について様々な視点から掘り下げた展示を行います。内容に興味を覚えて満足を感じる回答の割合が多くなるよう、引き続き資料の研究や展示に尽力します。</p>		
R5	<p>アンケート項目は「テーマ設定=良い」「わかりやすさ=わかりやすい」を選択した割合の平均値です。全国藩校サミット文京大会の関連事業として「湯島の地に聖堂あり 江戸・東京の学び舎と文京」を開催しました。</p> <p>会期 10月28日～12月10日 入館者数 2,432人</p> <p>区内の名所である湯島聖堂をテーマとしてその歴史、復興事業に関わった建築学者伊東忠太について、学問所としての紹介など、多角的に展示し、好評を得ました。</p>		<p>今後とも、文京区の歴史や文化について紹介し、来館者の満足度を高めるよう資料の調査研究を継続します。</p>		

3-④-イ 森鷗外記念館特別展・コレクション企画					
事業概要					
森鷗外の作品や人生に関することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。					
指標: アンケートの満足回答の割合(%)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	80	80	80	80	80
実績(D)	96	99			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	展示に関する満足度調査(満足・やや満足)の合計は96%(内訳: 満足71%、やや満足25%)。今後もさらに充実した展覧会を目指し運営を行います。		展覧会に対して常に満足いただけるよう、テーマや嗜好を変えた企画を充実させます。		
R5	令和5年度よりアンケート項目を「大いに満足、満足、不満、きわめて不満」の4項目とした。満足回答合計は99%(内訳: 大いに満足51%、満足48%)。		引き続き好回答を得られるよう、企画の充実を目指します。		

3-④-イ 文の京ゆかりの文化人顕彰事業					
事業概要					
文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。					
指標：朗読コンテスト(参加及び観覧)、史跡めぐり、講演会応募者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	558	600	600	600	600
実績(D)	558	639			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>①朗読コンテスト 跡見学園女子大学と共催し実施しました。没後100年を迎えた森鷗外の作品を課題作とし、朗読の応募者256人、観覧応募者は146人でした。</p> <p>②史跡めぐり 本郷・西片の樋口一葉が暮らした風景をたどるというテーマで55人の応募がありました。</p> <p>③歴史講演会 一葉作品にみる明治の出版と挿絵という演題で、101人の応募がありました。</p> <p>また、文化人の業績について紹介するリーフレットを作成配付したことで、より多くの方々に文京区及びゆかりの文化人を周知し興味を持っていただくきっかけづくりができました。</p>		<p>申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。</p>		
R5	<p>①朗読コンテスト 跡見学園女子大学と共催し実施しました。宮沢賢治の作品を課題作としました。朗読の応募者274人、観覧応募者は171人でした。</p> <p>②史跡めぐり 賢治・啄木が暮らした街を巡るというテーマで58人の応募がありました。</p> <p>③歴史講演会 小石川植物園と共催し、私の知っている牧野富太郎という演題で、136人(会場)の応募がありました。</p> <p>また、文化人の業績について紹介するリーフレットを作成配付したことで、より多くの方々に文京区及びゆかりの文化人を周知し興味を持っていただくきっかけづくりができました。</p>		<p>申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。</p>		

ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進

3-④-ウ 文京ふるさと歴史館友の会の支援

事業概要		
<p>文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。</p>		
令和8年度に向けた目標(P)		
<p>文京ふるさと歴史館友の会の会員が増加し、協働による事業の参加者数も増加させていきます。</p>		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。会の自主的な運営を支援することで、会員の増・事業参加者の増につながりました。</p>	<p>引き続き情報を共有します。また、より長期的に安定的な運営ができるよう、活動支援を行います。</p>
R5	<p>月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。交流自治体主催で文京区内ツアーが開催された際には、ガイドとして協力していただきました。感染症による行動制限の緩和の影響もあり、事業参加者が増となりました。</p>	<p>情報共有をすることにより、継続して活動支援を行います。</p>

3-④-ウ 「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】					
事業概要					
<p>文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。</p>					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	374	498	623	623	623
実績(D)	228	1214			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>1事業を除き事業を再開しました。 コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の6割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。 盛岡市と友好都市提携5周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。</p>		
R5	<p>盛岡市友好都市提携5周年記念事業を開催したため、目標を大きく上回る実績がありました。 啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。また3,500人の集客があった時代まつりの時代行列にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップでは2回のワークショップを開催し希望者22人が都市交流フェスタの舞台上で踊りを披露しました。また盛岡市主催「盛岡文士劇」東京公演を共催しました。</p>		<p>令和6年度は金沢市友好交流都市提携5周年のため、金沢市でも盛んな能楽関係の事業やその他の共催事業を記念事業として充実させた内容で開催していきます。</p>		

第6章 観光分野の点検・評価

1. 観光分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)
観光分科会座長 山田 徹雄

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①区内まるごと周遊の促進		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出			
87	観光写真コンクール	○	
88	花の五大まつり等助成	○	○
イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上			
89	観光ガイド事業	○	○
分野別基本方針②いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進			
90	観光インフォメーション	○	○
91	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】	○	○
イ 情報発信環境の整備			
92	観光インフォメーション【再掲】	○	○
93	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	○	○
分野別基本方針③つながりから生まれる観光の推進		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合			
94	文の京ミュージアムネットワーク【再掲】	○	○
95	文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	○	
イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力			
96	友好都市交流フェスタ【再掲】	○	○
97	文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	○	
分野別基本方針④何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 観光客の受入基盤整備			
98	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】	○	○
99	文の京ミュージアムネットワーク【再掲】	○	○
イ 多様な人材の育成・活用			
100	観光ガイド事業【再掲】	○	○

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1) 分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進

指標	現状値	目標値
文京区の他者推奨意向	84.1% (令和元年度)	85.0%

【分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進の状況】

観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出では、文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要する経費助成を行うとともに、まつりを未来に繋いでいくことを目的に、新たに「まつりの街、文京」プロジェクトを開始し、主に小・中学生向けのワークショップ等を実施しました。引き続き、まつりの振興を図るための経費助成を行うとともに、将来的な担い手確保に向け、子ども達がまつりを知り、まつりに関わるための取組を推進します。

マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上では、文京花の五大まつり等の開催に合わせて様々なガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの周知を図ることで、ガイドツアーの参加者数が増加しました。引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。

これらの取組を着実に進めることで、本区の多彩な観光資源を継承し、磨き上げるとともに、区内の観光資源を新たな目線で活用する取組を推進し、地域の魅力創出を図っていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値
文京区観光協会のホームページの新規ユーザー	44,115 件 (令和元年度)	50,000 件	88,009 件 ※	82,621 件

【分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有の状況】

観光情報の収集・発信力の充実と共有促進では、昨年度と比較し観光インフォメーションでの案内件数(相談件数)はやや減少していますが、増加している来所者に対して、SNSも活用しながら広く本区の観光情報の発信を行いました。引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。

情報発信環境の整備では、5年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、新たに「観光ガイドブック」を作成しました。また、観光ガイドブック及びグルメマップの多言語化を推進するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組みます。

いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有の指標である文京区観光協会のホームページの新規ユーザーは82,621件で、令和8年度目標の50,000件を上回りました。

これらの取組を着実に進めることで、だれもが、いつでも、どこでも手軽に必要な情報を入手できる環境を整えるとともに、区民等が本区の観光資源等に関する情報を共有し、自発的な発信を促す取組を推進し、観光情報の発信力の充実を図っていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

※過去2年以内に新規アクセスしたユーザーの数値であるが、令和3年4月にサイトリニューアルを実施しているため、令和4年度分の数値については令和3年3月以前の重複ユーザーは除外されていない。

(3)分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値
協定等締結自治体との連携実績	57件 (令和元年度)	70件	88件	106件

【分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進の状況】

他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合では、文の京ミュージアムネットワークにおいて、例年同様全体会議及び文京ミュージアムマップの作成を行いました。施設改修工事のため「文京ミュージアムフェスタ」が中止となり、代替事業として実施した「文京ミュージアム周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。また、全国藩校サミット文京大会の機運醸成のため、3施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の協力を得ました。「文京ミュージアムフェスタ」は一部を委託化して内容を充実させるとともに、近年増大している海外からの観光客等に周知できるよう英語版文京ミュージアムマップの活用方法を検討していきます。

国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力では、都市交流フェスタにおいて、礪川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。開催期間の見直しなど、より参加者の方が楽しみながら文化体験等ができるイベントとなるよう、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体との協働により住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機会としていきます。

つながりから生まれる観光の推進の指標である協定等締結自治体との連携実績は106件で、令和8年度の目標値である70件を上回りました。

これらの取組を着実に進めることで、文化芸術など、他分野との関係性を深めるとともに、協定等締結自治体等との交流を促進し、様々な形での連携・協力による新しい「文の京」の観光を推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(4)分野別基本方針④ 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備

指標	現状値	目標値
「だれもが観光に訪れたいくなるまちを支える仕組みをつくること」への満足度	区民：38.9% 事業参加者：76.0% (令和元年度)	区民：50.0% 事業参加者：81.0%

【分野別基本方針④ 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備の状況】

観光客の受入基盤整備では、5年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、新たに「観光ガイドブック」を作成しました。また、観光ガイドブック及びグルメマップの多言語化を推進するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組みます。

多様な人材の育成・活用では、文京花の五大まつり等の開催に合わせて様々なガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの周知を図ることで、ガイドツアーの参加者数が増加しました。引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。

これらの取組を着実に進めることで、だれもが安心して区内観光を楽しみながら、区民や訪れる方が本区に愛着を感じ、何度でも訪れたいくなるための環境づくりを推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

4.観光 (No.82～95)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進 ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出

4-①-ア 観光写真コンクール					
事業概要					
文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちな表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。					
指標:観光写真コンクールの応募者数(人)/写真展の来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	170/530	175/540	180/550	185/560	190/570
実績(D)	161/575	151/673			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	令和4年度で第60回を迎え、区民を中心にたくさんのお申し込みがありました。特にジュニア部門では、新たにジュニア向け写真教室を実施することで、参加者の増加につなげることができました。		新たな参加者の増加につながる取り組みを検討するとともに、観光PRポスターをはじめ様々な機会でお賞作品を使用することで、観光PRへ繋げていきます。		
R5	ジュニア向け写真教室の継続実施もあり、ジュニア部門では昨年度を上回る応募がありました。また、写真展や区ホームページなど様々な媒体でお賞作品を活用し、魅力の発信を図りました。		ジュニア向け写真教室の継続実施やお賞作品の更なる活用を検討することで、観光写真コンクールを通じた観光PRを図ります。		

4-①-ア 花の五大まつり等助成					
事業概要					
文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。					
指標:文京花の五大まつり等の来場者数(万人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	150	165	165	165	165
実績(D)	150	165			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要する経費への補助を行うことで、まつりの振興及び地域活力の復興を図ることができました。		引き続き、文京花の五大まつり等の振興及び地域活力の復興等へつなげる経費等への補助を行うとともに、積極的な情報発信を行い、まつりへの誘客を促進することで、まつりの振興及び発展を図ります。		
R5	文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要する経費助成を行うとともに、まつりを未来に繋いでいくことを目的に、新たに「まつりの街、文京」プロジェクトを開始し、主に小・中学生向けのワークショップ等を実施しました。		引き続き、まつりの振興を図るための経費助成を行うとともに、将来的な担い手確保に向け、子ども達がまつりを知り、まつりに関わるための取組を推進します。		

イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上

4-①ーイ 観光ガイド事業					
事業概要					
区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。					
指標: 観光ガイドツアーの参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	300	350	400	450	500
実績(D)	323	747			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツアーを令和3年度より段階的に再開し、令和4年度には予約ガイドツアーを再開しました。また、3年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。		引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。		
R5	文京花の五大まつり等の開催に合わせて様々なガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの周知を図ることで、ガイドツアーの参加者数が増加しました。		引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。		

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有 ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進

4-②ーア 観光インフォメーション					
事業概要					
シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。					
指標: 観光インフォメーションでの案内件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,650	1,850	1,850	1,850	1,850
実績(D)	1,650	1,627			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	国内外の観光客数の回復もあり、来所人数や相談件数が増加傾向にある観光インフォメーションにおいて、広く本区の観光情報の発信を行いました。		引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。		
R5	昨年度と比較し案内件数(相談件数)はやや減少していますが、増加している来所者に対して、SNSも活用しながら広く本区の観光情報の発信を行いました。		引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。		

4-②-ア 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】					
事業概要					
区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。					
指標:観光ガイドブックの作成部数(部)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績(D)	58,000	53,500			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	観光ガイドマップを5か国語、グルメマップを3か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。		引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。		
R5	5年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、新たに「観光ガイドブック」を作成しました。また、観光ガイドブック及びグルメマップの多言語化を推進するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。		引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組みます。		

イ 情報発信環境の整備

4-②-イ 観光インフォメーション【再掲】					
事業概要					
シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。					
指標:観光インフォメーションでの案内件数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,650	1,850	1,850	1,850	1,850
実績(D)	1,650	1,627			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	国内外の観光客数の回復もあり、来所人数や相談件数が増加傾向にある観光インフォメーションにおいて、広く本区の観光情報の発信を行いました。		引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。		
R5	昨年度と比較し案内件数(相談件数)はやや減少していますが、増加している来所者に対して、SNSも活用しながら広く本区の観光情報の発信を行いました。		引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。		

4-②-イ 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化					
事業概要					
区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。					
指標:観光ガイドブックの作成部数(部)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績(D)	58,000	53,500			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	観光ガイドマップを5か国語、グルメマップを3か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。		引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。		
R5	5年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、新たに「観光ガイドブック」を作成しました。また、観光ガイドブック及びグルメマップの多言語化を推進するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。		引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組みます。		

**(3)分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進
ア 他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合**

4-③-ア 文の京ミュージアムネットワーク【再掲】		
事業概要		
区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
区と施設及び施設間の連携を深め、区の貴重な文化資源として積極的に周知していきます。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>例年実施している事業(全体会議、文京ミュージズネットマップの作成、ミュージズフェスタの開催)のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミュージズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージズネットの認知度が大きく向上したと考えられます。</p>	<p>令和5年度は施設改修工事のためミュージズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミュージズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミュージズネットの活動を盛り上げます。</p>
R5	<p>例年同様全体会議及び文京ミュージズネットマップの作成を行いました。</p> <p>施設改修工事のため「文京ミュージズフェスタ」が中止となり、代替事業として実施した「文京ミュージズネット周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。</p> <p>また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のため、3施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の協力を得ました。</p>	<p>「文京ミュージズフェスタ」は一部を委託化して内容を充実させていきます。</p> <p>また、近年増大している海外からの観光客等に周知できるよう英語版文京ミュージズネットマップの活用方法を検討していきます。</p>

4-③-ア 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】					
事業概要					
区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。					
指標: 文京博覧会(ぶんぱく)への来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績(D)	8,507	10,625			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行いました。		区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要があります。		
R5	コロナ禍以前と同規模で開催し、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。		開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。		

イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力

4-③-イ 都市交流フェスタ【再掲】					
事業概要					
外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。					
指標: 都市交流フェスタの来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績(D)	1,300	4,785			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回(令和元年度)より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産展を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。		国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、より誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつなげる出展を検討し、内容の充実を図ります。		
R5	礒川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なりニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。		開催期間の見直しなど、より参加者の方が楽しみながら文化体験等ができるイベントとなるよう、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体との協働により住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機会とします。		

4-③-イ 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】					
事業概要					
区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。					
指標:文京博覧会(ぶんぱく)への来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績(D)	8,507	10,625			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行いました。		区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要があります。		
R5	コロナ禍以前と同規模で開催し、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。		開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。		

(4)分野別基本方針④ 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備
ア 観光客の受入基盤整備

4-④-ア 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】					
事業概要					
区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。					
指標:観光ガイドブックの作成部数(部)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績(D)	58,000	53,500			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	観光ガイドマップを5か国語、グルメマップを3か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。		引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。		
R5	5年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、新たに「観光ガイドブック」を作成しました。また、観光ガイドブック及びグルメマップの多言語化を推進するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。		引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組みます。		

4-④-ア 文の京ミュージアムネットワーク【再掲】		
事業概要		
区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミュージズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。		
令和8年度に向けた目標(P)		
区と施設及び施設間の連携を深め、区の貴重な文化資源として積極的に周知していきます。		
	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	<p>例年実施している事業（全体会議、文京ミュージズネットマップの作成、ミュージズフェスタの開催）のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミュージズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミュージズネットの認知度が大きく向上したと考えられます。</p>	<p>令和5年度は施設改修工事のためミュージズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミュージズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミュージズネットの活動を盛り上げます。</p>
R5	<p>例年同様全体会議及び文京ミュージズネットマップの作成を行いました。</p> <p>施設改修工事のため「文京ミュージズフェスタ」が中止となり、代替事業として実施した「文京ミュージズネット周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。</p> <p>また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のため、3施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の協力を得ました。</p>	<p>「文京ミュージズフェスタ」は一部を委託化して内容を充実させていきます。</p> <p>また、近年増大している海外からの観光客等に周知できるよう英語版文京ミュージズネットマップの活用方法を検討していきます。</p>

イ 多様な人材の育成・活用

4-④-イ 観光ガイド事業【再掲】

事業概要					
区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。					
指標：観光ガイドの新規登録者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	10	-	10	-	10
実績(D)	8	-			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツアーを令和3年度より段階的に再開し、令和4年度には予約ガイドツアーを再開しました。また、3年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。		引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。		
R5	文京花の五大まつり等の開催に合わせて様々なガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの周知を図ることで、ガイドツアーの参加者数が増加しました。		引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。		

第7章 国内・国際交流分野の点検・評価

1. 国内・国際交流分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)

国内・国際交流分科会座長 山田 徹雄

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①国内交流自治体との交流促進と相互発展		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 国内交流自治体の魅力発信とPR の充実			
101	国内交流自治体食材購入費補助事業	○	○
102	都市交流フェスタ【再掲】	○	○
イ 国内交流自治体との交流の活性化			
103	交流自治体主催の区民向け事業への協力	○	
104	区事業における物産展等の出店	○	
ウ 横断的な交流事業の展開			
105	文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	○	
106	「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】	○	
分野別基本方針②国際理解を育み定着に向けた機会づくり		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 海外都市との交流の活性化			
107	海外都市との交流の活性化	○	○
108	ホームステイ生徒交換事業	○	○
イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有			
109	生涯学習講座での国際理解推進	○	
110	都市交流フェスタ	○	
111	国際理解促進事業	○	○
ウ 横断的な交流事業の展開			
112	国際理解促進事業【再掲】	○	○
分野別基本方針③外国人が活躍できる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略
ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実			
113	外国人の日常生活支援のための多言語化	○	
114	国際理解促進事業【再掲】	○	○
イ 外国人の活躍できる場の提供支援			
115	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	○	

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和2年度～令和5年度)に掲載されている事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1) 分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展

指標	現状値	目標値
国内交流自治体の認知度	18.5% (令和元年度)	25.0%

【分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展の状況】

交流自治体の魅力発信とPRの充実では、都市交流フェスタにおいて、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあい、国内外の文化体験及び交流自治体の物産展等を通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。引き続き、区内団体等との協働により、住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区及び交流自治体の魅力を再発見・再確認できる機会とします。

交流自治体との交流の活性化では、各事業と連携し、物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体の魅力を発信することができました。また、金沢市とともに震災復興を支援する物産展を開催しました。今後も、その地域の観光資源や物産を広くPRすることで、国内の魅力を区民に広く周知し、住民間の交流を促進します。

横断的な交流事業の展開では、文京博覧会をコロナ禍以前と同規模で開催し、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示及び実演等を行い、区内産業等について文京区外に広く情報を発信しました。今後は、開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。

これらの取組を着実に進めることで、文京区及び国内交流自治体双方の魅力を発信するとともに、有事の際に備えた関係性構築のために、平時から協定締結等自治体をはじめ、交流自治体との連携を強化し、より自治体同士の関係を強固にしていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(2)分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり

指標	現状値	目標値
外国人と交流している区民の割合	25.2% (令和元年度)	35.0%
海外の姉妹都市・友好都市の認知度	26.1% (令和元年度)	35.0%

【分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくりの状況】

海外都市との交流の活性化では、ホームステイ交換事業を令和元年度から延期していましたが、姉妹都市・カイザースラウテルン市の生徒の受入れを再開し、3名の生徒が文京区を訪問しました。学生同士が互いの理解を深め、姉妹都市間の交流ができました。令和6年度は、カイザースラウテルン市へ日本生徒を派遣します。異国文化を体験する機会を提供することで、参加者の国際理解を促進するとともに、姉妹都市との友好関係を深めます。

国際理解に向けた情報の収集・発信・共有では、アカデミア講座において、諸外国の人々や文化について学び、理解することや、多様な価値観の尊重、外国語によるコミュニケーション能力向上等、世界情勢も踏まえた講座を実施しました。引き続き、国際的な視野を持ち、多文化共生の意識の普及を図ります。

横断的な交流事業の展開では、区内関係団体等と連携し、姉妹都市等に因んだ文化講座等を開催しました。令和5年度は、周年の記念事業として、トルコ写真展を開催し、多くの方にご来場いただき、区民が多様な文化に触れる機会を創出できました。さらに、留学生との交流会を拡充する等住民間の交流の機会を促進することができました。対面実施のニーズが高いため、講座内容及び開催時間帯等区民ニーズを的確に把握し、参加者増加を図ります。

区民の国際理解の定着に向けた情報発信や異文化に触れる機会づくりを継続し、一時的な体験で終わらないように継続性を持たせた事業展開を検討します。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

(3)分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくり

指標	現状値	目標値
外国人における文京区への愛着度	- (令和元年度)	50.0%

【分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくりの状況】

多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実では、各課で外国人の日常生活支援のための多言語化を促進するために、全庁の翻訳希望文書を集約し、令和5年度は16課において、6言語、31文書を翻訳し、各課で活用をしました。今後は、多言語化の必要性を認識した際に機動的に対応できるように、各課でそれぞれ文書の多言語化を実施します。引き続き各課からのニーズに応じて、必要な支援を行います。

また、国際理解促進事業として、やさしい日本語を活用した留学生との交流会を拡充し、基礎編及び発展編の2回連続講座を開催しました。やさしい日本語を学び、実践するとともに区民と留学生の交流する機会を提供することができました。基礎編及び発展編と体系的に学ぶことで、区民の満足度が高まり、留学生含め参加者の交流が活発になったため、今後も取り組みを継続するとともに、より区民満足度が高まる内容を検討します。

外国人の活躍できる場の提供支援では、「外国人のための専門家相談会」を共催しました。昨年度と比べて相談者が増加し、一定の需要があることが改めて確認できました。引き続き区内在住外国人支援につながる後援等事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体との協働の在り方を検討していきます。

これらの取組を着実に進めることで、区内在住・在学外国人が、暮らしやすく、また、地域活動等に参加しやすい環境を整え、外国人が活躍できる環境づくりを促進します。

【アカデミー推進協議会の意見】

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

5.国内・国際交流 (No.96~110)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 ア 国内交流自治体の魅力発信とPR の充実

5-①-ア 国内交流自治体食材購入費補助事業					
事業概要					
協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。					
指標:参加店舗数(件)/食めぐりスタンプラリー応募者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	16/254	16/260	17/270	17/275	18/280
実績(D)	16/254	16/159			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	食めぐりスタンプラリー参加店舗が8店舗増加し、スタンプラリー応募件数も44件増加しました。また、スタンプラリー当選賞品を協定等締結自治体の特産品にリニューアルしたことで、区民が交流自治体を知る契機となり、文京区の交流自治体の認知度向上につなげることができました。		引き続き交流自治体、区民及び参加事業者3者にメリットのある事業になるよう、当選商品の検討及びスタンプラリーの方法を検討していきます。また、事業の認知度の向上を図るだけでなく、協定締結等自治体の認知度向上にも寄与する周知を行います。		
R5	参加店舗の業態等により、応募者数は減少してしまいました。しかし、スタンプラリー当選賞品の見直し及び当選人数の増加により、冷蔵品等も含めた幅広い協定等締結自治体の特産品を賞品とすることで、区民の交流自治体の認知度及び魅力度向上につなげることができました。		参加店舗増加のために、申請の受付方法及び周知方法等の見直しを検討します。また、引き続き事業の魅力度向上及び交流自治体の認知度向上につながるよう、区民が参加しやすく、より集客効果を高める方法を検討していきます。		

5-①-ア 都市交流フェスタ【再掲】					
事業概要					
外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。					
指標：都市交流フェスタの来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績(D)	1,300	4,785			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回(令和元年度)より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産展を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。文化体験コーナーが特に好評であり、文化体験等を通じた異文化交流の機会とすることができました。		国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、在住・在学外国人をはじめ新たな参加者を誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつながる出展を検討し、内容の充実を図ります。		
R5	礪川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なりニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。		開催期間の見直しなど、より参加者の方が楽しみながら文化体験等ができるイベントとなるよう、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体との協働により住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機会とします。		

イ 国内交流自治体との交流の活性化

5-①-イ 交流自治体主催の区民向け事業への協力

事業概要

くまモンファン感謝祭、上天草フェアの後援、モリハチ祭りの共催などを行い、事業に協力します。

指標：後援・共催事業数(件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1	3	3	3	3
実績(D)	0	3			

成果・評価(D・C)

次年度に向けた取組等(A)

R4	4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、各自治体と連携した後援等の事業の実施はありませんでした。	5年度以降、各自治体が事業が活発になることから、徐々に後援等の依頼の増加が見込まれます。依頼等があった場合は、事業趣旨の精査をし、後援等する際は、情報発信等に積極的に協力します。
R5	盛岡市の盛岡文士劇及びモリハチ祭りの共催並びにうまる市の現代版組踊「肝高の阿麻和利」の後援をし、文化芸術及び物産展等を通じて交流都市の魅力を発信しました。	今後も交流自治体から後援等の依頼があれば、引き続き事業趣旨を精査し、各自治体と連携し、情報発信等に協力します。また、共催及び後援等にかかわらず交流自治体との事業連携を活発化させていきます。

5-①-イ 区事業における物産展等の出店					
事業概要					
文京博覧会、花の5大まつり、藩校サミット、時代まつり等への交流自治体物産展の出店により、周知をします。					
指標: 物産展等の出店日数(日)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	45	50	50	50	50
実績(D)	45	75			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>各イベントに交流自治体が物産展を出店し、誘客につなげることができ、併せて区民に国内交流自治体の魅力を広く発信し、周知することができました。</p> <p>物産展の出店を通じ、交流自治体との関係構築に寄与し、さらなら自治体同士の連携強化につなげることができています。</p>		<p>今後も交流自治体の参加を促し、その地域の観光資源や物産を広くPRすることで、国内の魅力を区民に広く周知し、交流を継続するとともに、より自治体同士の関係を強固にし、さらに自治体間交流の促進につなげていきます。</p>		
R5	<p>盛岡文士劇等交流自治体を実施するイベント等においても積極的に物産展を開催しました。各事業と連携し、物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体魅力を発信することができました。また、金沢市とともに物産展を開催し、自治体PRだけでなく、震災復興を支援する趣旨での事業を展開することができました。</p>		<p>協定締結等自治体をはじめ、交流自治体との連携を強化し、より自治体同士の関係を強固にしていきます。また、その地域の観光資源や物産を広くPRすることで、国内の魅力を区民に広く周知し、住民間の交流を促進します。</p>		

ウ 横断的な交流事業の展開

5-①-ウ 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】

事業概要					
区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。併せて交流自治体物産展の出店を行います。					
指標:文京博覧会(ぶんぱく)への来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績(D)	8,507	10,625			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行うことにより、文京区内外に広く周知することができました。		区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っています。		
R5	コロナ禍以前と同規模で開催し、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。		開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。		

5-①-ウ 「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】					
事業概要					
<p>文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。</p>					
指標：事業参加者数の合計(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	374	498	623	623	623
実績(D)	228	1214			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>コロナ禍のため一事業は中止を継続しましたが、他の事業は再開しました。</p> <p>コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の6割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。</p>		<p>令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。</p> <p>盛岡市と友好都市提携5周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。</p>		
R5	<p>盛岡市友好都市提携5周年記念事業を開催したため、目標を大きく上回る実績がありました。</p> <p>啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。また3,500人の集客があった時代まつりの時代行列にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップでは2回のワークショップを開催し希望者22人が都市交流フェスタの舞台上で踊りを披露しました。また盛岡市主催「盛岡文士劇」東京公演を共催しました。</p> <p>その他、かなざわ講座の共催や沖縄県うるま市主催の現代版組踊「肝高の阿麻和利」を後援しました。</p>		<p>令和6年度は金沢市友好交流都市提携5周年のため、金沢市でも盛んな能楽関係の事業やその他の共催事業を記念事業として充実させた内容で開催していきます。</p>		

(2)分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり
ア 海外都市との交流の活性化

5-②-ア 海外都市との交流の活性化					
事業概要					
これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民に広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。					
指標:訪問団の派遣等交流件数					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1	1	2	2	3
実績(D)	0	2			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	新型コロナウイルス感染の流行以降、海外都市との交流は中止しています。新たな交流都市の検討をするため、英語圏の視察を行う等、円滑な対面での交流が再開できるように、交流の在り方を検討しました。		姉妹都市等交流自治体とは、対面での交流の再開の検討を進めるとともに、オンラインを活用したハイブリッド型の交流の在り方を検討します。新たな都市との交流については、自治体だけではなく、教育機関等との交流等も行い、友好関係を構築します。		
R5	交流が検討されていた大韓民国ソウル特別市松坡区と、職員の相互派遣を行い、今後の交流の在り方について前向きに議論が進展しました。その他の都市とも、オンライン等を活用し、人的交流の再開について、検討しました。		松坡区との本格的な交流を開始し、交流事業の在り方等の検討を進めます。また、令和5・6年で姉妹都市等の3都市の首長が新任されるため、さらなる友好関係の構築を目指し、人的交流を活性化させます。		

5-②-ア ホームステイ生徒交換事業					
事業概要					
姉妹都市のカイザースラウテルン市と交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。					
指標:参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	4	4	4	4	4
実績(D)	0	3			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	交換生徒の受け入れは新型コロナウイルス感染症の影響で延期しましたが、代替事業として、オンライン交流会を実施しました(11人参加)。コロナ禍の学校生活について意見交換をし、姉妹都市間の交流を継続することができました。		ホームステイ生徒の受け入れを再開し、対面での交流事業を実施し、段階的に対面での交流を再開します。また、令和6年度の派遣に向けて、次期交換生徒の募集をするとともに事業の検討を進めます。		
R5	平成31年度に派遣した生徒が、令和5年度は受け入れ側として、カイザースラウテルン市生徒を迎え入れました。4年ぶりに対面での事業を実施し、互いの理解を深め、姉妹都市間の学生同士の交流ができました。派遣後から期間が空いたため、各家庭の事情等により、区及びカイザースラウテルン市ともに全家庭の参加とはなりませんでした。		第20回ホームステイ生徒交換事業の参加者を募集し、7~8月の約2週間、カイザースラウテルン市へ日本生徒を派遣します。姉妹都市であるカイザースラウテルン市の文化を体験する機会を提供することで、参加者の国際理解を促進するとともに、姉妹都市との友好関係を深めます。		

イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有

5-②-イ 生涯学習講座での国際理解推進

事業概要

アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。

指標：受講者数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	535	550	600	650	650
実績(D)	485	565			

成果・評価(D・C)

次年度に向けた取組等(A)

R4	年間を通じて幅広い分野の講座を提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。	最新的话题を的確に把握するとともに、生涯学習支援者区内大学と連携を図り、充実した講座内容を企画します。
R5	引き続き、諸外国の人々や文化について学び、理解することや、多様な価値観の尊重、外国語によるコミュニケーション能力向上等、世界情勢も踏まえた講座を実施しました。	引き続き、諸外国の歴史や文化、習慣等を理解するほか、外国語によるコミュニケーション能力向上等、国際的な視野を持ち、多文化共生の意識の普及を図ります。

5-②-イ 都市交流フェスタ					
事業概要					
外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。					
指標: 都市交流フェスタの来場者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績(D)	1,300	4,785			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回(令和元年度)より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産店を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。</p> <p>文化体験コーナーが特に好評であり、文化体験等を通じた異文化交流の機会とすることができました。</p>		<p>国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、在住・在学外国人をはじめ新たな参加者を誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつながる出展を検討し、内容の充実を図ります。</p>		
R5	<p>礪川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。</p>		<p>開催期間の見直しなど、より参加者の方が楽しみながら文化体験等ができるイベントとなるよう、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体との協働により住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機会とします。</p>		

5-②-イ 国際理解促進事業					
事業概要					
姉妹都市・友好都市に因んだ文化講座の開催及びやさしい日本語による交流会、区内関係団体との連携事業を実施します。					
指標：区内関係団体との連携事業数(件)/事業への参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	6/350	7/370	7/380	8/390	8/400
実績(D)	6/350	6/1,771			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>オンラインを用いた交流会を実施するとともに、対面での講座を再開することができました。しかし、交流事業内容及び実施状況によって参加者は年度によって大きく増減しています。</p> <p>参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。</p>		<p>対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、対象者含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。</p>		
R5	<p>トルコ文化講座を新規開設し、区民が多様な文化に触れる機会を創出しました。周年事業として、トルコ写真展を開催したため、参加者が大幅に増加しました(トルコ写真展参加者：1,426人)。また、留学生との交流会を拡充する等住民間の交流を促進することができました。</p>		<p>前年度同様、対面実施のニーズが高いため、講座内容及び開催時間帯等区民ニーズを的確に把握し、参加者増加を図ります。また、オンラインを活用した講座の実施についても、引き続き検討します。</p>		

ウ 横断的な交流事業の展開

5-②-ウ 国際理解促進事業【再掲】

事業概要					
姉妹都市・友好都市に因んだ文化講座の開催及びやさしい日本語による交流会、区内関係団体との連携事業を実施します。					
指標：区内関係団体との連携事業数(件)/事業への参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	6/350	7/370	7/380	8/390	8/400
実績(D)	6/350	6/1,771			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	<p>オンラインを用いた交流会を実施するとともに、対面での講座を再開することができました。しかし、交流事業内容及び実施状況によって参加者は年度によって大きく増減しています。</p> <p>参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。</p>		<p>対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、対象者含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。</p>		
R5	<p>トルコ文化講座を新規開設し、区民が多様な文化に触れる機会を創出しました。周年事業として、トルコ写真展を開催したため、参加者が大幅に増加しました(トルコ写真展参加者：1,426人)。また、留学生との交流会を拡充する等住民間の交流を促進することができました。</p>		<p>前年度同様、対面実施のニーズが高いため、講座内容及び開催時間帯等区民ニーズを的確に把握し、参加者増加を図ります。また、オンラインを活用した講座の実施についても、引き続き検討します。</p>		

(3)分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくり
ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実

5-③-ア 外国人の日常生活支援のための多言語化					
事業概要					
外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進め、区窓口での手続きの効率化を図っています。					
指標:全庁調査により多言語化した文書数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	30	30	30	30	30
実績(D)	30	31			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	各課で外国人の日常生活支援のための多言語化を促進するために、全庁の翻訳希望文書を集約し、令和4年度は11課において、7言語、30文書を翻訳しました。更新を含め、最多の文書を翻訳し、各課で活用しました。		これまで8言語の翻訳をしましたが、多くの文書の翻訳は英語、中国語、韓国語に留まっています。今後、各課において多言語化の必要性を認識した際に機動的に対応できるように、体制を構築します。		
R5	各課で外国人の日常生活支援のための多言語化を促進するために、全庁の翻訳希望文書を集約し、令和5年度は16課において、6言語、31文書を翻訳しました。更新を含め、最多の文書を翻訳し、各課で活用しました。		多言語化の必要性を認識した際に機動的に対応できるように、各課でそれぞれ多言語化を実施します。引き続き各課からのニーズに応じて、必要な支援を行います。		

5-③-ア 国際理解促進事業【再掲】					
事業概要					
やさしい日本語を活用した留学生との交流会を開催					
指標:交流会への参加者数(人)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	30	30	30	30	30
実績(D)	31	70			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	やさしい日本語を活用した留学生との交流会を、Zoomを用いたオンラインでの開催をし、区民と留学生の交流する機会を提供することができました。参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。		対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、難易度及び対象者を含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。		
R5	やさしい日本語を活用した留学生との交流会を拡充し、基礎編及び発展編の2回連続講座を開催しました。やさしい日本語を学び、実践するとともに区民と留学生の交流する機会を提供することができました。		基礎編及び発展編と体系的に学ぶことで、区民の満足度が高まり、留学生含め参加者の交流が活発になることがアンケートからわかりました。今後も取り組みを継続します。		

イ 外国人の活躍できる場の提供支援

5-③-イ 区内大学、ボランティア団体等との協働・連携

事業概要					
「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。					
指標: 協働・連携した事業数(件)					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1	2	2	2	3
実績(D)	1	1			
	成果・評価(D・C)		次年度に向けた取組等(A)		
R4	外国人にとって異国の地で慣れた言語で相談できる場所を提供することに一定の需要がありました。区の手続きの際にチラシを見たり、紹介を受けて知ったりという案件があり、共催の効果が見られました。		区内在住外国人支援につながる後援等事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体との協働の在り方を検討していきます。		
R5	令和4年度と同様に実施をし、相談者も7組から9組へと増加し、一定の需要があることが改めて確認でき、共催の意義をあったと考えられます。		引き続き区内在住外国人支援につながる後援等事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体との協働の在り方を検討していきます。		

(第8章 事業実施状況調査の調査結果)

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ① いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実(p.23)								
1	1	1-①-ア	文京アカデミア講座	区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供します。	前期(5~7月) 36講座 829人(定員880人/応募者数1,411人) 後期(9~12月) 33講座 822人(定員866人/応募者数1,397人) 後期Ⅱ(1~3月) 13講座 347人(定員350人/応募者数521人)	前期(5~7月) 31講座 559人(定員612人/応募者数1156人) 後期(10~12月) 33講座 711人(定員774人/応募者数1249人) 後期Ⅱ(1~3月) 17講座 376人(定員416人/応募者数599人)	生涯学習支援者等による企画提案のほか、大学からの新たな提案もあり、幅広い分野かつ、アンケートによる満足度の高い講座を提供しました。	アカデミー推進課
2	2	1-①-ア	文京いきいきアカデミア講座	高齢者を対象とした2年制講座。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数(単位)をもって卒業認定とします。	第8期2年次(専門課程) (令和5年4月~令和6年3月) 第1学年「教養課程」を修了した者が履修 ・区内ミュージアムの見学を中心とする講座<共通講座:5講座(必修)> ・様々な分野をテーマにした講座<特別講座:5講座(選択)> ・文京アカデミー主催の講座の受講<選択科目> 受講者数:37名(定員40名・応募者数82名/進級者37名) 卒業生数:33名	第8期1年次(教養課程) ①1学期 令和4年6月1日(水)~7月20日(水) 8回 ②2学期 令和4年10月5日(水)~12月14日(水) 8回 ③3学期 令和5年1月18日(水)~3月8日(水) 8回 受講者数:40名(定員40名・応募者数82名) 進級者数:37名	第8期生37名のうち、33名が卒業しました。全体的に出席率が高く、講座科目も好評であり、学習のみならず、仲間づくりにも繋がりました。	アカデミー推進課
3		1-①-ア	企業等連携講座(メセナ講演会)	企業等が社会貢献活動の一環として実施するビジネスやマネジメントをはじめとした多様な講座の企画・提案を募り、協力・連携して講座(講演会)を開催します。	銭湯組合のなんちゃってブランディング戦略 〜知って・来て・広めてもらおう〜 実施日:令和6年2月24日(土) 受講者数:23人(定員30人/応募者数32人) 会場:シビックホール会議室1・2 講師:文京浴場組合支部長 岡嶋 登	「パンダを守る意義とはなにか」 実施日:令和4年10月27日(木) 受講者数:31人(定員60人/応募者数36人) 会場:スカイホール 講師:日本パンダ協会 土井 利光	地域・生活に根付いた文化として、特徴的な取り組みを紹介したことで、銭湯の歴史や文化のみならず、銭湯を中心とした地域の活性化などの紹介につながった。また、休日に実施したこと現役世代の参加も多く見られ、学習への参加意欲も把握した。	アカデミー推進課
4		1-①-ア	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期(5~7月) 11講座 240人(定員270人/応募者数325人) 後期(9~12月) 7講座 174人(定員191人/応募者数212人) 後期Ⅱ(1~3月) 6講座 151人(定員151人/応募者数243人)	前期(5~7月) 8講座 155人(定員170人/応募者数269人) 後期(10~12月) 10講座 228人(定員250人/339人) 後期Ⅱ(1~3月) 5講座 102人(定員115人/応募者数149人)	引き続き、諸外国の人々や文化について学び、理解することや、多様な価値観の尊重、外国語によるコミュニケーション能力向上等、世界情勢も踏まえた講座を実施しました。	アカデミー推進課
5		1-①-ア	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会の充実	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会を提供します。	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・雇用主研修会(共催事業)660人(うち区民58人) ・女性しごと応援キャラバンin文京(5/26開催)68人(うち区民10人) ・女性しごと応援キャラバンin文京(9/14開催)72人(うち区民10人) ・文京SOGIにじいろ映画会(昼の部:71人、夜の部:63人) ・国際女性デー 53人 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念事業 71人 ・男女平等センターまつり講演会 80人 ・女性活躍推進事業 56人 ・配偶者等暴力防止啓発事業 21人 ・社会参画支援事業(プラスワンセミナー)(7/8開催)30人、(8/5開催)20人、(2/17開催)50人(1回は台風により中止) ・家庭生活への参画支援事業(7/29開催)12人、(7/30開催)12人、(12/2開催)12人 ・区政を知る事業(8/29開催)20人、(1/30開催)44人 ・利用者懇談会(6/16開催)30人、(11/9開催)31人 ・登録団体企画助成事業 25人 ・登録団体活動報告会 16人	【ダイバーシティ推進担当】 ・雇用主研修会(共催事業)580人(内区民43人) ・女性再就職支援セミナー&相談会 49人(うち区民10人) ・文京SOGIにじいろ映画会(昼の部:53人、夜の部32人) ・出前講座(駒本小)60人(30×2クラス) ・国際女性デー 60人 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回(6月18日 参加者48人) ・男女平等センターまつり講演会 1回(10月23日 参加者117人) ・女性活躍推進事業 1回(3月4日 参加者89人) ・配偶者等暴力防止啓発事業 1回(11月6日 参加者15人) ・社会参画支援事業(プラスワンセミナー) 4回(①7月2日 参加者54人 ②9月2日 参加者15人 ③2月18日 参加者23人 ④3月11日 参加者29人) ・家庭生活への参画支援事業 3回(①8月20日 参加者23人 ②1月28日 参加者12人 ③1月29日 参加者12人) ・区政を知る事業 2回(①6月27日 参加者33人 ②9月13日 参加者14人) ・利用者懇談会 1回(6月3日 参加者23人) ・登録団体企画助成事業 1回(1月29日 参加者52人) ・登録団体活動報告会 1回(2月24日 参加者22人)	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、ほとんどの事業を対面形式で実施することが可能となり、仕事、家庭、文化などの様々な切り口で男女平等についての学習機会を提供することができました。 根強く残る固定的な性別役割意識の解消や男女平等に対する意識の醸成のため、継続的に学習の場を提供していく必要があります。 男女平等参画についての意識形成を図るため、幅広い世代に事業の周知が行き届くよう、広報やテーマ等の工夫を図る必要があります。	総務課
6		1-①-ア	生活技術を身につける学習機会の充実	豊かに安全で生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実します。	○避難所総合訓練 ・実施場所:青柳小学校・第九中学校・指ヶ谷小学校・本郷小学校 ・参加人数:1,273人 ○防災フェスタ ・実施場所:教育の森公園・文京スポーツセンター ・参加人数:2,433人	根津小学校で宿泊型避難所総合訓練「みんなで防災キャンプ」(参加者110人)、駕籠町小学校で避難所総合訓練(参加者246人)、茗台中学校で避難所総合訓練(台風により規模縮小)を実施しました。教育の森公園及び文京スポーツセンターで「防災フェスタ」(参加者2,619人)を開催しました。	新型コロナウイルス感染症の収束も経て、地域の防災活動が活発に行われており、総合防災訓練も計画どおりに実施できました。また、能登半島地震の発生により、防災対策への区民の関心が高まっており、多くの方が訓練に参加しました。	防災課
7		1-①-ア	職業に関する学習機会の充実	経営者や従業員が必要としている知識・技術の習得を図るため研修や講演会等を開催する他、従業員の新たな能力の開発を支援します。	中小企業向けセミナー 13回 中小企業向け講演会 2回 中小企業人材強化支援事業補助金(申請7件)	中小企業向けセミナー 15回 中小企業向け講演会 2回 中小企業人材強化支援事業補助金(申請6件)	区内の中小事業者向けにセミナーを開催し、経営に必要な知識の習得や技術の向上、従業員の新たな能力の開発を支援することができました。	経済課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
8		1-①-ア	職業に関する学習機会の充実	区内での創業や再就職を目指す人に対し、実践的な知識・技術を学ぶ機会を提供します。	創業支援セミナーひとりで起業編(全5回、オンライン) 創業支援セミナー入門編(オンライン) 創業支援セミナー実践編(全5回、オンライン) 創業支援セミナーワンストップセミナー(オンライン) リカレント教育課程等受講料助成金(11件)	創業支援セミナーひとりで起業編(全5回、オンライン) 創業支援セミナー入門編(オンライン) 創業支援セミナー実践編(全5回、オンライン) 創業支援セミナーワンストップセミナー(オンライン) リカレント教育課程等受講料助成金(6件)	区内での創業や再就職に必要な知識・技術を学ぶ機会を提供することができました。	経済課
9		1-①-ア	生活技術を身につける学習機会の充実	安全で豊かに生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実します。	・消費生活研修会 10回実施(うちオンデマンド 3回) ・消費生活推進員養成講座 8回実施 ・消費生活推進員フォローアップ講座 2回	・消費生活研修会 9回実施(うちオンデマンド 3回) ・消費生活推進員養成講座 8回実施 ・消費生活推進員フォローアップ講座 2回	人気があるテーマの研修会を土曜日に開催したり、定員を1.5倍に増やしたりすることで、より多くの方に参加いただきました。	経済課(消費生活センター)
10		1-①-ア	生活技術を身につける学習機会の充実	子どもの生活技術向上を高める学習機会を提供します。	・夏休み子ども向け消費生活研修会 3回 ・夏休み子ども向け出前講座(児童館・育成室) 15回 ・金銭教育講座(小学生対象、1回(対面開催))	・夏休み子ども向け消費生活研修会 3回 ・夏休み子ども向け出前講座(児童館・育成室) 13回(うちリモート開催2回) ・金銭教育講座(小学生対象、5回(オンライン開催))	登録消費者団体と連携し、子ども向け研修会及び出前講座を開催しました。 今後も団体と協働して、子どもが楽しく学ぶことができる講座を開催していきます。 また、東京都金融広報委員会との協力で、貯金箱づくりを通してお金の大切さなどについて楽しく学びました。	経済課(消費生活センター)
11		1-①-ア	障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供します。	各種障害者対象講座の開催(料理、スマホ、パソコン講座等)	各種障害者対象講座の開催(料理、体操、パソコン講座、陶芸等)	各種講座の開催は、学習機会の提供のみならず、障害者のふれあいの場、交流の場となっています。	障害福祉課
12		1-①-ア	文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)における区内大学との地域連携	毎月1回開催されている文の京ハートフル工房(障害者施設商品販売会)で、区内大学学生との協働として販売会内でのイベント企画等を行います。学生は障害者と接する学びの機会となっています。	「貞静学園短期大学学生サークルによるランチタイムイベント出演 R5:実績なし(コロナ流行前は年6回程ランチタイムイベントを開催していたが、区民ひろば定例即売会を再開(R5.1)後間もないため、R5はランチタイムイベントを1回のみの実施となったため)」	実績なし 貞静学園短期大学学生サークルによるランチタイムイベント出演 R2-R4.12まで休止・規模縮小 (R3-R4.12:施設改修工事に伴う区民ひろば定例即売会休止のため、R4はランチタイムイベントなし)	-	障害福祉課
13		1-①-ア	レッドリボン展	展示室1でエイズ啓発物を展示します。	12月7日(木)10時～18時 12月8日(金)10時～15時 来場者数(2日間合計):620人 同時開催「知っておきたい感染症予防知識」 共催:アース製薬 協力:㈱オカモト、東洋大学社会学部社会福祉学科、カトリック中央協議会HIVデスク 展示内容:HIV啓発パネル・梅毒啓発パネル・性感染症予防啓発パネル・HIV検査、梅毒パネル(保健サービスセンター)・㈱オカモト展示・東洋大学ゼミアンケート集計結果	11月30日(水)10時～18時 12月1日(木)10時～15時 来場者数(2日間合計):635名 同時開催「知っておきたい感染症予防の豆知識」 協力:㈱オカモト、東洋大学社会学部社会福祉学科 展示内容:HIV啓発パネル・梅毒啓発パネル・性感染症予防啓発パネル・HIV検査、梅毒パネル(保健サービスセンター)・㈱オカモト展示・東洋大学ゼミアンケート集計結果	今年度は昨年度に引き続き、ターゲット層としていた学生が事業に協力参加しました。また、本年度より実際にHIV・AIDSの方々への支援に携わる団体も事業に協力参加しました。 急増する梅毒の周知に力を入れ、アンケートでは「梅毒が増えていることを知った」「詳しくわかった」等の感想が得られました。 展示パネル中心のイベントのため、興味関心が少ない人でも展示物に目を通せるよう、展示物の内容を確認することで完成するクロスワードを用意し、来場者が内容を読み込み、知識を持ち帰れるよう工夫をしました。	予防対策課
14		1-①-ア	自転車実技講習会	自転車の利用・点検や整備について理解を深め、交通のきまり、約束等を守って安全な乗車ができるようにします。	計2回232名実施 小学校3年生免許証配布枚数 1706枚	計4回273名実施 小学3年生免許証配布枚数 1436枚	自転車実技講習、DVD・リーフレット等を使った交通安全教室により、小学生3年生に対し自転車利用安全(ルール・マナー)の周知を図ることができました。	管理課
15		1-①-ア	自然散策会	自然の植物と親しみ、緑に対する関心を深めるとともに、自然保護に対する意識の高揚を図るため、自然散策会を開催します。	(1)夏(5/27)新宿御苑 定員:20名、応募52名、参加者数16名 (2)秋(10/1)皇居東御苑 定員:20名、応募160名、参加者数20名 (3)冬(12/2)小石川植物園 定員:20名、応募43名、参加者数15名	(1)秋(10/22)本郷給水所公苑～礪川公園 定員:20名、応募22名、参加者数17名 (2)冬(12/3)日比谷公園 定員:20名、応募28名、参加者数13名 (3)春(3/11)小石川植物園 定員:20名、応募51名、参加者数16名	参加者の方々から内容や開催場所について好評を得ており、毎年人数が高く多数の応募が見込まれます。 令和5年度は皇居東御苑で初の開催をしました。	みどり公園課
16		1-①-ア	植物講演会	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、小学生を対象とした講演会を開催します。	7/23(日) 13:30～15:30 参加人数:予定25組(保護者含む39人) 当日21組(保護者含む32人) 開催地:文京シンビックセンター4階(シルバーセンター)	7/24(日) 13:30～15:30 参加人数:予定30組(保護者含む52人) 当日28組(保護者含む51人) 開催地:文京シンビックセンター4階(シルバーセンター)	小学生の夏休み期間に実施されるため、多数の応募が見込まれます。 令和5年度は、令和4年度より人数を少なくし人数調整を行いました。	みどり公園課
17		1-①-ア	苗木配付	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、東京都苗木生産供給事業を活用し、文京区民を対象とした苗木配付事業を実施します。	10/14(土) 10:00～12:00 参加人数:定員180名(抽選)、参加者154名 開催場所:礪川公園	10/15(土) 10:00～12:00 参加人数:定員175名(抽選)、参加者160名 開催場所:礪川公園	配布は人気の高い樹種を選定して実施しています。 毎年多数の応募があり倍率も高いため、配布数を増やす事も検討しているが、当日の配布が先着順で会場から溢れる人数が来場してしまうかもなどの懸念事項があります。	みどり公園課
18		1-①-ア	親子環境教室	環境意識啓発を目的として「体験を通じて、考え、調べ、学び、行動する」という体験型環境学習の機会を提供します。	6回開催 定員:親子30組 参加人数:延べ143組297人 (平成3年度より事業開始)	6回開催 定員:親子15組 参加人数:延べ73組150人 (平成3年度より事業開始)	令和5年度は新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の全面解除等のため、定員を15組→30組にて通常開催しました。	環境政策課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
19		1-①-ア	文京ecoカレッジ 公開講座	3Rの推進・啓発を図るため、環境・リサイクル分野の専門家による公開講座を一般区民向けに行います。	令和5年12月15日(金)に、びん・缶・ペットボトルのリサイクル方法及び、今後始まるプラスチック分別回収について学ぶ文京ecoカレッジ公開講座「びん・缶・ペットボトル・プラスチックのリサイクル」を区民センターにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:40名 参加者:27名	令和4年12月16日(金)に、リサイクル団体と共催でプラスチックの基礎知識について学ぶ文京ecoカレッジ公開講座「毎日の生活に欠かせないプラスチックをもっと知ろう!」を区民センターにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:40名 参加者:27名	生活の中で身近なプラスチックごみの基礎知識を学ぶ講座を通して、プラスチックの3Rの取り組みの推進を図りました。	リサイクル清掃課
20		1-①-ア	文京ecoカレッジ モノ・フォーラム	モノ・プランの推進を目指しごみ減量への区民向けの普及啓発の一環として年1回フォーラムを開催します。	令和6年2月6日(火)に、文京ecoカレッジモノ・フォーラム食品ロス削減講座「みんなの食べるをつないで助ける」を区民センターにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:30名 参加者:13名	令和6年2月27日(金)に、文京ecoカレッジモノ・フォーラム「なぜ減らす? どう減らす? 私たちから始める食品ロス削減」を区民センターにて実施しました。 対象:区内在住・在勤・在学者 定員:30名 参加者:25名	講座を通して、身近でできる食品ロス削減の推進を図りました。	リサイクル清掃課
21		1-①-ア	家庭教育講座	家庭における教育力の向上のため、講座・講演会を開催します。	・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所は、シビックセンター地下1階レクリエーションホールほか、庁舎内の会議室 ①6月9日(34人) ②7月6日(Zoom45人) ③8月7日(21人+児童9人) ④9月5日(23人) ⑤10月5日(50人) ⑥11月9日(44人) ⑦12月5日(35人)	・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所はシビックセンター地下1階レクリエーションホールほか、庁舎内の会議室 ①6月10日(51人) ②7月7日(17人+Zoom58人) ③8月8日(26人) ④9月6日(11人) ⑤10月6日(17人) ⑥11月6日(2人+Zoom21人) ⑦12月5日(45人)	参加者アンケートを見ると、講座の評価は約94%が「よい」でした。内容については、前年度の運営委員会の意見を参考にして、充実を図っています。参加した方には、どの講座も大変好評で、保護者の意識啓発につながっています。	教育総務課
22		1-①-ア	青少年委員による学校支援活動等	青少年委員会に、学校支援に深く関わりのある事業を委託することにより、地域とのつながりを深め、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するとともに、青少年の健全育成を推進します。	6事業を青少年委員会へ委託しました。 ・五者合同研修会(6月実施、講師:文京区 児童相談所準備担当課長 佐藤 武大氏) ・中学生サミット(6月・12月実施、各区立中学校生徒会役員が参加) ・SDGsを学ぶ事業(区内在住・在学の小中学生がSDGsに興味・関心を持ってもらう契機となった。12月実施) ・遊びと学びのキャラバン隊(区立小学校低学年向け事業として年に2回実施、7月には夏ならではの水を使った内容で青柳小学校で実施した。) ・青少年委員会HPの更新 ・「はたちのつどい」文の恩返し(1月実施)	6事業を青少年委員会へ委託しました。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、対面とZoom形式を併用して事業を行いました。 ・五者合同研修会(6月実施、講師:JACOT副理事長・事務局長 菅野 映氏) ・中学生サミット(6月・12月実施、各区立中学校生徒会役員が参加) ・SDGsを学ぶ事業(クリーンウォークに代わり令和4年度より新たに実施した事業。12月実施、延参加者39名) ・小学生向け事業(7月実施、参加者99名/2月実施、参加者46名) ・青少年委員会HPの更新 ・「はたちのつどい」文の恩返し(1月実施。参加者24名)	他校の児童や生徒の交流の場を提供しており、多くの事業において定員を超える参加の応募があります。対面での実施が可能となり、地域とのつながりを深めることが出来ました。以前好評だった水を使った小学生向け事業も多くの児童が参加したり、中学生サミット連絡会では校則について討論するなど、青少年の健全育成に貢献しました。	教育総務課
23		1-①-ア	「Society5.0の教室」プロジェクト	児童・生徒に一人一台ずつ配備されたタブレット端末や、各教室に配置されているアクティブボードや電子黒板等ICT機器、通信ネットワークやクラウド環境を活用し、Society5.0時代の到来を見据えた、従来の指導方法にとらわれない新しい授業スタイルを創造する。	・「Society5.0の教室」推進委員会 年間 3回 ・「Society5.0の教室」通信 年間23回	・「Society5.0の教室」推進委員会 年間 3回 ・「Society5.0の教室」通信 年間22回	各学校の情報教育担当の教員を対象とした委員会を開催することにより、授業におけるタブレット端末の効果的な活用場面だけではなく、児童・生徒の情報活用能力の向上についての視点を教員へもたせることができました。教育指導課から実践事例を通信として発行することで、全教職員への実践力向上に寄与しました。	教育指導課
24		1-①-ア	幼児・児童・生徒を対象とした事業の充実	児童館において、遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供します。	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、新型コロナウイルス感染症拡大前の規模に戻しながら児童館各種行事(工作、ビンゴ、卓球教室、季節行事等)を実施しました。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、可能な範囲で児童館各種行事(工作、ビンゴ、卓球教室、季節行事等)を実施しました。	遊びを通じた学習の機会となり、かつ、異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供しました。	児童青少年課
25		1-①-ア	文京区「家庭の日」啓発	毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいや結びつきを深めるため、各種啓発事業を展開しています。	区立小学校へ家庭の日啓発として植物の種を配布しました。	区立小学校へ家庭の日啓発として植物の種を配布しました。	区立小学校全児童へ配布し、親子のふれあいを促進しました。	児童青少年課
26		1-①-ア	科学教育事業の充実(子ども科学カレッジ)	区内大学等の研究者を講師として招き、小学校4年生～中学生を対象に、大学の高度な学術研究の成果を体験できる講座を開催します(全15回を予定)。	・子ども科学カレッジ 15講座 参加者 329名(対象:小学4年生から中学3年生まで)	・子ども科学カレッジ 15講座 参加者 232名(対象:小学4年生から中学3年生まで)	感染症対策を講じた上で、優れた講師による講座や最新の科学技術に触れるよい機会となっています。	教育センター
27		1-①-ア	教養を高める学習機会の充実	教養に関する区民の要求に応える学習機会を充実するため、政治や選挙に関する教養講座を開催します。	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を4回実施	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を6回実施	模擬選挙を行った際のアンケート結果では将来投票に行くこと9割以上が答えています。一方で、実施できていない学校があるため、引き続き区立中学校全校実施に向けた取組みを進めます。	選挙管理委員会
1 学習活動 ①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり イ だれもが学びを実践できる支援の充実(p.24)								
28		1-①-イ	保育室の設置及び手話通訳者の配置	幼児を持つ親が学習活動に参加できるよう、講座・講演会等の開催時に保育室を設置します。障害者が講座・講演会等に参加できるよう、希望者に手話通訳者を配置します。	前期(5~7月) 手話対応:25講座 保育対応:22講座 後期(9~12月) 手話対応:22講座 保育対応:20講座 後期Ⅱ(1~3月) 手話講座:11講座 保育対応:5講座	前期(5~7月) 手話対応:26講座 保育対応:0講座 後期(10~12月) 手話対応:22講座 保育対応:17講座 後期Ⅱ(1~3月) 手話講座:11講座 保育対応:10講座	誰もが学ぶことのできる環境の整備のため、アカデミア講座、各種講演会等において、保育サービス、手話通訳に対応しました。	アカデミア推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
29	3	1-①-イ	夜間・休日の講座開設	平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。	前期(5~7月) 6講座 153人(定員160/応募者数225人) 後期(9~12月) 7講座 162人(定員165人/応募者数384人) 後期Ⅱ(1~3月) 3講座 90人(定員90人/応募者数104人)	前期(5~7月) 8座 145人(定員175/応募者数269人) 後期(10~12月) 9件 175人(定員244人/応募者数341人) 後期Ⅱ(1~3月) 2件 50人(定員50人/応募者数92人)	アカデミア講座において全16講座を夜間・休日に開講したほか、メセナ講演会・特別公開講座についても休日に開講したことで、新たな参加者層の確保とニーズの把握に繋がりました。	アカデミー推進課
30	4	1-①-イ	生涯学習の相談	区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取り組めるよう総合的に紹介等を行います。	原則、毎週、水~金の午後を実施 相談件数 140件	原則、毎週、水~金の午後を実施 相談件数 171件	年間を通して提案・相談を受けられる体制の強化として相談員の増員を行い、環境を再構築したうえで継続しました。	アカデミー推進課
31		1-①-イ	学習関連情報の収集・提供	区が集約した行政機関学習関連情報に加え、生涯学習関連機関の情報も積極的に収集、一元化し、区民等に効果的に提供します。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスターの掲示、チラシ配架をアカデミー施設及び図書館等で行いました。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスターの掲示、チラシ配架をアカデミー施設及び図書館等で行いました。	地域アカデミー等の施設で掲示することで区民に広く周知することができ、生涯学習相談等の際に活用できました。	アカデミー推進課
32		1-①-イ	大学等の生涯学習情報の収集	大学の公開講座、社会人入学などに関する情報を収集し、区民等に提供します。また、高校の公開講座の情報も収集します。	公益財団法人文京アカデミー広報誌「スクエア」に掲載のほか、生涯学習フェアでの周知、アカデミー文京内での配架をしました。	公益財団法人文京アカデミー広報誌「スクエア」に掲載	各大学で実施される、区民等も参加できる公開講座・セミナー等の情報を掲載、周知したことで、大学の持つ高度かつ専門知識を広く区民・地域への発信に繋がりました。また、生涯学習担当者会議を実施し、情報収集と共有に努めました。	アカデミー推進課
33		1-①-イ	文京アカデミア講座案内、(公財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付	生涯学習講座の受講者募集に合わせ、講座案内、区報、(公財)文京アカデミー広報紙などの活字メディアのほか、(公財)文京アカデミーHP内に講座案内を掲載。申込は、はがきのほか、インターネットからも受け付けます。	アカデミア講座WEB申し込み 前期(5~7月) 36講座 946件(はがき申込465件) 後期(9~12月) 33講座 960件(はがき申込437件) 後期Ⅱ(1~3月) 13講座 390件(はがき申込131件)	アカデミア講座WEB申し込み 前期(5~7月) 31講座 818件(はがき申込338件) 後期(10~12月) 33講座 916件(はがき申込335件) 後期Ⅱ(1~3月) 17講座 435件(はがき申込164件)	各種パソコン講座の実施によりデジタルデバイドの解消に努めたとともに、広報誌等へQRコードを掲載することで、WEB申込の促進と需要に応えました。	アカデミー推進課
34		1-①-イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
35		1-①-イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	4月10日~12月25日、1月10日~3月25日 139,200部 計年23回 1月1日号 66,000部 年1回	4月10日 140,000部 1回 4月25日~3月25日 138,000部 22回 計年23回 1月1日号 67,500部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
36		1-①-イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
37		1-①-イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和5年度発行)	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
38		1-①-イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します(4カ国語併記 日本語・英語・中国語・ハングル)。	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	4カ国語(日本語・英語・ハングル・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
39		1-①-イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課
40		1-①-イ	講座等での保育室の設置	子育て中の保護者が積極的に参加できるような保育室を設置します。	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・女性しごと応援キャラバン文京(5/26開催)(利用者3人) ・女性しごと応援キャラバン文京(9/14開催)(利用者5人) ・文京SOGILにじいろ映画会(利用者なし) ・人権と音楽講座(利用者3人) ・国際女性デー(利用者なし) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念事業(利用者なし) ・男女平等センターまつり講演会(利用者2人) ・女性活躍推進事業(利用者1人) ・配偶者等暴力防止啓発事業(利用者なし) ・社会参画支援事業(プラスワンセミナー)(7/8開催)(利用者なし)、(8/5開催)(利用者なし)、(2/17開催)(利用者なし)、(1回は台風により中止) ・家庭生活への参画支援事業(12/2開催)(利用者1人) ・区政を知る事業(8/29開催)(利用者なし)、(1/30開催)(利用者なし) ・利用者懇談会(6/16開催)(利用者なし)、(11/9開催)(利用者なし) ・登録団体企画助成事業(利用者なし)	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・女性再就職支援セミナー&相談会(利用者1人) ・文京SOGILにじいろ映画会(利用者1人) ・DVへの気付き・つなげる支援事業 全3回(利用者15人) 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回(利用者2人) ・男女平等センターまつり講演会 1回(利用者なし) ・女性活躍推進事業 1回(利用者なし) ・配偶者等暴力防止啓発事業 1回(利用者なし) ・社会参画支援事業(プラスワンセミナー) 4回(利用者3人) ・家庭生活への参画支援事業 1回(利用者7人) ・区政を知る事業 2回(利用者なし) ・利用者懇談会 1回(利用者なし) ・登録団体企画助成事業 1回(利用者なし)	区民の方の参加を募る講座やセミナー等は、原則として保育の受け入れを準備し周知することで、子育て世帯の参加を促進していく必要があります。	総務課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
41		1-①-イ	講座等での手話通訳者の設置	聴覚障害のある方が講座等に参加できるよう、手話通訳者を配置します。	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・文京SOGIに於ける映画会 手話通訳者3人 ・見て・聞いて・知る「世界の難民」(利用者なし) ・犯罪被害者週間行事 手話通訳者3人 ・国際女性デー 手話通訳者3人 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念事業(利用者なし) ・男女平等センターまつり講演会(利用者なし) ・女性活躍推進事業(利用者なし) ・配偶者等暴力防止啓発事業(利用者なし) ・社会参画支援事業(プラスワンセミナー)(7/8開催)(利用者なし)、(8/5開催)(利用者なし)、(2/17開催)(利用者なし)、(1回は台風により中止) ・区政を知る事業(8/29開催)(利用者なし)、(1/30開催)(利用者なし) ・利用者懇談会(6/16開催)(利用者なし)、(11/9開催)手話通訳者1人 ・登録団体企画助成事業(利用者なし)	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・文京SOGIに於ける映画会 手話通訳者3人 ・国際女性デー 手話通訳者3人 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念講演会 1回(利用者なし) ・男女平等センターまつり講演会 1回(利用者なし) ・女性活躍推進事業 1回(利用者なし) ・配偶者等暴力防止啓発事業 1回(利用者なし) ・社会参画支援事業(プラスワンセミナー) 4回(利用者なし) ・区政を知る事業 2回(利用者なし) ・利用者懇談会 1回(利用者なし) ・登録団体企画助成事業 1回(利用者なし)	聴覚障害のある方が事業に気軽に参加できるよう、引き続き手話通訳付の講座等についての周知を行います。 オンライン事業における手話通訳者の設置は課題があるため、実施については検討が必要です。	総務課
42		1-①-イ	ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネーターを行います。	相談件数 645件	相談件数 781件	ボランティア情報の収集を行い、希望に沿ったボランティアコーディネーターを行いました。	福祉政策課
43		1-①-イ	地域学校協働本部事業	地域住民等が学校教育に対する支援活動を行い、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の育成、地域社会全体の教育力の向上を図ります。	平成20年度より開始。令和5年度より全学校に設置。各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っています。 平成28年度から開始した学習支援ボランティア事業は17校で実施しています。	平成20年度より開始。令和4年度現在、区立小学校18校、中学校10校に設置。各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っています。 平成28年度から開始した学習支援ボランティア事業は15校で実施しています。	学習支援ボランティア事業は、少人数での学習支援により子どもたちの学力向上、学習の習慣づけに なっています。 地域コーディネーター及び学習支援ボランティアが不足している学校もあるため、より幅広い人材確保が必要です。	教育総務課
44		1-①-イ	地域資料の充実	区史や古地図等の地域資料を用いた調査・研究に資するため、資料の収集・提供を行うほか、資料を活用した特集展示などを行います。また、貴重な資料を長期的に保存し、幅広い利用者に提供するため、資料のデジタル化を進め、ホームページでの閲覧環境を充実させます。	関東大震災100年にあたり資料の特集展示を行いました。関連する地図資料を購入・電子化・公開しました。藩校サミットにちなみ、「文京の教育」についての特集展示を行いました。藩校資料を購入し、江戸時代からの文京地域である湯島聖堂付近の変遷地図を作成するなど、図書館資料を活用しての情報発信を行いました。 文の京デジタル文庫に、地図資料4点を追加しました。(資料総数788点)	森鷗外没後100年記念事業として、資料の特集展示やブックリストの作成、鷗外とゆかりの文人のイラスト入りの葉の配布、ピリオパトルや朗読会等に取り組みました。 樋ロー 業生誕150年にちなみ、浪曲会の開催、資料の特集展示等、図書館資料を活用しての情報発信を行いました。 文の京デジタル文庫に、郷土資料及び行政資料9点を追加しました。(資料総数784点)	全館で「藩校サミット」「関東大震災100年」等の事業に関連した企画に取り組み、講演会や図書館資料の展示、防災課から借用したパネルやポスターの展示等もを行いました。このことにより、利用者に対し、図書館資料を使った情報発信のみならず、区の出組についての情報提供もできたものと考えています。 また、文の京デジタル文庫に、古地図、関東大震災図など、4点の郷土資料を追加することにより、情報発信に取り組み、利用促進を図りました。	真砂中央図書館
45		1-①-イ	図書館のインターネット環境の整備	図書館資料の検索等、利用者が多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるよう、インターネット端末を設置するとともに、公衆無線LANサービスを提供します。	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数(延べ) 11,381件	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数(延べ) 11,740件	インターネット端末の利用促進と併せて、公衆無線LANサービスの周知に努めました。	真砂中央図書館
46		1-①-イ	図書館ホームページの充実	利用者の利便性の向上を図るとともに、子ども・中高生向けページや電子書籍のページなど、様々な世代や利用目的に応じた情報発信を行い、読書活動を推進します。	・ホームページ(トップページ)アクセス数(延べ) 3,677,149件 ・インターネットによる予約件数(延べ) 1,494,983件	・ホームページ(トップページ)アクセス数(延べ) 3,823,581件 ・インターネットによる予約件数(延べ) 1,523,222件	利用者が常に新しい情報にアクセスできるよう、各図書館の開館状況や行事・特集展示など、情報の更新を随時行い、ホームページの充実を図りました。	真砂中央図書館
47	5	1-①-イ	電子図書館機能の充実	電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。	・電子書籍 貸出数: 33,991点 ・オーディオブック 閲覧数: 6,084点 ・デジタル地域資料 所蔵点数: 788点(134タイトル)	・電子書籍 貸出数: 28,120点 ・オーディオブック 閲覧数: 5,316点 ・デジタル地域資料 所蔵点数: 784点(130タイトル)	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行うとともに、周知を強化し、利用の増加につなげました。 文の京デジタル文庫に、古地図や関東大震災図を追加し、資料の充実にも努めました。	真砂中央図書館
1 学習活動 ①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり ウ 身近な学習環境の充実(p.24)								
48	6	1-①-ウ	視聴覚資料等の貸出	学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。	貸出件数: 180件 16ミリフィルム 35件 ビデオ(VHS) 0件 DVD 145件	貸出件数: 200件 16ミリフィルム 41件 ビデオ(VHS) 3件 DVD 156件	各団体等に対する貸出を継続したほか、支援者団体の意見も取り入れた新規資料を購入しました。また、適正な保管環境整備のため、除湿器を設置しました。	アカデミー推進課
49		1-①-ウ	「文の京」施設予約ねっとシステム	利用者サービス及び操作性向上の機能を持った予約ネットシステムの活用により、施設利用者へのさらなる利便性の向上を図ります。	令和5年5月より、クレジットカード決済にて施設使用料の支払が可能となりました(一部施設を除く)。また、令和5年10月からは、インボイス制度に対応した書類の出力が可能となりました。	令和4年8月より学校施設30施設において施設予約システムを導入しました。	クレジットカード決済での使用料支払が可能となったことにより、振替口座の登録が任意となったり、利用者のタイミングで支払いが可能となったり等、利用者の利便性が向上しました。	区民課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
50	7	1-①-ウ	文京e-ラーニング	外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。	公開番組数:32番組 視聴件数:2,570件	公開番組数:27番組 視聴件数:6,649件	新たに学長講演会、特別公開講座の2番組を掲載し、時間と場所を選ばない学習機会の提供に繋がりました。	アカデミー推進課
51		1-①-ウ	校外施設の区民利用	児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的として設置されている八ヶ岳高原学園について、区民利用者数の増加を図ります。	・一般開放の利用者数 24組 474名 ・少人数利用の利用者数(自主事業) 5組 28名	・一般開放の利用者数 23組 487名 ・少人数利用の利用者数(自主事業) 10組 52名	改修工事を経てトイレや浴室等の設備が新しくなり、利用者に好評でした。 指定管理者が自主事業として、少人数利用を開始したことにより、区民の施設利用の幅が増えました。	学務課
52		1-①-ウ	学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放します。	令和5年度の利用者および件数 利用者数:326,736人(小学校:89,447 中学校:237,289) 利用件数:12,027件(小学校:6,385 中学校:5,642)	令和4年8月よりシステム導入。 導入後の利用者および件数 利用者数:126,882人(小学校:69,846 中学校:58,836) 利用件数:6,437件(小学校:3,309 中学校:3,128)	団体登録数の増加等により、利用実績が増加しました。	学務課
53	8	1-①-ウ	電子図書館機能の充実	電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。	・電子書籍 貸出数: 33,991点 ・オーディオブック 閲覧数: 6,084点 ・デジタル地域資料 所蔵点数: 788点(134タイトル)	・電子書籍 貸出数: 28,120点 ・オーディオブック 閲覧数: 5,316点 ・デジタル地域資料 所蔵点数: 784点(130タイトル)	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行うとともに、周知を強化し、利用の増加につなげました。 文の京デジタル文庫に、古地図や関東大震災図を追加し、資料の充実に努めました。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり エ 地域の学習拠点としての図書館づくり(p.25)								
54	9	1-①-エ	図書館サービスの充実	図書館資料やレファレンスサービス等の充実を図るほか、各種行事や資料の特集展示などを行い、図書館の利用促進と区民の読書活動の推進を図ります。	・図書館資料 貸出数：3,723,216点 ・レファレンス件数 2,019件 ・行事実績 映画会：42回 講演会・講座等：67回 コンサート・展示会等：40回 乳幼児向け行事：279回 幼児・小学生向け行事：471回 子ども会(人形劇等)：92回 子ども映画会：22回	・図書館資料 貸出数：3,846,252点 ・レファレンス件数 2,133件 ・行事実績 映画会：38回 講演会・講座等：55回 コンサート・展示会等：23回 乳幼児向け行事：181回 幼児・小学生向け行事：328回 子ども会(人形劇等)：58回 子ども映画会：23回	図書館資料の充実を図るとともに、時節に応じた特集展示を区立図書館全体で年間を通じて随時実施し、区民の読書活動の推進を図りました。 「藩校サミット」、「関東大震災100年」事業に関連し、図書館資料を活用した展示や様々な行事にも取り組み、情報発信を行いました。	真砂中央図書館
55		1-①-エ	地域資料の充実	区史や古地図等の地域資料を用いた調査・研究に資するため、資料の収集・提供を行うほか、資料を活用した特集展示などを行います。また、貴重な資料を長期的に保存し、幅広い利用者に提供するため、資料のデジタル化を進め、ホームページでの閲覧環境を充実させます。	関東大震災100年にあたり資料の特集展示を行いました。関連する地図資料を購入・電子化・公開しました。藩校サミットにちなみ、「文京の教育」についての特集展示を行いました。藩校資料を購入し、江戸時代からの文京地域である湯島聖堂付近の変遷地図を作成するなど、図書館資料を活用しての情報発信を行いました。文の京デジタル文庫に、地図資料4点を追加しました。(資料総数788点)	森鷗外没後100年記念事業として、資料の特集展示やブックリストの作成、鷗外とゆかりの文人のイラスト入りの葉の配布、ビブリオバトルや朗読会等に取り組みました。樋口一葉生誕150年にちなみ、浪曲会の開催、資料の特集展示等、図書館資料を活用しての情報発信を行いました。文の京デジタル文庫に、郷土資料及び行政資料9点を追加しました。(資料総数784点)	全館で「藩校サミット」「関東大震災100年」等、区の事業に関連した企画に取り組み、講演会や図書館資料の展示、防災課から借用したパネルやポスターの展示等も行いました。このことにより、利用者に対し、図書館資料を使った情報発信のみならず、区の取組についての情報提供もできたものと考えています。また、文の京デジタル文庫に、古地図、関東大震災図など、4点の郷土資料を追加することにより、情報発信に取り組み、利用促進を図りました。	真砂中央図書館
56		1-①-エ	図書館のインターネット環境の整備	図書館資料の検索等、利用者が多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるよう、インターネット端末を設置するとともに、公衆無線LANサービスを提供します。	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数(延べ) 11,381件	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数(延べ) 11,740件	インターネット端末の利用促進と併せて、公衆無線LANサービスの周知に努めました。	真砂中央図書館
57		1-①-エ	図書館ホームページの充実	利用者の利便性の向上を図るとともに、子ども・中高生向けページや電子書籍のページなど、様々な世代や利用目的に応じた情報発信を行い、読書活動を推進します。	・ホームページ(トップページ)アクセス数(延べ) 3,677,149件 ・インターネットによる予約件数(延べ) 1,494,983件	・ホームページ(トップページ)アクセス数(延べ) 3,823,581件 ・インターネットによる予約件数(延べ) 1,523,222件	利用者が常に新しい情報にアクセスできるよう、各図書館の開館状況や行事・特集展示など、情報の更新を随時行い、ホームページの充実を図りました。	真砂中央図書館
58		1-①-エ	大学との連携による図書館サービスの充実	大学や学生との連携により、行事等の充実を図ります。	・大学生の図書館ボランティアによる児童行事 真砂中央図書館：1回 小石川図書館：1回 目白台図書館：12回 千石図書館：4回	・大学生の図書館ボランティアによる児童行事 真砂中央図書館：1回 目白台図書館：12回 千石図書館：4回	区内大学の学生サークルとの連携により、児童向け行事や図書の実施、子どもたちの図書館利用の促進、館内の環境整備を図りました。	真砂中央図書館
59	10	1-①-エ	子どもの読書活動の推進	子どもたちが生涯にわたり読書習慣を身につけられるよう、発達段階に応じた行事や読書支援を行います。また、保護者への啓発や地域団体等との連携により、子どもの読書環境の整備に取り組みます。	・児童資料 貸出数：1,215,183冊 ・行事実績 乳幼児向け行事：279回 幼児・小学生向け行事：471回 子ども会(人形劇等)：92回 子ども映画会：22回 ・地域連携及び地域支援の実績 小学校、幼稚園、保育園、育成室等へ団体貸出数：845回(6,2950冊) 出張おはなし会：259回	・児童資料 貸出数：1,252,301冊 ・行事実績 乳幼児向け行事：181回 幼児・小学生向け行事：328回 子ども会(人形劇等)：58回 子ども映画会：23回 ・地域連携及び地域支援の実績 小学校、幼稚園、保育園、育成室等へ団体貸出数：1,060回(50,076冊) 出張おはなし会：159回	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、ブックリストの作成や、図書の充実、保護者や子どもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子や子どもが本に親しむ機会を提供しました。	真砂中央図書館
60		1-①-エ	大学連携による附属図書館の区民開放	区内大学附属図書館の区民開放により、区民の学習活動を支援します。	区民開放対象大学：6大学 ・閲覧等申請者数 延348人	・区民開放対象大学：6大学 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、各大学が学外利用者の受入を中止したため、利用登録の受付を中止しました。	区内6大学の協力による大学図書館の区民開放において、公共図書館では提供できない高度な学術書や専門書等の資料閲覧の機会を提供しました。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
61		1-①-エ	外国語資料の充実	外国語資料の収集や利用案内の多言語化等により、日本語を母国語としない利用者へのサービス向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語図書 貸出数: 5,186冊 新規受入れ冊数: 211冊 ・外国語絵本 貸出数: 12,893冊 新規受入れ冊数: 160冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 15回 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語図書 貸出数: 4,459冊 新規受入れ冊数: 533冊 ・外国語絵本 貸出数: 12,426冊 新規受入れ冊数: 144冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 11回 	多様な言語の資料の収集に努めるとともに、英語による読み聞かせの回数を増やし、外国語に接する機会を提供しました。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ② 学び続けるための活動の支援 ア 区民の主体的な学習活動の支援(p.26)								
62	11	1-②-ア	資格取得キャリアアップ講座	区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。	前期(7~9月) 3講座 16人(定員30人) 後期(10~3月) 5講座 17人(定員50人)	前期(5~11月) 5講座 8人(定員50人) 後期(9~1月) 2講座 23人(定員20人) (1講座中止)	区内大学との協働により、5講座を実施しました。受講者数は定員には達しませんでした。問い合わせは一定数あったことから、ニーズは高いものと認識しています。	アカデミー推進課
	12	1-②-ア	社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、その団体の施設利用を支援します。	アカデミー施設利用者数:113,394人 (内訳) アカデミー文京:35,586人 地域アカデミー:77,808人	アカデミー施設利用者数:102,057人 (内訳) アカデミー文京:33,408人 地域アカデミー:68,649人	新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、昨年度より多くの利用がありました。区民の自主的なサークル・団体への活動支援をすることができました。	アカデミー推進課
63	13	1-②-ア	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数793件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 400件 スポーツ・野外活動団体 393件	登録団体数 756件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 383件 スポーツ・野外活動団体 373件	関連施設への登録団体名簿の配架や、ホームページの更新で、最新情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。また、実績報告書の提出を依頼し、団体の活動内容を把握することができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
64		1-②-ア	文京区生涯学習サークル連絡会の支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学等の各種自主学習活動への支援を行います。	①代表者会議 【実施日】1/25 ②合同学習会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ③公開講座 【実施日】12/7 ④バス見学会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	①代表者会議 【実施日】5/19 ②合同学習会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ③公開講座 【実施日】11/17 ④バス見学会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	多くのサークル連絡会の会員にご参加いただくことができました。特に、講師の先生をお招きして開催した公開講座へは、55名の方に参加していただき、参加者アンケートでは、85%以上の方から「とてもよかった」「よかった」との感想をいただきました。	アカデミー推進課
65		1-②-ア	サークル活動の広報	アカデミー文京・地域アカデミー等において、各団体の活動内容等を記載した社会教育関係団体名簿の閲覧ができます。	各施設等で閲覧できる社会教育関係団体名簿について、随時登録内容の変更を受け付けており、月に一度名簿に変更内容を追加しています。また、生涯学習相談ほか、会員募集や展示会周知など、サークル活動の支援・紹介チラシ等を配架・掲出しました。	各施設等で閲覧できる社会教育関係団体名簿について、随時登録内容の変更を受け付けており、月に一度名簿に変更内容を追加しています。更に、令和4年度は登録団体の一斉更新を行い、より最新の活動内容に更新しました。また、生涯学習相談ほか、会員募集や展示会周知など、サークル活動の支援・紹介チラシ等を配架・掲出しました。	名簿を各施設に配架、ホームページに掲載することで、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動につなげることができました。更に、各施設窓口で活動の支援や紹介をすることにより、生涯学習活動の活性化や参加機会の提供等ができました。	アカデミー推進課
66		1-②-ア	男女平等センター資料コーナーの充実	関係機関との連携によって、男女平等参画に関する情報や資料を収集し提供します。	蔵書 図書7,255冊、新聞1紙、雑誌13誌、ビデオ・DVD等166本	蔵書 図書7,212冊、新聞1紙、雑誌15誌、ビデオ・DVD等166本	実施事業のテーマや講師の著書、利用者の要望、関係機関・団体からの情報提供などを参考にし、男女平等参画に関する資料等の充実を図っています。	総務課
67		1-②-ア	登録消費者団体との連携	必要とされる消費生活の情報提供を行い、消費者団体の活動促進を図ります。	・登録消費者団体 5団体 ・定例会開催(偶数月)6回(うち書面開催1回) ・消費者団体を講師とした、子ども向け研修会(夏休み期間3回)、子ども向け出前講座(夏休み期間15回)、消費生活展手づくり体験コーナー(4団体延10回)を実施 ・見学会 2回(光が丘清掃工場、国立公文書館)	・登録消費者団体 6団体 ・定例会開催(偶数月)6回(うち書面開催1回) ・消費者団体を講師とした、子ども向け講座(夏休み期間3回)、子ども向け出前講座(夏休み期間13回、うち2回リモート開催)、消費生活展手づくり体験コーナー(4団体延6回)を実施	定例会において、消費者団体に対して情報提供を行いました。夏休みの子どもの学習機会としての研修会・出前講座は、毎回多くの参加がありました。消費生活展会場での手づくり体験コーナーも好評で、多くの参加がありました。また、見学会をとおして消費生活に役立つ知識を習得し、啓発活動に活かしました。	経済課(消費生活センター)
68		1-②-ア	出前講座	区内各施設へ消費生活センターが向き、若者や高齢者の消費者被害防止のための講義や相談を受け付けます。「とびだせ！消費者きょういく」は感染症拡大防止のため事業を中断していましたが、令和5年度より消費生活出前講座と統合しました。	出前講座 7回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業見合わせ	地域活動センターや町会、大学等の依頼に応じて消費生活相談員が講師となり、消費者被害防止に役立つ講座を行いました。	経済課(消費生活センター)
69		1-②-ア	ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネートを行います。	相談件数 645件	相談件数 781件	ボランティア情報の収集を行い、希望に沿ったボランティアコーディネートを行いました。	福祉政策課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
70		1-②-ア	団体への講師派遣制度の実施	団体の自主的な学習を促進するため、学習団体等が合同で講習会等行う場合に講師を派遣します。	○東京富士クラブ1回(5月) 参加者14名 ○子育て広場しおみ 1回(12月) 参加者4組 ○おひさま0・1・2 3回(6月・10月・12月) 参加数:6月8組(16名)・10月12組(24名)・12月14組(28名) ○社会福祉協議会 1回(3月) 参加者11名	○東京富士クラブ1回	・熱中症予防やフレイル予防についての知識の提供や、地域資源の周知を行いました。 ・乳児の子育てをしている区民に対し、季節ごとの過ごし方と注意点、乳児の発育発達についての啓発、区で実施している事業の周知を行いました。 ・在宅福祉活動研修として保健サービスセンターのネウボラ事業について講義しました。	保健サービスセンター
1 学習活動 ② 学び続けるための活動の支援 イ 活動の成果を披露できる場の充実(p.27)								
71	14	1-②-イ	生涯学習フェア	文京アカデミア講座や区内大学生生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくることともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。	開催日:令和6年3月6日(水)・7日(木)来場者数:500人 開催場所:アートサロン、小ホール 参加団体:展示部門 10団体、発表部門16団体 展示:300人 発表:200人	開催日:令和5年2月28日(火)・3月1日(水)来場者数:590人 開催場所:ギャラリーシビック、アートサロン、小ホール 参加団体:展示部門 11団体、発表部門14団体 展示:303人 発表:287人	サークルの展示や活動紹介の会場が、例年と異なり会場のみでの実施となりましたが、アカデミア講座や区内大学が実施する生涯学習講座のほか、区内生涯学習サークル紹介のほか、小ホールでの舞台発表により、学習意欲の向上と学習活動へ一歩踏み出す契機の提供に繋がりました。	アカデミア推進課
	15	1-②-イ	体験教室ウィーク	地域におけるコミュニティの育成と生涯学習活動の支援を目的として、各地域アカデミーで活動する生涯学習団体を区民に紹介するとともに、生涯学習団体の活動に区民が参加する機会を創出し、団体活動を支援します。	62団体の参加があった。	47団体の参加があった。	新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくなり、参加団体数もコロナ禍以前の数を上回る結果となりました。	アカデミア推進課
	16	1-②-イ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民音楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計:20,556人	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計:29,990人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。コロナ禍で中止していた文化祭の茶会や伝統芸能の吟剣詩舞道大会、日本舞踊のつどいを再開しました。また単年度事業として「全国藩校サミット文京大会」及び記念事業を実施し区民に江戸時代の文化や教育に触れる機会を提供するとともに区の文化を内外に発信しました。	アカデミア推進課
72		1-②-イ	いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通して、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図ります。	いきいきシニアの集い 令和5年11月11日～12日実施 参加人数(2日間総合計):2,992人	いきいきシニアの集い 令和4年11月19日～20日実施 参加人数(2日間総合計):3,225人	高齢者やその子世代など、多世代の来場がありました。発表の場を設けることで高齢者の作品づくりへの達成感につながり、高齢者の生きがい向上を図ることができました。	高齢福祉課
73		1-②-イ	「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒になって「敬老の日」を祝います。 内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合い、お茶会を催します。	「敬老会」参加(*視聴覚室で開催) 延べ人数100人[シニア60人、リアン文京15人、一般+出演者25人]	「敬老会」参加(*視聴覚室で開催) 延べ人数77人[シニア75人、一般+出演者27人]	新型コロナウイルス感染症の防止に配慮して開催しました。手指消毒やマスク着用の効果をお伝えした上で推奨を謳いました。 職員による恒例となったダンスや、ゲストによるかつぱれ披露、歌唱・楽器演奏。インストラクターによる脳活ゲーム&脳活ダンス、椅子に座った状態でのダンス的な体操に会場の全員が参加され盛り上がりしました。 引き出物にディンジャ系のパンを用意し、季節感/秋を感じられる栗アンにしたのも好評でした。	高齢福祉課(福祉センター)
74		1-②-イ	福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図ります。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供します。	令和5年11月4日(土)、5日(日) 来場者(延べ)1835人 ボランティア(延べ)127人[障害者ボランティア団体30人、シニア2人、成人26人、町会12人、学生33人、手話会24人] イベント等参加人数(二日間延べ総合計):1,962人	令和4年11月5日(土)6日(日) 来場者(延べ)1775人 ボランティア(延べ)24人[学生13、その他11] イベント等参加人数(二日間延べ総合計):1,799人	新型コロナウイルス感染症の防止に配慮して開催しました。 飲食関係の模擬店を再開したり、恒例の作品展(障害者からシニアまで)、ゲームコーナーを設け、キッズからシニアまでの多世代が交流することができました。	高齢福祉課(福祉センター)
75		1-②-イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくります(作品展の実施)。	令和5年12月2日(土)～4日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,584人。	令和4年12月3日(土)～5日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,318人。	障害者に対する理解と認識を深め、また障害のある人もない人もともにふれあう交流の場となり、活気のある作品展を開催することができました。	障害福祉課
76		1-②-イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図ります(福祉作業所一歩いっほ祭り)。	・小石川福祉作業所 開催日:令和5年11月11日(土) ・大塚福祉作業所 開催日:令和5年11月4日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	障害のある方とない方との交流の場となり、参加者全員が楽しめるお祭りとなりました。	障害福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
77		1-②-イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図ります(本郷福祉センターほんわか祭り)。	開催日:令和5年11月25日(土) 参加者:361名 内容:缶バッジ作り、段ボールアート、射的、バルーンアート、体験ゲーム、自主生産品の販売等	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課
78		1-②-イ	障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供します(作品展の実施)。	令和5年12月2日(土)~4日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,584人。	令和4年12月3日(土)~5日(月)実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数 2,318人。	障害者に対する理解と認識を深め、また障害のある人もない人もともにふれあう交流の場となり、活気のある作品展を開催することができました。	障害福祉課
79		1-②-イ	ステージ・エコ	リサイクル事業のひとつとして、各種資源を回収し、ゲスト団体のブースを併せて展開します。	各種資源回収及びフードドライブ(未利用食品の回収)、陶磁器製食器類の頒布、ゲスト団体の出展を計5回実施しました。来場者数は令和5年5月12日(金)は143名、7月8日(土)は190名、9月9日(土)は183名、11月3日(金・祝)は399名、令和6年2月2日(金)は167名。	各種資源回収及びフードドライブ(未利用食品の回収)、陶磁器製食器類の頒布を計5回実施しました。来場者数は令和4年5月13日(金)は104名、7月9日(土)は182名、9月10日(土)は144名、11月23日(水・祝)は340名、令和5年2月10日(金)は92名。	多くの方が資源を持参され、2R推進の啓発を行うことができました。	リサイクル清掃課
80		1-②-イ	文京エコ・リサイクルフェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指すため3R推進月間に合わせて、リサイクル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民との交流を図ります。	令和5年11月3日(金・祝)にシビックセンター内にて開催しました。14団体が出展し、約700名が来場しました。	令和4年11月23日(水・祝)にシビックセンター内にて開催しました。15団体が出展し、約600名が来場しました。	パネル展示とおもちゃ修理を通じて、地球環境に配慮した資源循環型社会の構築について啓発しました。	リサイクル清掃課
1 学習活動 ② 学び続けるための活動の支援 ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進(p.27)								
81	17	1-②-ウ	ふれあいサロン	地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。	ポーダレス交流会、バレエ体操、スマートフォン教室等 61事業実施	スマートフォン教室、スマホアプリ教室、ポーダレス交流会等 46事業実施	地域人材を活用したサロンの開催などにより、住民の相互交流の場を提供することができました。	区民課
82		1-②-ウ	交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施します。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、映画会、カールット教室等	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、スマホ相談教室、落語会等	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施しています。	区民課
83		1-②-ウ	各種サークル等の育成	区民の自主的な学習活動を促進するため、各種サークルの支援を行います。	・グループ活動助成 1回	・グループ活動助成 2回	区報や消費生活展のパンフレットを通して、助成についての周知を行いました。 1団体に対して、消費生活に関する学習会に係る経費を助成しました。	経済課(消費生活センター)
84		1-②-ウ	ボランティア活動基盤づくり	ボランティア活動が円滑に行えるよう、ボランティア保険に関する案内や資機材の整備を行います。 ◎ボランティア活動室・機材の貸出し 印刷機、紙折り機、点字プリンター ◎ボランティア保険の加入受付	◎どっとファミコム登録団体数 141団体 ◎ボランティア保険の加入受付 4,159人	◎どっとファミコム登録団体数 169団体 ◎ボランティア保険の加入受付 2,748人	活動者の間接的な支援を行うことにより、活動の活性化をサポートしました。	福祉政策課
85		1-②-ウ	ボランティアの交流・協働への支援	ボランティア・市民活動団体の交流を図り、活動しやすい環境をつくる。また、多様な協働を支援し、区内のボランティア活動がより活発化するよう働きかけます。	文京つながるメッセ 1回開催	文京つながるメッセ 1回開催	多様な主体が関わるイベントとして、文京つながるメッセが年に一度開催されています。	福祉政策課
86		1-②-ウ	いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通じて、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図ります。	いきいきシニアの集い 令和5年11月11日~12日実施 参加人数(2日間総合計):2,992人	いきいきシニアの集い 令和4年11月19日~20日実施 参加人数(2日間総合計):3,225人	高齢者やその子世代など、多世代の来場がありました。発表の場を設けることで高齢者の作品づくりへの達成感につながり、高齢者の生きがい向上を図ることができました。	高齢福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
87		1-②-U	文京区家族介護支援事業	認知症の本人やその家族等の介護者を対象に、認知症家族交流会、介護者教室等を実施します。また、認知症の本人やその家族、地域住民、介護事業者など、誰もが集い、話せる場として認知症カフェを実施します。 ※認知症家族交流会、介護者教室、認知症カフェのいずれも区内の高齢者あんしん相談センターへの委託による実施	①認知症家族交流会 開催数:8回 参加者数:172人 ②認知症介護者教室 開催数:8回 参加者数:151人 ③認知症カフェ 開催数:29回 参加者数:362人	①認知症家族交流会 開催数:8回 参加者数:70人 ②認知症介護者教室 開催数:8回 参加者数:138人 ③認知症カフェ 開催数:22回 参加者数:255人	認知症本人やその家族等の孤立や不安感に寄り添い、介護に係る情報交換や地域における交流の場を提供できました。	高齢福祉課
88		1-②-U	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図ります(福祉作業所一歩いっぽ祭り)。	・小石川福祉作業所 開催日:令和5年11月11日(土) ・大塚福祉作業所 開催日:令和5年11月4日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	障害のある方とない方との交流の場となり、参加者全員が楽しめるお祭りとなりました。	障害福祉課
89		1-②-U	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供(本郷福祉センター)	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図ります(本郷福祉センターほんわか祭り)。	開催日:令和5年11月25日(土) 参加者:361名 内容:缶バッジ作り、段ボールアート、射的、バルーンアート、体験ゲーム、自主生産品の販売等	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課
90		1-②-U	文京エコ・リサイクルフェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指すため3R推進月間に合わせて、リサイクル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民との交流を図ります。	令和5年11月3日(金・祝)にシビックセンター内にて開催しました。14団体が出展し、約700名が来場しました。	令和4年11月23日(水・祝)にシビックセンター内にて開催しました。15団体が出展し、約600名が来場しました。	パネル展示とおもちゃ修理を通じて、地球環境に配慮した資源循環型社会の構築について啓発しました。	リサイクル清掃課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
1 学習活動 ③ 学びの循環による地域づくり ア 地域の学びを促進する人材育成の推進(p.28)								
91	18	1-③-ア	人材育成のための講座	区や公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。	2講座実施 受講者数:12人 文の京地域文化インタープリター養成講座 実施期間:令和5年10月7日(土)～令和6年2月17日(土) 10:00～12:00(全15回) 実施会場:跡見学園女子大学 受講者数:12人(定員30人/応募者数12人) 文京アカデミアサポーター養成講座 実施期間:令和5年6月15日(木)・19日(月)・22日(木)・26日(月)14:00～16:00(全4回) 実施会場:アカデミー文京 レクリエーションホールほか 受講者数:16人(定員15人/応募者数20人)	2講座実施 受講者数:41人 文の京生涯学習司養成講座 実施期間:令和4年10月31日(月)～12月22日(木) 18:50～20:30(全12回) 実施会場:文京学院大学本郷キャンパス 受講者数:24人(定員24人/応募者数31人) 文京アカデミアサポーター養成講座 実施期間:令和4年7月4日(月)・7日(木)・11日(月)・14日(木)14:00～16:00(全4回) 実施会場:アカデミー文京 学習室・レクリエーションホール・アトリエ 受講者数:17人(定員15人/応募者数18人)	区内大学との協働により「文の京地域文化インタープリター養成講座」を実施し、新たに12名が認定されました。また、文京アカデミアサポーターの会の協力を得て「サポーター養成講座」を実施し、受講した18名のうち16名が新規会員となり、アカデミア講座に従事いただきました。	アカデミー推進課
92	19	1-③-ア	学習支援者スキルアップ講座	財団と協働して事業を行う「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。	2講座実施 受講者数:48人 インターネットの安心な使い方 実施日時:令和5年9月21日(木)14:00～15:00 実施会場:アカデミー文京 学習室 講師:株式会社富士通ラーニングメディア・スタッフ 受講者数:32人(応募者数37人) ～ プランナー資質アップ講座 ～「よく聴く」「よく伝える」 開催日時:令和6年3月1(金)・4(月)・8(金)日(木)18:30～20:30 実施会場:アカデミー文京 学習室 講師:文京アカデミア生涯学習司の会会員 受講者数:16人(定員20人/応募者数16人)	2講座実施 受講者数:46人 パソコンのセキュリティについて 実施日時:令和4年9月29日(木)14:00～15:00 実施会場:アカデミー文京 学習室会場 講師:株式会社富士通ラーニングメディア・スタッフ 受講者数:28人(応募者数30人) 文京アカデミア講座を企画しよう 開催日時:令和5年1月25日(水)・2月1日(水)・8日(水)・22日(水)18:30～20:30 実施会場:アカデミー文京 学習室 講師:文京アカデミア生涯学習司の会会員 受講者数:18人(定員20人/応募者数18人)	情報モラルとインターネットの安全な使い方、傾聴やコミュニケーションスキル向上を目的とした講座を実施し、ICTを使用した情報収集、知見の蓄積の支援、幅広い企画提案力向上に繋がりました。	アカデミー推進課
93		1-③-ア	社会福祉士相談援助技術現場実習	社会福祉士の資格を取得する為の実習生の受入れを行います。 毎年8月下旬～10月上旬までの期間で計180時間	令和5年度は8月21日～10月10日まで実施 日本社会事業大学	新型コロナウイルスの影響により中止	社会福祉士の資格を取得するための実習となっているため、複数の大学より、学生の受入依頼があります。 ・実習指導者数が少なく、十分な学生の受入れができません。	福祉政策課
94		1-③-ア	ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進します。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成します。	なつぽろ参加者 243名(延べ人数) 手話講習会修了者数 115名 音訳講習会修了者 15名	なつぽろ参加者 141名(延べ人数) 手話講習会修了者数 75名	活動希望者がコロナ以前よりも増加している傾向にありました。	福祉政策課
95		1-③-ア	傾聴ボランティア講習会	傾聴の技術を学び、施設などで傾聴ボランティア活動を行うことを目的としたボランティア養成講座を開催します。	傾聴ボランティア講習会参加者 16名	傾聴ボランティア講習会参加者 16名	傾聴スキルを活かして、さまざまなボランティア活動で活躍できるベースの講習会として開催しました。	福祉政策課
96		1-③-ア	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識と理解を持って、地域や職域で認知症の本人やその家族を手助けするサポーターを養成します。 ※対象・・・区民・学校(小・中・高など)・区内企業	区民:205人 学校:454人 企業:402人 合計:1061人	区民:243人 学校:349人 企業:173人 合計:765人	認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を行うとともに、地域で認知症の本人やその家族の見守り等を行うサポーターを養成しました。	高齢福祉課
97		1-③-ア	ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進します。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成します。	5月、7月、9月、11月、1月、3月の計6回、文京区登録手話通訳者28名に対し専門研修を実施した。	5月、7月、11月、1月、3月の計5回(7月は2回分を1日で実施)、文京区登録手話通訳者27名に対し専門研修を実施した。	専門的な知識を持ったボランティアを育成することができました。	障害福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
98		1-③-ア	子育てサポーター認定制度	地域における子育て支援の担い手を育成するため、全国共通の子育て支援員制度と文京区独自のカリキュラムで構成する子育てサポーター認定制度を実施します。子育てサポーターに認定された方は、社会福祉協議会がファミリー・サポート・センター事業を拡充して実施する訪問型保育事業の担い手として活動します。今回、子育てサポーター認定制度における子育て支援員研修について、区内大学との事業連携により実施します。	○ベーシックサポーター認定研修 研修実施回数 3日×2回 (1・2日目: 貞静学園短期大学) (3日目: 社会福祉協議会) ○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数 4日×2回 (1・2日目: 貞静学園短期大学) (3・4日目: 全国保育サービス協会、社会福祉協議会) ○居場所サポーター認定研修 研修実施回数 3日×1回 (子育てひろば全国連絡協議会、社会福祉協議会)	○ベーシックサポーター認定研修 研修実施回数 2日×2回 (貞静学園短期大学) ○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数 4日×2回 (1・2日目: 貞静学園短期大学) (3・4日目: 全国保育サービス協会) ○居場所サポーター認定研修 研修実施回数 1日×1回 (子育てひろば全国連絡協議会)	ベーシックサポーター認定研修では計19名を、スタンダードサポーター認定研修では計35名を認定しました。 また、居場所サポーター認定研修では、計32名を認定しました。 受講者数をより増やすために、各研修について区報、B-メール、HP及び区設掲示板にて広報し、周知を行いました。 今後も関係団体と協力し、計画的な研修の実施に努め、地域における子育て支援の担い手の確保・育成に取り組んでいきます。	子育て支援課
99		1-③-ア	環境ライフ講座	地域における環境保全の必要性を学び、自ら環境保全の意識啓発に取り組み活動する人材を育成することを目的とした講座を開催します。	全7講座開催 定員:15人 参加人数:15人(うち修了生12名)延べ75人参加 (平成12年度より事業開始)	1講座全7回開催 定員:15人 参加人数:15人(うち修了生13人)、延べ81人 (平成12年度より事業開始)	令和5年度は、自ら環境保全の意識啓発に取り組み、情報発信が行える人材を育成するため、発信力向上に関する知識や情報を提供しました。 次年度は、より多くの方が参加しやすいよう、2講座を同日に開催するなどより効率的に実施します。	環境政策課
100		1-③-ア	文京ecoカレッジ リサイクル推進サポーター養成講座	廃棄物を減らし資源循環型社会の構築を目指すため、地域でのリサイクル推進活動及び区のリサイクル事業への区民参画を進め、3Rの推進の実践につながる人材の育成及び活用を図るための「リサイクル推進サポーター」を養成します。	令和5年5~6月計4回既存サポーター登録者を対象にサポータースキルアップ講座を開講しました。参加者は24名。	令和5年5~6月計4回新規サポーター登録予定者を対象にサポーター養成講座を開講しました。参加者は16名。 (内1名既存サポーター)	講座の受講生は、3Rの推進、ごみ減量に関心の高い既存のサポーターの方が、24名参加されました。清掃工場見学も再開し、見学を通して、ごみの行方について理解が深まりました。今後も新規サポーターの養成と既存のサポーターのスキルアップを継続して実施し、一層3R推進活動に取り組んでいきます。	リサイクル清掃課
101		1-③-ア	PTA育成(PTA研修会)	PTAを育成するため、学習の場として、また、PTA相互の交流を図るため、研修会を開催します。	【広報研修会実施日(参加人数)】 5月23日(25名)	【広報研修会実施日(参加人数)】zoom開催 4月18日(32名)	PTA広報誌作成の実践講座であり、初めて役員になったPTAに好評でした。開催時期が早いとの声があるため次回は開催時期を遅くしたい考えです。	教育総務課
102		1-③-ア	PTA育成(PTA連合会主催事業の支援)	PTA連合会事業を共催または支援することにより、PTAを育成します。PTA相互の連携強化、家庭教育力の向上を図ります。	①区立中学校PTA連合会スポーツフェスティバル ②区立小学校PTA連合会バレーボール大会 ③区立小学校PTA連合会卓球大会 ④区立小学校PTA連合会バスケットボール大会	①区立中学校PTA連合会スポーツフェスティバル ②区立小学校PTA連合会バレーボール大会 ③区立小学校PTA連合会卓球大会 ④区立小学校PTA連合会バスケットボール大会	PTA連合会事業を行いことにより、PTA相互の連携が強化され、PTA会員同士が交流出来る良い機会となりました。	教育総務課
103		1-③-ア	PTA育成(親子ふれあい教室)	PTAが実施する親子のふれあいを深めるための事業を支援し、経費の一部を負担します。	対象:区立幼稚園、小学校、中学校 全40校園 【実績】31校園	対象:区立幼稚園、小学校、中学校 全40校園 【実績】30校園	各学校のPTAが、充実したPTA活動を計画し、親子の触れ合いを大切に活動を行いました。	教育総務課
104		1-③-ア	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	区内で非営利活動を行う団体(NPO等)が実施する、青少年の社会参加を推進する事業に対して、経費の一部を補助します。これにより、当該事業の充実を図り、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供し、青少年の自立を促進することを目的とします。	2団体の各事業に対し経費の一部を補助しました。	2団体の各事業に対し経費の一部を補助しました。	雪遊びやチャレンジウォーク等の事業補助によって、青少年が社会と関わり、交流する機会を生み出すことができました。	児童青少年課
105		1-③-ア	文京区青少年健全育成会活動支援	青少年の健全育成のため活動している文京区青少年健全育成会(9地区)を支援します。	各青少年健全育成会が文京区における青少年の健全育成を推進するための事業に要する費用を補助しました。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響から停滞していた育成会等の地域活動の再開・活性化を後押しするために、追加補助(1地区200,000円)を行い、活動の支援を図りました。	全地区(9地区)において、ほぼコロナ禍前と同程度の事業を実施しました。	新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している育成会活動を後押しするために、追加補助(1地区200,000円まで)を行い、活動支援を図りました。	児童青少年課
1 学習活動 ③ 学びの循環による地域づくり イ 人材活用の仕組みの構築(p.29)								
106	20	1-③-イ	区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。	前期(5~7月) 5講座 72人(定員71人/応募者数123人) 後期(9~12月) 6講座 67人(定員60人/応募者数82人) 後期II(1~3月) 4講座 91人(定員91人/応募者数151人)	前期(5~6月) 5講座 70人(定員70人/応募者数118人) 後期(10~12月) 6講座 70人(定員86人/応募者数271人) 後期II(1~3月) 4講座 46人(定員46人/応募者数136人)	生涯学習相談にて、事前相談や申込書の書き方レクチャーを継続したとともに、企画選定委員会においては、社会のトレンドも意識した講座を選定しました。	アカデミー推進課
107		1-③-イ	区民プロデュース講座の企画支援	区民プロデュース講座企画者の負担を軽減し、企画を支援するための取り組みを実施します。	原則、毎週、水~金の午後実施 相談件数 140件 (うち区民プロデュース企画相談・受付86件)	原則、毎週、水~金の午後実施 相談件数 171件 (うち区民プロデュース企画相談・受付78件)	年間を通して生涯学習相談を実施し、事前相談や申込書の書き方レクチャーを継続したとともに、生涯学習支援者を対象にスキルアップ講座を実施し、ICTを使用した情報収集、知見の蓄積の支援、幅広い企画提案力向上に繋がりました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
108	21	1-③-イ	各種講座・展示会の企画への起用	インタープリターや生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業(企画展等)を展開していきます。	実施事業数:37件	実施事業数:29件	アカデミア講座の提案、特別公開講座の企画、受託による実施など、幅広い領域のコーディネートにより、区民と生涯学習を結びつける大きな要素となりました。	アカデミー推進課
1 学習活動 ③ 学びの循環による地域づくり ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進(p.29)								
109		1-③-ウ	大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)	大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活用した事業として、大学プロデュース特別公開講座(大学学長の講演会)を実施します。	企業におけるDXの変遷と課題 —会計情報システムをてがかりに— 実施日:令和5年12月16日(土)13:30~15:00 受講者数:89人(定員150名/応募者数137人) 会場:中央大学茗荷谷キャンパス	樋口一葉生誕150年記念 「女子教育の時代を生きる 一跡見花溪と樋口一葉」 実施日:令和4年9月10日(土) 受講者数:86人(定員200名/応募者数94人) 会場:跡見学園女子大学	地域特性を活かした区内大学の学長による講演会を実施したことにより、高度かつ専門的な講座の提供が叶い、区民の知的好奇心に応えられました。	アカデミー推進課
110		1-③-ウ	地域に関する講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミアの中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	前期(5~7月)3講座 80人(定員80名/応募者数144人) 後期(9~12月)2講座 39人(定員40名/応募者数129人) 後期Ⅱ(1~3月)1講座 30人(定員30名/応募者数34人)	前期(5~7月)2講座 35人(定員35名/応募者数84人) 後期(10~12月)3講座 55人(定員64名/応募者数129人) 後期Ⅱ(1~3月)1講座 20人(定員20名/応募者数35人)	前年度に引き続き、文京区の歴史や魅力など、文の京に特化した講座を実施したほか、いきいきアカデミアにおいても区ゆかりの人物の紹介や区内博物館等の見学を実施しました。	アカデミー推進課
111		1-③-ウ	大学連携による各種事業	区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。	受講者数:1059人 アカデミア講座:27講座 642人(定員702名/応募者数865人) 夏休み子どもアカデミア:9講座 171人(定員182名/応募者数831人) 文の京・最先端生命科学講座 3講座 157人(定員150名/応募者数216人) 学長懇談会 89人(定員150名/応募者数137人)	受講者数:974件 アカデミア講座:29講座 584人(定員701名/応募者数847人) 夏休み子どもアカデミア:8講座 143人(定員168名/応募者数1248人) 文の京・最先端生命科学講座 3講座 161人(定員160名/応募者数217人) 学長懇談会 86人(定員200名/応募者数94人)	アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等を継続したほか、大学との意見交換や情報の共有を通じ、新たな講座メニューの提供に繋がりました。	アカデミー推進課
112		1-③-ウ	区内大学学長懇談会の実施	区内大学学長懇談会を開催し、区と大学との連携の強化を図ります。	実施日:令和5年12月5日(火)10:30~13:00 場所:東京ドームホテル5階小宴会場「真砂」 参加大学:区内18大学 テーマ:「アフターコロナにおける大学の取組みについて」	実施日:令和4年12月12日(月)14:30~16:00 参加大学:区内18大学 テーマ:「大学におけるDXの推進状況について」 ※新型コロナウイルス感染防止のため、会食なし・ハイブリット形式で開催	対面で会食ありの方式で行い、区内18大学とアフターコロナにおける大学の取り組みについての意見交換ができました。	アカデミー推進課
113		1-③-ウ	区内大学等との連携の拡大	区民にとって大学を文化的資産ととらえ、区と大学が相互に協力することで、文化・教育の学びの場としての賑わいを図り、文京区の魅力を高め、地域社会の活性化を目指します。	相互協力協定締結大学 区内16大学 区内大学との連携事業数 5年度114件	相互協力協定締結大学 区内16大学 区内大学との連携事業数 4年度108件(うち4件はコロナの影響により中止又は延期)	令和4年度より連携事業数が6件増加しました。幅広い分野の事業で大学との連携・協働ができています。	アカデミー推進課
114		1-③-ウ	大学の人材の起用	大学プロデュース講座・大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)を充実させることで区内大学の人材を講師等として起用します。	受講者数:1059人 アカデミア講座:27講座 642人(定員702名/応募者数865人) 夏休み子どもアカデミア:9講座 171人(定員182名/応募者数831人) 文の京・最先端生命科学講座 3講座 157人(定員150名/応募者数216人) 学長懇談会 89人(定員150名/応募者数137人)	受講者数:974件 アカデミア講座:29講座 584人(定員701名/応募者数847人) 夏休み子どもアカデミア:8講座 143人(定員168名/応募者数1248人) 文の京・最先端生命科学講座 3講座 161人(定員160名/応募者数217人) 学長懇談会 86人(定員200名/応募者数94人)	アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等を継続したほか、大学との意見交換や情報の共有を通じ、新たな講座メニューの提供に繋がりました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
115	23	1-③-U	文京お届け講座	区民の自主的な学習活動を支援するとともに、区の職員が地域の団体の要望に応じて講師として職務に関する話をする事で、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図ります。	計24件、参加者計 693 名 【実施日・講座名】 5月3日 「食中毒について」 5月19日 「健康に関すること」 5月20日 「障害福祉の制度について」「障害者の就労について」 6月15日 「健康に関すること」 6月21日 「障害者の就労について」 7月6日 「女性の健康について」 7月12日 「感染症の予防について」 7月13日 「文京区のリサイクル・ごみ問題」 7月28日 「感染症の予防について」 8月6日 「知っておこう選挙のはなし」 8月21日 「障害に関する理解の促進について」 8月23日 「文京区の防災対策」 8月25日 「女性の健康について」 8月25日 「食中毒について」 8月28日 「文京区の防災対策」 9月11日 「わたしたちと都税」 10月11日 「個人向けサイバー犯罪被害防止講座」 10月25日 「健康に関すること」 11月6日 「文京区の歴史から(オリジナル講座)」 11月24日 「文京区の文化保護行政について」 12月4日 「文京の坂道と文学について」(オリジナル講座) 12月6日 「健康に関すること」 12月7日 「区および社協の関連する募金に関して」(オリジナル講座) 2月7日 「文京区の防災対策」	計18件、参加者計455名 【実施日・講座名】 6月6日 「文京ふるさと歴史館について」関連講座 6月21日 「文京区の観光振興について」 7月4日 「文京ふるさと歴史館について」関連講座(2) 7月7日 「介護保険制度について」関連講座 9月9日 「わたしたちと都税」 9月11日 「地球温暖化対策について」 10月3日 「文京ふるさと歴史館について」関連講座 10月19日 「健康に関すること」 10月30日 「文京区の防災対策」 12月6日 「文京ふるさと歴史館について」関連講座 12月11日 「文京ふるさと歴史館について」関連講座 2月10日 「障害者の就労について」 2月18日 「文京ふるさと歴史館について」関連講座 2月24日 「えほんがすき！ー読み聞かせの手引きー」 3月14日 湯島総合センター(文京福祉センター湯島)建て替えについて 3月15日 「エイズ性感染症を正しく知っておこう」 3月21日 旧元町小学校と元町公園との一体化事業について 3月25日 文京区の運動施設はどの様に運営されているか	区の施策等に対する理解を深めることができました。引き続き、要望に応えつつ、区民の自主的な学習活動を支援していくとともに、申込が簡略化できるよう、現行の申込方法を電子化していきます。	アカデミー推進課
116	24	1-③-U	「文京学」講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講座の中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	前期(5~7月) 3講座 80人(定員80人/応募者数14人) 後期(9~12月) 2講座 39人(定員40人/応募者数129人) 後期Ⅱ(1~3月) 1講座 30人(定員30人/応募者数30人)	前期(5~7月) 2講座 35人(定員35人/応募者数84人) 後期(10~12月) 3講座 55人(定員64人/応募者数129人) 後期Ⅱ(1~3月) 1講座 20人(定員20人/応募者数35人)	前年度に引き続き、文京区の歴史や魅力など、文の京に特化した講座を実施したほか、いきいきアカデミアにおいても区ゆかりの人物の紹介や区内博物館等の見学を実施しました。	アカデミー推進課
117		1-③-U	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助28団体	地域広報紙発行補助28団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっています。	区民課
118		1-③-U	お茶大こどもフォーラム	平成28年4月に開設した区立保育所型認定こども園の運営を、お茶の水女子大学に委託しており、こども園の運営を通じた研究成果の還元として、お茶大こどもフォーラムを年に1回開催しています。	運営業務委託を行い、全年齢(0~5歳児)計93人を受け入れました。また、こども園の運営を通じた研究成果の還元として、今年是对面で「こどもフォーラム」を開催しました。また、地域の子育て支援の一環として、「のびのび子育てサロン」を2回開催しました。	運営業務委託を行い、全年齢(0~5歳児)計93人を受け入れました。また、こども園の運営を通じた研究成果の還元として、「こどもフォーラム」をオンラインにより開催しました。お茶の水女子大学、附属幼稚園、いずみナーサリー及び区立お茶の水女子大学こども園の4つの組織が連携した研究成果を冊子にまとめ、広く保育施設や保護者に配布を行っています。	「こどもフォーラム」は、毎回、区内の公私立保育園・幼稚園関係者はもちろんのこと、日本中の保育者や研究者が数多く参加し、好評を得ています。また、お茶の水女子大学内にある3園が連携して実践した研究成果を冊子にまとめ、広く保育施設や保護者に配布を行っています。	幼児保育課
119		1-③-U	木のクイズラリーイン東大	東大とその周辺にある複数の樹木を、地図を頼りにまわり、クイズに答えながらシールを集めてもらいます。全てのシールを集めた児童には記念品をプレゼントします。	11/19(日) 10:00~15:00 参加人数:定員175組(うち児童220人)、参加者119組(うち児童148人) 開催場所:東京大学(本郷キャンパス)	11/20(日) 10:00~15:00 参加人数:定員150組(うち児童179人)、参加者101組(うち児童131人) 開催場所:東京大学(本郷キャンパス)	毎年人気が高く多数の応募があり、定着した事業となっています。	みどり公園課
120		1-③-U	社会科副読本の作成及び購入(地域についての学習の推進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するため社会科副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたしたちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購入します。	ふるさと学習副読本の作成(デジタル版も含む) 小学校版「わたしたちの文京区」の改訂 小学校版「わたしたちの文京区 指導の手引き」の改訂 「わたしたちの東京都」購入 「わがまち文京」中学校版の改訂	ふるさと学習副読本の作成(デジタル版も含む) 小学校版「わたしたちの文京区」の改訂 小学校版「わたしたちの文京区 指導の手引き」の改訂 「わたしたちの東京都」購入 「わがまち文京」中学校版の改訂	文京区内の身近な地域のことを児童・生徒の発達段階に即して作成することで、地域のことをより深く理解することにつながることができました。毎年の改定により、文京区の最新の取組や特徴について、児童・生徒の文京区への理解を深めることができました。	教育指導課
121		1-③-U	東京大学総合研究博物館スクール・モバイルミュージアム(地域大学等連携事業)	平成29年度からは地域大学等連携事業として、東京大学総合研究博物館の研究成果を教育センターで展示し、トークイベント等を実施します。	年間2テーマの展示を行い、トークイベントを8回実施しました。 小中学生789名、大人2,803名の来場がありました。	年間2テーマの展示を行い、トークイベントを10回実施しました。 小中学生986名、大人4,095名の来場がありました。	東京大学総合研究博物館と連携し、最先端の科学技術研究成果を子ども達に還元することができています。	教育センター

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
122		1-③-ウ	大学連携による附属図書館の区民開放	区内大学附属図書館の区民開放により、区民の学習活動を支援します。	区民開放対象大学:6大学 ・閲覧等申請者数 延348人	・区民開放対象大学:6大学 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、各大学が学外利用者の受入を中止したため、利用登録の受付を中止しました。	区内6大学の協力による大学図書館の区民開放において、公共図書館では提供できない高度な学術書や専門書等の資料閲覧の機会を提供しました。	真砂中央図書館
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 ア スポーツの楽しさを知る機会の創出 (p.35)								
123	25	2-①-ア	初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	(1)初心者合気道教室 実施回数:6回 会場:文京総合体育館 対象:小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 116人 (2)初心者アーチェリー教室 実施回数:6回 会場:文京総合体育館 対象:高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 126人 (3)初心者弓道教室 実施回数:6回 会場:文京スポーツセンター 対象:高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 159人 (1)～(3)主催:スポーツ施設指定管理者	(1)初心者合気道教室 実施回数:6回 会場:文京総合体育館 対象:小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 118人 主催:スポーツ施設指定管理者 (2)初心者アーチェリー教室 実施回数:6回 会場:文京総合体育館 対象:高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 93人 主催:スポーツ施設指定管理者 (3)初心者弓道教室 実施回数:6回 会場:文京スポーツセンター 対象:高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 160人	初めての競技に挑戦するきっかけづくりとして、一人では中々始めることができない3種目について初心者向け教室を実施し、たくさんの方のお申込み、ご参加をいただくことができました。 種目:アーチェリー、合気道、弓道	スポーツ振興課
124		2-①-ア	小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	(1)ジュニアローラー教室 実施日:8月2日(水)、8月3日(木) 会場:東京ドームローラースケートアリーナ 対象:小中学生 参加者数:42人 主管:文京区ローラースポーツ連盟 (2)ジュニアサッカー教室 実施日:12月9日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3～6年生 参加者数:75人 主管:少年サッカー連盟、JFA	(1)ジュニアローラー教室 実施日:8月2日(火)、8月3日(水) 会場:東京ドームローラースケートアリーナ 対象:小中学生 参加者数:46人 主管:文京区ローラースポーツ連盟 (2)ジュニアサッカー教室 実施日:12月10日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3～6年生 参加者数:112人 主管:少年サッカー連盟、JFA	普段あまり接することができないスポーツを体験する機会を作ることができました。また、地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができ、両教室ともアンケートで大変満足・満足と回答した割合は98%を超えていました。	スポーツ振興課
125		2-①-ア	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	(1)小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月16日(日)、4月23日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1～4年生親子 参加者数:270人 主管:ジャイアンツアカデミー (2)タグラグビー教室 雨天のため中止 主管:トヨタヴェルブリッツ (3)親子ボウリング教室 実施日:8月21日(月)、8月22日(火) 会場:東京ドームボウリングセンター 対象:小学生の親子 参加者数:66人 主管:文京区ボウリング連盟 (4)ヨネックスと学ぶ親子テニabin体験会 実施日:11月12日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1～4年生の親子 参加者数:88人 主管:ヨネックス (5)アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日:10月28日(土) 会場:文京総合体育館 対象:4歳以上、小学1～3年生の親子 参加者数:72人 主管:アルバルク東京 (6)フライングディスク教室 実施日:11月5日(日) 会場:小石川運動場	(1)小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月17日(日)、4月24日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1～4年生親子 参加者数:211人 主管:ジャイアンツアカデミー (2)タグラグビー教室 実施日:6月4日(土) 会場:目白台運動公園 対象:4歳以上、小学1～3年生とその保護者 参加者数:102人 主管:トヨタヴェルブリッツ (3)親子ボウリング教室 実施日:8月27日(土)、9月3日(土) 会場:東京ドームボウリングセンター 対象:小学生の親子 参加者数:22人 主管:文京区ボウリング連盟 (4)ヨネックスと学ぶ親子テニabin体験会 実施日:9月17日(土) 会場:文京総合体育館 対象:小学1～4年生の親子 参加者数:72人 主管:ヨネックス (5)アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日:10月8日(土) 会場:文京総合体育館 対象:4歳以上、小学1～3年生の親子 参加者数:30人 主管:アルバルク東京	親子で気軽に楽しくスポーツをすることができる機会を創出することができました。コロナ禍前と同規模で実施することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
126		2-①-ア	スポーツの日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	(1)スポーツ施設無料開放 実施日:令和5年10月9日(月) 会場:区内スポーツ施設等(8か所) 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:屋内・体育館…2,952人、屋外運動場…雨天中止 主催:区立スポーツ施設及び目白台運動公園指定管理者	(1)スポーツ施設無料開放 実施日:令和4年10月10日(月) 会場:区内スポーツ施設(8か所) 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:屋内・体育館…3,528人、屋外運動場…684人 主催:スポーツ施設指定管理者	区民の近場における「お出かけ」や「体を動かしたい」というニーズに応え、好評でした。 令和5年度も雨天のため、屋外の事業が中止となった影響が大きく、想定していた参加者を大きく下回る結果となりました。	スポーツ振興課
127	26	2-①-ア	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,334日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 24,589人 (2)フールー般開放 実施日数:4日間(8/5~8/7 午後5時から午後7時まで) 会場:区立音羽中学校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延331人	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,385日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 23,878人	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 フールー般開放は、4年振りの再開となり、区立中学校1校で4日間実施しました。特に土日に利用者が多く、混雑回避のため、入場制限を行いました。	スポーツ振興課
新規	27	2-①-ア	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えバラスポーツやアパンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	実施日:10月21日(土) 会場:教育の森公園、文京スポーツセンター 対象:どなたでも 参加延べ人数:8,394人 内容:ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント ・アルバルク東京チアパフォーマンス ・明治大学男子チアリーディングチームANCHORSパフォーマンス ・車いすマラソン 洞ノ上 浩太選手講演 ・パラテコンドー福富 信彦選手講演、パフォーマンス ・車いすバスケットボール デモンストレーション ・バスケールパフォーマンス ・スケートボードパフォーマンス (2)体験ブース ・バスケットボール(アルバルク東京) ・ラグビー ・卓球 ・トランポリン ・ストラックアウト・ティーバッティング(読売巨人軍) ・バレーボール ・キックターゲット・スピードガン(CLUB LB&BRB 東京ユナイテッドFC/文京LBレディーズ) ・ボルダリング ・スケートボード ・バスケール ・車いすバスケットボール ・サウンドテーブルテニス ・車いすフェンシング		地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	スポーツ振興課
128		2-①-ア	各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場として、各種区民スポーツ大会を開催します。	(1)区民大会参加者数:延 8,266人 (2)都民大会派遣人数:延 316人 (3)スポーツ少年団交流事業 実施日:11月26日 会場:スポーツセンター 種目:ポッチャ 参加者数:121人	区民大会参加者数:延 5,694人 都民大会派遣人数:延 231人 スポーツ少年団交流事業:中止	各種区民スポーツ大会を開催し、区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場を増やすことができました。	スポーツ振興課
129		2-①-ア	アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。	(1)ファミリーハイキング教室 実施日:6月4日(日) 会場:宝登山(埼玉県秩父郡) 対象:小学生以上 参加者数:46人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (2)ぶんきょうウォーキング教室 実施日:11月3日(金・祝) 会場:徳川家ゆかりの地(文京区) 対象:小学生以上 参加者数:62名 主管:文京区スポーツ推進委員会	(1)ファミリーハイキング教室 新型コロナウイルス感染症に鑑み、代替として区内文豪ゆかりの地を巡るウォーキングイベントを実施。 実施日:6月5日(日) 会場:区内文豪ゆかりの地 対象:小学生以上 参加者数:64名 主管:文京区スポーツ推進委員会 (2)ぶんきょうウォーキング教室 実施日:11月3日(木・祝) 会場:森鷗外ゆかりの地(文京区・台東区) 対象:小学生以上 参加者数:65名 主管:文京区スポーツ推進委員会	気軽かつ手軽に参加できるため、普段スポーツに馴染みがない人に対し、運動を身近に感じてもらえるきっかけになりました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
130		2-①-ア	シニア向けスポーツ教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施します。	(1)高齢者水泳+健康体操教室:延469人 (2)シニア健康体操教室:延914人 (3)高齢者水中ウォーキング教室:延1,289人 (1)~(3)主催:スポーツ施設指定管理者	(1)高齢者水泳+健康体操教室:延べ396人 (2)シニア健康体操教室:延べ712人 (3)高齢者水中ウォーキング教室:延べ1,339人	人気の高い高齢者水中ウォーキング教室など、気軽に参加できる教室として、高齢者の健康づくりの場を提供することができました。	スポーツ振興課
131		2-①-ア	着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施します。	(1)着衣泳講習会 実施日:7月2日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:31人 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)着衣泳講習会 実施日:7月10日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:25人 主催:スポーツ施設指定管理者	水中での事故に対する知識や簡易救助法などの技術を習得してもらうことで、水辺の安全教育の一環に資することができました。	スポーツ振興課
132		2-①-ア	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延79人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延111人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
133		2-①-ア	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。 1. あおぞらすくすく広場 一施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2. 親子すくすく教室 一未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3. 園児すくすくプログラム 一園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	(1)あおぞらすくすく広場 実施日数:63日 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延3,601人 主催:スポーツ施設指定管理者 (2)親子すくすく教室 実施日数:23日 会場:後楽公園少年野球場 対象:満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延133人 (3)園児すくすく教室 実施回数:29回(1日に複数回実施あり) 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数:延606人	(1)あおぞらすくすく広場 実施日数:68日 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延3,680人 主催:スポーツ施設指定管理者 (2)親子すくすく教室 実施日数:22日 会場:後楽公園少年野球場 対象:満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延236人 (3)園児すくすく教室 実施回数:35回(1日に複数回実施あり) 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数:延645人	屋外スポーツ施設について、空きの多い時間帯を有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提供することができました。	スポーツ振興課
134		2-①-ア	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員会への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	1 委託事業 (1)ファミリーハイキング教室 実施日:6月4日(日) 会場:宝登山(埼玉県秩父郡) 対象:小学生以上 参加者数:46人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (2)ぶんきょうウォーキング教室 実施日:11月3日(金・祝) 会場:徳川家ゆかりの地(文京区) 対象:小学生以上 参加者数:62名 主管:文京区スポーツ推進委員会 (3)ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月3日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:227人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月5日(日) 会場:指ヶ谷小学校体育館 参加者数:50人 (4)この指とまれクラブ 実施日:4月23日(日)、5月28日(日)、6月25日(日)、9月24日(日)、10月22日(日)、11月26日(日)雨天中止、12月24日(日)、1月28日(日)、2月25日(日)雨天中止、3月24日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生	1 委託事業 (1)ファミリーハイキング教室 129(1)に記載 (2)ぶんきょうウォーキング教室 129(2)に記載 (3)ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人 (4)この指とまれクラブ 実施日:5月29日(日)、9月25日(日)、10月23日(日)、11月27日(日)、12月25日(日)、1月22日(日)、2月26日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生 参加者数:369人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (5)広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1)スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3 研修 (1)指導者講習会(普通救命講習) 5月28日(土)	全事業についてコロナ禍前とほぼ同規模で実施することができました。 また、この指とまれクラブについては、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生の協力を得ながら運営することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 イ ユニバーサルスポーツの普及振興(p.36)								
135	28	2-①-イ	ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやポッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。	(3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月3日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:227人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月5日(日) 会場:指ヶ谷小学校体育館 参加者数:50人	(3) ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人	ニュースポーツ大会では令和4年度よりも30人参加者が増えました。小学生、障害者、高齢者等多様な参加者が大会に申し参加し、誰もが楽しく参加できるイベントが実施できました。	スポーツ振興課
136		2-①-イ	スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。	(1) スポ・レクひろば 開催数:10回+1回(打合せ) 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センター 参加者数:395人 内容:フライングディスク、風船バレー等の軽スポーツ及びレクリエーション (2) 4区合同レクリエーション 滝野川体育館にて北区、台東区、荒川区と共に交流を行いました。	(1) スポ・レクひろば 開催数:12回+3回(打合せ) 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センター 参加者数:245人 内容:フライングディスク、風船バレー等の軽スポーツ及びレクリエーション (2) 4区合同レクリエーション 新型コロナウイルスに鑑み、4区が一カ所に集まるのを止め、ビデオの交換による交流を実施しました。	対面で全回実施でき、参加者が大幅に令和4年度を上回りました。レクリエーション・スポーツをきっかけとした仲間づくりや社会参画の促進につながりました。また、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生がボランティアとして参加することで活気つき、安全面でもより安心な運営ができるようになりました。	スポーツ振興課
137	29	2-①-イ	障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	(1) ユニバーサルスポーツフェスタ 実施日:2月17日(土) 会場:文京スポーツセンター 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:50人 主管:東京ヴェルディ (2) ポッチャプースの展覧 ①つつじまつり 実施日:4月15日(土) 会場:根津神社 参加者数:30名 ②あじさいまつり 実施日:6月10日(土) 会場:白山神社 参加者数:200人 ③下町まつり 実施日:10月15日(日) 会場:根津神社 参加者数:270人 ④菊まつり 実施日:11月18日(土) 会場:湯島天満宮 参加者数:175人 (4)スポ育 実施校:18校 参加者:1,607名 会場:各学校	(1) インクルーシブサッカーフェスタ 実施日:11月12日(土) 会場:小石川運動場 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:28人 主管:東京ヴェルディ (2) ユニバーサルスポーツフェスタ 実施日: 会場:文京スポーツセンター 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:58人 主管:東京ヴェルディ (3) ポッチャプースの展覧 ①あじさいまつり 実施日:6月11日(土) 会場:白山神社 参加者数:245人 ②下町まつり 実施日:10月15日(土) 会場:根津神社 参加者数:393人 ③菊まつり 実施日:11月6日(日) 会場:湯島天満宮 参加者数:120人 ④梅まつり 実施日:2月18日(土) 会場:湯島天満宮 参加者数:225人 (4)スポ育 実施校:17校	スポ育は小学4年生及び中学2年生を対象に、18校が参加しました。アンケートでは大変満足78%、満足22%で、来年度も申し込みたいと思ってもらえる内容で実施できました。	スポーツ振興課
138		2-①-イ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和6年2月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日) 会場:文京総合体育館 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和5年度幹事区:文京区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は21名申込み、21名資格を取得	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和5年3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、19日(日) 会場:荒川総合スポーツセンター 4階会議室、1階小体育室 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和4年度幹事区:荒川区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、4名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
新規	30	2-①-イ	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えバラスポーツやアパンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	実施日:10月21日(土) 会場:教育の森公園、文京スポーツセンター 対象:どなたでも 参加延べ人数:8,394人 内容:ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント ・アルバルク東京チアパフォーマンス ・明治大学男子チアリーディングチームANCHORSパフォーマンス ・車いすマラソン 洞ノ上 浩太選手講演 ・パラテコンドー福富 信彦選手講演、パフォーマンス ・車いすバスケットボール デモンストレーション ・バスケパフォーマンス ・スケートボードパフォーマンス (2)体験ブース ・バスケットボール(アルバルク東京) ・ラグビー ・卓球 ・トランポリン ・ストラックアウト・ティーバッティング(読売巨人軍) ・バレーボール ・キックターゲット・スピードガン(CLUB LB&BRB 東京ユナイテッドFC/文京LBレディース) ・ボルダリング ・スケートボード ・バスケパフォーマンス ・車いすバスケットボール ・サウンドテーブルテニス ・車いすフェンシング		地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	スポーツ振興課
139		2-①-イ	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延79人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延111人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充(p.36)								
140		2-①-ウ	スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	(1) FIBAバスケットボールワールドカップ2023パブリックビューイング 日時:8月25日(金) 会場:文京シビックセンター 地下2階 参加者数:120名 (2) ラグビーワールドカップパブリックビューイング 日時:9月10日(日)、10月8日(日) 会場:東京ドームシテイラクーアガーデンステージ及びクリスタルアヴェニュー 参加者数:1107名	サッカーワールドカップカタール2022パブリックビューイング (1) ドイツ戦 日時:11月23日(水・祝) 会場:シアターGロッソ 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:170人 主管:JFA (2) コスタリカ戦 日時:11月27日(日) 会場:JFAハウス 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:38人 主管:JFA	バスケットボールW杯においてはゲストにアルバルク東京のザック・バランスキー選手を招き、ラグビーW杯においては、トヨタヴェルブリッツのOBと、吉本興業の芸人さんを招き、初めて試合を見る参加者にとっても楽しく分かりやすい解説を提供することができました。	スポーツ振興課
141		2-①-ウ	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	(1) 2023読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:7月29日(土) 会場:東京ドーム 対象:小中学生の親子 参加者数:100人 主管:読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月16日(日)、4月23日(日)、5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:270人 主管:ジャイアンツアカデミー	(1) 2022読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:9月10日(土) 会場:東京ドーム 対象:小中学生の親子 参加者数:50人 主管:読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 125(1)記載	観戦事業については参加者数を倍増し、実施することができました。	スポーツ振興課
142		2-①-ウ	文京LBレディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBレディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等のアップデートを行い、より多くの区民が応援する動機付けを行いました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
143		2-①-ウ	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。	ジュニアサッカー教室 実施日:12月9日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3~6年生 参加者数:75人 主管:少年サッカー連盟、JFA	(1) ジュニアサッカー教室 実施日:12月10日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3~6年生 参加者数:112人 主管:少年サッカー連盟、JFA (2) サッカーワールドカップカタール2022パブリックビューイング 【ドイツ戦】 日時:11月23日(水・祝) 会場:シアターGロッソ 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:170人 主管:JFA 【コスタリカ戦】 日時:11月27日(日) 会場:JFAハウス 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:38人 主管:JFA	初心者から経験者まで広く参加者を募集し、サッカーを通してスポーツを身近に感じる機会を提供することができました。	スポーツ振興課
144		2-①-ウ	講道館との協力に基づく事業の実施	講道館との協力により、スポーツに触れる機会を拡大するため、講習会等、各種事業を展開します。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課
145	31	2-①-ウ	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。	1 読売巨人軍 (1) 2023読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:7月29日(土) 会場:東京ドーム 対象:小中学生の親子 参加者数:100人 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月16日(日)、4月23日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:270人 主管:ジャイアンツアカデミー 2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 実施日:11月25日(土)、12月2日(土) 場所:江戸川橋体育館 対象:保護者か子が区内在住・在勤・在学の方で、子がフットサル、サッカー未経験者4歳~小学2年生 参加者数:150人 (2) TOKYO UNITED CUP 実施日:令和6年1月28日(日)、2月3日(土)、2月4日(日)、2月10日(土)、2月17日(土)、2月25日(日) 場所:小石川運動場 対象:中学生のサッカーチーム 参加チーム数:6チーム 3 トヨタ自動車 (1) タグラグビー教室 雨天のため中止 (2) アンテロープスによるバスケットクリニック 実施日:10月1日(日)	1 読売巨人軍 1411に記載 2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 会場工事のため実績なし (2) TOKYO UNITED CUP 6チーム参加、全日程実施(6日間) 場所:小石川運動場 対象:中学生のサッカーチーム 3 トヨタ自動車 (1) タグラグビー教室 125(2)に記載 (2) アンテロープスによるバスケットクリニック 実施日:6月12日(日)、10月2日(日) 会場:文京総合体育館 対象:区内ミニバスチームに所属する小学3~6年生 参加者数:69人、62人 主管:トヨタ自動車アンテロープス 4 日本サッカー協会 143に記載 5 文化ジャッター 125(6)に記載 6 トヨタアルパルク東京 (1) アルパルク東京による初めてのバスケットボール教室 125(5)に記載 (2) アルパルク東京試合応援ツアー 実施日:2月4日(土)、2月5日(日) 会場:代々木第一体育館 対象:区内在住、在学の小・中・高校生とその家族 参加者数:558人 7 ヨネックス	多様な協働団体と、様々な競技で教室やイベント等を再開・実施でき、幅広い区民の興味・関心に加え、「見る」「見る」スポーツを推進することができました。	スポーツ振興課
146		2-①-ウ	パラリンピアンと楽しむ障害者スポーツ事業	パラリンピアンを招き、ポッチャなどのだれもが楽しむことのできるスポーツ体験事業を開催します。	ユニバーサルスポーツフェスタにてパラトライアスロンの木村潤平選手を招聘し、実演と参加者への体験案内を行っていただきました。	(1) パラリンピック難民選手交流会 6月17日(金)、東京2020大会パラリンピック難民選手回のイブラヒム・アルフセイン選手が窪町小学校を訪問し、児童と交流しました。 (2) ユニバーサルスポーツフェスタ 137(1)記載にて、パラトライアスロンの木村潤平選手を招聘しました。	ユニバーサルスポーツフェスタにおいて、ゲストとしてパラトライアスロンの木村潤平選手を招聘しました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 エ スポーツボランティア等の活動支援(p.37)								
147	32	2-①-エ	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。また、各関係団体及び学校等にも直接情報提供をした。	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	各大学の訪問や、大学連携者会議の出席により、ボランティア制度の周知を強化しました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
148		2-①-エ	スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。	登録者数:60人 活動回数:23回 派遣者数:延べ86人	登録者数:121人 活動回数:18回 派遣者数:延べ86人	令和4年度よりも活動回数を増やすことができました。	スポーツ振興課
149		2-①-エ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和6年2月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日) 会場:文京総合体育館 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和5年度幹事区:文京区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は21名申込み、21名資格を取得	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和5年3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、19日(日) 会場:荒川総合スポーツセンター 4階会議室、1階小体育室 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和4年度幹事区:荒川区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、4名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備 (p.38)								
150		2-②-ア	一般向けスポーツ教室	幅広い年齢層の区民の健康・体力づくりを推進するため、各種スポーツやレクリエーション教室を開催します。	(1)アクアエクササイズ教室 24回実施、延人数:876人 会場:総合体育館 (2)元気ニコニコ教室 48回実施、延人数:3,574人 会場:江戸川橋体育館 (1)・(2)主催:スポーツ施設指定管理者	(1)アクアエクササイズ教室 24回実施、延人数:893人 会場:総合体育館 (2)元気ニコニコ教室 48回実施、延人数:3,231人 会場:江戸川橋体育館	幅広い年齢層に対して各種スポーツ教室を開催し、区民の健康・体力づくりの増進を支援できました。	スポーツ振興課
151		2-②-ア	スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めています。	江戸川橋体育館バスケットゴール取替工事と、竹早テニスコート第1・2コート人工芝張替工事を完了しました。	竹早テニスコート人工芝張替工事及び給排水設備等工事を完了しました。	利用者にとって、快適且つ安心してスポーツ施設を利用してもらえるように、必要な整備を実施しました。	スポーツ振興課
152		2-②-ア	スポーツの日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	(1)スポーツ施設無料開放 実施日:令和5年10月9日(月) 会場:区内スポーツ施設(8か所) 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:屋内・体育館…2,952人、屋外運動場…雨天中止 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)スポーツ施設無料開放 実施日:令和4年10月10日(月) 会場:区内スポーツ施設(8か所) 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:屋内・体育館…3,528人、屋外運動場…684人 主催:スポーツ施設指定管理者	区民の近場における「お出かけ」や「体を動かしたい」というニーズに応え、好評でした。ただ、令和5年度は実施日が雨天であったため、屋外運動場が雨天中止となり、参加者数に影響が生まれました。	スポーツ振興課
153	33	2-②-ア	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,334日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 24,589人 (2)ブルー一般開放 実施日数:4日間(8/5~8/7 午後5時から午後7時まで) 会場:区立音羽中学校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延331人	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,385日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 23,878人	令和5年度は、予定どおりの日数を開放できたことで、令和4年度と比較して利用者人数が増加し、地域の身近なスポーツ活動の場に資することができました。	スポーツ振興課
154		2-②-ア	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 79人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 111人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
155	34	2-②-ア	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。 1 あおぞらすくすく広場 →施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2 親子すくすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3 園児すくすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	(1)あおぞらすくすく広場 実施日数:63日 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延 3,601人 主催:スポーツ施設指定管理者 (2)親子すくすく教室 実施日数:23日 会場:後楽公園少年野球場 対象:満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延 133人 (3)園児すくすく教室 実施回数:29回(1日に複数回実施あり) 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数:延 606人	(1)あおぞらすくすく広場 実施日数:68日 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延 3,680人 主催:スポーツ施設指定管理者 (2)親子すくすく教室 実施日数:22日 会場:後楽公園少年野球場 対象:満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数:延 236人 (3)園児すくすく教室 実施回数:35回(1日に複数回実施あり) 会場:六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象:園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数:延 645人	屋外スポーツ施設について、空きの多い時間帯を有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提供することができました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備 (p.39)								
156	35	2-②-イ	スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導者に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信します。	月1回の発行 ・開放日程の予定調査、事務連絡、用品購入調査など	月1回の発行 ・開放日程の予定調査、事務連絡、用品購入調査など	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、必要な情報等を区、区立小中学校及び連絡指導員が共有することで、円滑な事業運営ができています。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
157		2-②-イ	地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供します。	事業実施時の様子などをホームページやSNS等で発信しました。	事業実施時の様子などをホームページやSNS等で発信しました。	区が主催している事業、支援している事業を周知することにより、区民が身近な場所でスポーツ事業が行われていることを知るきっかけになりました。	スポーツ振興課
158		2-②-イ	各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを報道機関等をはじめ各種メディアにリリリースし、広く内外へ発信します。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課
159	36	2-②-イ	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	各大学の訪問や、大学連携者会議の出席により、ボランティア制度の周知を強化しました。	スポーツ振興課
160		2-②-イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
161		2-②-イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	4月10日～12月25日、1月10日～3月25日 計年23回 1月1日号 66,000部 年1回	4月10日 140,000部 1回 4月25日～3月25日 138,000部 22回 計年23回 1月1日号 67,500部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
162		2-②-イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
163		2-②-イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和5年度発行)	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
164		2-②-イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します(4カ国語併記 日本語・英語・中国語・ハングル)。	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	4カ国語(日本語・英語・ハングル・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
165		2-②-イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課

2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開(p.40)

166		2-②-ウ	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数793件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 400件 スポーツ・野外活動団体 393件	登録団体数 756件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 383件 スポーツ・野外活動団体 373件	関連施設への登録団体名簿の配架や、ホームページの更新で、最新情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。 また、実績報告書の提出を依頼し、団体の活動内容を把握することができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
167	37	2-②-ウ	地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。	・区民大会：大会実施32/33大会実施 ・文京区インクルーシブスポーツ推進事業等補助金：申請10団体14事業	・区民大会：31/33大会実施 ・REスタート補助金：申請11団体	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催の補助に努めました。 令和5年度より文京区インクルーシブスポーツ推進事業等補助金を開始しました。	スポーツ振興課
168	38	2-②-ウ	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。	(1)スポーツ施設一般公開 参加人数：7,660人(文京総合体育館)、10,008人(文京スポーツセンター)、4,015人(江戸川橋体育館) 主催：スポーツ施設指定管理者	(1)スポーツ施設一般公開 参加人数：7,490人(文京総合体育館)、10,609人(文京スポーツセンター)、4,895人(江戸川橋体育館)	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で実施し、多くの区民等にスポーツする機会を提供することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
169		2-②-ウ	文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模又は東京都の競技大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰します。	・レッドサンズ ・高橋選手(パラ卓球)	実績なし	全国大会において優秀な成績を収めたレッドサンズと高橋麻里選手を表彰しました。	スポーツ振興課
170		2-②-ウ	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:40単位 ・スポーツリーダー:39単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~2時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。スポーツリーダーについては、実施件数が昨年に比べ増加しました。	スポーツ振興課
171	39	2-②-ウ	スポーツの日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	(1)スポーツ施設無料開放 実施日:令和5年10月9日(月) 会場:区内スポーツ施設(8か所) 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:屋内・体育館…2,952人、屋外運動場…雨天中止 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)スポーツ施設無料開放 実施日:令和4年10月10日(月) 会場:区内スポーツ施設(8か所) 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:屋内・体育館…3,528人、屋外運動場…684人 主催:スポーツ施設指定管理者	区民の近場における「お出かけ」や「体を動かしたい」というニーズに応え、好評でした。 ただ、令和5年度は実施日が雨天であったため、屋外運動場が雨天中止となり、参加者数に影響が生じました。	スポーツ振興課
172		2-②-ウ	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,334日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延24,589人 (2)ブルー一般開放 実施日数:4日間(8/5~8/7 午後5時から午後7時まで) 会場:区立音羽中学校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延331人	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,385日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延23,878人	令和5年度は、予定どおりの日数を開放できたことで、令和4年度と比較して利用者人数が増加し、地域の身近なスポーツ活動の場に資することができました。	スポーツ振興課
173		2-②-ウ	各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場として、各種区民スポーツ大会を開催します。	(1)区民大会参加者数:延8,266人 (2)都民大会派遣人数:延316人 (3)スポーツ少年団交流事業 実施日:11月26日 会場:スポーツセンター 種目:ポッチャ 参加者数:121人	区民大会参加者数:延5,694人 都民大会派遣人数:延231人 スポーツ少年団交流事業:中止	各種区民スポーツ大会を開催し、区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場を増やすことができました。	スポーツ振興課
174		2-②-ウ	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	1 委託事業 (1)ファミリーハイキング教室 実施日:6月4日(日) 会場:宝登山(埼玉県秩父郡) 対象:小学生以上 参加者数:46人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (2)ぶんきょうウォーキング教室 実施日:11月3日(金・祝) 会場:徳川家ゆかりの地(文京区) 対象:小学生以上 参加者数:62名 主管:文京区スポーツ推進委員会 (3)ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月3日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:227人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月5日(日) 会場:指ヶ谷小学校体育館 参加者数:50人 (4)この指とまれクラブ 実施日:4月23日(日)、5月28日(日)、6月25日(日)、9月24日(日)、10月22日(日)、11月26日(日)雨天中止、12月24日(日)、1月28日(日)、2月25日(日)雨天中止、3月24日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生	1 委託事業 (1)ファミリーハイキング教室 129(1)に記載 (2)ぶんきょうウォーキング教室 129(2)に記載 (3)ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人 (4)この指とまれクラブ 実施日:5月29日(日)、9月25日(日)、10月23日(日)、11月27日(日)、12月25日(日)、1月22日(日)、2月26日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生 参加者数:369人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (5)広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1)スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3 研修 (1)指導者講習会(普通救命講習) 5月28日(土)	全事業についてコロナ禍前とほぼ同規模で実施することができました。 また、この指とまれクラブについては、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生の協力を得ながら運営することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化(p.40)								
175		2-②-エ	スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	地域の生涯スポーツ・レクリエーション等の普及・振興及び区民の自主的なスポーツ活動を支援するため、スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱します。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:40単位 ・スポーツリーダー:39単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~2時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	経験豊富なスポーツ推進委員とスポーツリーダーが長年委嘱されるのに加え、新規の委員とリーダーが加わることで交流が活発になり、幅広く事業を展開しています。	スポーツ振興課
176	40	2-②-エ	スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:40単位 ・スポーツリーダー:39単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~2時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。スポーツリーダーについては、実施件数が昨年に比べ増加しました。	スポーツ振興課
177		2-②-エ	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	1 委託事業 (1) ファミリーハイキング教室 実施日:6月4日(日) 会場:宝登山(埼玉県秩父郡) 対象:小学生以上 参加者数:46人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (2) ぶんきょうウォーキング教室 実施日:11月3日(金・祝) 会場:徳川家ゆかりの地(文京区) 対象:小学生以上 参加者数:62名 主管:文京区スポーツ推進委員会 (3) ニューススポーツ教室・大会 ニューススポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月3日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:227人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニューススポーツ教室 実施日:11月5日(日) 会場:指ヶ谷小学校体育館 参加者数:50人 (4) この指とまれクラブ 実施日:4月23日(日)、5月28日(日)、6月25日(日)、9月24日(日)、10月22日(日)、11月26日(日)雨天中止、12月24日(日)、1月28日(日)、2月25日(日)雨天中止、3月24日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生	1 委託事業 (1) ファミリーハイキング教室 129(1)に記載 (2) ぶんきょうウォーキング教室 129(2)に記載 (3) ニューススポーツ教室・大会 ニューススポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニューススポーツ教室 実施日:11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人 (4) この指とまれクラブ 実施日:5月29日(日)、9月25日(日)、10月23日(日)、11月27日(日)、12月25日(日)、1月22日(日)、2月26日(日) 会場:教育の森公園 対象:幼児・小学生 参加者数:369人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (5) 広報 年2回広報誌を発行 2 共催事業 (1) スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3 研修 (1) 指導者講習会(普通救命講習) 5月28日(土)	全事業についてコロナ禍前とほぼ同規模で実施することができました。 また、この指とまれクラブについては、区内のリゾート&スポーツ専門学校との協力を得ながら運営することができました。	スポーツ振興課
178		2-②-エ	介護予防ボランティア指導者等養成事業	身近な地域において介護予防を推進するため、文の京介護予防体操や転倒骨折予防体操の指導及び普及啓発を行う区民ボランティアを養成するとともに、高齢者等の社会参加の場を推進を図っています。	養成講習及び研修会参加者数 ①文の京介護予防体操推進リーダー養成:61人 ②転倒骨折予防ボランティア指導員養成:23人	養成講習及び研修会参加者数 ①文の京介護予防体操推進リーダー養成:67人 ②転倒骨折予防ボランティア指導員養成:20人	各体操の地域会場運営や自主グループ指導に必要な知識と技術を提供する講習会を実施し、効果測定(終了試験)に合格した方を活動先に配置しました。 指導の標準化及び情報交換のため、フォロー講習や連絡会を実施しました。	高齢福祉課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり オ 心身の健康づくり(p.41)								
179	41	2-②-オ	小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	(1) ジュニアローラー教室 実施日:8月2日(水)、8月3日(木) 会場:東京ドームローラースケートアリーナ 対象:小中学生 参加者数:42人 主管:文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日:12月9日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3~6年生 参加者数:75人 主管:少年サッカー連盟、JFA	(1) ジュニアローラー教室 実施日:8月2日(火)、8月3日(水) 会場:東京ドームローラースケートアリーナ 対象:小中学生 参加者数:46人 主管:文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日:12月10日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3~6年生 参加者数:112人 主管:少年サッカー連盟、JFA	子どもたちの指導に精通している指導者によりスポーツを体験し、興味をもって取り組んでもらえました。地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
180	42	2-②-オ	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	(1)小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月16日(日)、4月23日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:270人 主管:ジャイアンツアカデミー (2)タグラグビー教室 雨天のため中止 主管:トヨタヴェルブリッツ (3)親子ボウリング教室 実施日:8月21日(月)、8月22日(火) 会場:東京ドームボウリングセンター 対象:小学生の親子 参加者数:66人 主管:文京区ボウリング連盟 (4)ヨネックスと学ぶ親子テニabin体験会 実施日:11月12日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生の親子 参加者数:88人 主管:ヨネックス (5)アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日:10月28日(土) 会場:文京総合体育館 対象:4歳以上、小学1~3年生の親子 参加者数:70人 主管:アルバルク東京 (6)フライングディスク教室 実施日:11月5日(日) 会場:小石川運動場	(1)小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月17日(日)、4月24日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:211人 主管:ジャイアンツアカデミー (2)タグラグビー教室 実施日:6月4日(土) 会場:目白台運動公園 対象:4歳以上、小学1~3年生とその保護者 参加者数:102人 主管:トヨタヴェルブリッツ (3)親子ボウリング教室 実施日:8月27日(土)、9月3日(土) 会場:東京ドームボウリングセンター 対象:小学生の親子 参加者数:22人 主管:文京区ボウリング連盟 (4)ヨネックスと学ぶ親子テニabin体験会 実施日:9月17日(土) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生の親子 参加者数:72人 主管:ヨネックス (5)アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日:10月8日(土) 会場:文京総合体育館 対象:4歳以上、小学1~3年生の親子 参加者数:30人 主管:アルバルク東京	親子で気軽に楽しくスポーツをすることができる機会を創出することができました。コロナ禍前と同規模で実施することができました。	スポーツ振興課
181	43	2-②-オ	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,334日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 24,589人 (2)プール一般開放 実施日数:4日間(8/5~8/7 午後5時から午後7時まで) 会場:区立音羽中学校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延331人	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数:1,385日 会場:区立小中学校18校 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 23,878人	令和5年度は、予定どおりの日数を開放できたことで、令和4年度と比較して利用者人数が増加し、地域の身近なスポーツ活動の場に資することができました。	スポーツ振興課
182		2-②-オ	シニア向けスポーツ教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施します。	(1)高齢者水泳+健康体操教室:延469人 (2)シニア健康体操教室:延914人 (3)高齢者水中ウォーキング教室:延1,289人 (1)~(3)主催:スポーツ施設指定管理者	(1)高齢者水泳+健康体操教室:延べ396人 (2)シニア健康体操教室:延べ712人 (3)高齢者水中ウォーキング教室:延べ1,339人	人気の高い高齢者水中ウォーキング教室など、気軽に参加できる教室として、高齢者の健康づくりの場を提供することができました。	スポーツ振興課
183		2-②-オ	着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施します。	(1)着衣泳講習会 実施日:7月2日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:31人 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)着衣泳講習会 実施日:7月10日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:25人 主催:スポーツ施設指定管理者	水中での事故に対する知識や簡易救助法などの技術を習得してもらうことで、水辺の安全教育の一環に資することができました。	スポーツ振興課
184		2-②-オ	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 79人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	(1)おでかけスポーツ 実施日数:12日(体操・トレーニング)、6日(水泳) 会場:文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象:肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 111人(体操・トレーニング)、12人(水泳) 主催:スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
185		2-②-オ	介護予防普及啓発事業	高齢者が閉じこもりや要介護状態になることを予防するため、地域の身近な施設で文の京介護予防体操や転倒骨折予防教室等各種教室を実施しています。また、介護予防に関する知識とその重要性を理解してもらうため、講演会等を実施しています。	事業参加者数、実施回数 ①介護予防教室:2,973人、1,969回 ②介護予防講演会:162人、2回 ③出前講座:10人、1回 ④介護予防展:783人、1回	事業参加者数、実施回数 ①介護予防教室:2,379人、2,181回 ②介護予防講演会:163人、2回 ③出前講座:23人、2回 介護予防展:546人、1回	感染予防対策を徹底して各種事業を実施し、元気で自立した生活を送るために必要な知識の普及啓発を行うとともに、取組の機会を提供しました。	高齢福祉課
186		2-②-オ	短期集中予防サービス	健康質問調査票(基本チェックリスト)により生活機能の低下がみられる高齢者を対象に要介護状態になることを予防するため、専門職による体操や講義等を行うプログラム事業を実施します。	事業参加者数、実施回数 ①複合型プログラム事業:221人、839回 ②訪問型プログラム事業:実施なし	事業参加者数、実施回数 ①複合型プログラム事業:162人、838回 ②訪問型プログラム事業:1名、6回	開催時は十分な感染症対策を行い、運動をメインに栄養と口腔を合わせた複合型プログラムを短期間に集中して実施して生活機能の維持・向上を図りました。	高齢福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
187		2-②-オ	からだコンディショニング事業(福祉センター江戸川橋・湯島)	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防止、要介護及び要支援状態になることを予防するための健康維持事業を行います。 ※「すこやか体操」(音羽)「心もからだもいきいき体操」(湯島分館)の後継事業(平成28年度より)	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施しました。 【江戸川橋・湯島共通】(48回実施/48回予定) 1クール12回程度×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 575人・湯島 574人	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施しました。 【江戸川橋・湯島共通】(48回実施/48回予定) 1クール12回程度×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 660人・湯島 537人	理学療法士を専門講師に招いたり、各回テーマを変えて実施しました。この体操をきっかけに、定期的にある体操(自主事業)につなげる事ができ、他、様々な福祉センター事業の利用にもつなげることができました。	高齢福祉課(福祉センター)
188		2-②-オ	スポーツ活動への参加機会の充実	区民の健康維持・増進のため、スポーツやレクリエーションに関する機会を提供します。	心身障害者・児通所施設合同運動会 令和6年2月2日(金)開催 区内6施設 参加者数 353人	心身障害者・児通所施設合同運動会 令和4年10月1日(土)開催 区内6施設 参加者数 244人 参加大学: 貞静学園短期大学	スポーツセンターを会場とし、午前・午後に参加施設を分けて開催しました。参加者、職員が一体となり、活気ある行事にすることができました。	障害福祉課
189		2-②-オ	健康・体力づくりのための事業の充実(公害保健福祉・予防事業)	区民の健康・体力づくりを支援するための事業を実施します。	・ぜん息見水泳教室 5～6月(前期)、9～10月(後期) 前期: 23名参加(定員25名) 後期: 24名参加(定員25名) ・呼吸器健康講座 6月30日、7月20日、10月23日、11月28日(全4回) 6月: 23名参加(定員30名) 7月: 24名参加(定員30名) 10月: 28名参加(定員30名) 11月: 22名参加(定員30名) ・水泳奨励事業 通年 参加延人数274名	・ぜん息見水泳教室 5～6月(前期)、9～10月(後期) 前期: 20名参加(定員25名) 後期: 15名参加(定員25名) ・呼吸器健康講座 7月29日、11月16日、12月16日(全3回) 7月: 21名参加(定員30名) 11月: 20名参加(定員30名) 12月: 28名参加(定員30名) ・水泳奨励事業 通年 参加延人数274名	ぜん息見を対象とした水泳教室は、今年度各回ともに申込者が定員を上回り、ぜん息見の心身の鍛錬及び呼吸機能の改善に寄与しています。 呼吸器健康講座は、区報掲載やチラシ配布等の広報により、各回ともに申込者が定員に達し、参加者のリピート率も高くなっています。年4回、違うテーマで講座を実施することにより、呼吸器疾患がある方の呼吸機能改善に様々な面からアプローチしています。 水泳奨励事業は、公害健康被害者等に対し、文京区立体育施設のプール利用券を支給して、呼吸器機能の改善に有効な水泳を奨励及び改善に寄与しています。	予防対策課
190		2-②-オ	健康教育	区民の健康の保持・増進を図るため、生活習慣病予防等の講演会を開催します。	○精神保健講演会 2回 ○健康教育講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 5回 ○健康スキルアップ教室 48回 ○ウォーキング教室 42回 ○個別運動相談 0回	○精神保健講演会 1回 ○健康教育講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 5回 ○健康スキルアップ教室 36回 ○ウォーキング教室 31回 ○個別運動相談 6回	・こころの健康づくり、生活習慣病予防、運動のきっかけ作りと運動習慣の継続等を目的として実施しました。	保健サービスセンター
191		2-②-オ	健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行います。	・文京区学校保健会特別講演(平成5年度～) タイトル: これからも食育を 実施時期: 令和5年11月 文京区民チャンネル(文京区内CATV/YouTube)『文の京セレクション』で放送、動画配信	・文京区学校保健会特別講演(平成5年度～) タイトル: 『子どものお口は大丈夫?』～むし歯は減ったが、歯ぐきが心配～ 実施時期: 令和4年11月 文京区民チャンネル(文京区内CATV/YouTube)『文の京セレクション』で放送、動画配信	いつでもどこでもだれでも視聴可能な動画配信で実施し、好評でした。	学務課
192		2-②-オ	健康・体力増進事業	体力アップトレーナーや体力向上アドバイザー、テクニカルトレーナー等の授業支援人材を学校に派遣します。また、区内大学や医療機関と連携した外部講師によるがんに関する出前授業を実施します。	・体力アップトレーナーの派遣 全小学校 各校週1日 ・体力向上アドバイザーの派遣 小学校12校 各校年1回 ・体力向上イベント 年3回 ・テクニカルトレーナーの派遣 中学校全校 前年度の1・2年生の学級数×10時数 ・外部講師によるがんに関する出前授業 小学校13校 中学校9校(他、インフルエンザによる学級閉鎖のため1校中止) 各校年1回	・体力アップトレーナーの派遣 全小学校 各校週1日 ・体力向上アドバイザーの派遣 小学校10校 各校年2回 ・体力向上イベント 年3回 ・テクニカルトレーナーの派遣 中学校3校 各校年50時間 ・外部講師によるがんに関する出前授業 小学校11校 中学校10校 各校年1回	外部の人材等を活用することで学校での体育の授業やがん教育の充実につながりました。 令和6年度より、体力アップトレーナーについては、人材を確保でき次第、増員し大規模校に週2回派遣する予定です。 テクニカルトレーナーについては、令和5年度から引き続き、全中学校に派遣します。	教育センター

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり(p.42)								
193	44	2-③-ア	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月16日(日)、4月23日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:270人 主管:ジャイアンツアカデミー (2) タグラグビー教室 雨天のため中止 主管:トヨタヴェルブリッツ (3) 親子ボウリング教室 実施日:8月21日(月)、8月22日(火) 会場:東京ドームボウリングセンター 対象:小学生の親子 参加者数:66人 主管:文京区ボウリング連盟 (4) ヨネックスと学ぶ親子テニピン体験会 実施日:11月12日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生の親子 参加者数:88人 主管:ヨネックス (5) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日:10月28日(土) 会場:文京総合体育館 対象:4歳以上、小学1~3年生の親子 参加者数:70人 主管:アルバルク東京 (6) フライイングディスク教室 実施日:11月5日(日) 会場:小石川運動場	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月17日(日)、4月24日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:211人 主管:ジャイアンツアカデミー (2) タグラグビー教室 実施日:6月4日(土) 会場:目白台運動公園 対象:4歳以上、小学1~3年生とその保護者 参加者数:102人 主管:トヨタヴェルブリッツ (3) 親子ボウリング教室 実施日:8月27日(土)、9月3日(土) 会場:東京ドームボウリングセンター 対象:小学生の親子 参加者数:22人 主管:文京区ボウリング連盟 (4) ヨネックスと学ぶ親子テニピン体験会 実施日:9月17日(土) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生の親子 参加者数:72人 主管:ヨネックス (5) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日:10月8日(土) 会場:文京総合体育館 対象:4歳以上、小学1~3年生の親子 参加者数:30人 主管:アルバルク東京	親子で気軽に楽しくスポーツをすることができる機会を創出することができました。コロナ禍前と同規模で実施することができました。	スポーツ振興課
194		2-③-ア	アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。	(1) ファミリーハイキング教室 実施日:6月4日(日) 会場:宝登山(埼玉県秩父郡) 対象:小学生以上 参加者数:46人 主管:文京区スポーツ推進委員会 (2) ふんきょうウォーキング教室 実施日:11月3日(金・祝) 会場:徳川家ゆかりの地(文京区) 対象:小学生以上 参加者数:62名 主管:文京区スポーツ推進委員会	(1) ファミリーハイキング教室 新型コロナウイルス感染症に鑑み、代替として区内文豪ゆかりの地を巡るウォーキングイベントを実施。 実施日:6月5日(日) 会場:区内文豪ゆかりの地 対象:小学生以上 参加者数:64名 主管:文京区スポーツ推進委員会 (2) ふんきょうウォーキング教室 実施日:11月3日(木・祝) 会場:森鷗外ゆかりの地(文京区・台東区) 対象:小学生以上 参加者数:65名 主管:文京区スポーツ推進委員会	気軽かつ手軽に参加できるため、普段スポーツに馴染みがない人に対し、運動を身近に感じてもらえるきっかけになりました。	スポーツ振興課
195	45	2-③-ア	スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。	(1) スポ・レクひろば 開催数:10回・1回(打合せ) 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センター 参加者数:395人 内容:フライイングディスク、風船バレー等の軽スポーツ及びレクリエーション (2) 4区合同レクリエーション 滝野川体育館にて北区、台東区、荒川区と共に交流を行いました。	(1) スポ・レクひろば 開催数:12回・3回(打合せ) 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センター 参加者数:245人 内容:フライイングディスク、風船バレー等の軽スポーツ及びレクリエーション (2) 4区合同レクリエーション 新型コロナウイルスに鑑み、4区が一方所に集まるのを止め、ビデオの交換による交流を実施しました。	対面で全回実施でき、参加者が大幅に昨年度を上回りました。レクリエーション・スポーツをきっかけとした仲間づくりや社会参画の促進につながりました。また、区内のリゾート&スポーツ専門学校の学生がボランティアとして参加することで活気づき、安全面でもより安心な運営ができるようになりました。	スポーツ振興課
196		2-③-ア	児童館合同卓球大会	スポーツを通じて各児童館の交流を図ります。	文京区児童館対抗卓球大会 令和6年3月28日(木)開催	児童館卓球交流会 令和5年3月30日(木)開催	4年振りにトーナメント形式での卓球大会を開催しました。卓球対戦を通じて他児童館に通う児童との交流を持ち親睦を深めることが出来ました。	児童青少年課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり イ プロスポーツ団体等との連携・協働 (p.43)								
197		2-③-イ	スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	(1) FIBAバスケットボールワールドカップ2023パブリックビューイング 日時:8月25日(金) 会場:文京シビックセンター 地下2階 参加者数:120名 (2) ラグビーワールドカップパブリックビューイング 日時:9月10日(日)、10月8日(日) 会場:東京ドームシティラクーアガーデンステージ及びクリスタルアヴェニュー 参加者数:1107名	サッカーワールドカップカタール2022パブリックビューイング (1) ドイツ戦 日時:11月23日(水・祝) 会場:シアターGロッソ 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:170人 主管:JFA (2) コスタリカ戦 日時:11月27日(日) 会場:JFAハウス 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:38人 主管:JFA	バスケットボールW杯においてはゲストにアルバルク東京のザック・バランスキー選手を招き、ラグビーW杯においては、トヨタヴェルブリッツのOBと、吉本興業の芸人さんを招き、初めて試合を見る参加者にとっても楽しく分かりやすい解説を提供することができました。	スポーツ振興課
198		2-③-イ	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	(1) 2023読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:7月29日(土) 会場:東京ドーム 対象:小中学生の親子 参加者数:100人 主管:読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月16日(日)、4月23日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:270人 主管:ジャイアンツアカデミー	(1) 2022読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:9月10日(土) 会場:東京ドーム 対象:小中学生の親子 参加者数:50人 主管:読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 125(1)記載	観戦事業については参加者数を倍増し、実施することができました。	スポーツ振興課
199		2-③-イ	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。	ジュニアサッカー教室 実施日:12月9日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3~6年生 参加者数:75人 主管:少年サッカー連盟、JFA	(1) ジュニアサッカー教室 実施日:12月10日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3~6年生 参加者数:112人 主管:少年サッカー連盟、JFA (2) サッカーワールドカップカタール2022パブリックビューイング 【ドイツ戦】 日時:11月23日(水・祝) 会場:シアターGロッソ 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:170人 主管:JFA 【コスタリカ戦】 日時:11月27日(日) 会場:JFAハウス 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:38人 主管:JFA	初心者から経験者まで広く参加者を募集し、サッカーを通してスポーツを身近に感じる機会を提供することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
200	46	2-③-イ	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。	1 読売巨人軍 (1) 2023読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:7月29日(土) 会場:東京ドーム 対象:小中学生の親子 参加者数:100人 (2) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:4月16日(日)、4月23日(日) 5月14日(日)、5月21日(日) 会場:文京総合体育館 対象:小学1~4年生親子 参加者数:270人 主管:シャイアーツアカデミー 2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 実施日:11月25日(土)、12月2日(土) 場所:江戸川橋体育館 対象:保護者か子が区内在住・在勤・在学の方で、子がフットサル、サッカー未経験者4歳~小学2年生 参加者数:150人 (2) TOKYO UNITED CUP 実施日:令和6年1月28日(日)、2月3日(土)、2月4日(日)、2月10日(土)、2月17日(土)、2月25日(日) 場所:小石川運動場 対象:中学生のサッカーチーム 参加チーム数:6チーム 3 トヨタ自動車 (1) タグラグビー教室 雨天のため中止 (2) アンテロープスによるバスケクリニック 実施日:10月1日(日)	1 読売巨人軍 141に記載 2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 会場工事のため実績なし (2) TOKYO UNITED CUP 6チーム参加、全日程実施(6日間) 場所:小石川運動場 対象:中学生のサッカーチーム 3 トヨタ自動車 (1) タグラグビー教室 125(2)に記載 (2) アンテロープスによるバスケクリニック 実施日:6月12日(日)、10月2日(日) 会場:文京総合体育館 対象:区内ミニバスチームに所属する小学3~6年生 参加者数:69人、62人 主管:トヨタ自動車アンテロープス 4 日本サッカー協会 143に記載 5 文化シヤッター 125(6)に記載 6 トヨタアルバルク東京 (1) アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 125(5)に記載 (2) アルバルク東京試合応援ツアー 実施日:2月4日(土)、2月5日(日) 会場:代々木第一体育館 対象:区内在住、在学の小・中学生とその家族 参加者数:558人 7 ヨネックス	多様な協働団体と、様々な競技で教室やイベント等を再開・実施でき、幅広い区民の興味・関心に加え、「する」「見る」スポーツを推進することができました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用(p.44)								
新規	47	2-③-イ	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えバラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	実施日:10月21日(土) 会場:教育の森公園、文京スポーツセンター 対象:どなたでも 参加延べ人数:8,394人 内容:ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント ・アルバルク東京チアパフォーマンス ・明治大学男子チアリーディングチームANCHORSパフォーマンス ・車いすマラソン 洞ノ上 浩太選手講演 ・パラテコンドー 福富 信彦選手講演、パフォーマンス ・車いすバスケットボール デモンストレーション ・バスケールパフォーマンス ・スケートボードパフォーマンス (2)体験ブース ・バスケットボール(アルバルク東京) ・ラグビー ・卓球 ・トランポリン ・ストラックアウト・ティーバッティング(読売巨人軍) ・バレーボール ・キックターゲット・スピードガン(CLUB LB&BRB 東京ユナイテッドFC/文京LBLEディース) ・ボルダリング ・スケートボード ・バスケール ・車いすバスケットボール ・サウンドテーパーテニス ・車いすフェンシング		地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	スポーツ振興課
201		2-③-ウ	スポーツ指導者派遣	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、スポーツの競技力を向上させます。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:40単位 ・スポーツリーダー:39単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~2時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。スポーツリーダーについては、実施件数が昨年に比べ増加しました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
202		2-③-ウ	自治体交流ジュニアサッカー大会	スポーツ祭東京2013で、少年サッカーを開催した自治体等に協力を呼びかけ、各自治体と競技団体の協力により、各区の代表チームによるサッカー大会を開催し、広域的な交流をします。	文京区少年サッカー連盟主催で「第10回自治体交流ジュニアサッカー大会」東京U-10チャンピオンシップ～スポーツ祭東京2012記念～を実施し、区は共催の承認を行った。	文京区少年サッカー連盟主催で「第9回自治体交流ジュニアサッカー大会」東京U-10チャンピオンシップ～スポーツ祭東京2013記念～を実施し、区は共催の承認を行った。	実施主体が文京区少年サッカー連盟であることにより、事業の自主性が高まり、区市町間の選手の交流が一層深まるように事業が発展しています。	スポーツ振興課
203		2-③-ウ	カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市(ドイツ)が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施しています。	日程: 1・2年生の部 12月3日(日)、12月10日(日) 3・5年生の部 1月7日(日)、1月8日(月・祝) 4・6年生の部 2月12日(月・祝)、2月18日(日) 参加チーム: 小学1年生10チーム 小学2年生10チーム 小学3年生11チーム 小学4年生9チーム 小学5年生8チーム 小学6年生7チーム	日程: 1・2年生の部 12月4日(日)、12月11日(日) 3・5年生の部 1月8日(日)、1月9日(月・祝) 4・6年生の部 2月11日(土・祝)、2月19日(日) 参加チーム: 小学1年生10チーム 小学2年生10チーム 小学3年生9チーム 小学4年生10チーム 小学5年生7チーム 小学6年生6チーム	参加チーム数が増え、より多くの選手が交流を図ることができました。また、サッカーを通して、姉妹都市であるカイザースラウテルン市に思いを馳せることで国際交流意識への喚起を行いました。	スポーツ振興課
204		2-③-ウ	ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッチビーやポッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。	③ ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月3日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:227人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月5日(日) 会場:指ヶ谷小学校体育館 参加者数:50人	③ ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会(ポッチャ大会) 実施日:3月5日(日) 会場:文京スポーツセンター 対象:小学1年生以上 参加者数:193人 主管:文京区スポーツ推進委員会 ニュースポーツ教室 実施日11月6日(日) 会場:駒本小学校体育館 参加者数:50人	ニュースポーツ大会では令和4年度よりも30人参加者が増えました。小学生、障害者、高齢者等多様な参加者が大会に申し参加し、誰もが楽しく参加できるイベントが実施できました。	スポーツ振興課
205	48	2-③-ウ	障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	(1) ユニバーサルスポーツフェスタ 実施日:2月17日(土) 会場:文京スポーツセンター 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:50人 主管:東京ヴェルディ (2) ポッチャプースの出席 ①つつじまつり 実施日:4月15日(土) 会場:根津神社 参加者数:30名 ②あじさいまつり 実施日:6月10日(土) 会場:白山神社 参加者数:200人 ③下町まつり 実施日:10月15日(日) 会場:根津神社 参加者数:270人 ④菊まつり 実施日:11月18日(土) 会場:湯島天満宮 参加者数:175人 (4)スポ育 実施校:18校 参加者:1,607名 会場:各学校	(1) インクルーシブサッカーフェスタ 実施日:11月12日(土) 会場:小石川運動場 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:28人 主管:東京ヴェルディ (2) ユニバーサルスポーツフェスタ 実施日: 会場:文京スポーツセンター 対象:区内在住・在勤・在学者 参加者数:58人 主管:東京ヴェルディ (3) ポッチャプースの出席 ①あじさいまつり 実施日:6月11日(土) 会場:白山神社 参加者数:245人 ②下町まつり 実施日:10月15日(土) 会場:根津神社 参加者数:393人 ③菊まつり 実施日:11月6日(日) 会場:湯島天満宮 参加者数:120人 ④梅まつり 実施日:2月18日(土) 会場:湯島天満宮 参加者数:225人 (4)スポ育 実施校:17校	スポ育は小学4年生及び中学2年生を対象に、18校が参加しました。アンケートでは大変満足78%、満足22%で、来年度も申し込みたいと思ってもらえる内容で実施できました。	スポーツ振興課
206		2-③-ウ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和6年2月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日) 会場:文京総合体育館 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和5年度幹事区:文京区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は21名申込み、21名資格を取得	4区合同初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日程:令和5年3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、19日(日) 会場:荒川総合スポーツセンター 4階会議室、1階小体育室 対象:文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容:(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催:文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区(令和4年度幹事区:荒川区) 受講料:無料(テキスト代も無料)※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は5名申込み、4名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働(p.45)								
新規	49	2-③-ウ	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えバラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	実施日:10月21日(土) 会場:教育の森公園、文京スポーツセンター 対象:どなたでも 参加延べ人数:8,394人 内容:ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント ・アルバルク東京チアパフォーマンス ・明治大学男子チアリーディングチームANCHORS/パフォーマンス ・車いすマラソン 洞ノ上 浩太選手講演 ・パラテコンドー福富 信彦選手講演、パフォーマンス ・車いすバスケットボール デモンストレーション ・バルクールパフォーマンス ・スケートボードパフォーマンス (2)体験ブース ・バスケットボール(アルバルク東京) ・ラグビー ・卓球 ・トランポリン ・ストラックアウト・ティーバッティング(読売巨人軍) ・バレーボール ・キックターゲット・スピードガン(CLUB LB&BRB 東京ユナイテッドFC/文京LBレディース) ・ボルダリング ・スケートボード ・バルクール ・車いすバスケットボール ・サウンドテーブルテニス ・車いすフェンシング		地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	スポーツ振興課
207		2-③-エ	地域スポーツクラブの育成	地域のスポーツクラブを育成・支援するとともに、新たな地域スポーツクラブの可能性を探ります。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課
208		2-③-エ	文京LBLレディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBLレディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等のアップデートを行い、より多くの区民が応援する動機付けを行いました。	スポーツ振興課
209	50	2-③-エ	地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。	・区民大会:大会実施32/33大会実施 ・文京区インクルーシブスポーツ推進事業等補助金:申請10団体14事業	・区民大会:31/33大会実施 ・REスタート補助金:申請11団体	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催の補助に努めました。令和5年度より文京区インクルーシブスポーツ推進事業等補助金を開始しました。	スポーツ振興課
210	51	2-③-エ	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:40単位 ・スポーツリーダー:39単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~2時間程度)	○派遣件数: ・スポーツ推進委員会:57単位 ・スポーツリーダー:28単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2~3時間程度)	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。スポーツリーダーについては、実施件数が昨年に比べ増加しました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり オ スポーツの魅力を感じてくれる機会の充実(p.45)								
新規	52	2-③-エ	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えバラスポーツやアパンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	実施日:10月21日(土) 会場:教育の森公園、文京スポーツセンター 対象:どなたでも 参加延べ人数:8,394人 内容:ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント ・アルバルク東京チアパフォーマンス ・明治大学男子チアリーディングチームANCHORS/パフォーマンス ・車いすマラソン 洞ノ上 浩太選手講演 ・パラテコンドー福富 信彦選手講演、パフォーマンス ・車いすバスケットボール デモンストレーション ・バスケパフォーマンス ・スケートボードパフォーマンス (2)体験ブース ・バスケットボール(アルバルク東京) ・ラグビー ・卓球 ・トランポリン ・ストラックアウト・ティーバッティング(読売巨人軍) ・バレーボール ・キックターゲット・スピードガン(CLUB LB&BRB 東京ユナイテッドFC/文京LBレディーズ) ・ボルダリング ・スケートボード ・バスケパフォーマンス ・車いすバスケットボール ・サウンドテーブルテニス ・車いすフェンシング		地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	スポーツ振興課
211	53	2-③-オ	初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	(1)初心者合気道教室 実施回数:6回 会場:文京総合体育館 対象:小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 116人 (2)初心者アーチェリー教室 実施回数:6回 会場:文京総合体育館 対象:高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 126人 (3)初心者弓道教室 実施回数:6回 会場:文京スポーツセンター 対象:高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 159人 (1)～(3)主催:スポーツ施設指定管理者	(1)初心者合気道教室 実施回数:6回 会場:文京総合体育館 対象:小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 118人 主催:スポーツ施設指定管理者 (2)初心者アーチェリー教室 実施回数:6回 会場:文京総合体育館 対象:高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 93人 主催:スポーツ施設指定管理者 (3)初心者弓道教室 実施回数:6回 会場:文京スポーツセンター 対象:高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数:延 160人	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。	スポーツ振興課
212	54	2-③-オ	小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	(1)ジュニアローラー教室 実施日:8月2日(水)、8月3日(木) 会場:東京ドームローラースケートアリーナ 対象:小中学生 参加者数:42人 主管:文京区ローラースポーツ連盟 (2)ジュニアサッカー教室 実施日:12月9日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3～6年生 参加者数:75人 主管:少年サッカー連盟、JFA	(1)ジュニアローラー教室 実施日:8月2日(火)、8月3日(水) 会場:東京ドームローラースケートアリーナ 対象:小中学生 参加者数:46人 主管:文京区ローラースポーツ連盟 (2)ジュニアサッカー教室 実施日:12月10日(土) 会場:小石川運動場 対象:小学3～6年生 参加者数:112人 主管:少年サッカー連盟、JFA	子どもたちの指導に精通している指導者によりスポーツを体験し、興味をもって取り組んでもらえました。地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができました。	スポーツ振興課
3 文化芸術 ① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】 ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実(p.50)								
213	55	3-①-ア	文化・芸術に親しみ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計:20,556人	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計:29,990人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 コロナ禍で中止していた文化祭の茶会や伝統芸能の吟剣詩舞道大会、日本舞踊のつどいを再開しました。また単年度事業として「全国藩校サミット文京大会」及び記念事業を実施し区民に江戸時代の文化や教育に触れる機会を提供するとともに区の文化を内外に発信しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
214	56	3-①-ア	事業提携楽団によるコンサート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。	・東京フィルハーモニー交響楽団 「響きの森クラシック・シリーズ」 Vol.76: 令和5年7月8日開催 来場: 1,668人 Vol.77: 令和5年10月21日開催 来場: 1,563人 Vol.78: 令和6年1月20日開催 来場: 1,650人 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 「BUNKYO SIENA POPS 2023 わが青春のポピュラーミュージック! Part.5」 令和5年7月23日開催 来場: 858人	・東京フィルハーモニー交響楽団 「響きの森クラシック・シリーズ」 シビックホール休館のため事業休止 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 「BUNKYO SIENA POPS 2023 わが青春のポピュラーミュージック! Part.4」 開催: 令和5年2月11日開催 来場: 988人	令和5年度は、すべての公演を実施することができました。 響きの森クラシック・シリーズは、セット券の販売が順調で、一定程度、顧客獲得と定着を図ることができました。	アカデミー推進課
215		3-①-ア	カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を活かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークル等によるコンサートを実施します。	カレッジコンサート 令和5年9月16日(土) 【参加団体】(5団体) 貞静学園短期大学／東京大学／東邦音楽大学／東洋大学／立教大学 【華道サークルによる生け花】 文京学院大学(2名) 【舞台技術ワークショップ】 参加者: 10人	実績なし	来場者のみならず、参加者も4年ぶりの舞台を楽しんでいたと、音楽文化の発展に寄与できたと考えます。 華道サークルによる生け花をホールロビー及びステージ横に飾ったほか、令和5年度は、新たに舞台技術ワークショップを開催しました。	アカデミー推進課
216		3-①-ア	まるキャンマーケット	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施します。	実績なし	実績なし	令和2年度以降事業を中止しています。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供(p.51)								
217	57	3-①-イ	小・中学生のための出前コンサート	子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び(公財)文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。	・東京フィルハーモニー交響楽団出前コンサート 令和5年9月11日 礒川小学校 令和5年9月12日 大塚小学校 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 令和5年5月30日 第六中学校 令和5年11月28日 第一中学校 ・鼓童 令和5年9月5日 茗台中学校 令和5年9月6日 窪町小学校	・東京フィルハーモニー交響楽団出前コンサート 令和4年10月5日 誠之小学校 令和4年10月24日 小日向町小学校 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 令和4年6月28日 第三中学校 令和4年6月29日 音羽中学校	令和5年度においても、区立の小・中学校各2校で予定通り開催しました。プロのアーティストによる演奏に触れる機会を提供することができ、児童・生徒のほか、担当教諭からも高い評価をいただきました。	アカデミー推進課
218	58	3-①-イ	文の京コミュニティコンサート	文京ミュージゼット等、区内文化施設において、施設の雰囲気や特長を活かしたミニコンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。	・傳通院 織月会館 令和5年11月3日 315人 ・東洋文庫ミュージアム 令和6年3月14日 79人	・森鷗外記念館 令和4年7月9日 ・小石川後樂園涵徳亭 令和5年1月20日	令和5年度は、傳通院及び東洋文庫ミュージアムにて実施しました。 区民にとって身近な施設においてプロのアーティストの演奏を、気軽に楽しむ機会を提供することができました。	アカデミー推進課
219		3-①-イ	「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行い、同時に区民が身近に芸術に触れる機会とします。	参加団体数 12団体 出品者数 68人 出品点数 726点	参加団体数 12団体 出品者数 110人 出品点数 564点	令和5年度は12団体から申し込みがあり、毎月作品を展示しました。4人の新規出品者がありました。	アカデミー推進課
220	59	3-①-イ	朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。	令和5年度は岩手県盛岡市友好都市提携5周年として盛岡市ゆかりの宮沢賢治の作品を課題としました。 本選:11月5日 出場者:16人 観覧者:126人 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映	平成24年度から年1回開催しています。今年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。 録音審査応募者:256人、本選:11月13日 出場者:17人 観覧者:113人 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。	感染症対策の行動制限緩和もあり、昨年度と比べて観覧者数が増加しました。引き続き、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行い、さらなる観覧者の増加を目指します。	アカデミー推進課
221	60	3-①-イ	シビックコンサート	クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。	日時 毎月1回開催(原則第4水曜日)12:15~12:45 会場 区民ひろば 観覧者数 延べ2,148人	シビックセンター改修工事により、会場である「区民ひろば」が使用不可のため事業を休止しました。	オープンスペースでの無料コンサートであるため、区役所を訪れた方に気軽に音楽に触れてもらうことができました。 また、区内の大学及び専門学校生等が、観客の前で演奏する機会の提供をすることができました。	アカデミー推進課
222		3-①-イ	新・観潮楼歌会	森鷗外を中心に多くの文人たちが集い、交流した「観潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開します。	新・観潮楼歌会 ・「森鷗外記念館で論語塾」 ①9月23日 ②9月30日 参加者①29名②27名 定員45名 応募41名	・朗読会 ・「舞姫」をよむ ・令和4年10月23日 参加36名 定員30名 応募42名	文京区で開催された「藩校サミット」関連イベントとして、論語の基礎講座を実施しました。	アカデミー推進課
223		3-①-イ	文学散歩	観潮楼跡地以外での広域な鷗外縁の地を巡り、その功績を改めて感じる事業を実施します。	・「文学散歩」 銀杏の木の下ー雑司ヶ谷から漱石山房へー 11月30日(参加15名 定員15名 応募22名)	・「文学散歩」 明治の青春が交差した街路 団子坂~谷中・上野の丘へ(荒天のため座学へ変更) 5月21日(参加13名 定員15名 応募37名)	特別展にちなみ、雑司が谷霊園、新宿漱石山房記念館等をコースに選び、関連自治体との交流にも繋がりました。	アカデミー推進課
224	61	3-①-イ	夜能動画配信事業	公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。	応募数 774人 当選者数 774人	応募数 876人 当選者数 876人	9月から12月の4月連続で募集を行いました。1公演あたり約200人の申し込みがありました。	アカデミー推進課
3 文化芸術 ① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供(p.51)								
225	62	3-①-ウ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民能楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計: 20,566人	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計: 29,990人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 コロナ禍で中止していた文化祭の茶会や伝統芸能の吟剣詩舞道大会、日本舞踊のつどいを再開しました。また単年度事業として「全国藩校サミット文京大会」及び記念事業を実施し区民に江戸時代の文化や教育に触れる機会を提供するとともに区の文化を内外に発信しました。	アカデミー推進課
3 文化芸術 ② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実(p.52)								
226	63	3-②-ア	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催 1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビジョンマッチの開催(会場及び同時配信) 1件 小・中学校への講師派遣 5校 高校生大会の共催 1件 小・中学生大会の後援 2件	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(観戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を実施しました。 令和5年度は「名人VSクイーンドリームマッチ」や小中学校への講師派遣など既存の事業の他、新たに大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し14校16チームが参加しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
227		3-②-ア	文の京ワークショップ	「現代の観潮楼＝交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開します。持続的な集客を図るとともに森鷗外や「文の京」を広く発信します。	・文の京ワークショップ ふみの日イベント 4回実施 4月23日「ベルリン記念館へエアメールを書こう」23名 9月23日「切手アート」18名 11月23日「人形を作ろう」25名 12月23日「なつかしの年賀状を作ろう」20名	・文の京ワークショップ ふみの日イベント 4回実施 4月23日「ベルリン記念館へエアメールを書こう」15名 6月23日「七夕に願いを込めて」14名 7月23日「ポストカードプレゼント」151名 12月23日「なつかしの年賀状を作ろう」10名	体験型のイベントが定着しつつあり、好評です。	アカデミー推進課
228		3-②-ア	鷗外講座	森鷗外の生涯や作品について、多角的に分かりやすく紹介・解説します。	・鷗外講座 基礎編 「鷗外を読む、その人生に沿いながら」 第1回 4月30日 参加者36名 定員45名 応募74名 第2回 5月14日 参加者36名 定員45名 応募83名 第3回 5月28日 参加者39名 定員45名 応募65名 第4回 6月11日 参加者43名 定員45名 応募70名 第5回 6月25日 参加者38名 定員45名 応募75名	・鷗外講座 (没後100年記念版2講座) 「鷗外というひと—鷗外の生涯を1日で学ぶ」 8月27日 参加者31名 定員20名 応募115名 ・「鷗外の詩歌を語る」 9月10日 参加者29名 定員30名 応募91名	コロナ、没後100年事業を挟んで久しぶりの基礎編を実施しました。各回とも参加者の鷗外作品への関心の高さが伺えました。	アカデミー推進課
229	64	3-②-ア	記念日イベント	森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持つ取り組みを行います。	・鷗外忌 早朝開館 7月9日 9時開館(通常10)(17名) ・鷗外忌7月9日 しおりプレゼント 参加者306名 ・鷗外忌特別講演会7月8日 「千住時代の森林太郎」参加42名 募集45名 応募55名 ・開館記念日11月1日 観覧者ポストカードプレゼント 参加者104人 ・開館記念日講演会11月3日「森鷗外の歴史地図」 参加52名 定員45 応募58名 ・鷗外誕生日記念事業 無料観覧日1月19日203名 ・誕生日記念日講演会11月3日「鷗外はアイヌの少女、知里幸恵に会ったか」 参加36名 定員50 応募51名	・鷗外忌 早朝開館・延長開館 9～20時(通常10～18時) 7月9日(早朝9名、延長17名) ・鷗外忌7月9日 区民無料デー 参加者163名 ・鷗外忌特別講演会7月16日 「五足の靴に見る即興詩人の影響—鷗外を仰ぎ見る人々」 参加31名 募集30名 応募180名 ・開館記念日11月1日 観覧者ポストカードプレゼント 参加者68人 ・開館記念日講演会11月12日「鷗外先生とわたし updated-ベルリンで考えたこと」 参加35名 定員30 応募92名 ・鷗外誕生日記念事業 無料観覧日1月19日 429名	各イベントとも参加者多数、観覧者増へ貢献しました。	アカデミー推進課
230		3-②-ア	朗読会	鷗外作品の魅力や、朗読という形で訴求するプログラムを展開します。	・朗読会 「生誕120年 森茉莉の世界」 令和5年9月2日 参加51名 定員60名 応募100名 ・朗読会 「夏目漱石『吾輩は猫である』を読む」 令和5年11月5日 参加49名 定員50名 応募56名	・朗読会 「高瀬舟」をよむ 令和4年11月23日 参加34名 定員30名 応募71名	閉館後のエントランスで通常より定員を増やしての開催とした。参加者の森茉莉や夏目漱石への関心の高さが伺えました。	アカデミー推進課
231		3-②-ア	まるキャンマーケット	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施します。	実績なし	実績なし	令和2年度以降事業を中止しています。	アカデミー推進課
232	65	3-②-ア	朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。	令和5年度は岩手県盛岡市友好都市提携50周年として盛岡市ゆかりの宮沢賢治の作品を課題としました。本選:11月5日 出場者:16人 観覧者:126人 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映	平成24年度から年1回開催しています。今年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。録音審査応募者:256人、本選:11月13日 出場者:17人 観覧者:113人 会場:跡見学園女子大学プロッサムホール CATV収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。	感染症対策の行動制限緩和もあり、昨年度と比べて観覧者数が増加しました。引き続き、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行い、さらなる観覧者の増加を目指します。	アカデミー推進課
3 文化芸術 ② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】イ 市民団体等の活動に対する支援の充実(p.53)								
233	66	3-②-イ	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数793件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 400件 スポーツ・野外活動団体 393件	登録団体数 756件 (内訳) 一般生涯学習活動団体 383件 スポーツ・野外活動団体 373件	関連施設への登録団体名簿の配架や、ホームページの更新で、最新情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。また、実績報告書の提出を依頼し、団体の活動内容を把握することができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
3 文化芸術 ② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】ウ 文化芸術活動の場の提供(p.53)								
234	67	3-②-ウ	舞台芸術創造事業(大ホール)	区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	講習会:7月～2月 参加者:117人 公演:ヴェルディ/歌劇「椿姫」令和6年2月18日開催	講習会:11月～3月 参加者:47人 公演:ブッチーニ/歌劇「ボエーム」令和5年3月12日開催	令和4年度と比べ、参加者が大幅に増え、多くの区民の方に芸術に触れる機会を提供することができました。	アカデミー推進課
235	68	3-②-ウ	舞台芸術創造事業(小ホール)	区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	ワークショップ:11月～2月 参加者:14人 公演:区民とつくる演劇 発表公演「文京スクラップBOOK」令和6年2月25日開催	ワークショップ:7月～12月 参加者:7人 公演:区民とつくる演劇 発表公演「わたくしゴト」令和4年12月3日開催	令和5年度は、区内の街歩きを通して、物語となる題材を発掘し、それを基に作成したそれぞれの台本を、スクラップブック形式でひとつにして、参加者自身が演じる手法で公演を開催しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
236	69	3-②-ウ	カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を活かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークル等によるコンサートを実施します。	カレッジコンサート 令和5年9月16日(土) 【参加団体】(5団体) 貞静学園短期大学／東京大学／東邦音楽大学／東洋大学／立教大学 【華道サークルによる生け花】 文京学院大学(2名) 【舞台技術ワークショップ】 参加者:10人 観覧者数:162人	実績なし	来場者のみならず、参加者も4年ぶりの舞台を楽しんでいただき、音楽文化の発展に寄与できたと考えます。 華道サークルによる生け花をホールロビー及びステーション横に飾ったほか、令和5年度は、新たに舞台技術ワークショップを開催しました。	アカデミー推進課
3 文化芸術 ③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】ア 次代を担う層が文化芸術への関心を持つきっかけとなる機会の充実(p.54)								
237		3-③-ア	I don't know(能)…NO(能)problem! ~みんなで楽しむ「能(Noh)プロジェクト」~	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 518人 当選者数 288人 参加者数 165人	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	定員240名に対し2.1倍の申し込みがありました。	アカデミー推進課
238	70	3-③-ア	親子向けコンサート	幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。	「フルーツの国のおんがくパーティー」 令和6年3月2日・3日開催 491人 ・「東京フィル 親子で楽しむはじめてのオーケストラ」 令和5年8月26日・25日開催 535人	「フルーツの国のおんがくパーティー」 令和4年12月24日・25日開催 ・「東京フィル 親子で楽しむはじめてのオーケストラ」 ホール休館のため事業休止	「フルーツの国のおんがくパーティー」は、フルート、クラリネット、パーカッションのアンサンブルによる生の音楽を楽しんでいただくほか、楽器の面白さが伝わるプログラムで高評価を得ました。 「親子で楽しむはじめてのオーケストラ」は、子どもたちの情操教育の一環として、オーケストラやオペラ歌手による演奏で生のクラシック音楽に触れる機会を提供し、多くの親子連れに楽しんでいただきました。	アカデミー推進課
239		3-③-ア	小・中学生のための歴史教室	夏休み期間中にクイズイベントなどを実施し、参加することを契機として、歴史・文化についての興味や文京区への愛着を深めてもらいます。	「フンタを探せ！ 歴史館クイズラリー」というテーマで7月27日から8月31日まで行いました。例年夏休み期間中に開催していますが、5年度はトイレ洋式化工事のため、開始日が遅くなりました。参加者は184人でした。	「フンタを探せ！ 展示室をスミからスミまで探検しよう」というテーマで7月16日から8月23日まで行いました。感染症対策として、クイズの問題を複数回用意し、展示室内の1か所に参加者が集まらないようにするなどの工夫を行った結果、参加者が342人となりました。	工事のため開催日数は少なくなりましたが、クイズを解いてもらうことで、多くの小中学生に展示物を注意深く見て知識が増える機会を提供できました。	アカデミー推進課
240	71	3-③-ア	観客参加型公演	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。	文京シビックに「鼓童」がやってくる！ 「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」・「ぶんきょう交流公演2023」 令和5年9月9日開催	・文京シビックに「鼓童」がやってくる！ 「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」・「文京交流公演2023」	公演前に「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、15組30人の親子が参加しました。 また、公演は281人が迫力ある太鼓演奏を鑑賞し、公演の中でも実施する「太鼓演奏体験」を再開することができました。	アカデミー推進課
241		3-③-ア	文化・芸術に親しみ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 20,556人	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 29,990人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 コロナ禍で中止していた文化祭の茶会や伝統芸能の吟剣詩舞道大会、日本舞踊のつどいを再開しました。また単年度事業として「全国蒲校サミット文京大会」及び記念事業を実施し区民に江戸時代の文化や教育に触れる機会を提供するとともに区の文化を内外に発信しました。	アカデミー推進課
242	72	3-③-ア	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催 1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビジョンマッチの開催(会場及び同時配信) 1件 小・中学校への講師派遣 5校 高校生大会の共催 1件 小・中学生大会の後援 2件	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(観戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を実施しました。 令和5年度は「名人VSクイーンドリームマッチ」や小中学校への講師派遣など既存の事業の他、新たに大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し14校16チームが参加しました。	アカデミー推進課
3 文化芸術 ③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成(p.55)								
243	73	3-③-イ	子ども俳句大会	区内中学校在学学生を対象に、日本の伝統的文化的のひとつである俳句を通じて自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。	中学生俳句大会 募集期間:10月25日(水)~11月17日(金) 投句:776句	中学生俳句大会 募集期間:10月25日(火)~11月18日(金) 投句:818句	区内中学校に直接的に周知し、区立の中学生他、区内中学生より日々の暮らしの中での出来事からスケールの大きい作品など、中学生の視線ならではの力が寄せられました。特選10句・入選20句について財団ホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載したとともに、特選に選ばれた10句は、財団広報誌スクエア及び区報ぶんきょうにも掲載しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
244		3-③-イ	吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講師・表彰等を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。	・アンサンブルコンテスト 令和5年11月20日、25日、26日、30日実施 23団体 125人 ・アンサンブルコンテスト 令和5年12月9日開催 456人	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	出場団体は、シエナメンバーによる2時間の事前レッスンでプロからの直接指導を受けられることができ、高い評価を得ることができました。	アカデミー推進課
245	74	3-③-イ	楽器演奏指導	区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。	令和5年7月3日～7月27日 区立中学校10校計30回実施	令和4年7月6日～7月25日 区立中学校10校計29回実施 ※受講予定生徒の都合により1回中止	全ての区立中学校においてシエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部員を対象とした個別演奏指導を行い、プロからの指導が受けられる貴重な機会となり、好評を得ました。	アカデミー推進課
246	75	3-③-イ	文京ふるさと歴史館収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。	館蔵資料をもとに、天気＝空模様というテーマに即した錦絵、書籍、民具等を展示した「はれ あめ くもり ぶんぎょうの空模様」を開催しました。 会期 2月10日～3月17日 入館者数 2,485人	館蔵の寄贈資料をもとに、区内に住んだ精神病学者とその交友関係を描いた「杉田直樹と仲間たち 文三・潤一郎・茂吉」を開催しました。 会期 2月11日～3月19日 入館者数 1,537人	今後とも、館蔵資料の研究成果をもとに、地域の魅力を様々な形で紹介していきます。多様なテーマを設定し展示することで、いっそう来館者の満足度が高くなるように事業を継続していきます。	アカデミー推進課
247	76	3-③-イ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民音楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 20,556人	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 29,990人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 コロナ禍で中止していた文化祭の茶会や伝統芸能の吟剣詩舞道大会、日本舞踊のつどいを再開しました。また単年度事業として「全国藩校サミット文京大会」及び記念事業を実施し区民に江戸時代の文化	アカデミー推進課
248	77	3-③-イ	I don't know(能)…NO(能)problem! ～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」～	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 518人 当選者数 288人 参加者数 165人	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	定員240名に対し2.1倍の申し込みがありました。	アカデミー推進課
249		3-③-イ	技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。	技能名匠認定者 0名	技能名匠認定者 2名	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図り、技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図っていく必要がある。	経済課
3 文化芸術 ③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承(p.55)								
250		3-③-ウ	文の京地域文化インタープリターの活動支援	地域文化の価値を理解するために必要な知識や技術を習得した文京区の文化資源の案内役を養成します。また、インタープリターの活動を支援します。	受講者数:12人 文の京地域文化インタープリター養成講座 実施期間:令和5年10月7日(土)～令和6年2月17日(土) 10:00～12:00(全15回) 実施会場:跡見学園女子大学 受講者数:12人(定員30人/応募者数12人)	隔年実施のため実績なし	区内大学の協力を得て、「文の京インタープリター養成講座」実施し、新たに12名を認定しました。	アカデミー推進課
251	78	3-③-ウ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)企画展、区民音楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 20,556人	文化事業系の事業への参加者及び来場者の合計: 29,990人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 コロナ禍で中止していた文化祭の茶会や伝統芸能の吟剣詩舞道大会、日本舞踊のつどいを再開しました。また単年度事業として「全国藩校サミット文京大会」及び記念事業を実施し区民に江戸時代の文化や教育に触れる機会を提供するとともに区の文化を内外に発信しました。	アカデミー推進課
252	79	3-③-ウ	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりのある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催 1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催(会場及び同時配信) 1件 小・中学校への講師派遣 5校 高校生大会の共催 1件 小・中学生大会の後援 2件	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(観戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を実施しました。 令和5年度は「名人VSクイーンドリームマッチ」や小中学校への講師派遣など既存の事業の他、新たに大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し14校16チームが参加しました。	アカデミー推進課
253		3-③-ウ	I don't know(能)…NO(能)problem! ～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」～	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 518人 当選者数 288人 参加者数 165人	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	定員240名に対し2.1倍の申し込みがありました。	アカデミー推進課
254	79	3-③-ウ	吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講師・表彰等を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。	・アンサンブルコンテスト 令和5年11月20日、25日、26日、30日実施 23団体 125人 ・アンサンブルコンテスト 令和5年12月9日開催 456人	・改修工事によるシビックホール休館のため事業休止	出場団体は、シエナメンバーによる2時間の事前レッスンでプロからの直接指導を受けられることができ、高い評価を得ることができました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
255		3-③-ウ	楽器演奏指導	区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。	・令和5年7月3日～7月27日 区立中学校10校計30回実施	・令和4年7月6日～7月25日 区立中学校10校計29回実施 ※受講予定生徒の都合により1回中止	全ての区立中学校においてシエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部員を対象とした個別演奏指導を行い、プロからの指導が受けられる貴重な機会となり、好評を得ました。	アカデミー推進課
256		3-③-ウ	シビックコンサート	クラシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。	日時 毎月1回開催(原則第4水曜日)12:15～12:45 会場 区民ひろば 観覧者数 延べ2,148人	シビックセンター改修工事により、会場である「区民ひろば」が使用不可のため事業を休止しました。	オープンスペースでの無料コンサートであるため、区役所を訪れた方に気軽に音楽に触れてもらうことができました。 また、区内の大学及び専門学校生等が、観客の前で演奏する機会の提供をすることができました。	アカデミー推進課
3 文化芸術 ④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進 ア 文化資源を活用した事業の推進 (p.56)								
257	80	3-④-ア	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級 参加者270人 ミスさんさ踊り派遣(時代まつり 来場者約3,500人) 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者62人 (うち都市交流フェスタ参加者 22人) 金沢市 かなざわ講座 参加者39人 百万石まつりへの参加(盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止 うるま市 現代版組踊「肝高の阿麻和利」公演 後援	盛岡市 啄木学級 参加者106人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者52人 金沢市 かなざわ講座 参加者70人 百万石まつりへの参加(行列、盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止	令和5年度は盛岡市友好都市協定提携5周年にあたり、各種記念事業を開催しました。啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。藩校サミット記念事業として開催された「時代まつり」にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップではワークショップ参加者のうち希望者22人が都市交流フェスタの舞台上でさんさ踊りを披露しました。 また、沖縄県うるま市の現代版組踊「肝高の阿麻和利」公演を後援しました。	アカデミー推進課
258		3-④-ア	コンピューターによる館内閲覧システム	文京ふるさと歴史館の館内閲覧システムにより、本区の豊富な文化遺産の情報を発信し、区民や研究者の調査・研究活動に資することを目指します。	感染症対策としての行動制限の緩和に基づき、館内での閲覧を再開しました。	新型コロナウイルス感染防止のため館内での閲覧中止	館内での閲覧を再開することで、来館者の利便性が高まりました。	アカデミー推進課
259		3-④-ア	夜能動画配信事業	公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。	応募数 774人 当選者数 774人	応募数 876人 当選者数 876人	9月から12月の4月連続で募集を行いました。1公演あたり約200人の申し込みがありました。	アカデミー推進課
260		3-④-ア	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催 1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビジョンマッチの開催(会場及び同時配信) 1件 小・中学校への講師派遣 5校 高校生大会の共催 1件 小・中学生大会の後援 2件	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(親戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を実施しました。 令和5年度は「名人VSクイーン・ドリームマッチ」や小中学校への講師派遣など既存の事業の他、新たに大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し14校16チームが参加しました。	アカデミー推進課
261		3-④-ア	I don't know(能)…NO(能)problem! ~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」~	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 518人 当選者数 288人 参加者数 165人	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	定員240名に対し2.1倍の申し込みがありました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
3 文化芸術 ④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進 イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信(p.57)								
262		3-④-イ	文京ミュージーズフェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介します。	施設改修工事のため中止 代替事業 「文京ミュージーズネット周遊デジタルカードラリー」 参加施設 26施設 参加者 706人 読み取り件数 2235件	開催期間 1日 参加施設数 27施設 来場者数 延べ404人	施設改修工事のため開催中止しました。代替事業として「文京ミュージーズネット周遊デジタルカードラリー」を実施しました。	アカデミー推進課
263		3-④-イ	紙媒体による情報提供	区報や指定管理者の発行する情報紙により、文化芸術関連情報を提供します。	・文京アカデミー広報紙「スクエア」 発行：年12回 100,000部発行 新聞折込および区内拠点配布	・文京アカデミー広報紙「スクエア」 発行：年12回 100,000部発行 新聞折込および区内拠点配布	新聞折込および区内拠点にて配布し、文化芸術および生涯学習関連等の情報を提供しています。	アカデミー推進課
264		3-④-イ	史跡めぐり	地域の歴史・文化財をガイドの解説を聞きながら歩いて実見することにより、文京区の歴史・文化の普及・啓発を図ります。文京ふるさと歴史館友の会との協働事業として行います。	定員を感染症対策時の30人から50人に戻しました。 ①11/16 小石川植物園を訪ねて 播磨坂から千川通り一帯を歩く 参加43人 ②12/7 江戸の学問の足跡を巡る 参加45人 ③2/22 江戸川公園から肥後細川庭園(椿山)に行く 参加38人	①10/20 徳川ゆかりの地を訪ねて 参加22人 ②11/17 森鷗外没後100年記念事業 鷗外の足跡を訪ねて一坂道を巡る 参加15人 ③12/7 小石川植物園の周辺を歩く 参加21人	定員を50人に戻し参加者も増加しました。文京ふるさと歴史館友の会のガイドは参加者アンケートで好評であり、地域を紹介することで文京区への親しみを深める成果が得られました。	アカデミー推進課
265	84	3-④-イ	文京ゆかりの文化人顕彰事業	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。	朗読コンテスト(跡見学園女子大学主管) 応募総数274人 本選出場16人 本選11/5 跡見学園女子大学プロッサムホール 課題作家:宮沢賢治 観覧者数126人 歴史講演会「私の知っている牧野富太郎」(共催 東京大学大学院理学系研究科附属植物園) 講師 邑田仁氏(東京大学名誉教授) 8/5 区民センター 参加者 会場101人 オンライン307人 史跡めぐり「賢治・啄木が暮らした街を巡る」参加43人	朗読コンテスト(跡見学園女子大学主管) 応募総数256人 本選出場17人 本選11/13 跡見学園女子大学プロッサムホール 課題作家:森鷗外 観覧者数113人 歴史講演会「一葉作品にみる明治の出版と挿絵」 講師 出口智之氏(東京大学大学院総合文化研究科准教授) 1/22 区民センター 87人 史跡めぐり9/29「本郷・西片の樋口一葉が暮らした風景をたどる」参加21人	申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。	アカデミー推進課
266	82	3-④-イ	文京ふるさと歴史館特別展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催します。	全国藩校サミット文京大会の関連事業として「湯島の地に聖堂あり 江戸・東京の学び舎と文京」を開催しました。 会期 10月28日～12月10日 入館者数 2,432人 講演会「湯島聖堂にみる伊東忠太の建築意匠」 講師 角田真弓氏(東京大学大学院工学系研究科技術職員)12/3 区民センター 参加者97人	区内の国名勝及び史跡として文化財指定された東京大学大学院理学系研究科附属植物園の歴史や文化を取り上げる「小石川植物園異聞 白山御殿跡いま・むかし」を開催しました。 会期 10月29日～12月11日 入館者数 2,344人 講演会「小石川植物園の植物学研究」 講師 川北篤氏(小石川植物園長) 12/4 区民センター参加者91人	今後とも、文京区の歴史や文化について紹介し、来館者の満足度を高めるよう資料の調査研究を継続します。	アカデミー推進課
267	83	3-④-イ	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。	「水沫集」 2月3日～4月2日(54日間)観覧者2681名 「鷗外の食」 4月8日～7月9日(8日間)観覧者7458名 「生誕120年 森茉莉」 7月14日～10月1日(74日間)観覧者4508名 「千駄木の鷗外と漱石」 10月7日～1月14日(89日間)観覧者6778名 「近所のアトリエ 動坂の画家・長原孝太郎と鷗外」 1月19日～4月7日(73日間)観覧者3578名	「写真の中の鷗外」 1月9日～4月17日(95日間)観覧者5397名 「読み継がれる鷗外」 4月23日～7月31日(94日間)観覧者6760名 「鷗外の東京の住まい」 8月5日～10月16日(69日間)観覧者4993名 「鷗外遺産」 10月22日～1月29日(87日間)観覧者4133名 「水沫集」 2月3日～4月2日(54日間)観覧者2681名	他自治体、文学館、大学等との連携により展示内容、関連イベント等を充実させることができました。	アカデミー推進課
268		3-④-イ	フィルムライブラリー	映像資料を収集・保存し、調査研究や鑑賞会を行います。	新規購入本数：19本(DVD) 資料所蔵状況：2,567本 16ミリフィルム：935本 ビデオ(VHS)：1,288本 DVD：343本	新規購入本数：12本(DVD) 資料所蔵状況：2,547本 16ミリフィルム：935本 ビデオ(VHS)：1,288本 DVD：324本	各団体等に対する貸出を継続したほか、支援者団体の意見も取り入れた新規資料を購入をしました。また、適正な保管環境整備のため、除湿器を設置しました。	アカデミー推進課
269		3-④-イ	まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	みんなの名所ものがたり 声によるコミュニティ情報のアーカイビング 第1回ワークショップ 12/16 参加者数2名 大塚地域活動センター 第2回ワークショップ 1/20 参加者数2名 駒込地域活動センター	みんなの名所ものがたり エピソード活用編 ワークショップ 3/19 参加者数4名 礒川地域活動センター	東京大学との協働事業として平成28年度から実施し、東京大学のホームページでアーカイブとして公開しています。参加者が地域の良いところを発表・共有するという成果が得られました。	アカデミー推進課
270	81	3-④-イ	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージーズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議の開催 文京ミュージーズネットマップの作成 日本語版35,000部、英語版 7,000部 文京ミュージーズネット周遊デジタルカードラリー開催(2か月間) 参加者数706人 全国藩校サミット文京大会記念事業の実施 3施設	全体会議 文京ミュージーズネットマップの作成 文京ミュージーズフェスタの開催 文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンの実施(2か月間)	施設改修工事のため「文京ミュージーズフェスタ」が中止となりました。代替事業として実施した「文京ミュージーズネット周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。 また全国藩校サミット記念事業として、3施設から藩校に関連した所蔵品を展示するなどの協力を得ました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
271		3-④-イ	文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知します。	文京ふるさと歴史館だより(年1回発行) 第30号 令和5年 6月29日発行 年報第26号 令和4年度(令和5年9月29日発行)	文京ふるさと歴史館だより(年1回発行) 第29号 令和4年 6月24日発行 年報第25号 令和3年度(令和4年9月30日発行)	区内施設、関係機関、来館者などに事業の周知ができました。	アカデミー推進課
272		3-④-イ	森鷗外記念館ニュース・年報の発行	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知します。	森鷗外記念館ニュース(年4回発行) No.43号 令和5年 6月 No.44号 令和5年 9月 No.45号 令和5年12月 No.46号 令和6年 3月 年報第11号 令和4年度(令和5年8月31日発行)	森鷗外記念館ニュース(年4回発行) No.39号 令和4年 6月 No.40号 令和4年 9月 No.41号 令和4年12月 No.42号 令和5年 3月 年報第10号 令和3年度(令和4年8月31日発行)	区内施設、関係機関、来館者などに事業の周知ができました。	アカデミー推進課
273		3-④-イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
274		3-④-イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	4月10日～12月25日、1月10日～3月25日 139,200部 計年23回 1月1日号 66,000部 年1回	4月10日 140,000部 1回 4月25日～3月25日 138,000部 22回 計年23回 1月1日号 67,500部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
275		3-④-イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
276		3-④-イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和5年度発行)	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(令和2年度発行)	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
277		3-④-イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します(4カ国語併記 日本語・英語・中国語・ハングル)。	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	4カ国語(日本語・英語・ハングル・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課
278		3-④-イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課
279		3-④-イ	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助28団体	地域広報紙発行補助28団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっています。	区民課
280		3-③-イ	「来て見て体験」文京の伝統工芸	伝統工芸品の魅力をものづくりに関心のある区民や国内外からの観光客等に発信するため、販売、実演、体験ができるイベントを定期的実施します。	月2回、年24回開催 会場:不忍通りふれあい館 体験参加人数:655人	月2回、年24回開催 会場:不忍通りふれあい館 体験参加人数:494人	ものづくりに関心のある区民や国内外の観光客の集客と伝統工芸の魅力発信をすることができました。	経済課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
281		3-④-イ	技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術・技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。	技能名匠認定者 0名	技能名匠認定者 2名	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術・技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図り、技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図っていく必要がある。	経済課
282		3-④-イ	まち並みウォッチング	坂、緑、史跡など文京区の景観特性に着目しながら講師と一緒にまち歩きを行い、景観形成の視点を学びます。	実施日:令和5年4月20日(木) 参加者数:26人 応募者:50名(43組) コース:大塚～音羽界隈	実施日:令和4年4月21日(木) 参加者数:30人(25組) 応募者:44名(38組) コース:湯島・本郷界隈	感染予防対策を講じたうえで、文京区の景観を学びながらまち歩きする機会を提供でき、参加者から好評でした。 今後はリピーターの参加者も多い中、コースや内容がマンネリ化しないよう工夫してする必要があります。	住環境課
283		3-④-イ	文の京景観賞	区内の景観を形成している建築物等や景観づくりに貢献している活動、また、児童が撮影した景観に係る写真を公募し、優れたものを表彰します。	募集期間:6月26日～8月18日 ・都市景観部門 受賞数:1件 応募数:37件 ・景観づくり活動部門 受賞数:1件 応募数:3件 ・子ども景観写真部門 受賞数:2件 応募数:19件	募集期間:6月27日～8月19日 ・都市景観部門 受賞数:1件 応募数:36件 ・景観づくり活動部門 受賞数:1件 応募数:3件 ・子ども景観写真部門 受賞数:2件 応募数:12件	文京区の魅力をPRすることができました。事業の認知度を高め、応募数を増やすため、より効果的な周知方法等を検討する必要があります。	住環境課
284		3-④-イ	指定文化財等の保護・保存と管理	文化遺産等の維持・保全と活用のため①～③を行います。 ①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付します。 ②区内の文化財を調査・記録し、保護に努めます。 ③区内の文化財を広く周知するとともに、文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設、文化財講演会・考古学教室等の事業を行います。	①補助金の交付申請:16件 17,355千円 奨励金の交付申請:74件 1,260千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付:35件 ③文化財・坂道標示板:再設置2基 子ども考古学教室: 【実施日】令和5年7月27日(木) 【参加者数】23名 文化財ウィーク: (1)「村川家住宅」の特別公開と建物解説(主催) 【実施日】令和5年11月5日(日) 【参加者数】47名 (2)西岸寺「木造阿弥陀如来立像」の特別公開(主催) 【実施日】令和5年10月20日(金) 【参加者数】120名 (3)「旧磯野家住宅(銅御殿)」特別公開(協力) 【実施日】令和5年10月28日(土) 【参加者数】481名 文化財講演会「小石川植物園と近現代考古学」 【実施日】令和5年11月11日(土) 【参加者数】109名	①補助金の交付申請:11件 8,538千円 奨励金の交付申請:73件 1,250千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付:34件 ③文化財・坂道標示板:新設1基、再設置1基、補修5基	①補助金の交付申請があったところに対しては、補助金の支払いを行いました。奨励金の交付申請があったところに対しては、奨励金の支払いを行いました。 ②事業計画を送付したところ、6件の補助金申請の希望がありました。 ③文化財標示板を2基再設置しました。考古学教室や文化財ウィーク、文化財講演会等の事業を行い、区内の文化財を広く周知するとともに、文化財に対する理解と認識を促しました。	教育総務課
3 文化芸術 ④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進 ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進 (p.58)								
285	85	3-④-ウ	文京ふるさと歴史館友の会の支援	文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。	月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業(史跡めぐり)への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。交流自治体主催で文京区内ツアーが開催された際には、ガイドとして協力していただきました。	月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業(史跡めぐり)への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。	友の会の活動が円滑に行われ、会員数が増えるように引き続き支援を行います。	アカデミー推進課
286		3-④-ウ	文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図ります。ガイドのスキルアップを支援します。	令和5年10月から月2回のペースで再開しました。	感染症対策として休止	令和5年10月から再開したことにより、解説を希望する来館者のニーズにこたえることができました。	アカデミー推進課
287		3-④-ウ	森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進します。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図ります。	毎週土日と祝日の定期解説を1日1回、団体やイベントでの解説を実施しました。	毎週土日と祝日にボランティアによる解説を1日2回、実施していたが感染症拡大防止策の為、休止しました。	令和2年度より感染拡大防止対策のため解説を休止していたが、令和5年度4月より土日祝の定期解説と、団体やイベントでの解説を再開しました。	アカデミー推進課
288		3-④-ウ	文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。	文京緑の文人支援事業補助金交付実績:1件(補助事業:令和5年度文京一葉忌)	文京緑の文人支援事業補助金交付実績:1件(補助事業:令和4年度文京一葉忌)	文京ゆかりの文人である「樋口一葉」の命日に行われる「文京一葉忌」へ補助金を交付し、文人顕彰に向けた事業を支援しています。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
289		3-④-ウ	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催 1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催(会場及び同時配信) 1件 小・中学校への講師派遣 5校 高校生大会の共催 1件 小・中学生大会の後援 2件	関係団体との相互協力協定締結 大会主催(観戦型)1件 大会共催(参加型)1件 講師派遣 3件 ラッピングバスの走行 1件 教室共催 1件(4日間)	一般社団法人全日本かるた協会と相互協力協定を提携し、かるたの街文京をPRする事業を実施しました。 令和5年度は「名人VSクイーンドリームマッチ」や小中学校への講師派遣など既存の事業の他、新たに大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し14校16チームが参加しました。	アカデミー推進課
290		3-④-ウ	I don't know(能)…NO(能)problem! ~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」~	公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数 518人 当選者数 288人 参加者数 165人	応募数 761人 当選者数 189人 参加者数 129人	定員240名に対し2.1倍の申し込みがありました。	アカデミー推進課
291	86	3-④-ウ	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級 参加者270人 ミスさんさ踊り派遣(時代まつり 来場者約3,500人) 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者62人 (うち都市交流フェスタ参加者 22人) 金沢市 かなざわ講座 参加者39人 百万石まつりへの参加(盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止 うるま市 現代版組踊「肝高の阿麻和利」公演 後援	盛岡市 啄木学級 参加者106人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者52人 金沢市 かなざわ講座 参加者70人 百万石まつりへの参加(行列、盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止	令和5年度は盛岡市友好都市協定提携5周年にあたり、各種記念事業を開催しました。啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。藩校サミット記念事業として開催された「時代まつり」にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップではワークショップ参加者のうち希望者22人が都市交流フェスタの舞台でさんさ踊りを披露しました。 また、沖縄県うるま市の現代版組踊「肝高の阿麻和利」公演を後援しました。	アカデミー推進課
292		3-④-ウ	まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	みんなの名所ものがたり 声によるコミュニティ情報のアーカイビング 第1回ワークショップ 12/16 参加者数2名 大塚地域活動センター 第2回ワークショップ 1/20 参加者数2名 駒込地域活動センター	みんなの名所ものがたり エピソード活用編 ワークショップ 3/19 参加者数4名 礪川地域活動センター	東京大学との協働事業として平成28年度から実施し、東京大学のホームページでアーカイブとして公開しています。参加者が地域の良いところを発表・共有するという成果が得られました。	アカデミー推進課
293		3-④-ウ	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助28団体	地域広報紙発行補助28団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課
4 観光 ① 区内まるごと周遊の促進 ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出 (p.64)								
294		4-①-ア	歴史的建造物の活用	歴史的建造物(文京区登録有形文化財)であり、樋口一葉にもゆかりのある旧伊勢屋貨店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物内部の公開事業を行います。あわせて周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。	・旧伊勢屋貨店公開事業 年間公開日数:59日 ※企画展示「質屋の記録～見てくる昭和初期の暮らし」の実施 (2/18(日)～2/24(土))	・旧伊勢屋貨店公開事業 年間公開日数:61日 来館者数:1,452人 ※樋口一葉生誕150周年記念展示の実施 (11/23(水・祝)～11/27(日))	所有者である跡見学園女子大学の学生がパンフレットの制作や企画展等に参画し、大学連携の促進に資する事業となっています。	アカデミー推進課
295	87	4-①-ア	観光写真コンクール	文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。	・観光写真コンクール応募者数:151名(作品:498点) ・写真展来場者数:673名	・観光写真コンクール応募者数:161名(作品:491点) ・写真展来場者数:575名	令和5年度で61回を迎え、毎年区民の方を中心にたくさんのご応募をいただいています。 本コンクールの受賞作品については、観光PRポスターを始めとする本区の様々な観光PRの機会で使用しています。	アカデミー推進課
296		4-①-ア	石川啄木終焉の地歌碑・顕彰室設置・運営	文京区ゆかりの文人(歌人)である石川啄木を顕彰するため、その終焉の地である小石川五丁目に啄木の歌碑及び顕彰室を設置・運営します。	・顕彰室年間来場者数:2,014名	・顕彰室年間来場者数:1,380名	年末年始を除き年間通して開館し、啄木の足跡、とりわけ文京区との関わりを中心に写真等で紹介しています。	アカデミー推進課
297		4-①-ア	展望ラウンジ観光拠点化事業	文京シビックセンター25階展望ラウンジという区の魅力的な施設の新たな活用方法を見出し、観光スポットとしてのプレゼンスを向上することを目的としたイベント等を実施します。	令和5年5月から展望ラウンジの公開を再開しました。また、再開を記念した特別企画として、中学生以下を対象とした展望ラウンジ内でのクイズラリーや緑日等を実施しました。 ・実施期間:クイズラリー 8月5日～8月27日 緑日・紙芝居 8月26日・27日 ・クイズラリー延べ参加者数:1,063名 ・緑日延べ参加回数:2,073回 ・紙芝居公演延べ参加者数:499名	・工事のため閉鎖	令和5年5月から展望ラウンジの公開を再開し、観光情報の発信等を行いました。また、再開を記念した特別企画を実施し、展望ラウンジの認知度の向上を図りました。	アカデミー推進課
298		4-①-ア	文の京ゆかりの文人銘菓	平成24年度に「森鷗外生誕150周年記念事業」として区内の菓子店に文京区ゆかりの文人にちなんだお菓子を創作していただき、文京区の文人銘菓として販売しています。	文京グルメマップを日本語50,000部制作し、観光施設等で配布を行いました。また、日本語・英語・中国語のWeb版を制作しました。	リーフレットの内容を、文京グルメマップと統合し、日本語50,000部制作し、観光施設等で配布を行いました。また、日本語・英語・中国語のWeb版を制作しました。	文京グルメマップの配布、多言語版での案内により広範に本事業の情報を発信しています。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
299	88	4-①-ア	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	・花の五大まつり等助成実績:7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績:7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	・花の五大まつり等助成実績:7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績:4件(つつじ/あじさい/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	花の五大まつり等の実施等に要する経費助成を行うとともに、まつりを未来に繋いでいくことを目的に、新たに「まつりの街、文京」プロジェクトを開始し、主に小・中学生向けのワークショップ等を実施しました。 引き続き、まつりの振興を図るための経費助成を行うとともに、将来的な担い手確保に向け、子ども達がまつりを知り、まつりに関わるための取組を進めていきます。	アカデミー推進課
300		4-①-ア	SNSによる写真投稿キャンペーン	TwitterやInstagramに区内の魅力が詰まった写真を投稿してもらいます。観光写真コンクールと同開催することにより、若年層等の関心を高め、新たな参加者の獲得につなげます。	実施なし	・キャンペーン投稿数:79件	SNSを活用することで観光写真コンクールより気軽に応募でき、新たな参加者層の獲得に繋がっていました。一方で、投稿数の減少が課題となっていたため、他事業との統合も視野に内容の検討を行うこととしたため、令和5年度の実施は見合わせました。	アカデミー推進課
301		4-①-ア	文京区観光土産品開発事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域活力の復興を図るため、区民参画による観光土産品をつくり、文京区の新たな魅力を創出・発信します。	令和5年3月から文京区観光協会が販売を開始した「花咲菓石けん～文京花の五大まつり～」について、区内観光施設等での販売促進に向けPRを行いました。	令和3年度に募集したアイデアを元に、商品化に向けた取組を実施し、商品完成・販売開始につなげました。 ・ネーミング投票 期間:9月1日～9月30日 応募数:634件	ふるさと納税の返礼品に採用されるとともに、区内観光施設等による販売も好調であることから、新たな観光土産品の販売等を通して、文京区の魅力の発信を図ることができています。	アカデミー推進課
新規		4-①-ア	全国藩校サミット文京大会記念事業「時代まつりin文京」	区民が歴史に触れる機会を創出し、全国藩校サミット文京大会の機運醸成を図るとともに、区の魅力を内外に発信するため、「於大の方」ゆかりの傳通院を起点とした区民参画による「時代まつり行列」や関連自治体等と連携した物産展を開催します。	・来場者数 約3,500名 ・時代まつり行列応募者数 439名	実施なし	徳川家ゆかりの寺社など、本区の観光資源を活用するとともに、自治体連携による物産展を実施することで、区内外に対して本区の魅力を発信し、全国藩校サミット文京大会の機運醸成を図りました。	アカデミー推進課
4 観光 ① 区内まるごと周遊の促進 イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上 (p.65)								
302	89	4-①-イ	観光ガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。	・観光ガイドツアー参加者数:747名	・観光ガイドツアー参加者数:323名 ・新規観光ガイド登録者数:8名	文京花の五大まつり等の開催に合わせて様々なガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの広報を図ることで、ガイドツアーの参加者数が増加しました。	アカデミー推進課
303		4-①-イ	コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。	令和5年度利用客数 千駄木・駒込ルート:481,665人(増減率:+6%) 目白台・小日向ルート:449,676人(増減率:+7%) 本郷・湯島ルート:161,601人(増減率:+8%)	令和4年度利用客数 千駄木・駒込ルート:454,041人(増減率:+14%) 目白台・小日向ルート:421,515人(増減率:+16%) 本郷・湯島ルート:149,300人(増減率:+156%)	【令和4年度】 本郷・湯島ルートが運行開始後一年を経過したことから、各路線の利用状況を把握するため、コミュニティバスの利用実態調査を実施しました。 【令和5年度】 コミュニティバスの利用促進のため、花の五大まつり等の区内イベント会場にてPRを行いました。	区民課
304		4-①-イ	肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	観光拠点施設として、近隣の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致を図り、地域の活性化に寄与するため、歴史性のある肥後細川庭園及び松聲閣の魅力や情報を発信するとともに、地域周遊事業を企画します。	指定管理者指定事業「目白台“涼”さんぽ ～Cool Mejirodai～」(実施期間) 令和5年7月29日(土)から9月24日(日)まで (場所) 肥後細川庭園 松聲閣 (内容) ①周遊企画「涼さんぽ」で写真を撮ろう！(クリアファイルプレゼント) ②永青文庫との相互割引コラボレーション ③SNSでハッシュタグ(ポストカードプレゼント)(協力) 永青文庫、目白台運動公園	指定管理者自主事業「目白台“涼”さんぽ ～Cool Mejirodai～」(実施期間) 令和4年8月13日(土)から9月25日(日)まで (場所) 肥後細川庭園 松聲閣 (内容) ①周遊企画「涼さんぽ」で写真を撮ろう！(クリアファイルプレゼント) ②永青文庫との相互割引コラボレーション ③SNSでハッシュタグ(ポストカードプレゼント)(協力) 永青文庫、目白台運動公園、日本気象協会	豊かな緑と水を湛える目白台の夏季の魅力をPRすべく、周辺施設と連携し、周遊機会を創出することができました。また、日本気象協会「熱中症ゼロプロジェクト」と連携を図り、熱中症予防の普及啓発活動に努めました。	みどり公園課
4 観光 ② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有 ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進 (p.66)								
305	90	4-②-ア	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。	・観光インフォメーション来所人数:11,559人 ・観光情報等問い合わせ件数:1,627件	・観光インフォメーション来所人数:8,952人 ・観光情報等問い合わせ件数:1,650件	昨年度と比較し、相談件数(案内件数)はやや減少しましたが、来所人数は増加しました。来所者が必要な情報を得られており、相談に至らないケースがあるものと考えられます。 引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。	アカデミー推進課
306		4-②-ア	フィルムコミッション事業	映像製作者を誘致し、ロケーション撮影を行うことで、メディアを活用した区の情報発信を行い知名度の向上を図るとともに、ロケ地見学などの観光客を誘致し観光振興を図ります。	・撮影受入件数:0件	・撮影受入件数:1件	問い合わせはあるものの、撮影に至るまでの条件等が合わず実際に映像制作するまでには至りませんでした。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
307		4-②-ア	観光情報の一元化	文京区観光協会のホームページの掲載コンテンツの充実を図るとともにSNSの運用を促進し、観光情報発信におけるプラットフォームとしての基盤を整備します。	ホームページやSNS(Twitter・LINE)による積極的な情報発信に努めました。	リニューアルしたホームページやSNS(Twitter・LINE)による積極的な情報発信に努めました。	観光協会ホームページのほか、SNSでの情報発信を積極的に行うことで、より迅速に様々な観光情報を発信しています。特にLINEについては、情報発信後のイベント等への参加数が増えている傾向のため、今後も積極的な活用を図ります。	アカデミー推進課
308		4-②-ア	Googleマイビジネス整備事業	Googleの検索画面で表示される区内観光施設情報を充実させ検索の優位性を向上させることにより、本区の情報が多くの人の目に触れる機会を増やし、誘客につなげます。	令和4年度で事業終了	観光ガイドマップ掲載施設を対象としたGoogleビジネスプロフィールの操作等研修会を実施しました。	令和4年度で事業終了	アカデミー推進課
309	91	4-②-ア	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドマップ：日本語：50,000部/英語：2,000部/中国語(簡)：500部/中国語(繁)：500部/韓国語：500部 ※全面リニューアルを実施 ・グルメマップ：日本語：50,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※最新情報提供のため、店舗情報・写真等の入替えを実施	・観光ガイドマップ：日本語：50,000部/英語：5,000部/中国語(簡)：1,000部/中国語(繁)：1,000部/韓国語：1,000部 ・グルメマップ：日本語：50,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※2023-2025版としてリニューアルを実施	観光ガイドブックは5か国語、グルメマップは3か国語で制作し、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しています。 東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。	アカデミー推進課
310		4-②-ア	インバウンド対策事業	新型コロナウイルス感染症で影響を受けたインバウンドの回復を見据え、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも入手可能な情報発信に取り組むとともに、外国人観光客のニーズを捉えた事業を実施し、来訪や誘客につなげます。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」において、外国人留学生を観光情報発信リポーターとして認定し、観光施設等の魅力をSNSを通して外国人目線で発信しました。また、留学生が作成した多言語でのリーフレットを区内観光施設等で配布しました。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」を新たに実施し、観光情報発信リポーターとして登録した留学生が独自の視点で見た区内観光施設等の情報を、海外向けのニュースレター等を活用し旅マエ情報として発信しました。	外国人観光客に対する旅マエ・旅ナカの情報発信に取り組むことで認知度向上に努めました。外国人観光客数がコロナ前を超える水準まで回復しつつある中、更なる誘客促進に向けた取り組みを検討する必要があります。	アカデミー推進課
311		4-②-ア	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
312		4-②-ア	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	4月10日～12月25日、1月10日～3月25日 139,200部 計年23回 1月1日号 66,000部 年1回	4月10日 140,000部 1回 4月25日～3月25日 138,000部 22回 計年23回 1月1日号 67,500部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
313		4-②-ア	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
314		4-②-ア	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課
4 観光 ② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有 イ 情報発信環境の整備(p.67)								
315	92	4-②-イ	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。	・観光インフォメーション来所人数：11,559人 ・観光情報等問い合わせ件数：1,627件	・観光インフォメーション来所人数：8,952人 ・観光情報等問い合わせ件数：1,650件	昨年度と比較し、相談件数(案内件数)はやや減少しましたが、来所人数は増加しました。来所者が必要な情報を得られており、相談に至らないケースがあるものと考えられます。 引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。	アカデミー推進課
316		4-②-イ	観光情報の一元化	文京区観光協会のホームページの掲載コンテンツの充実を図るとともにSNSの運用を促進し、観光情報発信におけるプラットフォームとしての基盤を整備します。	ホームページやSNS(Twitter・LINE)による積極的な情報発信に努めました。	リニューアルしたホームページやSNS(Twitter・LINE)による積極的な情報発信に努めました。	観光協会ホームページのほか、SNSでの情報発信を積極的に行うことで、より迅速に様々な観光情報を発信しています。特にLINEについては、情報発信後のイベント等への参加数が増えている傾向のため、今後も積極的な活用を図ります。	アカデミー推進課
317		4-②-イ	Googleマイビジネス整備事業	Googleの検索画面で表示される区内観光施設情報を充実させ検索の優位性を向上させることにより、本区の情報が多くの人の目に触れる機会を増やし、誘客につなげます。	令和4年度で事業終了	観光ガイドマップ掲載施設を対象としたGoogleビジネスプロフィールの操作等研修会を実施しました。	令和4年度で事業終了	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
318	93	4-②-イ	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドマップ：日本語：50,000部/英語：2,000部/中国語(簡)：500部/中国語(繁)：500部/韓国語：500部 ※全面リニューアルを実施 ・グルメマップ：日本語：50,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※最新情報提供のため、店舗情報・写真等の入替えを実施	・観光ガイドマップ：日本語：50,000部/英語：5,000部/中国語(簡)：1,000部/中国語(繁)：1,000部/韓国語：1,000部 ・グルメマップ：日本語：50,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※2023-2025版としてリニューアルを実施	観光ガイドブックは5か国語、グルメマップは3か国語で制作し、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しています。 東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。	アカデミー推進課
319		4-②-イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「ファイブセンスB」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報課
320		4-②-イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努めます。	広報課
4 観光 ③ つながりから生まれる観光の推進 ア 他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合(p.68)								
321		4-③-ア	文京ミュージズフェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介します。	施設改修工事のため中止 代替事業 「文京ミュージズネット周遊デジタルカードラリ-」 参加施設 26施設 参加者 706人 読み取り件数 2235件	開催期間 1日 参加施設数 27施設 来場者数 延べ404人	施設改修工事のため開催中止しました。代替事業として「文京ミュージズネット周遊デジタルカードラリ-」を実施しました。	アカデミー推進課
322	94	4-③-ア	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議の開催 文京ミュージズネットマップの作成 日本語版35,000部、英語版 7,000部 文京ミュージズネット周遊デジタルカードラリ-開催(2か月間) 参加者数706人 全国藩校サミット文京大会記念事業の実施 3施設	全体会議 文京ミュージズネットマップの作成 文京ミュージズフェスタの開催 文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンの実施(2か月間)	施設改修工事のため「文京ミュージズフェスタ」が中止となりました。代替事業として実施した「文京ミュージズネット周遊デジタルカードラリ-」には26施設が参加し、706人の参加がありました。 また全国藩校サミット記念事業として、3施設から藩校に関連した所蔵品を展示するなどの協力を得ました。	アカデミー推進課
323		4-③-ア	「来て見て体験」文京の伝統工芸	伝統工芸品の魅力をもものづくりに関心のある区民や国内外からの観光客等に発信するため、販売、実演、体験ができるイベントを定期的に実施します。	月2回、年24回開催 会場：不忍通りふれあい館 体験参加人数：655人	月2回、年24回開催 会場：不忍通りふれあい館 体験参加人数：494人	ものづくりに関心のある区民や国内外の観光客の集客と伝統工芸の魅力発信をすることができました。	経済課
324	95	4-③-ア	文京博覧会(ぶんぱく)	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和5年11月24日～25日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：10,625人	令和5年11月27日～28日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：8,507人	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
325		4-③-ア	自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	令和2年4月より本格実施を行っています。 令和5年3月には、利便性の向上の観点から複数事業者と協定を締結しております。	令和2年4月より本格実施を行っています。 令和4年度は利便性の向上の観点から複数事業者と協定を締結しました。	複数事業者との協定締結など、シェアサイクルの利便性向上を図りました。 今後も更なる利便性向上に向け、ポートの設置等を増設していきます。	管理課
新規		4-③-ア	全国藩校サミット文京大会記念事業「時代まつりin文京」	区民が歴史に触れる機会を創出し、全国藩校サミット文京大会の機運醸成を図るとともに、区の魅力を内外に発信するため、「於大の方」ゆかりの傳道院を起点とした区民参画による「時代まつり行列」や関連自治体等と連携した物産展を開催します。	・来場者数 約3,500名 ・時代まつり行列応募者数 439名	実施なし	徳川家ゆかりの寺社など、本区の観光資源を活用するとともに、自治体連携による物産展を実施することで、区内外に対して本区の魅力を発信し、全国藩校サミット文京大会の機運醸成を図りました。	アカデミー推進課
4 観光 ③ つながりから生まれる観光の推進 イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力(p.68)								
326		4-③-イ	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	・花の五大まつり等助成実績：7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績：7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	・花の五大まつり等助成実績：7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績：4件(つつじ/あじさい/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	花の五大まつり等の実施等に要する経費助成を行うとともに、まつりを未来に繋いでいくことを目的に、新たに「まつりの街、文京」プロジェクトを開始し、主に小・中学生向けのワークショップ等を実施しました。 引き続き、まつりの振興を図るための経費助成を行うとともに、将来的な担い手確保に向け、子ども達がまつりを知り、まつりに関わるための取組を進めていきます。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
327		4-③-イ	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始:平成31年度 チラシ発行数:1,100部(うち300部追加募集分) (交付申請受付期間:令和5年6月12日～7月14日) (追加募集交付申請受付期間:令和5年8月14日～令和5年9月8日) 料理提供期間:令和5年10月1日～12月31日 ・申請件数 10店舗 ・交付決定数 10店舗 ・支払実績 10店舗 607,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和5年10月1日～12月31日 事業開始:令和2年度 パンフレット発行数:10,000部 ・スタンプラリー参加店舗数 16店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 159件 ・当選者数 74名	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始:平成31年度 チラシ発行数:800部 (交付申請受付期間:令和4年6月10日～7月15日) 料理提供期間:令和4年10月1日～12月31日 ・申請件数 18店舗 ・交付決定数 17店舗 ・支払実績(1店舗辞退) 16店舗 1,015,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和4年10月1日～12月31日 事業開始:令和2年度 パンフレット発行数:11,000部(うち1,000部増刷) ・スタンプラリー参加店舗数 20店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 254件 ・当選者数 64名	スタンプラリー当選賞品の見直しを行い、冷凍や冷蔵などの特産品も含めた幅広い協定等締結自治体の特産品を賞品とすることで、区民の交流自治体の認知度及び魅力度向上につなげることができました。	アカデミー推進課
328		4-③-イ	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつりへの交流自治体物産展の出店により、周知を図ります。	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 3自治体×3日、2自治体×2日 朝顔ほおずき市 3自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 4自治体×2日 春日忌 3自治体×1日 都市交流フェスタ 10自治体×1日 時代まつりin文京 4自治体×1日 いしかわ復興応援物産展 1自治体×2日 盛岡文士劇 東京公演 1自治体×2日 啄木学級 文の京講座 1自治体×1日 現代版組踊「肝高の阿麻和利」 2自治体×2日	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 6自治体×2日 朝顔まつり 2自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 3自治体×2日 春日忌 1自治体×1日 ～熊本・新宿・文京～ 紅葉と楽しむ物産&観光PRフェア in 肥後細川庭園 3自治体×1日 国際交流フェスタ 10自治体×1日	各事業と連携し、物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体魅力を発信することができました。	アカデミー推進課
329	96	4-③-イ	都市交流交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和6年3月16日開催 事業開始:平成21年度 制作物 ・チラシ:1,500部 ・ポスター:223部 ・パンフレット:15,000部 ・のぼり:10枚 ・その他、横断幕やカットティングシートなど ・来場者数 4,785人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 51団体	令和5年3月11日開催 事業開始:平成21年度 チラシ・ポスター発行数:8,360部 ・来場者数 1,300人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 36団体	磯川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。	アカデミー推進課
330	97	4-③-イ	文京博覧会(ぶんぱく)	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和5年11月24日～25日開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数:10,625人	令和5年1月27日～28日開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数:8,507人	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
331		4-③-イ	文京区観光土産品開発事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域活力の復興を図るため、区民参画による観光土産品をつくり、文京区の新たな魅力を創出・発信します。	令和5年3月から文京区観光協会が販売を開始した「花咲葉石けん～文京花の五大まつり～」について、区内観光施設等での販売促進に向けPRを行いました。	令和3年度に募集したアイデアを元に、商品化に向けた取組を実施し、商品完成・販売開始につなげました。 ・ネーミング投票 期間:9月1日～9月30日 応募数:634件	ふるさと納税の返礼品に採用されるとともに、区内観光施設等による販売も好調であることから、新たな観光土産品の販売等を通して、文京区の魅力の発信を図ることができています。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課	
新規		4-③-イ	全国蒲校サミット文京大会記念事業「時代まつりin文京」	区民が歴史に触れる機会を創出し、全国蒲校サミット文京大会の機運醸成を図るとともに、区の魅力を内外に発信するため、「於大の方」ゆかりの傳通院を起点とした区民参画による「時代まつり行列」や関連自治体等と連携した物産展を開催します。	・来場者数 約3,500名 ・時代まつり行列応募者数 439名	実施なし	徳川家ゆかりの寺社など、本区の観光資源を活用するとともに、自治体連携による物産展を実施することで、区内外に対して本区の魅力を発信し、全国蒲校サミット文京大会の機運醸成を図りました。	アカデミー推進課	
4 観光 ④ 何でも訪れたくなるおもてなしの環境整備 ア 観光客の受入基盤整備 (p.69)									
	98	4-④-ア	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドマップ：日本語：50,000部/英語：2,000部/中国語(簡)：500部/中国語(繁)：500部/韓国語：500部 ※全面リニューアルを実施 ・グルメマップ：日本語：50,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※最新情報提供のため、店舗情報・写真等の入替えを実施	・観光ガイドマップ：日本語：50,000部/英語：5,000部/中国語(簡)：1,000部/中国語(繁)：1,000部/韓国語：1,000部 ・グルメマップ：日本語：50,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※2023-2025版としてリニューアルを実施	観光ガイドブックは5か国語、グルメマップは3か国語で制作し、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しています。 東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。	アカデミー推進課	
	99	4-④-ア	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議の開催 文京ミュージアムネットマップの作成 日本語版35,000部、英語版 7,000部 文京ミュージアムネット周遊デジタルカードラリー開催(2か月間) 参加者数706人 全国蒲校サミット文京大会記念事業の実施 3施設	全体会議 文京ミュージアムネットマップの作成 文京ミュージアムネット周遊デジタルカードラリー開催 文の京ミュージアムネットワーク入館料助成キャンペーンの実施(2か月間)	施設改修工事のため「文京ミュージアムフェスタ」が中止となりました。代替事業として実施した「文京ミュージアム周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。 また全国蒲校サミット記念事業として、3施設から蒲校に関連した所蔵品を展示するなどの協力を得ました。	アカデミー推進課	
	332	4-④-ア	観光協会振興助成	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図ります。	観光協会が実施する観光PR事業等に対して、事業費補助や必要な助言等を行いました。	観光協会が実施する観光PR事業等に対して、事業費補助や必要な助言等を行いました。	本区の観光振興のより一層の発展のため、引き続き観光協会が積極的に事業実施を行うために必要な補助等を行います。	アカデミー推進課	
	333	4-④-ア	無料公衆無線LANの整備	国内外の観光客や施設利用者へ文京区の情報を発信するとともに、災害時の情報提供や区民サービス向上につながる通信手段として、文京区内に無料公衆無線LANを整備します。	・シビックセンター地下2F研修室の新規設置	・大塚地域活動センター移設	施設利用者が手軽にインターネット接続ができ、文京区の情報発信や利便性の向上へつながりました。	情報政策課	
	334	4-④-ア	コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。	令和5年度利用客数 千駄木・駒込ルート：481,665人(増減率：+6%) 目白台・小日向ルート：449,676人(増減率：+7%) 本郷・湯島ルート：161,601人(増減率：+8%)	令和4年度利用客数 千駄木・駒込ルート：454,041人(前年度比：+14%) 目白台・小日向ルート：421,515人(前年度比：+16%) 本郷・湯島ルート：149,300人(前年度比：+156%)	【令和4年度】 本郷・湯島ルートが運行開始後一年を経過したことから、各路線の利用状況を把握するため、コミュニティバスの利用実態調査を実施しました。 【令和5年度】 コミュニティバスの利用促進のため、花の五大まつり等の区内イベント会場にてPRを行いました。	区民課	
	335	4-④-ア	バリアフリー基本構想の推進	高齢者、障害者や外国人観光客等が安全・快適に過ごせるよう、道路、公共施設、スポーツ施設等のバリアフリーを進めるため、文京区バリアフリー基本構想を推進します。	地区別計画に基づく特定事業の進捗状況を調査し、ホームページにて公表を行いました。	地区別計画に基づく特定事業の進捗状況を確認し、完了した主な特定事業等の現地確認、推進協議会での意見交換等を行い、令和5年3月に中間評価をとりまとめました。	特定事業の着手・完了事業数は、年々増加傾向にあります。(令和4年度末時点)	都市計画課	
	336	4-④-ア	自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	令和2年4月より本格実施を行っています。 令和5年3月には、利便性の向上の観点から複数事業者と協定を締結しております。	令和2年4月より本格実施を行っています。 令和4年度は利便性の向上の観点から複数事業者と協定を締結しました。	複数事業者との協定締結など、シェアサイクルの利便性向上を図りました。 今後も更なる利便性向上に向け、ポートの設置等を増設していきます。	管理課	
4 観光 ④ 何でも訪れたくなるおもてなしの環境整備 イ 多様な人材の育成・活用 (p.70)									
	337	4-④-イ	インバウンド対策事業	新型コロナウイルス感染症を受けたインバウンドの回復を見据え、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも入手可能な情報発信に取り組むとともに、外国人観光客のニーズを捉えた事業を実施し、来訪や誘客につなげます。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」において、外国人留学生を観光情報発信リポーターとして認定し、観光施設等の魅力をSNSを通じて外国人目線で発信しました。また、留学生が作成した多言語でのリーフレットを区内観光施設等で配布しました。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」を新たに実施し、観光情報発信リポーターとして登録した留学生が独自の視点で見た区内観光施設等の情報を、海外向けのニュースレター等を活用し旅マエ情報として発信しました。	外国人観光客に対する旅マエ・旅ナカの情報発信に取り組むことで認知度向上に努めました。外国人観光客数がコロナ前を超える水準まで回復しつつある中、更なる誘客促進に向けた取り組みを検討する必要があります。	アカデミー推進課	
	338	100	4-④-イ	観光ガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。	・観光ガイドツアー参加者数：747名	・観光ガイドツアー参加者数：323名 ・新規観光ガイド登録者数：8名	文京花の五大まつり等の開催に合わせて様々なガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの広報を図ることで、ガイドツアーの参加者数が増加しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
339		4-④-イ	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	・花の五大まつり等助成実績：7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績：7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	・花の五大まつり等助成実績：7件(つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり) ・まつり復興事業補助金交付実績：4件(つつじ/あじさい/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり)	花の五大まつり等の実施等に要する経費助成を行うとともに、まつりを未来に繋いでいくことを目的に、新たに「まつりの街、文京」プロジェクトを開始し、主に小・中学生向けのワークショップ等を実施しました。 引き続き、まつりの振興を図るための経費助成を行うとともに、将来的な担い手確保に向け、子ども達がまつりを知り、まつりに関わるための取組を進めていきます。	アカデミー推進課
340		4-④-イ	英語観光ガイド	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	・開催件数 9回 ・開催場所 小石川後楽園、湯島エリア、護国寺 ・合計参加人数 90人	・開催件数 8回 ・開催場所 小石川後楽園、湯島エリア、護国寺 ・合計参加人数 47人	令和4年度と比較し、約2倍の外国人の参加がありました。区内在住の外国人に、広く区の歴史や魅力を伝える機会となりました。	アカデミー推進課
5 国内・国際交流 ① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 ア 交流自治体の魅力発信とPRの充実 (p.76)								
341	101	5-①-ア	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始：平成31年度 チラシ発行数：1,100部(うち300部追加募集分) (交付申請受付期間：令和5年6月12日～7月14日) (追加募集交付申請受付期間：令和5年8月14日～令和5年9月8日) 料理提供期間：令和5年10月1日～12月31日 ・申請件数 18店舗 ・交付決定数 17店舗 ・支払実績(1店舗辞退) 16店舗 1,015,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和4年10月1日～12月31日 事業開始：令和2年度 パンフレット発行数：10,000部 ・スタンプラリー参加店舗数 20店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 254件 ・当選者数 64名	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始：平成31年度 チラシ発行数：800部 (交付申請受付期間：令和4年6月10日～7月15日) 料理提供期間：令和4年10月1日～12月31日 ・申請件数 18店舗 ・交付決定数 17店舗 ・支払実績(1店舗辞退) 16店舗 1,015,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和4年10月1日～12月31日 事業開始：令和2年度 パンフレット発行数：11,000部(うち1,000部増刷) ・スタンプラリー参加店舗数 20店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 254件 ・当選者数 64名	スタンプラリー当選賞品の見直しを行い、冷凍や冷蔵などの特産品も含めた幅広い協定等締結自治体の特産品を賞品とすることで、区民の交流自治体の認知度及び魅力度向上につなげることができました。	アカデミー推進課
	102	5-①-ア	都市交流交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和6年3月16日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ：1,500部 ・ポスター：223部 ・パンフレット：15,000部 ・のぼり：10枚 ・その他、横断幕やカットニングシートなど ・来場者数 4,785人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 51団体	令和5年3月11日開催 事業開始：平成21年度 チラシ・ポスター発行数：8,360部 ・来場者数 1,300人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 36団体	磯川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。	アカデミー推進課
342		5-①-ア	交流自治体主催の区民向け事業への協力	くまモンファン感謝祭、上天草フェアの後援、モリハチ祭り等の共催などを行い、事業に協力します。	【盛岡文士劇 東京公演(共催)】 ・会期：令和5年5月20日 ・会場：文京シビックホール大ホール ・関係自治体：盛岡市 【現代版組踊「肝高の阿麻和利」(後援)】 ・会期：令和5年8月20、21日 ・会場：文京シビックホール大ホール ・関係自治体：うるま市 【モリハチ祭り(共催)】 ・会期：令和5年12月6日～11日 ・会場：シビックセンター地下2階区民ひろば ・関係自治体：盛岡市外	実績なし	各自自治体が事業が活発になることから、徐々に後援等の依頼が増加しています。 交流自治体に係る事業を後援等することで、区民に他自治体の文化に触れる機会を提供することができました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
343		5-①-ア	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつり等への交流自治体物産展の出店により、周知を図ります。	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 3自治体×3日、2自治体×2日 朝顔ほおずき市 3自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 4自治体×2日 春日忌 3自治体×1日 都市交流フェスタ 10自治体×1日 時代まつりin文京 4自治体×1日 いしかわ復興応援物産展 1自治体×2日 盛岡文土劇 東京公演 1自治体×2日 啄木学級 文の京講座 1自治体×1日 現代版組踊「肝高の阿麻和利」 2自治体×2日	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 6自治体×2日 朝顔まつり 2自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 3自治体×2日 春日忌 1自治体×1日 ～熊本・新宿・文京～ 紅葉と楽しむ物産&観光PRフェア in 肥後細川庭園 3自治体×1日 国際交流フェスタ 10自治体×1日	各事業と連携し、物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体魅力を発信することができました。	アカデミー推進課
344		5-①-ア	防災フェスタ協力	防災フェスタに交流自治体PRブースを設置します。	防災フェスタ(参加者2,433人)に島根県津和野町の東京事務所がブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタ(参加者2,619人)に新潟県南魚沼市の食品製造業者、島根県津和野町の東京事務所がそれぞれブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタへの参加協力を通じて、防災対策の面からも、交流都市との連携体制の充実に取り組みました。災害発生時において、災害の規模に応じた適切な支援要請ができるよう、引き続き連携体制の強化に取り組んでいきます。	防災課
345		5-①-ア	文京博覧会(ぶんぱく)	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和5年11月24日～25日開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリースピック、アートサロン、スピックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数:10,625人	令和5年1月27日～28日開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリースピック、アートサロン、スピックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数:8,507人	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区外に情報発信することができました。	経済課
5 国内・国際交流 ① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 イ 交流自治体との交流の活性化(p.78)								
346		5-①-イ	全国各自治体主催事業への周知協力	日帰りバスツアー等の周知に協力します。	【石岡市】 ヘルスビューティーツアー(モニターツアー) ・実施日:令和5年12月9日 ・対象:文京区民10名	実績なし	石岡市の主催バスツアーの周知について、ホームページ掲載及びチラシ配架等の協力をしました。	アカデミー推進課
347		5-①-イ	交流自治体との文化交流	交流自治体の伝統文化を区民に紹介する事業、かなざわ講座(金沢市)、啄木学級(盛岡市)、石見神楽(津和野町)等の主催・共催	盛岡市 啄木学級 参加者270人 ミスさんさ踊り派遣(時代まつり 来場者約3,500人) 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者62人(うち都市交流フェスタ参加者 22人) 金沢市 かなざわ講座 参加者39人 百万石まつりへの参加(盆正月) 水室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止	盛岡市 啄木学級 参加者106人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者52人 金沢市 かなざわ講座 参加者70人 百万石まつりへの参加(行列、盆正月) 水室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止	令和5年度は盛岡市友好都市協定提携5周年にあたり、各種記念事業を開催しました。啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。藩校サミット記念事業として開催された「時代まつり」にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップではワークショップ参加者のうち希望者22人が都市交流フェスタの舞台でさんさ踊りを披露しました。	アカデミー推進課
348		5-①-イ	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始:平成31年度 チラシ発行数:1,100部(うち300部追加募集分) (交付申請受付期間:令和5年6月12日～7月14日) (追加募集交付申請受付期間:令和5年8月14日～令和5年9月8日) 料理提供期間:令和5年10月1日～12月31日 ・申請件数 18店舗 ・交付決定数 17店舗 ・支払実績(1店舗辞退) 16店舗 1,015,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和5年10月1日～12月31日 事業開始:令和2年度 パンフレット発行数:10,000部 ・スタンプラリー参加店舗数 16店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 159件 ・当選者数 71名	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始:平成31年度 チラシ発行数:800部 (交付申請受付期間:令和4年6月10日～7月15日) 料理提供期間:令和4年10月1日～12月31日 ・申請件数 18店舗 ・交付決定数 17店舗 ・支払実績(1店舗辞退) 16店舗 1,015,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和4年10月1日～12月31日 事業開始:令和2年度 パンフレット発行数:11,000部(うち1,000部増刷) ・スタンプラリー参加店舗数 20店舗 ・スタンプラリー応募件数(重複含む) 254件 ・当選者数 64名	スタンプラリー当選賞品の見直しを行い、冷凍や冷蔵などの特産品も含めた幅広い協定等締結自治体の特産品を賞品とすることで、区民の交流自治体の認知度及び魅力度向上につなげることができました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
349	103	5-①-イ	交流自治体主催の区民向け事業への協力	くまモンファン感謝祭、上天草フェアの後援、モリハチ祭り等の共催などを行い、事業に協力します。	【盛岡文士劇 東京公演(共催)】 ・会期:令和5年5月20日 ・会場:文京シビックホール大ホール ・関係自治体:盛岡市 【現代版組踊「肝高の阿麻和利」(後援)】 ・会期:令和5年8月20、21日 ・会場:文京シビックホール大ホール ・関係自治体:うるま市 【モリハチ祭り(共催)】 ・会期:令和5年12月6日～11日 ・会場:シビックセンター地下2階区民ひろば ・関係自治体:盛岡市外	実績なし	各自治体が事業が活発になることから、徐々に後援等の依頼が増加しています。 交流自治体に係る事業を後援等することで、区民に他自治体の文化に触れる機会を提供することができました。	アカデミー推進課
350	104	5-①-イ	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつり等への交流自治体物産展の出店により、周知を図ります。	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 3自治体×3日、2自治体×2日 朝顔ほおずき市 3自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 4自治体×2日 春日忌 3自治体×1日 都市交流フェスタ 10自治体×1日 時代まつりin文京 4自治体×1日 いしかわ復興応援物産展 1自治体×2日 盛岡文士劇 東京公演 1自治体×2日 啄木学級 文の京講座 1自治体×1日 現代版組踊「肝高の阿麻和利」 2自治体×2日	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 2自治体×2日 梅まつり 6自治体×2日 朝顔まつり 2自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 3自治体×2日 春日忌 1自治体×1日 ～熊本・新宿・文京～ 紅葉と楽しむ物産&観光PRフェア in 肥後細川庭園 3自治体×1日 国際交流フェスタ 10自治体×1日	各事業と連携し、物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体魅力を発信することができました。	アカデミー推進課
351		5-①-イ	宿泊施設事業及び山村体験宿泊施設の運営	区民の健康増進と福祉の向上を図るため、区民が一般料金より低廉な宿泊料金で利用できる宿泊施設と各種サービス条件等について協定を締結しています。 区民と魚沼市民との交流や体験の場として、やまびこ荘の運営を湯の谷業師スキー場管理組合に運営を委託し、山村体験宿泊施設として、区民に都会では得られない人や自然とのふれあいの機会を提供しています。	協定宿泊施設については、8月より栃木県の宿泊施設1施設及び山梨県の宿泊施設1施設と協定を締結し、9施設から11施設となりました。 やまびこ荘については、物価高騰に伴う光熱費・食材費の値上がりに対応するため、価格高騰分について補助金を交付しました。 山村体験交流事業については、やまびこ荘主催事業14回、魚沼市観光協会主催事業7回の計21回開催となりました。	協定宿泊施設については、魚沼市内の宿泊施設1施設及び箱根の宿泊施設1施設と協定を解消し、11施設から9施設となりました。 やまびこ荘については、物価高騰に伴う光熱費・食材費の値上がりに対応するため、価格高騰分について補助金を交付しました。 山村体験交流事業については、やまびこ荘主催事業13回、魚沼市観光協会主催事業7回の計20回開催となりました。	宿泊施設の宿泊者数及び山村体験交流事業の参加者数は、令和4・5年度にかけ、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準に回復傾向にあります。	区民課
352		5-①-イ	魚沼移動教室	区立小学校6年生の移動教室を魚沼市とその周辺で実施します。	区立小学校全20校にて6月から10月にかけて実施。	区立小学校全20校にて6月から10月にかけて実施。	相互協力協定を締結している新潟県魚沼市の文化等について区立小学校の小学生が実感を持って学ぶことができました。	学務課
5 国内・国際交流 ① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 ウ 横断的な交流事業の展開 (p.79)								
	105	4-③-ア	文京博覧会(ぶんぱく)	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和5年11月24日～25日開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリースィビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数:10,625人	令和5年1月27日～28日開催 会場:区民ひろば、通路、ギャラリースィビック、アートサロン、シビックホール小ホール 7大学 お茶の水女子大学、順天堂大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数:8,507人	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
	106	3-④-ア	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級 参加者270人 ミスさんさ踊り派遣(時代まつり 来場者約3,500人) 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者62人 (うち都市交流フェスタ参加者 22人) 金沢市 かなざわ講座 参加者39人 百万石まつりへの参加(盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止 うるま市 現代版組踊「肝高の阿麻和利」公演 後援	盛岡市 啄木学級 参加者106人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者52人 金沢市 かなざわ講座 参加者70人 百万石まつりへの参加(行列、盆正月) 氷室の水贈呈 津和野町 石見神楽公演 中止	令和5年度は盛岡市友好都市交流協定提携5周年にあたり、各種記念事業を開催しました。啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。藩校サミット記念事業として開催された「時代まつり」にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップではワークショップ参加者のうち希望者22人が都市交流フェスタの舞台でさんさ踊りを披露しました。 また、沖縄県うるま市の現代版組踊「肝高の阿麻和利」公演を後援しました。	アカデミー推進課
353		5-①-ウ	国内交流・連携事業補助事業	住民同士の交流の活性化を目的とし、区内で活動する地域団体等が交流事業を行う際の費用の一部を補助します。	申請期間:令和5年4月25日～5月24日 事業実施期間:令和5年6月22日～令和6年2月29日 申請件数:5件 交付決定数:5団体 交付実績数:5団体 ポスター・チラシ発行数:710部	申請期間:令和4年4月25日～5月31日 事業実施期間:令和4年6月14日～令和5年2月28日 申請件数:6件 交付決定数:5団体(不交付決定数:1団体) 交付実績数:4団体 (新型コロナウイルス感染症拡大により、1団体事業中止のため交付取消) ポスター・チラシ発行数:620部	新型コロナウイルス感染症の感染状況収束に伴い、一定の申請団体数を見込めるようになり、安定した事業執行を行うことができました。 今後は協定等締結自治体の認知度向上につながるよう、事業の在り方を検討します。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
354		5-①-ウ	防災フェスタ協力	防災フェスタに交流自治体PRブースを設置します。	防災フェスタ(参加者2,433人)に島根県津和野町の東京事務所がブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタ(参加者2,619人)に新潟県南魚沼市の食品製造業者、島根県津和野町の東京事務所がそれぞれブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタへの参加協力を通じて、防災対策の面からも、交流都市との連携体制の充実に取り組みました。災害発生時において、災害の規模に応じた適切な支援要請ができるよう、引き続き連携体制の強化に取り組んでいきます。	防災課
355		5-①-ウ	学校給食における食材・料理提供	交流自治体のメニュー(芋煮)や食材(みかん)を提供し、あわせて交流自治体の紹介を行います。	・9月～11月の給食で、日本三大芋煮(津和野町、大洲市、中山町)の中から1つを全校で1回実施し、3地域からは1校ずつ芋煮の提供を受けました。(H31年度開始事業) ・2月の「交流自治体の旅」給食では、盛岡市の精米と味噌を購入し、提携5周年を記念した石川啄木ゆかり献立を盛岡市と同時に全校で実施しました。(R2年度開始事業)	・9月～12月の給食で、日本三大芋煮(津和野町、大洲市、中山町)の中から1つを全校で1回実施し、3地域からは1校ずつ芋煮の提供を受けました。 ・12月～2月の「交流自治体の旅」給食では、金沢市の五郎島金時を購入(810kg)し、加賀野菜を使用した給食を全校で1回実施しました。	区と交流のある自治体の地域の特色や、農産物への理解が深まりました。	学務課
5 国内・国際交流 ② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり ア 海外都市との交流の活性化(p.80)								
356		5-②-ア	姉妹都市等との交流	姉妹都市のカイザースラウテルン市(ドイツ)や友好都市のペイオウル区(トルコ)北京市通州区(中国)と公式訪問団の派遣・受入をはじめ、様々な交流を通じて区民の国際理解を促進しています。	実績なし	実績なし	姉妹都市等との直接の交流は、世界情勢の影響等で実現はしていませんが、オンライン等を活用して、担当者間での交流は再開しており、直接の交流に向けて検討を進めています。	アカデミー推進課
357	107	5-②-ア	海外都市との交流の活性化	これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民にも広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。	【派遣】 ・派遣先:大韓民国ソウル特別市松坡区 ・派遣人数:3名 ・内容:区内視察、区庁長表敬訪問 【受入れ】 ・受入れ先:大韓民国ソウル特別市松坡区 ・受入れ人数:4名 ・内容:区内視察、区長表敬訪問、都市交流フェスタブース出展	実績なし	大韓民国ソウル特別市松坡区とは、職員間の相互訪問が実現し、今後の交流に向けて前向きな議論を交わし、交流を深めることができました。	アカデミー推進課
358	108	5-②-ア	ホームステイ生徒交換事業	姉妹都市のカイザースラウテルン市と交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。	・受入期間 8月7日～8月21日 ・受入人数:3人 ・区主催行事:8月10日 表家訪問・歓迎夕食会・区内案内 8月14日 都内案内(浅草等) 8月18日 都内案内(原宿等)	・文京区姉妹都市オンライン青少年交流会 第1回 開催日:9月10日(土) 参加生徒人数: 日本生徒 11人 カイザースラウテルン市生徒 5人 ・文京区姉妹都市オンライン青少年交流会 第2回 開催日:11月27日(日) 参加生徒人数: 日本生徒 10人 カイザースラウテルン市生徒 13人	4年ぶりに対面での事業を実施し、互いの理解を深め、姉妹都市間の学生同士の交流ができました。また、事業を通して、姉妹都市との友好を深めることができました。	アカデミー推進課
359		5-②-ア	都市交流交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和6年3月16日開催 事業開始:平成21年度 制作物 ・チラシ:1,500部 ・ポスター:223部 ・パンフレット:15,000部 ・のぼり:10枚 ・その他、横断幕やカッティングシートなど ・来場者数 4,785人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 51団体	令和5年3月11日開催 事業開始:平成21年度 チラシ・ポスター発行数:8,360部 ・来場者数 1,300人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 36団体	磯川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有 (p.81)								
360	109	5-②-イ	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期(5~7月) 11講座 240人(定員270人/応募者数325人) 後期(9~12月) 7講座 174人(定員191人/応募者数212人) 後期Ⅱ(1~3月) 6講座 151人(定員151人/応募者数243人)	前期(5~7月) 8講座 155人(定員170人/応募者数269人) 後期(10~12月) 10講座 228人(定員250人/339人) 後期Ⅱ(1~3月) 5講座 102人(定員115人/応募者数149人)	引き続き、諸外国の人々や文化について学び、理解することや多様な価値観の尊重、外国語によるコミュニケーション能力向上等、世界情勢も踏まえた講座を実施しました。	アカデミー推進課
361	110	5-②-イ	都市交流交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和6年3月16日開催 事業開始:平成21年度 制作物 ・チラシ:1,500部 ・ポスター:223部 ・パンフレット:15,000部 ・のぼり:10枚 ・その他、横断幕やカットティングシートなど ・来場者数 4,785人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 51団体	令和5年3月11日開催 事業開始:平成21年度 チラシ・ポスター発行数:8,360部 ・来場者数 1,300人 ・出展団体数(物産・ステージパフォーマンス含む) 36団体	磯川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。	アカデミー推進課
362		5-②-イ	英語観光ガイド	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	・開催件数 9回 ・開催場所 小石川後楽園、湯島エリア、護国寺 ・合計参加人数 90人	・開催件数 8回 ・開催場所 小石川後楽園、湯島エリア、護国寺 ・合計参加人数 47人	令和4年度と比較し、約2倍の外国人の参加がありました。区内在住の外国人に、広く区の歴史や魅力を伝える機会となりました。	アカデミー推進課
363	111	5-②-イ	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」・やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	・やさしい日本語で留学生との交流会 開催日:7月29日(土)、12月9日(土)、1月20日(土) 開催方式:対面 合計参加人数:70人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:1月28日(日) 開催方式:対面 参加人数:8人 ・トルコ文化講座 開催日:9月23日(土) 開催方式:対面 参加人数:71人 ・中国伝統芸能セミナー～変面芸術の世界～ 開催日:11月23日(祝・木) 開催方式:対面 参加人数:103人 ・ドイツ文化講座 開催日:7月4日(火) 開催方式:対面 参加人数:93人 ・トルコ建国100周年記念写真展「写真でたどるトルコの日常」 開催日:12月13日(水)～18日(月) 合計参加人数:1,426人	・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:7月23日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:29人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和5年1月22日(日) 開催方式:対面 参加人数:20人 ・ベナン共和国講座 開催日:10月15日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・中国伝統芸能セミナー～変面芸術の世界～ 開催日:11月19日(土) 開催方式:対面 参加人数:77人 ・ドイツ文化講座全4回 開催日:6月26日(日)、8月28日(日)、10月30日(日)、12月4日(日) 開催方式:対面 合計参加人数:162人	トルコ文化講座の新設及び周年の記念事業であるトルコ写真展の開催等、区民が国際文化に触れる機会を創出しました。参加人数も増加し、姉妹都市、友好都市に関係のある講座の開講によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することができました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
5 国内・国際交流 ② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり ウ 横断的な交流事業の展開 (p.82)								
364	112	5-②-ウ	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」・やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語で留学生との交流会 開催日:7月29日(土)、12月9日(土)、1月20日(土) 開催方式:対面 合計参加人数:70人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:1月28日(日) 開催方式:対面 参加人数:8人 ・トルコ文化講座 開催日:9月23日(土) 開催方式:対面 参加人数:71人 ・中国伝統芸能セミナー～変面芸術の世界～ 開催日:11月23日(祝・木) 開催方式:対面 参加人数:103人 ・ドイツ文化講座 開催日:7月4日(火) 開催方式:対面 参加人数:93人 ・トルコ建国100周年記念写真展「写真でたどるトルコの日常」 開催日:12月13日(水)～18日(月) 合計参加人数:1,426人 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:7月23日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:29人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和5年1月22日(日) 開催方式:対面 参加人数:20人 ・ベナン共和国講座 開催日:10月15日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・中国伝統芸能セミナー～変面芸術の世界～ 開催日:11月19日(土) 開催方式:対面 参加人数:77人 ・ドイツ文化講座全4回 開催日:6月26日(日)、8月28日(日)、10月30日(日)、12月4日(日) 開催方式:対面 合計参加人数:162人 	トルコ文化講座の新設及び周年の記念事業であるトルコ写真展の開催等、区民が国際文化に触れる機会を創出しました。参加人数も増加し、姉妹都市、友好都市に關係のある講座の開講によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することができました。	アカデミー推進課
365		5-②-ウ	国際理解教育の推進	全区立小・中学校の全学年にALT(外国語指導助手)を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行います。	ALTは全小中学校に派遣をしています。年間で延べ小中学校では3294日、中学校では778日、ALTを派遣しました。	ALTは全小中学校に派遣をしています。年間で延べ小中学校では3499日、中学校では741日、ALTを派遣しました。	児童・生徒が外国人との会話や外国の文化等に触れる機会を増やし、英語を積極的に使おうとする態度を育成することができました。また、小学校はALTを配置する一日の時間が延びたことで、外国人と触れ合う機会がより増えました。中学校でも2校が長時間配置を実施しました。	教育指導課
366		5-②-ウ	日本語指導員の派遣	英語圏以外の、日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣しています。	児童97名、生徒43名に対し、延べ140人の児童生徒へ日本語指導員を派遣し指導を行いました。	児童52名、生徒28名に対し、延べ80人の児童生徒へ日本語指導員を派遣し指導を行いました。	日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣することで、学校生活への適応を支援することができました。また、東京都教育支援機構を活用することにより、多様な言語に対応できるようになりました。	教育指導課
5 国内・国際交流 ③ 外国人が活躍できる環境づくり ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実 (p.83)								
367		5-③-ア	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。	・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日:9月3日(日) 開催方式:対面、オンライン 参加人数:17人 相談件数:19件	・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日:9月4日(日) 開催方式:対面、オンライン 参加人数:7人 相談件数:9件	外国人にとって異国の地で慣れた言語で相談できる場所を提供することに一定の需要がありました。8組は文京区在住者で、6ヶ国からの申し込みがあり、就労に関わる在留資格や子どもの相談が例年よりも多く寄せられました。区報やメールを見て知ったというケースが多く、共催の効果があったと感じます。	アカデミー推進課
368	113	5-③-ア	外国人の日常生活支援のための多言語化	外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進め、区窓口での手続きの効率化を図っています。	・行政文書の多言語化 翻訳文書数:31 翻訳言語:英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語、ネパール語	・行政文書の多言語化 翻訳文書数:30 翻訳言語:英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語 ・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日:9月4日(日) 開催方式:対面、オンライン 参加人数:7人 相談件数:9件	翻訳文書数及び言語が増加しているため、区内でも需要が高まっており、合計7言語の翻訳を行ないました。今まで英語及び中国語の翻訳が多かったが、その他言語も増えてきており、今後更に需要が増えるものと考えられます。機動的な対応を目的とし、今後は各課で翻訳を行う予定です。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
	114	5-③-ア	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」・やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:7月29日(土)、12月9日(土)、1月20日(土) 開催方式:対面 合計参加人数:70人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:7月28日(日) 開催方式:対面 参加人数:8人 ・トルコ文化講座 開催日:9月23日(土) 開催方式:対面 参加人数:71人 ・中国伝統芸能セミナー～変面芸術の世界～ 開催日:11月23日(祝・木) 開催方式:対面 参加人数:103人 ・ドイツ文化講座 開催日:7月4日(火) 開催方式:対面 参加人数:93人 ・トルコ建国100周年記念写真展「写真でたどるトルコの日常」 開催日:12月13日(水)～18日(月) 合計参加人数:1,426人	・やさしい日本語で留学生とオンライン交流会 開催日:7月23日(土) 開催方式:オンライン(Zoom) 参加人数:29人 ・能楽鑑賞会(外国人枠) 開催日:令和5年1月22日(日) 開催方式:対面 参加人数:20人 ・ベナン共和国講座 開催日:10月15日(土) 開催方式:対面 参加人数:51人 ・中国伝統芸能セミナー～変面芸術の世界～ 開催日:11月19日(土) 開催方式:対面 参加人数:77人 ・ドイツ文化講座全4回 開催日:6月26日(日)、8月28日(日)、10月30日(日)、12月4日(日) 開催方式:対面 合計参加人数:162人	トルコ文化講座の新設及び周年の記念事業であるトルコ写真展の開催等、区民が国際文化に触れる機会を創出しました。参加人数も増加し、姉妹都市、友好都市に関係のある講座の開講によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することができました。	アカデミー推進課
369		5-③-ア	観光リーフレット作成	区内観光施設及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致します。	・観光ガイドマップ:日本語:50,000部/英語:2,000部/中国語(簡):500部/中国語(繁):500部/韓国語:500部 ※全面リニューアルを実施 ・グルメマップ:日本語:50,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※最新情報提供のため、店舗情報・写真等の入替えを実施	・観光ガイドマップ:日本語:50,000部/英語:5,000部/中国語(簡):1,000部/中国語(繁):1,000部/韓国語:1,000部 ・グルメマップ:日本語:50,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※2023-2025版としてリニューアルを実施	観光ガイドブックは5か国語、グルメマップは3か国語で制作し、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しています。 東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組んでいます。	アカデミー推進課
370		5-③-ア	配布物の多言語化(スポーツ振興課)	スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内を英訳した英語版を配布します。	スポーツセンター及び総合体育館で、外国人の施設利用に資するため、英語版利用案内を配架しています。	スポーツセンター及び総合体育館で、外国人の施設利用に資するため、利用案内を配架しています。	区内在住・在勤・在学の外国人に、スポーツ施設の利用を推進することができています。	スポーツ振興課
371		5-③-ア	文京区紹介映像及び文京区公式PR動画 多言語版の公開	文京区紹介映像「ようこそ文の京へ」約12分及び文京区公式PR動画「文京区～つながりが見つかるまち～」10分。英語、中国語、ハングル版を作成し、ホームページでも公開しています。	継続してホームページでの公開を行っています。	継続してホームページでの公開を行っています。	国内外からの来訪者に対し、文京区を知っていたくツールとなっています。	広報課
372		5-③-ア	通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	区民相談員が行政情報センターにてタブレット端末での通訳クラウドサービスを活用して、外国人相談を行います。	通訳タブレット、ポケトークを設置し外国人相談に活用しています。また、他課に貸出もしており外国人対応に利用しています。	通訳タブレット、ポケトークを設置し外国人相談に活用しています。また、他課に貸出もしており外国人対応に利用しています。	R5年度は外国人相談件数は66件、ポケトーク等他課への貸出し件数は67件でした。	広報課
373		5-③-ア	わかりやすいホームページの構築	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行います。	英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)の4言語に対応	英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)の4言語に対応	月間で約1,900～2,000件程度の閲覧数があり、外国人の方にも区の情報を提供できています。	広報課
374		5-③-ア	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信(英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応)	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報課
375		5-③-ア	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します(4か国語併記 日本語・英語・中国語・ハングル)。	外国語版生活便利帳の発行(4か国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	外国語版生活便利帳の発行(4か国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	4か国語(日本語・英語・ハングル・中国語)を併記しており、外国の方にも各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	(参考)令和4年度実績	成果等	担当課
376		5-③-ア	防災対策での多言語対応	避難所プレート、防災啓発パンフレット及びハザードマップ、防災情報一斉通知アプリ等の多言語化や災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進めます。	防災アプリ及び防災ポータルにやさしい日本語機能を追加しました。 また多言語対応の防災ポータル及び防災アプリについて、周知チラシによる普及啓発活動を昨年度より継続して実施いたしました。	防災ガイドの外国語版の掲載内容を更新し、区ホームページで周知を行いました。多言語対応の防災ポータル及び防災アプリについて、周知チラシを作成して普及啓発活動を行いました。外国人避難者等に対応するため、各避難所に、翻訳アプリを搭載したタブレットを配備しました。	防災アプリ及び防災ポータルにやさしい日本語機能を追加することで、外国人避難者への支援の充実を図りました。	防災課
377		5-③-ア	わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「B-ぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。	令和6年4月版B-ぐるのマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和5年4月版B-ぐるのマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和3年9月に運行を開始した本郷・湯島ルートに対応した英語版マップを作成し、配布しました。	区民課
378		5-③-ア	資料の多言語化	在住外国人の方が窓口でスムーズに手続きができるよう、窓口案内システム、国保制度・年金制度の案内ならし、出産育児一時金等の給付申請案内ならし、前年中の所得状況申告書を多言語対応するとともに、窓口対応の際に通訳タブレット等を活用し相談に応じています。	日本語での会話が難しい外国人には、通訳タブレットを使用して国保制度等を説明した。対応できる言語数が多く、様々な国の外国人とのやり取りがスムーズにいった。	・窓口案内システム 令和3年度に引き続き、窓口案内システムで、来庁の目的を英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語の4言語でも選択でき、呼び出し音声も選択した言語での呼び出しができるよう対応しました。 ・国保便利帳の外国語翻訳 令和5年度版にタイ語とミャンマー語を追加しました。	窓口案内システム、通訳タブレットの活用により、受付から窓口対応までスムーズに対応することができました。	国保年金課
379		5-③-ア	外国語版母子手帳の配布	英語、ハングル、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語の10カ国語の母子手帳を配布します。	外国語版母子手帳の配布 英語16、中国語19、ベトナム語9、スペイン語1計45冊	外国語版母子手帳の配布 英語17、中国語16、ネパール語5、ベトナム語4、ポルトガル語1、インドネシア語1計44冊	外国語版を配布することにより、区内在住の外国人の妊婦や乳幼児の健康管理などに役立っています。	健康推進課
380		5-③-ア	看板の多言語化	外国人向けに駐輪場の利用方法及び放置自転車禁止区域の案内を行うため、看板の多言語化を行います。	実績なし	実績なし	放置自転車禁止区域の看板については、既に多言語化を行っています。 今後は駐輪場の利用方法等について多言語対応を行います。	管理課
381		5-③-ア	わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「B-ぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。	令和6年4月版B-ぐるのマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和5年4月版B-ぐるのマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和3年9月に運行を開始した本郷・湯島ルートに対応した英語版マップを作成し、配布しました。	区民課
382		5-③-ア	配布物の多言語化(リサイクル清掃課)	「ごみと資源の分け方・出し方」の英語版、中国語版、ハングル版を作成して配布します。	前年に引き続き、戸籍住民課での転入時の配布、リサイクル清掃課や文京清掃事務所での希望がある方への配布を実施しました。令和5年10月には改定版を発行しました。	令和4年度は、中国語版が多く出ており、印刷した分の在庫はなくなりました。コロナが落ち着いてきてから特に外国語版の配布も多くなっています。	窓口にも海外の方や大家さんが外国語版を求めていることがあり、ごみの分別を周知することに役立っています。 外国語版があることの周知がまだ足りない部分もあるので、周知の面においても力を入れていきたいです。	リサイクル清掃課
383		5-③-ア	外国語資料の充実	外国語資料の収集や利用案内の多言語化等により、日本語を母国語としない利用者へのサービス向上を図ります。	・外国語図書 貸出数：5,186冊 新規受入れ冊数：211冊 ・外国語絵本 貸出数：12,893冊 新規受入れ冊数：160冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 15回	・外国語図書 貸出数：4,459冊 新規受入れ冊数：533冊 ・外国語絵本 貸出数：12,426冊 新規受入れ冊数：144冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 11回	多様な言語の資料の収集に努めるとともに、英語による読み聞かせの回数を増やし、外国語に接する機会を提供しました。	真砂中央図書館
5 国内・国際交流 ③ 外国人が活躍できる環境づくり イ 外国人の活躍できる場の提供支援 (p.84)								
384		5-③-イ	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期(5~7月) 11講座 240人(定員270人/応募者数325人) 後期(9~12月) 7講座 174人(定員191人/応募者数212人) 後期Ⅱ(1~3月) 6講座 151人(定員151人/応募者数243人)	前期(5~7月) 8講座 155人(定員170人/応募者数269人) 後期(10~12月) 10講座 228人(定員250人/339人) 後期Ⅱ(1~3月) 5講座 102人(定員115人/応募者数149人)	引き続き、諸外国の人々や文化について学び、理解することや、多様な価値観の尊重、外国語によるコミュニケーション能力向上等、世界情勢も踏まえた講座を実施しました。	アカデミー推進課
385	115	5-③-イ	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。	・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日：9月3日(日) 開催方式：対面、オンライン 参加人数：17人 相談件数：19件	・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日：9月4日(日) 開催方式：対面、オンライン 参加人数：7人 相談件数：9件	外国人にとって異国の地で慣れた言語で相談できる場所を提供することに一定の需要がありました。8組は文京区在住者で、6ヶ国からの申し込みがあり、就労に関わる在留資格や子どもの相談が例年よりも多く寄せられました。区報やメールを見て知ったというケースが多く、共催の効果があったと感じます。	アカデミー推進課